

---

---

久留米市のセーフコミュニティに関する実態調査

【18歳～64歳】

報 告 書

---

---



平成30年1月

久留米市



## 目次

第1章	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査対象	1
3.	調査期間	1
4.	回収結果	1
5.	集計・分析上の注意	1
第2章	調査結果【18～64歳】	2
1.	調査回答者の属性	2
2.	調査結果の詳細	4
(1)	ケガの状況	4
(2)	ケガの原因	5
(3)	ケガをしたときの状況	7
(4)	ケガをした場所	9
(5)	ケガをした状況・きっかけ	11
(6)	ケガをした部位	13
(7)	ケガの種類	14
(8)	自動車やバイクの運転状況	16
(9)	自転車の利用状況	17
(10)	自転車保険等の加入状況	18
(11)	交通事故にあった又はあいそうになった経験（自動車の運転中）	19
(12)	交通事故にあった又はあいそうになった経験（バイクの運転中）	20
(13)	交通事故にあった又はあいそうになった経験（自転車の運転中）	21
(14)	交通事故にあった又はあいそうになった経験（歩行中）	22
(15)	交通事故にあう危険性が1番高いと思う年齢層	23
(16)	交通事故にあう危険性が2番目に高いと思う年齢層	24
(17)	交通事故をおこす危険性が1番高いと思う年齢層	25
(18)	交通事故をおこす可能性が2番目に高いと思う年齢層	26
(19)	交通安全について不安に思っていること	27
(20)	交通安全について特に不安に思うこと	30
(21)	シートベルトやチャイルドシートの着用状況について	31
(22)	認知症の理解不足と高齢者虐待の関係性について	32
(23)	認知症サポーターの認知度	33
(24)	高齢者虐待にあたると思う行為	34
(25)	虐待しているのではと思った経験の有無	35
(26)	自身の行為について感じること	36
(27)	自身の虐待行為についての相談状況	37
(28)	高齢者の虐待を見聞きした経験の有無	38

(29) 虐待がされた場所 .....	39
(30) 高齢者の虐待を見聞きした場合の対応 (相談または通報) .....	40
(31) 相談又は通報しない理由 .....	41
(32) 犯罪の被害に対する不安 .....	42
(33) 不安を感じる犯罪 .....	43
(34) 地域で行われている防犯活動の認知度 .....	45
(35) 地域の防犯活動への参加状況 .....	48
(36) 防犯活動に参加していない理由 .....	49
(37) 犯罪被害等を受けた経験の有無 .....	50
(38) 犯罪被害をうけた際の対応 .....	53
(39) 「男は仕事、女は家庭」という考え方について .....	55
(40) 配偶者や恋人からうけるDVと思われる行為 .....	56
(41) DV受けた又は見聞きした経験の有無 .....	58
(42) その後の対応 .....	59
(43) 相談後の結果について .....	61
(44) 配偶者や恋人に対してDVをしていると思った経験の有無 .....	62
(45) 自身の行為について感じる事 .....	63
(46) 自身の行為についての相談状況 .....	64
(47) DV防止や早期発見のために有効だと思うこと .....	65
(48) 「パープルリボン」の認知度 .....	67
(49) 自殺について思うこと (生死は最終的に本人の判断に任せるべきである) ..	68
(50) 自殺について思うこと (自殺せずに生きていれば良いことがある) .....	69
(51) 自殺について思うこと (自殺する人は、直前まで実行するかやめるか気持ちが揺 れ動いている) .....	70
(52) 自殺について思うこと (責任を取って自殺することは仕方がない) .....	71
(53) 自殺について思うこと (自殺はその多くが防ぐことのできる社会的な問題である) .....	72
(54) 「うつ病」について思うこと (うつ病は精神的な弱さや性格が原因である) .	73
(55) 「うつ病」について思うこと (うつ病は本人の怠け・甘えであり、病気ではない) .....	74
(56) 「うつ病」について思うこと (うつ病は休養をとることが大切である) ....	75
(57) 「うつ病」について思うこと (うつ病は早期発見・早期治療が大切である)	76
(58) 「うつ病」について思うこと (うつ病は適切な治療により治る病気である)	77
(59) 自身がうつ病ではないかと感じたときの、専門窓口の利用意向 .....	78
(60) 医療機関や相談窓口を利用しない理由 .....	80
(61) うつ病の疑いがある家族や知人に医療機関や相談窓口を勧めるか .....	81
(62) 自殺したいと思った又は自殺未遂の経験の有無 .....	82
(63) 自殺したいと思った原因 .....	84
(64) 自殺を思いとどまった要因 .....	85
(65) 「ゲートキーパー」の認知度 .....	86

(66)	自然災害から身を守るために一番重要だと思うこと	87
(67)	災害が発生したときに重要な「共助」について	88
(68)	「自助」の重要性を啓発するために有効な手段	89
(69)	災害が発生した場合、一人で避難できるか	92
(70)	避難するための対策の有無	93
(71)	「災害時要援護者名簿」の認知度	95
(72)	「災害時要援護者名簿」の登録の有無	96
(73)	「災害時要援護者名簿」に登録していない理由	97
(74)	「災害時要援護者名簿」への登録の希望	99

第3章	調査票＜一般（18～64歳以下）＞	100
-----	-------------------	-----



## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

ケガや事故の予防を目的とした市民、関係機関、団体との協働による「セーフコミュニティ」活動に取り組むことにより、「みんなが安全に安心して暮らせるまちづくり」を目指している。本調査は、本市のセーフコミュニティの取り組みの基礎資料として、市民の経験や考えなどを把握する目的で、実施したものである。

### 2. 調査対象

- ①市内に居住する0歳～17歳の男女 1,000人
  - ②市内に居住する18歳～64歳の男女 1,500人
  - ③市内に居住する65歳以上の男女 1,000人
- 合計 3,500人

[対象者抽出方法]

住民基本台帳からの層化二段無作為抽出

### 3. 調査期間

[調査開始] 平成29年8月17日

[投函期限] 平成29年8月31日

### 4. 回収結果

	設定標本数 (人)	有効回収数 (人)	有効回収率 (%)
0～17歳	1,000	574	57.4%
18～64歳	1,500	703	46.9%
65歳以上	1,000	727	72.7%
計	3,500	2,004	57.3%

### 5. 集計・分析上の注意

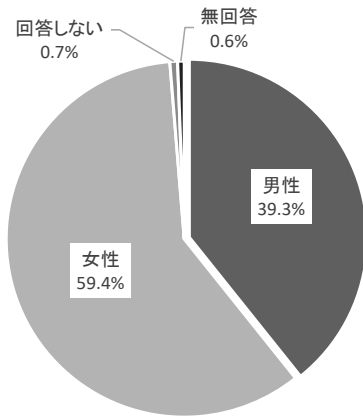
図表中の「N」はサンプル数（回答者数）を示す。

図表中の値は原則として回答数を100とした場合の構成比（%）で示した。端数処理（小数点第2位を四捨五入）のため、その合計が必ずしも100.0%にならない場合がある。なお、複数回答（2つ以上の選択肢を回答）は原則として100%を超える。また年代別等のクロス集計は、回答に年代等不明（無回答）がある場合、各項目のサンプル数の合計が全体サンプル数と合致しない場合がある

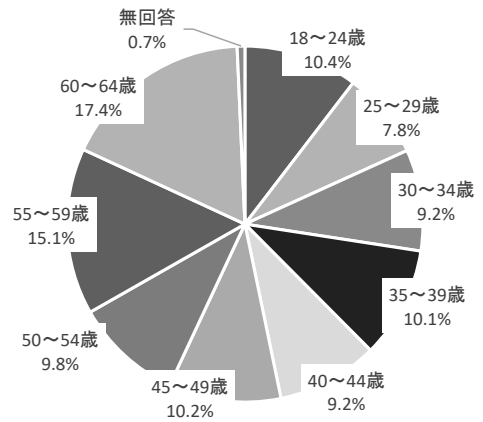
第2章 調査結果【18～64歳】

1. 調査回答者の属性

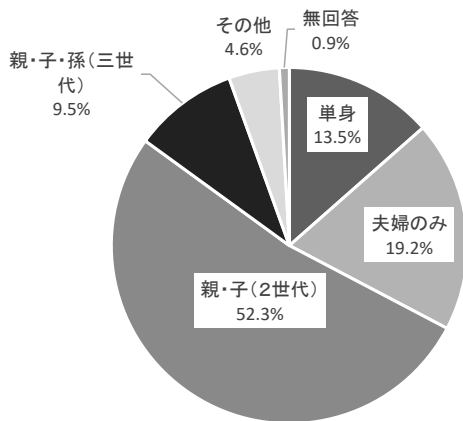
(1) 性別



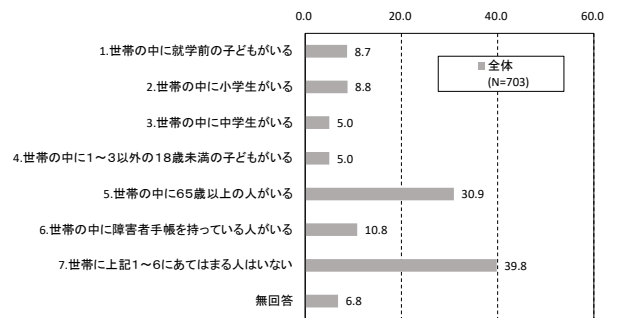
(2) 年齢



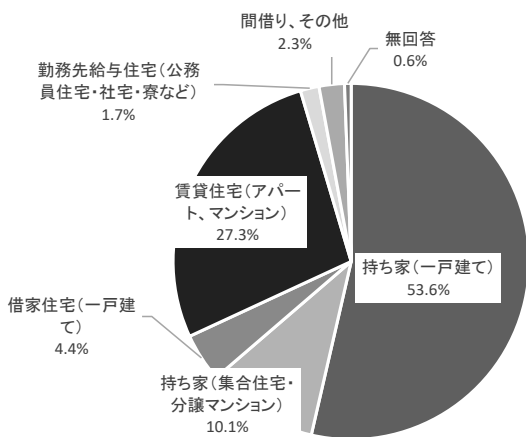
(3) 家族構成



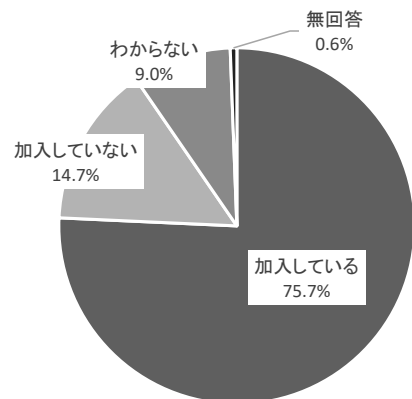
(4) 同居している家族



(5) 居住形態

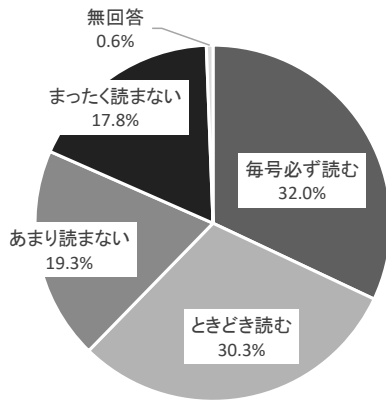


(6) 自治会の加入状況

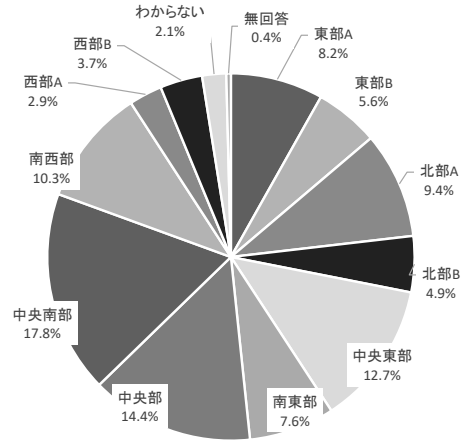




(7) 「広報くるめ」の閲読状況



(8) 居住校区



< 居住校区の詳細 >

東部A					東部B						
山川	山本	草野	善導寺	大橋	船越	水分	柴刈	川会	竹野	水縄	田主丸

北部A			北部B				中央東部		
小森野	合川	宮ノ陣	北野	弓削	大城	金島	西国分	東国分	御井

南東部			中央部						中央南部			
上津	高良内	青峰	荘島	日吉	篠山	京町	南薫	長門石	鳥飼	金丸	南	津福

南西部			西部A				西部B		
荒木	大善寺	安武	城島	下田	青木・浮島	江上	犬塚	三猪	西牟田

# 1 「主なケガ」について

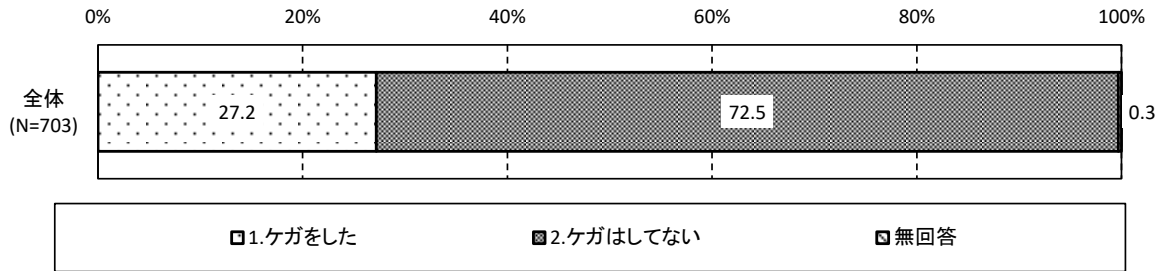
## 2. 調査結果の詳細

### (1) ケガの状況

問 1. あなたは、過去1年間(平成28年8月以降)にケガをされましたか。(○はひとつ) (ケガとは、骨折、捻挫、打撲、切り傷などで、病院にかからないようなものも対象とします。)

過去1年間で「ケガをした」人は3割弱

●ケガの状況について、「ケガはしていない」が72.5%で圧倒的多数。



#### 【属性別特徴】

- 男性・40～44歳、女性・40～54歳では、「ケガをした」の割合が高い
- 東部B、北部B、西部Aでは、「ケガをした」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	1.ケガをした	2.ケガはしていない	無回答	
上段:実数、下段:%						
全 体		703 100.0	191 27.2	510 72.5	2 0.3	
性別	男性	276 100.0	61 22.1	215 77.9	0 0.0	
	女性	418 100.0	127 30.4	289 69.1	2 0.5	
	回答しない	5 100.0	1 20.0	4 80.0	0 0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28 100.0	7 25.0	21 75.0	0 0.0
		女性	44 100.0	12 27.3	32 72.7	0 0.0
	25～29歳	男性	14 100.0	4 28.6	10 71.4	0 0.0
		女性	41 100.0	14 34.1	27 65.9	0 0.0
	30～34歳	男性	19 100.0	5 26.3	14 73.7	0 0.0
		女性	45 100.0	14 31.1	31 68.9	0 0.0
	35～39歳	男性	34 100.0	7 20.6	27 79.4	0 0.0
		女性	36 100.0	8 22.2	28 77.8	0 0.0
	40～44歳	男性	27 100.0	9 33.3	18 66.7	0 0.0
		女性	37 100.0	13 35.1	24 64.9	0 0.0
	45～49歳	男性	37 100.0	9 24.3	28 75.7	0 0.0
		女性	35 100.0	13 37.1	22 62.9	0 0.0
	50～54歳	男性	34 100.0	5 14.7	29 85.3	0 0.0
		女性	33 100.0	13 39.4	20 60.6	0 0.0
	55～59歳	男性	44 100.0	11 25.0	33 75.0	0 0.0
		女性	62 100.0	16 25.8	46 74.2	0 0.0
	60～64歳	男性	38 100.0	4 10.5	34 89.5	0 0.0
		女性	83 100.0	23 27.7	58 69.9	2 2.4

◆表 居住校區別◆

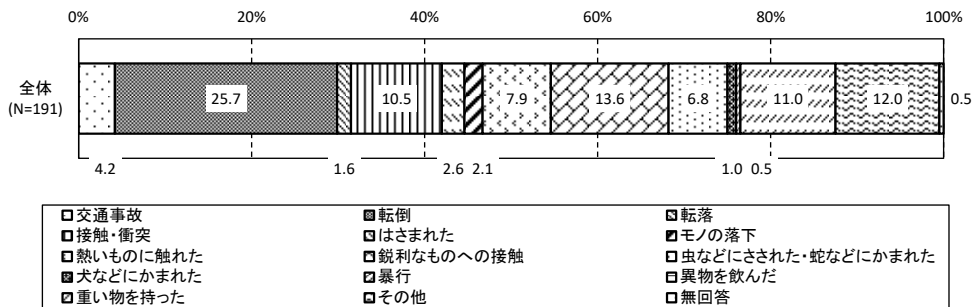
		サンプル数	1.ケガをした	2.ケガはしていない	無回答
上段:実数、下段:%					
全 体		703 100.0	191 27.2	510 72.5	2 0.3
居住校区	東部A	57 100.0	14 24.6	43 75.4	0 0.0
	東部B	40 100.0	15 37.5	24 60.0	1 2.5
	北部A	66 100.0	15 22.7	51 77.3	0 0.0
	北部B	35 100.0	14 40.0	21 60.0	0 0.0
	中央東部	89 100.0	26 29.2	63 70.8	0 0.0
	南東部	53 100.0	15 28.3	37 69.8	1 1.9
	中央部	101 100.0	22 21.8	79 78.2	0 0.0
	中央南部	125 100.0	33 26.4	92 73.6	0 0.0
	南西部	72 100.0	20 27.8	52 72.2	0 0.0
	西部A	21 100.0	8 38.1	13 61.9	0 0.0
	西部B	26 100.0	6 23.1	20 76.9	0 0.0

(2) ケガの原因

問 1-1. ケガの原因は何でしたか。(○はひとつ)

ケガの原因は、約 4 分の 1 が「転倒」

- ケガの原因について、「転倒」が 25.7% で最も高い。
- その他の内訳について、「工作中に」という意見が多くみられた。



【属性別特徴】

- 男性・18～24 歳、女性・30～34 歳、女性・55～64 歳では、「転倒」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	交通事故	転倒	転落	接触・衝突	はさまれた	モノの落下	熱いものに触れた	鋭利なものへの接触	蛇などにさされた・ 虫などにさされた	犬などにかまれた	暴行	異物を飲んだ	重い物を持った	その他	無回答	
上段:実数、下段:%																		
全体		191 100.0	8 4.2	49 25.7	3 1.6	20 10.5	5 2.6	4 2.1	15 7.9	26 13.6	13 6.8	2 1.0	1 0.5	0 0.0	21 11.0	23 12.0	1 0.5	
性別	男性	61 100.0	5 8.2	14 23.0	2 3.3	7 11.5	2 3.3	2 3.3	1 1.6	4 6.6	7 11.5	1 1.6	1 1.6	0 0.0	8 13.1	7 11.5	0 0.0	
	女性	127 100.0	3 2.4	34 26.8	1 0.8	13 10.2	3 2.4	2 1.6	13 10.2	22 17.3	6 4.7	1 0.8	0 0.0	0 0.0	13 10.2	16 12.6	0 0.0	
	回答しない	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	7 100.0	2 28.6	5 71.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		女性	12 100.0	0 0.0	2 16.7	0 0.0	6 50.0	2 16.7	0 0.0	1 8.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	25～29歳	男性	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0
		女性	14 100.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	1 7.1	1 7.1	0 0.0	2 14.3	4 28.6	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 14.3	2 14.3	0 0.0
	30～34歳	男性	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0
		女性	14 100.0	0 0.0	6 42.9	0 0.0	1 7.1	0 0.0	1 7.1	1 7.1	2 14.3	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	1 7.1	0 0.0
	35～39歳	男性	7 100.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	0 0.0
		女性	8 100.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0
	40～44歳	男性	9 100.0	0 0.0	2 22.2	0 0.0	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 33.3	0 0.0
		女性	13 100.0	1 7.7	4 30.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	1 7.7	1 7.7	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	2 15.4	0 0.0
	45～49歳	男性	9 100.0	1 11.1	2 22.2	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	1 11.1	1 11.1	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 22.2	0 0.0	0 0.0
		女性	13 100.0	0 0.0	2 15.4	0 0.0	3 23.1	0 0.0	0 0.0	2 15.4	3 23.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	2 15.4	0 0.0
50～54歳	男性	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	
	女性	13 100.0	0 0.0	4 30.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 15.4	4 30.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 15.4	1 7.7	0 0.0	
55～59歳	男性	11 100.0	1 9.1	2 18.2	2 18.2	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	1 9.1	2 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	1 9.1	0 0.0	
	女性	16 100.0	1 6.3	6 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 12.5	4 25.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	1 6.3	0 0.0	
60～64歳	男性	4 100.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	
	女性	23 100.0	0 0.0	8 34.8	0 0.0	2 8.7	0 0.0	0 0.0	1 4.3	1 4.3	1 4.3	1 4.3	0 0.0	0 0.0	4 17.4	5 21.7	0 0.0	

# 1 「主なケガ」について

- 南西部では、「転倒」の割合が高い。
- 中央東部では、「熱いものに触れた」の割合が高い。
- 南東部、「鋭利なものへの接触」の割合が高い。

◆表 居住校区别◆

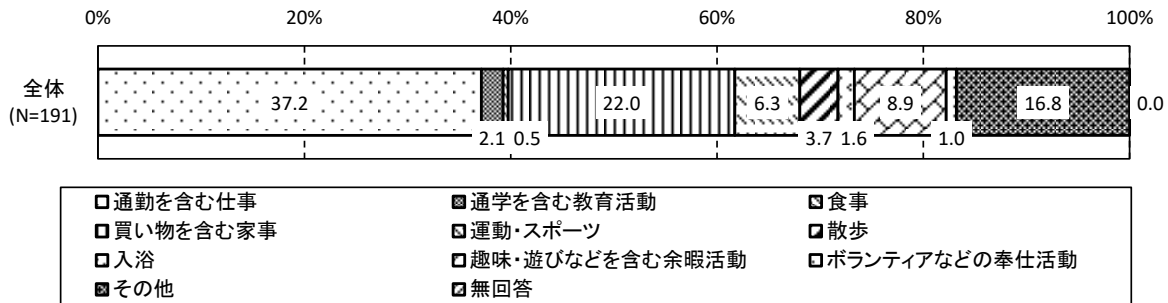
		サンプル数	交通事故	転倒	転落	接触・衝突	はさまれた	モノの落下	熱いものに触れた	鋭利なものへの接触	虫などにかまれた	犬などにかまれた	暴行	異物を飲んだ	重い物を持った	その他	無回答
上段:実数、下段:%																	
全体		191 100.0	8 4.2	49 25.7	3 1.6	20 10.5	5 2.6	4 2.1	15 7.9	26 13.6	13 6.8	2 1.0	1 0.5	0 0.0	21 11.0	23 12.0	1 0.5
居住校区	東部A	14 100.0	0 0.0	4 28.6	0 0.0	1 7.1	2 14.3	1 7.1	0 0.0	3 21.4	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	1 7.1	0 0.0
	東部B	15 100.0	0 0.0	3 20.0	0 0.0	2 13.3	2 13.3	1 6.7	2 13.3	0 0.0	2 13.3	0 0.0	1 6.7	0 0.0	1 6.7	1 6.7	0 0.0
	北部A	15 100.0	1 6.7	4 26.7	0 0.0	4 26.7	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	1 6.7	20.0	3 0.0
	北部B	14 100.0	0 0.0	4 28.6	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 14.3	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 14.3	21.4	3 0.0
	中央東部	26 100.0	1 3.8	7 26.9	0 0.0	0 0.0	1 3.8	0 0.0	5 19.2	4 15.4	2 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.8	19.2	5 0.0
	南東部	15 100.0	2 13.3	2 13.3	0 0.0	1 6.7	0 0.0	1 6.7	0 0.0	5 33.3	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13.3	6.7	2 0.0
	中央部	22 100.0	1 4.5	5 22.7	1 4.5	3 13.6	0 0.0	0 0.0	1 4.5	5 22.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 18.2	9.1	2 0.0
	中央南部	33 100.0	1 3.0	10 30.3	1 3.0	5 15.2	0 0.0	0 0.0	2 6.1	4 12.1	1 3.0	1 3.0	0 0.0	0 0.0	12.1	12.1	4 0.0
	南西部	20 100.0	2 10.0	8 40.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 10.0	2 10.0	2 10.0	1 5.0	0 0.0	3 15.0	5.0	1 0.0
	西部A	8 100.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12.5	12.5
	西部B	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	16.7	1 0.0

(3) ケガをしたときの状況

問 1-2. ケガをした時は何をしていましたか。(○はひとつ)

ケガをしたときの状況は、「通勤を含む仕事」が4割程度

●ケガをしたときの状況について、「通勤を含む仕事」が37.2%で最も高い。



【属性別特徴】

●女性・25～34歳、女性・50～59歳では、「買い物を含む家事」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	通勤を含む仕事	通勤を含む教育活動	食事	買い物を含む家事	運動・スポーツ	散歩	入浴	趣味・遊びなどを含む余暇活動	ボランティアなどの奉仕活動	その他	
上段:実数、下段:%													
全体		191	71	4	1	42	12	7	3	17	2	32	
		100.0	37.2	2.1	0.5	22.0	6.3	3.7	1.6	8.9	1.0	16.8	
性別	男性	61	22	2	1	4	7	6	1	9	1	8	
		100.0	36.1	3.3	1.6	6.6	11.5	9.8	1.6	14.8	1.6	13.1	
	女性	127	48	2	0	37	5	1	2	8	1	23	
		100.0	37.8	1.6	0.0	29.1	3.9	0.8	1.6	6.3	0.8	18.1	
	回答しない	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	7	2	2	0	1	0	0	0	1	0	1
			100.0	28.6	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3
	女性	12	5	1	0	2	1	0	1	2	0	0	
		100.0	41.7	8.3	0.0	16.7	8.3	0.0	8.3	16.7	0.0	0.0	
	25～29歳	男性	4	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1
			100.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	女性	14	5	0	0	6	0	0	0	1	0	2	
		100.0	35.7	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	14.3	
	30～34歳	男性	5	2	0	0	0	1	0	0	0	2	0
			100.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
	女性	14	3	0	0	7	0	1	0	2	0	1	
		100.0	21.4	0.0	0.0	50.0	0.0	7.1	0.0	14.3	0.0	7.1	
	35～39歳	男性	7	4	0	0	0	2	0	0	0	1	0
			100.0	57.1	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
	女性	8	5	0	0	1	1	0	1	0	0	0	
		100.0	62.5	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	
	40～44歳	男性	9	2	0	0	1	1	2	0	2	0	1
			100.0	22.2	0.0	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0	22.2	0.0	11.1
	女性	13	5	0	0	2	1	0	0	0	0	5	
		100.0	38.5	0.0	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	38.5	
	45～49歳	男性	9	2	0	0	1	2	2	0	1	0	1
			100.0	22.2	0.0	0.0	11.1	22.2	22.2	0.0	11.1	0.0	11.1
	女性	13	9	0	0	2	1	0	0	0	0	1	
		100.0	69.2	0.0	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	
50～54歳	男性	5	2	0	0	0	0	1	1	0	0	1	
		100.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	
女性	13	5	0	0	4	0	0	0	1	0	3		
	100.0	38.5	0.0	0.0	30.8	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	23.1		
55～59歳	男性	11	4	0	0	0	1	1	0	2	0	3	
		100.0	36.4	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	18.2	0.0	27.3	
女性	16	1	0	0	7	1	0	0	2	0	5		
	100.0	6.3	0.0	0.0	43.8	6.3	0.0	0.0	12.5	0.0	31.3		
60～64歳	男性	4	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	
		100.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	
女性	23	9	1	0	6	0	0	0	0	1	6		
	100.0	39.1	4.3	0.0	26.1	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	26.1		

# 1 「主なケガ」について

● 鋭利なものへの接触では、「買い物を含む家事」の割合が高い。

◆ 表 ケガの原因別 ◆

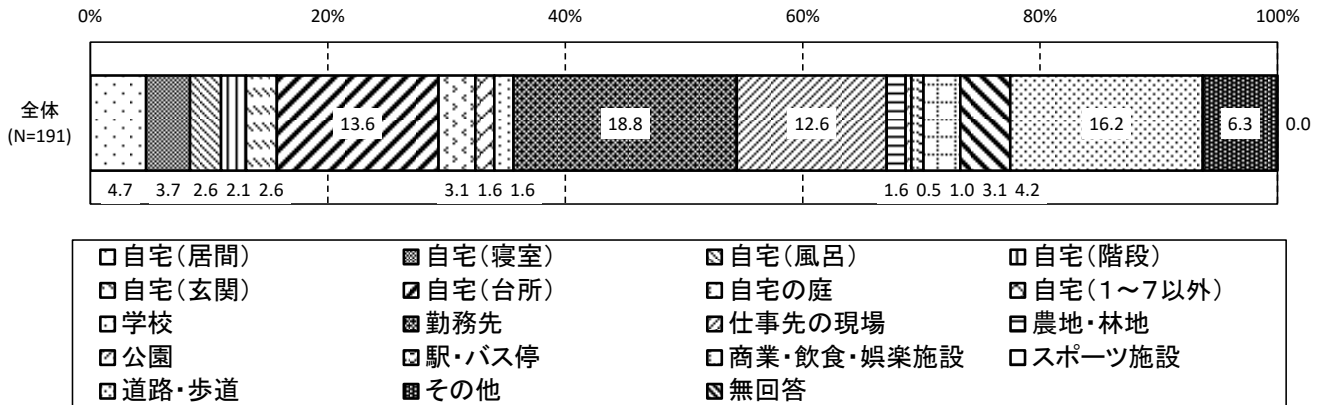
	サンプル数	通勤を含む仕事	通学を含む教育活動	食事	買い物を含む家事	運動・スポーツ	散歩	入浴	趣味・遊びなどを含む余暇活動	ボランティアなどの奉仕活動	その他
上段:実数、下段:%											
全体	191 100.0	71 37.2	4 2.1	1 0.5	42 22.0	12 6.3	7 3.7	3 1.6	17 8.9	2 1.0	32 16.8
ケガの原因	交通事故	8 100.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	1 12.5
	転倒	49 100.0	10 20.4	3 6.1	0 0.0	12 24.5	3 6.1	2 4.1	1 18.4	9 0.0	0 18.4
	転落	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	接触・衝突	20 100.0	9 45.0	0 0.0	0 0.0	4 20.0	5 25.0	1 5.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0
	はさまれた	5 100.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0
	モノの落下	4 100.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	熱いものに触れた	15 100.0	8 53.3	0 0.0	0 0.0	4 26.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	鋭利なものへの接触	26 100.0	6 23.1	0 0.0	0 0.0	14 53.8	0 0.0	0 0.0	1 3.8	1 3.8	0 0.0
	虫などにさされた・蛇などにかまれた	13 100.0	2 15.4	0 0.0	0 0.0	1 7.7	0 0.0	3 23.1	0 0.0	3 23.1	1 7.7
	犬などにかまれた	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 50.0
	暴行	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	異物を飲んだ	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	重い物を持った	21 100.0	11 52.4	0 0.0	0 0.0	4 19.0	1 4.8	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0
その他	23 100.0	12 52.2	1 4.3	0 0.0	1 4.3	3 13.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

(4) ケガをした場所

問 1-3. ケガをした場所はどこでしたか。(○はひとつ)

ケガをした場所は、「勤務先」が2割程度

●ケガをした場所について、「勤務先」が18.8%で最も高いが、「自宅」の様々な場所をあわせると「自宅」が31.4%と一番高く、3番目に「道路・歩道」が16.2%と続く。



【属性別特徴】

- 女性・25～34歳、女性・45～59歳では、「自宅(台所)」の割合が高い。
- 男性・35～39歳、女性・45～49歳では、「勤務先」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	自宅(居間)	自宅(寝室)	自宅(風呂)	自宅(階段)	自宅(玄関)	自宅(台所)	自宅(庭)	自宅(1～7以外)	学校	勤務先	仕事先の現場	農地・林地	公園	駅・バス停	商業・飲食・娯楽施設	スポーツ施設	道路・歩道	その他	無回答	
上段:実数 下段:%		191	9	7	5	4	5	26	6	3	3	36	24	3	1	2	6	8	31	12	0	
全体		100.0	4.7	3.7	2.6	2.1	2.6	13.6	3.1	1.6	1.6	18.8	12.6	1.6	0.5	1.0	3.1	4.2	16.2	6.3	0.0	
性別	男性	61	2	1	1	2	1	1	3	1	1	8	8	2	1	1	3	5	15	5	0	
		100.0	3.3	1.6	1.6	3.3	1.6	1.6	4.9	1.6	1.6	13.1	13.1	3.3	1.6	1.6	4.9	8.2	24.6	8.2	0.0	
	女性	127	7	6	4	2	4	24	3	2	2	28	15	1	0	1	3	3	16	6	0	
		100.0	5.5	4.7	3.1	1.6	3.1	18.9	2.4	1.6	1.6	22.0	11.8	0.8	0.0	0.8	2.4	2.4	12.6	4.7	0.0	
回答しない		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	7	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0
			100.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	42.9	0.0	0.0
	女性	12	0	0	1	0	0	2	0	0	1	4	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0
		100.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	8.3	33.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	
	25～29歳	男性	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
			100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	
	女性	14	3	1	0	0	0	4	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		100.0	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	7.1	0.0	35.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	30～34歳	男性	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	
			100.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	20.0	20.0	
	女性	14	0	0	1	0	1	4	0	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	3	1	
		100.0	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	28.6	0.0	7.1	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	21.4	7.1	
	35～39歳	男性	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	2	0	
			100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	
	女性	8	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	1	1	1	0	
		100.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	
	40～44歳	男性	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	5	1	
			100.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	55.6	11.1	
	女性	13	0	3	0	0	0	1	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	2	2	
		100.0	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	23.1	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	15.4	
	45～49歳	男性	9	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	1	2	2	
			100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	22.2	22.2	
	女性	13	0	0	0	0	0	3	1	0	0	6	2	0	0	0	0	0	1	0	0	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1	7.7	0.0	0.0	46.2	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0		
50～54歳	男性	5	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
		100.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
女性	13	0	0	1	1	0	4	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2	1		
	100.0	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	30.8	0.0	0.0	0.0	15.4	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4			
55～59歳	男性	11	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	1	0	1	3	1		
		100.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	18.2	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	27.3	9.1		
女性	16	2	0	0	0	1	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	5	1		
	100.0	12.5	0.0	0.0	0.0	6.3	31.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	31.3			
60～64歳	男性	4	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0		
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0		
女性	23	1	2	0	1	2	1	2	0	1	3	6	1	0	0	2	0	0	0	1		
	100.0	4.3	8.7	0.0	4.3	8.7	4.3	8.7	0.0	4.3	13.0	26.1	4.3	0.0	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0			

# 1 「主なケガ」について

●持ち家（一戸建て）、持ち家（集合住宅・分譲マンション）では、自宅の割合が高い。

◆表 住居携帯別◆

		サンプル数	自宅（居間）	自宅（寝室）	自宅（風呂）	自宅（階段）	自宅（玄関）	自宅（台所）	自宅の庭	自宅（1〜7以外）	学校	勤務先	仕事先の現場	農地・林地	公園	駅・バス停	商業・飲食・娯楽施設	スポーツ施設	道路・歩道	その他	無回答	
上段:実数, 下段:%		191	9	7	5	4	5	26	6	3	3	36	24	3	1	2	6	8	31	12	0	
全 体		100.0	4.7	3.7	2.6	2.1	2.6	13.6	3.1	1.6	1.6	18.8	12.6	1.6	0.5	1.0	3.1	4.2	16.2	6.3	0.0	
住居携帯	持ち家(一戸建て)	95	4	4	2	1	5	15	5	1	3	17	10	3	0	0	4	4	11	6	0	
	持ち家(集合住宅・分譲マンション)	15	2	2	0	0	0	3	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	4	1	0	
	借家住宅(一戸建て)	10	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	4	0	0	
	賃貸住宅(アパート、マンション)	62	2	1	3	3	0	7	0	1	0	14	10	0	0	2	1	4	10	4	0	
	勤務先給与住宅(公務員住宅・社宅・寮など)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	
	間借り, その他	6	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	

●鋭利なものへの接触では、「自宅（台所）」の割合が高い。

◆表 ケガの原因別◆

		サンプル数	自宅（居間）	自宅（寝室）	自宅（風呂）	自宅（階段）	自宅（玄関）	自宅（台所）	自宅の庭	自宅（1〜7以外）	学校	勤務先	仕事先の現場	農地・林地	公園	駅・バス停	商業・飲食・娯楽施設	スポーツ施設	道路・歩道	その他	
上段:実数, 下段:%		191	9	7	5	4	5	26	6	3	3	36	24	3	1	2	6	8	31	12	
全 体		100.0	4.7	3.7	2.6	2.1	2.6	13.6	3.1	1.6	1.6	18.8	12.6	1.6	0.5	1.0	3.1	4.2	16.2	6.3	
ケガの原因	交通事故	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	6	0
	転倒	49	2	1	2	3	4	0	1	1	6	0	0	0	0	1	2	2	19	4	
	転落	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	
	接触・衝突	20	2	0	0	0	0	1	0	1	1	5	3	1	0	0	1	3	2	0	
	はさまれた	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	
	モノの落下	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	
	熱いものに触れた	15	0	2	0	0	0	5	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	
	鋭利なものへの接触	26	1	0	2	0	1	14	1	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	1	
	虫などにさされた・蛇などにかまれた	13	1	2	0	1	0	1	3	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	
	犬などにかまれた	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	暴行	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
	異物を飲んだ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	重い物を持った	21	2	1	1	0	0	2	1	0	0	6	4	0	0	0	1	0	0	3	
	その他	23	1	1	0	0	0	1	0	1	4	8	2	0	0	0	0	3	0	2	
		100.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	4.3	17.4	34.8	8.7	0.0	0.0	0.0	13.0	0.0	0.0	8.7	

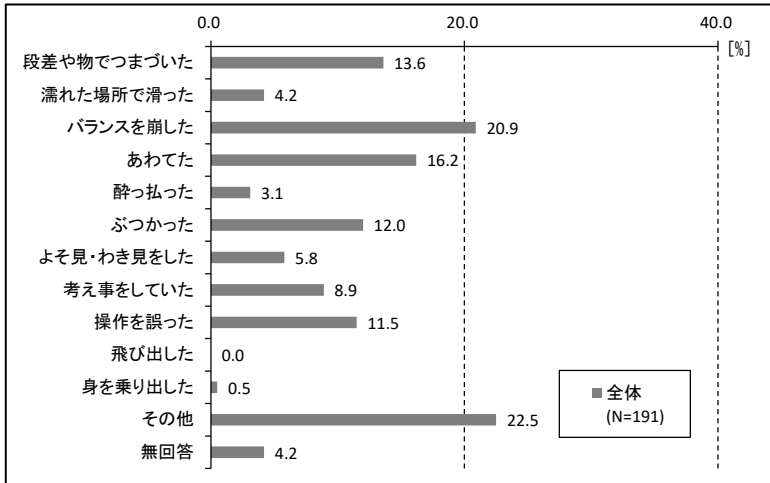


(5) ケガをした状況・きっかけ

問 1-4. ケガをした状況・きっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

ケガをしたきっかけは、「バランスを崩した」人が 2 割

- ケガをした状況について、「バランスを崩した」が 20.9%で最も高い。
- その他の内訳について、「自動車の追突」などの意見がみられた。



【属性別特徴】

- 女性・30～34歳では、「段差や物でつまづいた」の割合が高い。
- 男性・18～24歳では、「バランスを崩した」の割合が高い。
- 女性・18～24歳では、「操作を誤った」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	段差や物でつまづいた	濡れた場所で滑った	バランスを崩した	あわてた	酔っ払った	ぶつかった	よそ見・わき見をした	考え事をしてた	操作を誤った	飛び出した	身を乗り出した	その他	無回答	
上段: 実数 下段: %																
全体		191	26	8	40	31	6	23	11	17	22	0	1	43	8	
		100.0	13.6	4.2	20.9	16.2	3.1	12.0	5.8	8.9	11.5	0.0	0.5	22.5	4.2	
性別	男性	61	5	2	16	7	4	5	1	4	5	0	1	14	4	
		100.0	8.2	3.3	26.2	11.5	6.6	8.2	1.6	6.6	8.2	0.0	1.6	23.0	6.6	
	女性	127	21	6	23	24	2	18	10	12	16	0	0	27	4	
	100.0	16.5	4.7	18.1	18.9	1.6	14.2	7.9	9.4	12.6	0.0	0.0	21.3	3.1		
	回答しない	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	7	1	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0
			100.0	14.3	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0
	女性	12	3	1	0	2	0	4	5	0	1	5	0	0	1	0
		100.0	25.0	8.3	0.0	16.7	0.0	41.7	0.0	8.3	41.7	0.0	0.0	8.3	0.0	
	25～29歳	男性	4	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			100.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	14	0	2	3	0	1	1	4	1	4	1	0	2	1	
		100.0	0.0	0.0	14.3	21.4	0.0	7.1	7.1	28.6	7.1	0.0	0.0	14.3	7.1	
	30～34歳	男性	5	0	0	2	0	1	1	1	2	0	0	0	1	0
			100.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	女性	14	5	1	3	2	1	3	0	2	2	0	0	3	0	
		100.0	35.7	7.1	21.4	14.3	7.1	21.4	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	21.4	0.0	
	35～39歳	男性	7	1	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
			100.0	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6
	女性	8	0	1	0	1	0	0	2	0	1	0	0	2	1	
		100.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5	
	40～44歳	男性	9	2	0	2	2	1	3	0	0	0	0	1	0	0
			100.0	22.2	0.0	22.2	22.2	11.1	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
	女性	13	1	0	4	1	0	1	1	2	2	0	0	4	0	
		100.0	7.7	0.0	30.8	7.7	0.0	7.7	7.7	15.4	15.4	0.0	0.0	30.8	0.0	
	45～49歳	男性	9	0	0	2	1	1	0	0	1	1	0	0	4	0
			100.0	0.0	0.0	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	44.4	0.0
	女性	13	2	0	3	4	0	2	4	1	0	0	0	3	1	
		100.0	15.4	0.0	23.1	30.8	0.0	15.4	30.8	7.7	0.0	0.0	0.0	23.1	7.7	
50～54歳	男性	5	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	
		100.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	
女性	13	2	1	3	3	0	0	0	0	2	0	0	3	0		
	100.0	15.4	7.7	23.1	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	23.1	0.0		
55～59歳	男性	11	1	1	2	0	1	0	0	0	2	0	0	4	0	
		100.0	9.1	9.1	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	36.4	0.0	
女性	16	4	0	3	4	1	0	2	1	1	0	0	3	1		
	100.0	25.0	0.0	18.8	25.0	6.3	0.0	12.5	6.3	6.3	0.0	0.0	18.8	6.3		
60～64歳	男性	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
		100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	
女性	23	4	2	5	4	0	5	0	1	1	0	0	6	0		
	100.0	17.4	8.7	21.7	17.4	0.0	21.7	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	26.1	0.0		

# 1 「主なケガ」について

●転倒では、「バランスを崩した」が42.9%で最多、「段差や物でつまづいた」が40.8%で2番目に高い。

◆表 ケガの原因別◆

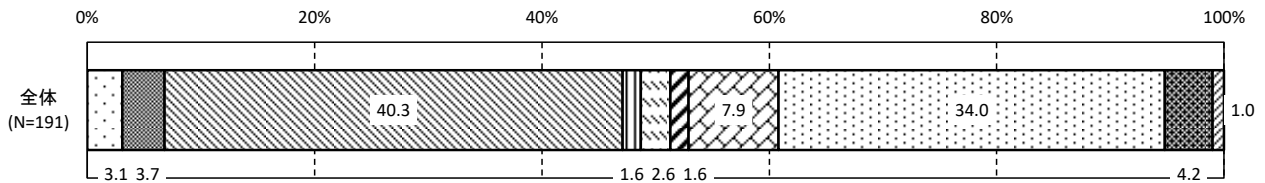
	サンプル数	段差や物でつまづいた	濡れた場所で滑った	バランスを崩した	あわてた	酔っ払った	ぶつかった	よそ見・わき見をした	考え事をしていた	操作を誤った	飛び出した	身を乗り出した	その他	無回答	
上段:実数、下段:%															
全体	191	26	8	40	31	6	23	11	17	22	0	1	43	8	
	100.0	13.6	4.2	20.9	16.2	3.1	12.0	5.8	8.9	11.5	0.0	0.5	22.5	4.2	
ケガの原因	交通事故	8	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	5	1	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	62.5	12.5	
	転倒	49	20	5	21	7	5	4	2	4	5	0	0	2	0
		100.0	40.8	10.2	42.9	14.3	10.2	8.2	4.1	8.2	10.2	0.0	0.0	4.1	0.0
	転落	3	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	接触・衝突	20	2	1	2	5	0	11	2	1	2	0	0	3	0
		100.0	10.0	5.0	10.0	25.0	0.0	55.0	10.0	5.0	10.0	0.0	0.0	15.0	0.0
	はさまれた	5	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	1
		100.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
	モノの落下	4	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	熱いものに触れた	15	0	0	1	2	0	1	1	3	3	0	0	5	0
		100.0	0.0	0.0	6.7	13.3	0.0	6.7	6.7	20.0	20.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	鋭利なものへの接触	26	1	0	3	8	0	1	4	4	6	0	0	0	1
	100.0	3.8	0.0	11.5	30.8	0.0	3.8	15.4	15.4	23.1	0.0	0.0	0.0	3.8	
虫などにさされた・靴などにかまれた	13	0	0	0	2	0	0	0	3	0	0	0	6	3	
	100.0	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0	46.2	23.1	
犬などにかまれた	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
暴行	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
異物を飲んだ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
重い物を持った	21	1	2	8	1	0	0	0	0	1	0	0	8	2	
	100.0	4.8	9.5	38.1	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	38.1	9.5	
その他	23	1	0	1	4	0	3	1	0	3	0	1	11	0	
	100.0	4.3	0.0	4.3	17.4	0.0	13.0	4.3	0.0	13.0	0.0	4.3	47.8	0.0	

(6) ケガをした部位

問 1-5. ケガをした部位（からだの場所）はどこですか。（○はひとつ）

ケガをした部位は、「うで」が4割、「あし」が3割程度

●ケガをした部位について、「うで」が40.3%で最も高く、「あし」が34.0%と続く。



□あたま(顔、目、鼻、耳、口内等)	■首	▣うで(手、手首、ひじ等)
□肩	□胸部	■背中
□腹部	□腰部	□あし(足、足首、ひざ等)
■その他	■無回答	

【属性別特徴】

●男女・18～39歳では「うで」、男女・40歳以上では、「あし」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	鼻、あたま(顔、目、耳、口内等)	首	うで(手、手首、ひじ等)	肩	胸部	背中	腹部	腰部	ざあし(足、足首、ひざ等)	その他	無回答	
上段:実数、下段:%														
全 体		191 100.0	6 3.1	7 3.7	77 40.3	3 1.6	5 2.6	3 1.6	0 0.0	15 7.9	65 34.0	8 4.2	2 1.0	
性別	男性	61 100.0	2 3.3	3 4.9	24 39.3	2 3.3	3 4.9	1 1.6	0 0.0	4 6.6	20 32.8	0 0.0	2 3.3	
	女性	127 100.0	4 3.1	4 3.1	51 40.2	1 0.8	2 1.6	1 0.8	0 0.0	11 8.7	45 35.4	8 6.3	0 0.0	
	回答しない	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	7 100.0	0 0.0	2 28.6	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 42.9	0 0.0	0 0.0
		女性	12 100.0	2 16.7	0 0.0	6 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 33.3	0 0.0	0 0.0
	25～29歳	男性	4 100.0	1 25.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		女性	14 100.0	0 0.0	0 0.0	6 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 14.3	3 21.4	3 21.4	0 0.0
	30～34歳	男性	5 100.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
		女性	14 100.0	1 7.1	0 0.0	6 42.9	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 42.9	0 0.0	0 0.0
	35～39歳	男性	7 100.0	0 0.0	0 0.0	4 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	1 14.3
		女性	8 100.0	0 0.0	0 0.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0
	40～44歳	男性	9 100.0	0 0.0	0 0.0	3 33.3	1 11.1	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	4 44.4	0 0.0	0 0.0
		女性	13 100.0	0 0.0	2 15.4	3 23.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	6 46.2	1 7.7	0 0.0
	45～49歳	男性	9 100.0	1 11.1	0 0.0	3 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	4 44.4	0 0.0	0 0.0
		女性	13 100.0	0 0.0	0 0.0	5 38.5	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	1 7.7	6 46.2	0 0.0	0 0.0
	50～54歳	男性	5 100.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0
		女性	13 100.0	1 7.7	0 0.0	6 46.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 15.4	2 15.4	2 15.4	0 0.0
	55～59歳	男性	11 100.0	0 0.0	0 0.0	3 27.3	1 9.1	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	5 45.5	0 0.0
		女性	16 100.0	0 0.0	6 37.5	9 56.3	0 0.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0	1 6.3	4 25.0	0 0.0	0 0.0
	60～64歳	男性	4 100.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
		女性	23 100.0	0 0.0	1 4.3	6 26.1	0 0.0	0 0.0	1 4.3	0 0.0	2 8.7	11 47.8	2 8.7	0 0.0

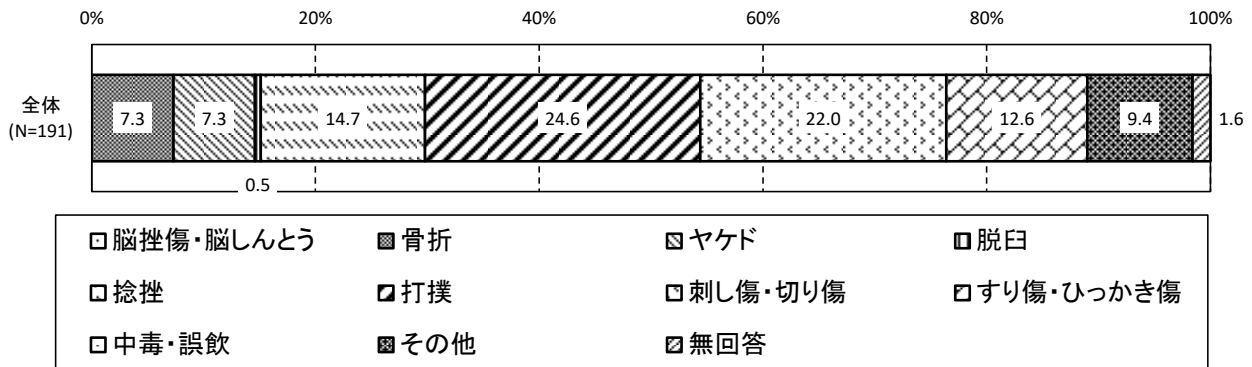
# 1 「主なケガ」について

## (7) ケガの種類

問 1-6. どのようなケガでしたか。(○はひとつ)

ケガの種類は、「打撲」「刺し傷・切り傷」がそれぞれ 2 割以上

- ケガの種類について、「打撲」が 24.6% で最も高く、「刺し傷・切り傷」が 22.0% と続く。
- その他の内訳について、「ぎっくり腰」や「腰痛」、「虫刺され」などの意見が多くみられた。



### 【属性別特徴】

- 男女・25～29 歳では、「刺し傷・切り傷」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	脳挫傷・脳しんとう	骨折	ヤケド	脱臼	捻挫	打撲	刺し傷・切り傷	すり傷・ひっかき傷	中毒・誤飲	その他	無回答	
上段: 実数, 下段: %														
全体		191	0	14	14	1	28	47	42	24	0	18	3	
		100.0	0.0	7.3	7.3	0.5	14.7	24.6	22.0	12.6	0.0	9.4	1.6	
性別	男性	61	0	4	1	1	12	11	13	12	0	5	2	
		100.0	0.0	6.6	1.6	1.6	19.7	18.0	21.3	19.7	0.0	8.2	3.3	
	女性	127	0	9	12	0	16	36	28	12	0	13	1	
	100.0	0.0	7.1	9.4	0.0	12.6	28.3	22.0	9.4	0.0	10.2	0.8		
	回答しない	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	7	0	0	0	4	2	0	1	0	0	0	
			100.0	0.0	0.0	0.0	57.1	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	
	女性	12	0	0	1	0	0	6	3	2	0	0	0	
		100.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	50.0	25.0	16.7	0.0	0.0	0.0	
	25～29歳	男性	4	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0
			100.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	14	0	0	2	0	1	1	6	1	0	2	1	
		100.0	0.0	0.0	14.3	0.0	7.1	7.1	42.9	7.1	0.0	14.3	7.1	
	30～34歳	男性	5	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0
			100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0
	女性	14	0	0	1	0	1	8	2	0	0	2	0	
		100.0	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	57.1	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	
	35～39歳	男性	7	0	1	0	1	0	2	1	1	0	0	1
			100.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3
	女性	8	0	0	1	0	2	2	1	1	0	1	0	
		100.0	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0	25.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	
	40～44歳	男性	9	0	1	0	0	1	2	2	3	0	0	0
			100.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	22.2	22.2	33.3	0.0	0.0	0.0
	女性	13	0	0	1	0	3	4	2	0	0	3	0	
		100.0	0.0	0.0	7.7	0.0	23.1	30.8	15.4	0.0	0.0	23.1	0.0	
	45～49歳	男性	9	0	0	1	0	3	1	3	1	0	0	0
			100.0	0.0	0.0	11.1	0.0	33.3	11.1	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0
	女性	13	0	1	2	0	2	4	3	1	0	0	0	
		100.0	0.0	7.7	15.4	0.0	15.4	30.8	23.1	7.7	0.0	0.0	0.0	
50～54歳	男性	5	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	
女性	13	0	1	2	0	2	2	4	0	0	2	0		
	100.0	0.0	7.7	15.4	0.0	15.4	15.4	30.8	0.0	0.0	15.4	0.0		
55～59歳	男性	11	0	0	0	0	2	2	2	2	0	3	0	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	18.2	18.2	18.2	0.0	27.3	0.0	
女性	16	0	2	2	0	2	2	4	3	0	1	0		
	100.0	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	12.5	25.0	18.8	0.0	6.3	0.0		
60～64歳	男性	4	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	
		100.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	
女性	23	0	5	0	0	2	7	3	4	0	2	0		
	100.0	0.0	21.7	0.0	0.0	8.7	30.4	13.0	17.4	0.0	8.7	0.0		

●ケガの原因が転倒では、「打撲」の割合が高い。

◆表 ケガの原因別◆

	サンプル数	脳挫傷・脳しんとう	骨折	ヤケド	脱臼	捻挫	打撲	刺し傷・切り傷	すり傷・ひっかき傷	中毒・誤飲	その他	無回答
上段:実数、下段:%												
全 体	191 100.0	0 0.0	14 7.3	14 7.3	1 0.5	28 14.7	47 24.6	42 22.0	24 12.6	0 0.0	18 9.4	3 1.6
ケガの原因	交通事故	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 62.5	2 25.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0
	転倒	49 100.0	0 0.0	7 14.3	0 0.0	0 0.0	8 16.3	20 40.8	2 4.1	10 20.4	0 0.0	2 4.1
	転落	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	接触・衝突	20 100.0	0 0.0	2 10.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0	10 50.0	4 20.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0
	はさまれた	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0
	モノの落下	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	熱いものに触れた	15 100.0	0 0.0	0 0.0	14 93.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	鋭利なものへの接触	26 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.8	24 92.3	1 3.8	0 0.0	0 0.0
	虫などにさされた・ 蛇などにかまれた	13 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 23.1	2 15.4	0 0.0	6 46.2
	犬などにかまれた	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	暴行	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	異物を飲んだ	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	重い物を持った	21 100.0	0 0.0	2 9.5	0 0.0	0 0.0	7 33.3	4 19.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 33.3
	その他	23 100.0	0 0.0	2 8.7	0 0.0	0 0.0	5 21.7	4 17.4	4 17.4	5 21.7	0 0.0	3 13.0

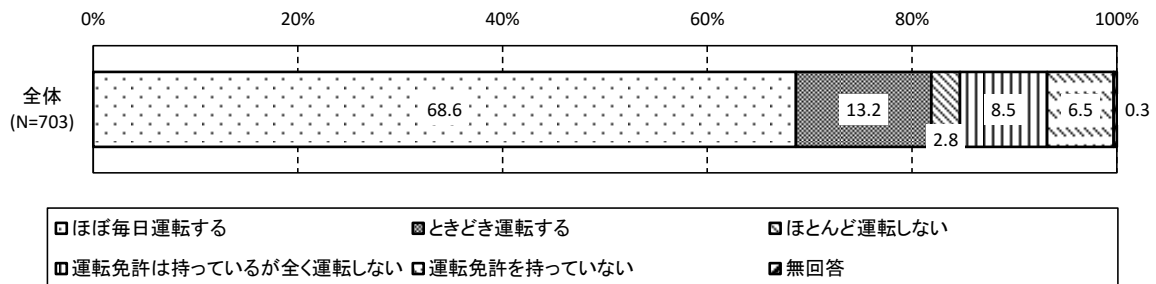
## 2 「交通事故の防止」について

### (8) 自動車やバイクの運転状況

問 2. あなたは、普段、自動車やバイク（原付を含む）を運転しますか。（○はひとつ）

運転状況は、「ほぼ毎日運転する人」が 7 割弱

●運転状況について、「ほぼ毎日運転する」が 68.6% で最も高い。



#### 【属性別特徴】

●男性・25～29 歳、男性・40～44 歳、男性・60～64 歳では、「ほぼ毎日運転する」の割合が高い。

●東部 A、東部 B、北部 B、西部 A、西部 B では、「ほぼ毎日運転する」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	ほぼ毎日運転する	ときどき運転する	ほとんど運転しない	運転免許は持っているが全く運転しない	運転免許を持っていない	無回答	
		上段:実数, 下段:%							
全体		703 100.0	482 68.6	93 13.2	20 2.8	60 8.5	46 6.5	2 0.3	
性別	男性	276 100.0	205 74.3	31 11.2	8 2.9	15 5.4	16 5.8	1 0.4	
	女性	418 100.0	269 64.4	62 14.8	12 2.9	45 10.8	29 6.9	1 0.2	
	回答しない	5 100.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28 100.0	12 42.9	5 17.9	1 3.6	4 14.3	6 21.4	0 0.0
		女性	44 100.0	19 43.2	8 18.2	2 4.5	6 13.6	8 18.2	1 2.3
	25～29歳	男性	14 100.0	13 92.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0
		女性	41 100.0	27 65.9	8 19.5	2 4.9	2 4.9	2 4.9	0 0.0
	30～34歳	男性	19 100.0	14 73.7	2 10.5	2 10.5	1 5.3	0 0.0	0 0.0
		女性	45 100.0	28 62.2	9 20.0	1 2.2	6 13.3	1 2.2	0 0.0
	35～39歳	男性	34 100.0	22 64.7	6 17.6	2 5.9	3 8.8	1 2.9	0 0.0
		女性	36 100.0	22 61.1	7 19.4	0 0.0	5 13.9	2 5.6	0 0.0
	40～44歳	男性	27 100.0	22 81.5	3 11.1	0 0.0	2 7.4	0 0.0	0 0.0
		女性	37 100.0	29 78.4	5 13.5	0 0.0	3 8.1	0 0.0	0 0.0
	45～49歳	男性	37 100.0	24 64.9	5 13.5	2 5.4	2 5.4	3 8.1	1 2.7
		女性	35 100.0	24 68.6	5 14.3	2 5.7	2 5.7	2 5.7	0 0.0
	50～54歳	男性	34 100.0	26 76.5	5 14.7	0 0.0	1 2.9	2 5.9	0 0.0
		女性	33 100.0	23 69.7	4 12.1	1 3.0	5 15.2	0 0.0	0 0.0
	55～59歳	男性	44 100.0	36 81.8	4 9.1	1 2.3	1 2.3	2 4.5	0 0.0
		女性	62 100.0	46 74.2	4 6.5	0 0.0	7 11.3	5 8.1	0 0.0
	60～64歳	男性	38 100.0	35 92.1	1 2.6	0 0.0	1 2.6	1 2.6	0 0.0
		女性	83 100.0	50 60.2	11 13.3	4 4.8	9 10.8	9 10.8	0 0.0

◆表 居住校区別◆

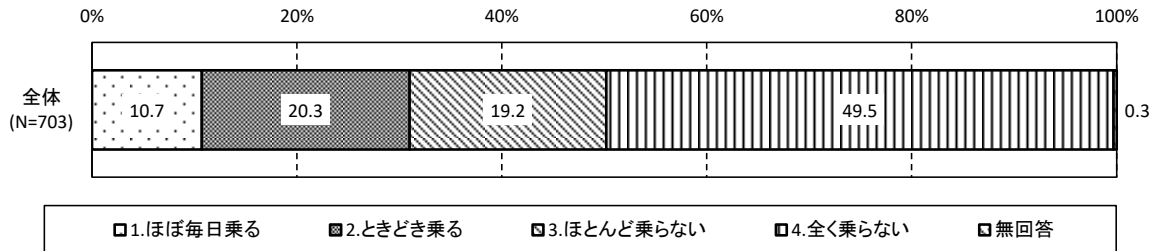
		サンプル数	ほぼ毎日運転する	ときどき運転する	ほとんど運転しない	運転免許は持っているが全く運転しない	運転免許を持っていない	無回答
		上段:実数, 下段:%						
全体		703 100.0	482 68.6	93 13.2	20 2.8	60 8.5	46 6.5	2 0.3
居住校区	東部A	57 100.0	47 82.5	4 7.0	0 0.0	2 3.5	4 7.0	0 0.0
	東部B	40 100.0	32 80.0	7 17.5	0 0.0	0 0.0	1 2.5	0 0.0
	北部A	66 100.0	45 68.2	10 15.2	3 4.5	5 7.6	3 4.5	0 0.0
	北部B	35 100.0	32 91.4	0 0.0	0 0.0	2 5.7	1 2.9	0 0.0
	中央東部	89 100.0	62 69.7	9 10.1	2 2.2	10 11.2	5 5.6	1 1.1
	南東部	53 100.0	40 75.5	4 7.5	2 3.8	4 7.5	3 5.7	0 0.0
	中央部	101 100.0	47 46.5	20 19.8	2 2.0	19 18.8	13 12.9	0 0.0
	中央南部	125 100.0	77 61.6	23 18.4	5 4.0	13 10.4	7 5.6	0 0.0
	南西部	72 100.0	52 72.2	8 11.1	3 4.2	3 4.2	5 6.9	1 1.4
	西部A	21 100.0	18 85.7	1 4.8	1 4.8	0 0.0	1 4.8	0 0.0
	西部B	26 100.0	22 84.6	1 3.8	1 3.8	1 3.8	1 3.8	0 0.0

(9) 自転車の利用状況

問3. あなたは、普段、自転車に乗りますか。(○はひとつ)

自転車は、「全く乗らない」人が約半数

●自転車の利用状況について、「全く乗らない」が49.5%で最も高い。



【属性別特徴】

- 男女・18～24歳では、「毎日乗る」の割合が高い。
- 男女・18～24歳、男女・40～44歳では、「ときどき乗る」の割合が高い。
- 中央部、中央南部では、「ほぼ毎日乗る」の割合が高い。
- 東部B、中央東部では、「ときどき乗る」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	1 - ほぼ毎日乗る	2 - ときどき乗る	3 - ほとんど乗らない	4 - 全く乗らない	無回答	
上段: 実数, 下段: %		703	75	143	135	348	2	
全体		100.0	10.7	20.3	19.2	49.5	0.3	
性別	男性	276	22	68	57	129	0	
		100.0	8.0	24.6	20.7	46.7	0.0	
	女性	418	52	74	76	214	2	
		100.0	12.4	17.7	18.2	51.2	0.5	
回答しない		5	1	0	1	3	0	
		100.0	20.0	0.0	20.0	60.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28	6	10	4	8	2
			100.0	21.4	35.7	14.3	28.6	0.0
	女性	44	15	12	7	10	0	
		100.0	34.1	27.3	15.9	22.7	0.0	
	25～29歳	男性	14	0	2	2	10	0
			100.0	0.0	14.3	14.3	71.4	0.0
	女性	41	2	0	10	28	1	
		100.0	4.9	0.0	24.4	68.3	2.4	
	30～34歳	男性	19	2	2	3	12	0
			100.0	10.5	10.5	15.8	63.2	0.0
	女性	45	6	7	6	26	0	
		100.0	13.3	15.6	13.3	57.8	0.0	
	35～39歳	男性	34	3	8	8	15	0
			100.0	8.8	23.5	23.5	44.1	0.0
	女性	36	4	4	6	22	0	
		100.0	11.1	11.1	16.7	61.1	0.0	
	40～44歳	男性	27	2	9	7	9	0
			100.0	7.4	33.3	25.9	33.3	0.0
	女性	37	5	10	10	12	0	
		100.0	13.5	27.0	27.0	32.4	0.0	
45～49歳	男性	37	4	7	8	18	0	
		100.0	10.8	18.9	21.6	48.6	0.0	
女性	35	4	6	6	19	0		
	100.0	11.4	17.1	17.1	54.3	0.0		
50～54歳	男性	34	1	9	6	18	0	
		100.0	2.9	26.5	17.6	52.9	0.0	
女性	33	3	7	7	15	1		
	100.0	9.1	21.2	21.2	45.5	3.0		
55～59歳	男性	44	0	12	9	23	0	
		100.0	0.0	27.3	20.5	52.3	0.0	
女性	62	2	13	9	38	0		
	100.0	3.2	21.0	14.5	61.3	0.0		
60～64歳	男性	38	4	9	9	16	0	
		100.0	10.5	23.7	23.7	42.1	0.0	
女性	83	9	15	15	44	0		
	100.0	10.8	18.1	18.1	53.0	0.0		

◆表 居住校区別◆

		サンプル数	1 - ほぼ毎日乗る	2 - ときどき乗る	3 - ほとんど乗らない	4 - 全く乗らない	無回答
上段: 実数, 下段: %		703	75	143	135	348	2
全体		100.0	10.7	20.3	19.2	49.5	0.3
居住校区	東部A	57	6	8	7	36	0
		100.0	10.5	14.0	12.3	63.2	0.0
	東部B	40	0	11	10	18	1
		100.0	0.0	27.5	25.0	45.0	2.5
	北部A	66	7	16	12	47	0
		100.0	10.6	24.2	18.2	47.0	0.0
	北部B	35	1	5	7	22	0
		100.0	2.9	14.3	20.0	62.9	0.0
	中央東部	89	9	25	14	41	0
		100.0	10.1	28.1	15.7	46.1	0.0
	南東部	53	4	5	7	37	0
		100.0	7.5	9.4	13.2	69.8	0.0
	中央部	101	16	23	17	45	0
		100.0	15.8	22.8	16.8	44.6	0.0
中央南部	125	22	24	24	54	1	
	100.0	17.6	19.2	19.2	43.2	0.8	
南西部	72	2	15	16	39	0	
	100.0	2.8	20.8	22.2	54.2	0.0	
西部A	21	2	5	6	8	0	
	100.0	9.5	23.8	28.6	38.1	0.0	
西部B	26	3	1	11	11	0	
	100.0	11.5	3.8	42.3	42.3	0.0	

## 2 「交通事故の防止」について

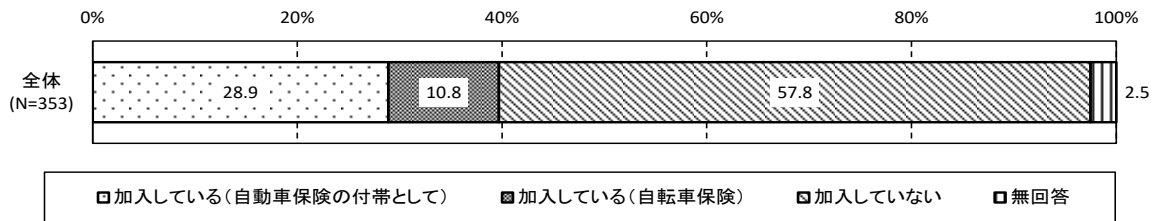
### (10) 自転車保険等の加入状況

問3で、「1」～「3」と回答された方にお聞きします。

問3-1. あなたは、自転車運転中の加害事故に関する賠償責任に備えて、自転車保険等に加入していますか。(〇はひとつ)

6割弱の人が自転車保険に「加入していない」

●自転車保険の加入状況について、「加入していない」が57.8%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

●男性・30～34歳、女性・35～39歳、女性・50～54歳では、「加入している（自動車保険の付帯として）」の割合が高い。

#### ◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	加入している(自動車保険の付帯として)	加入している(自転車保険)	加入していない	無回答	
上段:実数、下段:%							
全体		353	102	38	204	9	
		100.0	28.9	10.8	57.8	2.5	
性別	男性	147	44	13	87	3	
		100.0	29.9	8.8	59.2	2.0	
	女性	202	57	25	114	6	
		100.0	28.2	12.4	56.4	3.0	
	回答しない	2	1	0	1	0	
		100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	20	6	1	12	1
			100.0	30.0	5.0	60.0	5.0
	女性	34	11	10	11	2	
		100.0	32.4	29.4	32.4	5.9	
	25～29歳	男性	4	1	0	3	0
			100.0	25.0	0.0	75.0	0.0
	女性	12	3	0	9	0	
		100.0	25.0	0.0	75.0	0.0	
	30～34歳	男性	7	4	0	3	0
			100.0	57.1	0.0	42.9	0.0
	女性	19	4	4	11	0	
		100.0	21.1	21.1	57.9	0.0	
	35～39歳	男性	19	5	2	11	1
			100.0	26.3	10.5	57.9	5.3
	女性	14	6	0	8	0	
		100.0	42.9	0.0	57.1	0.0	
	40～44歳	男性	18	6	0	12	0
			100.0	33.3	0.0	66.7	0.0
	女性	25	6	4	13	2	
		100.0	24.0	16.0	52.0	8.0	
45～49歳	男性	19	6	4	9	0	
		100.0	31.6	21.1	47.4	0.0	
女性	16	5	1	10	0		
	100.0	31.3	6.3	62.5	0.0		
50～54歳	男性	16	4	3	8	1	
		100.0	25.0	18.8	50.0	6.3	
女性	17	9	2	6	0		
	100.0	52.9	11.8	35.3	0.0		
55～59歳	男性	21	8	1	12	0	
		100.0	38.1	4.8	57.1	0.0	
女性	24	6	0	17	1		
	100.0	25.0	0.0	70.8	4.2		
60～64歳	男性	22	4	2	16	0	
		100.0	18.2	9.1	72.7	0.0	
女性	39	7	3	28	1		
	100.0	17.9	7.7	71.8	2.6		

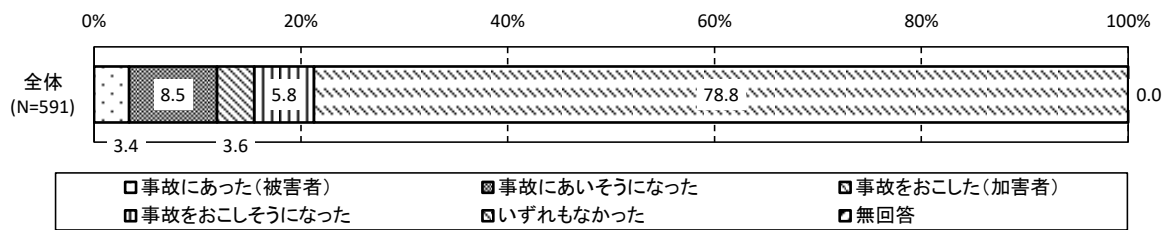


(1 1) 交通事故にあった又はあいそうになった経験（自動車の運転中）

問 4-a. あなたは、過去1年間（平成28年8月以降）に、交通事故（自損・単独事故を含む）にあった又はあいそうになったことがありますか。また、その時の状況について、該当するものを選んでください。

自動車の運転中の事故または事故にあいそうになった経験は、7割以上が「いずれもなかった」と回答

●自動車の運転中に交通事故にあった又はあいそうになった経験について、「いずれもなかった」が78.8%で最も高い。



【属性別特徴】

●女性・40～44歳、女性・50～54歳では、「事故にあいそになった」の割合が高い・

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	事故にあった(被害者)	事故にあいそになった	事故をおこした(加害者)	事故をおこしそになった	いずれもなかった	
上段:実数、下段:%								
全体		591	20	50	21	34	466	
		100.0	3.4	8.5	3.6	5.8	78.8	
性別	男性	230	7	13	9	14	187	
		100.0	3.0	5.7	3.9	6.1	81.3	
	女性	354	13	36	12	20	273	
		100.0	3.7	10.2	3.4	5.6	77.1	
	回答しない	3	0	0	0	0	3	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	20	2	2	1	0	15
			100.0	10.0	10.0	5.0	0.0	75.0
		女性	36	3	4	2	2	25
		100.0	8.3	11.1	5.6	5.6	69.4	
	25～29歳	男性	14	0	1	0	1	12
			100.0	0.0	7.1	0.0	7.1	85.7
		女性	39	1	3	3	5	27
		100.0	2.6	7.7	7.7	12.8	69.2	
	30～34歳	男性	18	0	1	2	1	14
			100.0	0.0	5.6	11.1	5.6	77.8
		女性	40	4	3	1	3	29
		100.0	10.0	7.5	2.5	7.5	72.5	
	35～39歳	男性	27	2	1	1	3	20
			100.0	7.4	3.7	3.7	11.1	74.1
		女性	31	1	4	1	1	24
		100.0	3.2	12.9	3.2	3.2	77.4	
	40～44歳	男性	21	0	1	1	2	17
			100.0	0.0	4.8	4.8	9.5	81.0
		女性	32	1	7	1	1	22
		100.0	3.1	21.9	3.1	3.1	68.8	
45～49歳	男性	32	0	1	0	2	29	
		100.0	0.0	3.1	0.0	6.3	90.6	
	女性	33	2	3	1	4	23	
	100.0	6.1	9.1	3.0	12.1	69.7		
50～54歳	男性	28	0	2	0	2	24	
		100.0	0.0	7.1	0.0	7.1	85.7	
	女性	28	0	5	0	1	22	
	100.0	0.0	17.9	0.0	3.6	78.6		
55～59歳	男性	35	0	3	3	1	28	
		100.0	0.0	8.6	8.6	2.9	80.0	
	女性	52	0	4	2	2	44	
	100.0	0.0	7.7	3.8	3.8	84.6		
60～64歳	男性	34	3	1	1	2	27	
		100.0	8.8	2.9	2.9	5.9	79.4	
	女性	61	1	3	1	1	55	
	100.0	1.6	4.9	1.6	1.6	90.2		

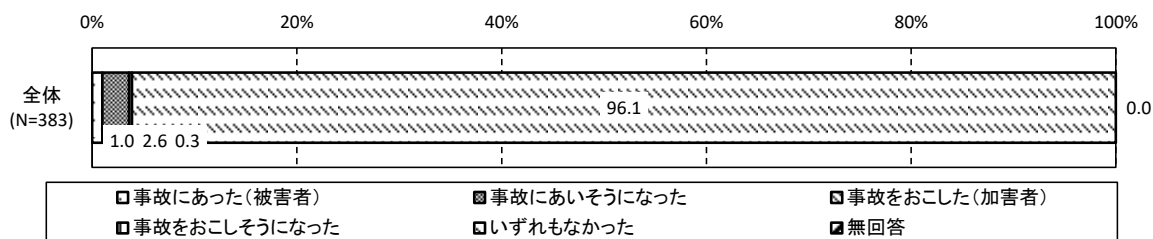
## 2 「交通事故の防止」について

### (12) 交通事故にあった又はあいそうになった経験（バイクの運転中）

問 4-b. あなたは、過去1年間（平成28年8月以降）に、交通事故（自損・単独事故を含む）にあった又はあいそうになったことがありますか。また、その時の状況について、該当するものを選んでください。）

バイクの運転中の事故または事故にあいそうになった経験は、9割以上が「いずれもなかった」と回答

● バイクの運転中に交通事故にあった又はあいそうになった経験について、「いずれもなかった」が96.1%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

● 男性・40～44歳では、「事故にあいそうになった」の割合が高い。

#### ◆ 表 性別・年代別 ◆

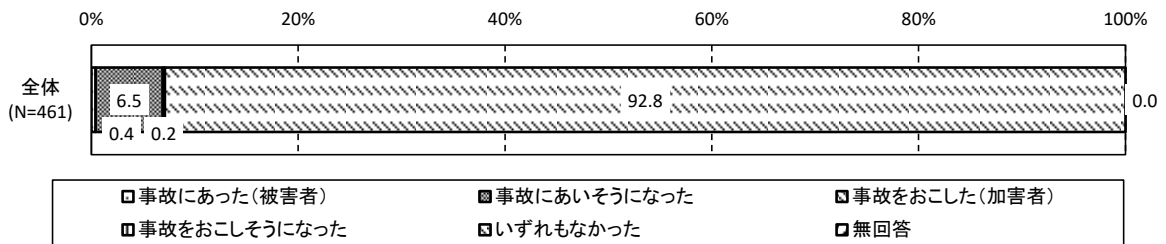
		サンプル数	事故(被害者)にあった	事故にあいそうになった	事故をおこした(加害者)	事故をおこしそうになった	いずれもなかった	
上段:実数、下段:%								
全体		383	4	10	0	1	368	
		100.0	1.0	2.6	0.0	0.3	96.1	
性別	男性	148	3	8	0	1	136	
		100.0	2.0	5.4	0.0	0.7	91.9	
	女性	231	1	2	0	0	228	
		100.0	0.4	0.9	0.0	0.0	98.7	
	回答しない	1	0	0	0	0	1	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	19	1	1	0	1	16
			100.0	5.3	5.3	0.0	5.3	84.2
		女性	30	1	1	0	0	28
			100.0	3.3	3.3	0.0	0.0	93.3
	25～29歳	男性	10	0	0	0	0	10
			100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
		女性	31	0	0	0	0	31
			100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	30～34歳	男性	11	0	0	0	0	11
			100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
		女性	22	0	0	0	0	22
			100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	35～39歳	男性	19	0	0	0	0	19
			100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
		女性	21	0	0	0	0	21
			100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	40～44歳	男性	16	1	3	0	0	12
			100.0	6.3	18.8	0.0	0.0	75.0
		女性	24	0	1	0	0	23
			100.0	0.0	4.2	0.0	0.0	95.8
45～49歳	男性	22	1	2	0	0	19	
		100.0	4.5	9.1	0.0	0.0	86.4	
	女性	24	0	0	0	0	24	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
50～54歳	男性	16	0	0	0	0	16	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	女性	22	0	0	0	0	22	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
55～59歳	男性	19	0	2	0	0	17	
		100.0	0.0	10.5	0.0	0.0	89.5	
	女性	25	0	0	0	0	25	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
60～64歳	男性	15	0	0	0	0	15	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	女性	32	0	0	0	0	32	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

(13) 交通事故にあった又はあいそうになった経験（自転車の運転中）

問 4-c. あなたは、過去1年間（平成28年8月以降）に、交通事故（自損・単独事故を含む）にあった又はあいそうになったことがありますか。また、その時の状況について、該当するものを選んでください。

自転車の運転中の事故または事故にあいそうになった経験は、9割以上が「いずれもなかった」と回答

●自転車の運転中に交通事故にあった又はあいそうになった経験について、「いずれもなかった」が92.8%で最も高い。



【属性別特徴】

●女性・18～24歳では、「事故にあいそになった」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	事故にあった(被害者)	事故にあいそになった	事故をおこした(加害者)	事故をおこしそになった	いずれもなかった	
上段:実数 下段:%								
全 体		461	2	30	0	1	428	
		100.0	0.4	6.5	0.0	0.2	92.8	
性別	男性	177	1	9	0	0	167	
		100.0	0.6	5.1	0.0	0.0	94.4	
	女性	279	1	20	0	1	257	
		100.0	0.4	7.2	0.0	0.4	92.1	
	回答しない	2	0	1	0	0	1	
		100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	23	1	1	0	0	21
			100.0	4.3	4.3	0.0	0.0	91.3
		女性	35	1	6	0	0	28
			100.0	2.9	17.1	0.0	0.0	80.0
	25～29歳	男性	11	0	0	0	0	11
			100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
		女性	31	0	1	0	0	30
			100.0	0.0	3.2	0.0	0.0	96.8
	30～34歳	男性	11	0	0	0	0	11
			100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
		女性	27	0	2	0	0	25
			100.0	0.0	7.4	0.0	0.0	92.6
	35～39歳	男性	23	0	1	0	0	22
			100.0	0.0	4.3	0.0	0.0	95.7
		女性	23	0	1	0	0	22
			100.0	0.0	4.3	0.0	0.0	95.7
	40～44歳	男性	21	0	2	0	0	19
			100.0	0.0	9.5	0.0	0.0	90.5
		女性	29	0	2	0	1	26
			100.0	0.0	6.9	0.0	3.4	89.7
45～49歳	男性	25	0	2	0	0	23	
		100.0	0.0	8.0	0.0	0.0	92.0	
	女性	28	0	1	0	0	27	
		100.0	0.0	3.6	0.0	0.0	96.4	
50～54歳	男性	20	0	1	0	0	19	
		100.0	0.0	5.0	0.0	0.0	95.0	
	女性	25	0	2	0	0	23	
		100.0	0.0	8.0	0.0	0.0	92.0	
55～59歳	男性	23	0	0	0	0	23	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	女性	34	0	2	0	0	32	
		100.0	0.0	5.9	0.0	0.0	94.1	
60～64歳	男性	19	0	2	0	0	17	
		100.0	0.0	10.5	0.0	0.0	89.5	
	女性	45	0	2	0	0	43	
		100.0	0.0	4.4	0.0	0.0	95.6	

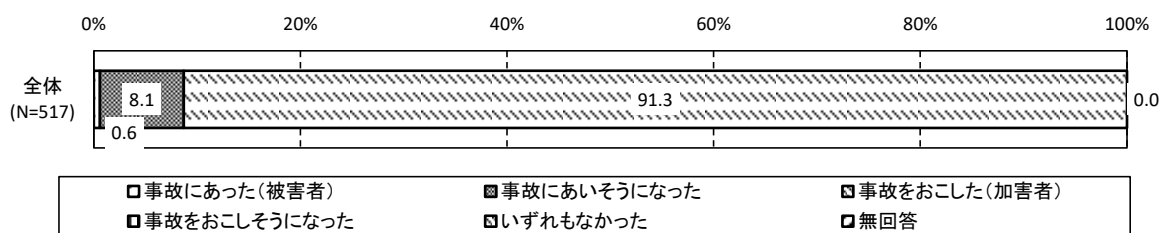
## 2 「交通事故の防止」について

### (14) 交通事故にあった又はあいそうになった経験（歩行中）

問 4-d. あなたは、過去1年間（平成28年8月以降）に、交通事故（自損・単独事故を含む）にあった又はあいそうになったことがありますか。また、その時の状況について、該当するものを選んでください。

歩行中に事故または事故にあいそうになった経験は、9割以上が「いずれもなかった」と回答

●歩行中に交通事故にあった又はあいそうになった経験について、「いずれもなかった」が91.3%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

●男性・40～44歳、女性・18～29歳では、「事故にあいそうになった」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

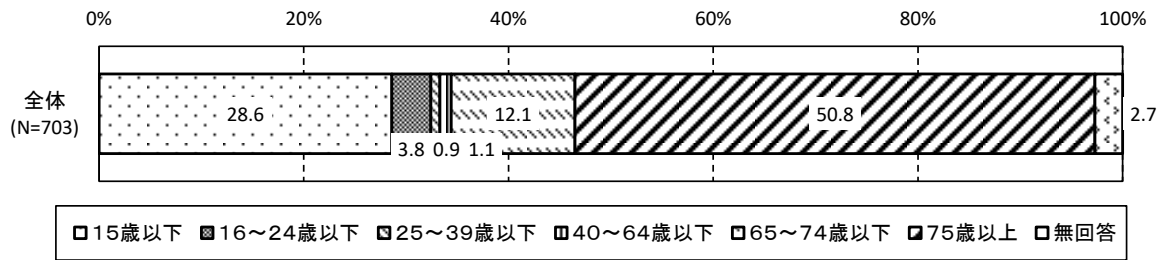
		サンプル数	事故にあった(被害者)	事故にあいそうになった	事故をおこした(加害者)	事故をおこしそうになった	いずれもなかった	
上段:実数、下段:%								
全体		517 100.0	3 0.6	42 8.1	0 0.0	0 0.0	472 91.3	
性別	男性	200 100.0	2 1.0	17 8.5	0 0.0	0 0.0	181 90.5	
	女性	313 100.0	0 0.0	25 8.0	0 0.0	0 0.0	288 92.0	
	回答しない	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	23 100.0	1 4.3	2 8.7	0 0.0	0 0.0	20 87.0
		女性	35 100.0	0 0.0	5 14.3	0 0.0	0 0.0	30 85.7
	25～29歳	男性	11 100.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	10 90.9
		女性	35 100.0	0 0.0	5 14.3	0 0.0	0 0.0	30 85.7
	30～34歳	男性	12 100.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	11 91.7
		女性	30 100.0	0 0.0	4 13.3	0 0.0	0 0.0	26 86.7
	35～39歳	男性	23 100.0	0 0.0	3 13.0	0 0.0	0 0.0	20 87.0
		女性	28 100.0	0 0.0	1 3.6	0 0.0	0 0.0	27 96.4
	40～44歳	男性	21 100.0	0 0.0	3 14.3	0 0.0	0 0.0	18 85.7
		女性	27 100.0	0 0.0	3 11.1	0 0.0	0 0.0	24 88.9
	45～49歳	男性	31 100.0	1 3.2	1 3.2	0 0.0	0 0.0	29 93.5
		女性	29 100.0	0 0.0	2 6.9	0 0.0	0 0.0	27 93.1
	50～54歳	男性	23 100.0	0 0.0	2 8.7	0 0.0	0 0.0	21 91.3
		女性	25 100.0	0 0.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0	24 96.0
	55～59歳	男性	29 100.0	0 0.0	2 6.9	0 0.0	0 0.0	27 93.1
		女性	42 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	42 100.0
	60～64歳	男性	26 100.0	0 0.0	2 7.7	0 0.0	0 0.0	24 92.3
		女性	60 100.0	0 0.0	3 5.0	0 0.0	0 0.0	57 95.0

(15) 交通事故にあう危険性が1番高いと思う年齢層

問5-a. あなたは、交通事故にあう（被害者となる）危険性が高いのは、どの年齢層の人だと思いますか。危険性が1番高いと思う年齢層と2番目に高いと思う年齢層をそれぞれ1つ選んでください。

交通事故にあう危険性が1番高いと思われる年齢は「75歳以上」

● 交通事故にあう危険性が1番高いと思う年齢層について、「75歳以上」が50.8%で最も高い。



【属性別特徴】

- 女性・40～44歳、女性・50～54歳では、「15歳以下」の割合が高い。
- 男性・40～44歳では、「75歳以上」の割合が高い。

◆ 表 性別・年代別 ◆

		サンプル数	15歳以下	16~24歳以下	25~39歳以下	40~64歳以下	65~74歳以下	75歳以上	無回答	
上段:実数、下段:%										
全体		703	201	27	6	8	85	357	19	
		100.0	28.6	3.8	0.9	1.1	12.1	50.8	2.7	
性別	男性	276	66	16	1	5	30	151	7	
		100.0	23.9	5.8	0.4	1.8	10.9	54.7	2.5	
	女性	418	132	11	5	3	55	200	12	
	100.0	31.6	2.6	1.2	0.7	13.2	47.8	2.9		
	回答しない	5	2	0	0	0	0	3	0	
	100.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	
性別・年代別	18~24歳	男性	28	5	4	0	1	5	11	2
			100.0	17.9	14.3	0.0	3.6	17.9	39.3	7.1
		女性	44	15	5	0	0	5	18	1
		100.0	34.1	11.4	0.0	0.0	11.4	40.9	2.3	
	25~29歳	男性	14	1	1	0	0	5	7	0
			100.0	7.1	7.1	0.0	0.0	35.7	50.0	0.0
		女性	41	11	0	2	0	9	19	0
		100.0	26.8	0.0	4.9	0.0	22.0	46.3	0.0	
	30~34歳	男性	19	3	0	1	0	3	12	0
			100.0	15.8	0.0	5.3	0.0	15.8	63.2	0.0
		女性	45	15	2	0	0	6	19	3
		100.0	33.3	4.4	0.0	0.0	13.3	42.2	6.7	
	35~39歳	男性	34	8	1	0	1	6	18	0
			100.0	23.5	2.9	0.0	2.9	17.6	52.9	0.0
		女性	36	9	0	0	1	5	21	0
		100.0	25.0	0.0	0.0	2.8	13.9	58.3	0.0	
	40~44歳	男性	27	5	1	0	0	1	20	0
			100.0	18.5	3.7	0.0	0.0	3.7	74.1	0.0
		女性	37	19	0	0	1	5	12	0
		100.0	51.4	0.0	0.0	2.7	13.5	32.4	0.0	
	45~49歳	男性	37	14	0	0	0	4	19	0
			100.0	37.8	0.0	0.0	0.0	10.8	51.4	0.0
		女性	35	13	0	1	0	6	15	0
		100.0	37.1	0.0	2.9	0.0	17.1	42.9	0.0	
50~54歳	男性	34	9	2	0	0	1	20	2	
		100.0	26.5	5.9	0.0	0.0	2.9	58.8	5.9	
	女性	33	14	1	1	0	2	14	1	
	100.0	42.4	3.0	3.0	0.0	6.1	42.4	3.0		
55~59歳	男性	44	10	6	0	2	2	22	2	
		100.0	22.7	13.6	0.0	4.5	4.5	50.0	4.5	
	女性	62	16	0	0	0	11	33	2	
	100.0	25.8	0.0	0.0	0.0	17.7	53.2	3.2		
60~64歳	男性	38	11	1	0	1	3	22	0	
		100.0	28.9	2.6	0.0	2.6	7.9	57.9	0.0	
	女性	83	18	3	1	1	6	49	5	
	100.0	21.7	3.6	1.2	1.2	7.2	59.0	6.0		

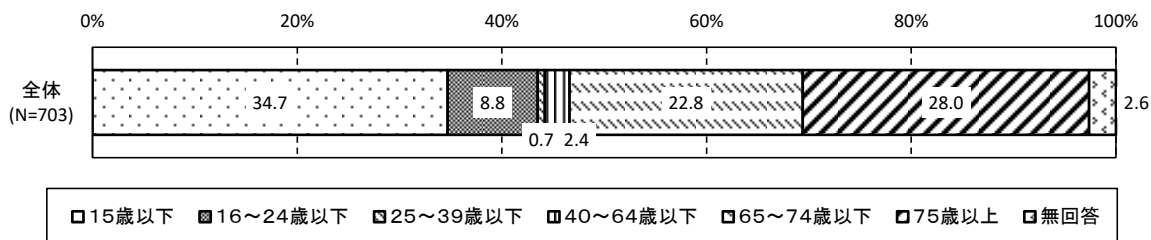
## 2 「交通事故の防止」について

### (16) 交通事故にあう危険性が2番目に高いと思う年齢層

問5-b. あなたは、交通事故にあう（被害者となる）危険性が高いのは、どの年齢層の人だと思いますか。危険性が1番高いと思う年齢層と2番目に高いと思う年齢層をそれぞれ1つ選んでください。

交通事故にあう危険性が2番目に高いと思われる年齢は「15歳以下」

●交通事故にあう危険性が2番目に高いと思う年齢層について、「15歳以下」が34.7%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 男性・40～44歳では、「15歳以下」の割合が高い。
- 男性・55～59歳では、「65～74歳」の割合が高い。
- 女性・40～44歳では、「75歳以上」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

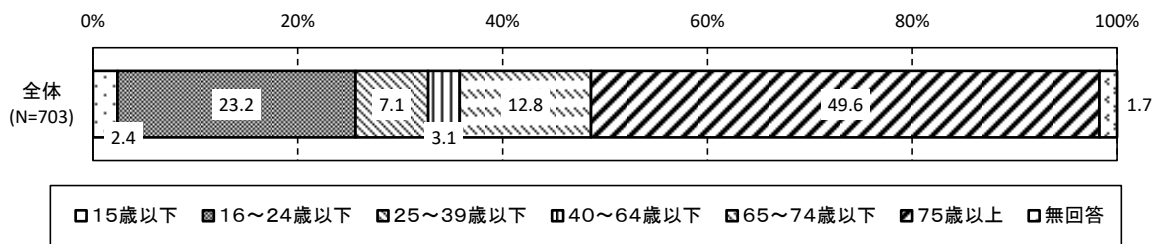
		サンプル数	15歳以下	16～24歳以下	25～39歳以下	40～64歳以下	65～74歳以下	75歳以上	無回答	
上段:実数, 下段:%										
全体		703	244	62	5	17	160	197	18	
		100.0	34.7	8.8	0.7	2.4	22.8	28.0	2.6	
性別	男性	276	87	25	1	9	81	66	7	
		100.0	31.5	9.1	0.4	3.3	29.3	23.9	2.5	
	女性	418	151	37	3	8	78	130	11	
	100.0	36.1	8.9	0.7	1.9	18.7	31.1	2.6		
	回答しない	5	3	0	0	0	1	1	0	
		100.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28	9	5	0	3	6	4	1
			100.0	32.1	17.9	0.0	10.7	21.4	14.3	3.6
	女性	44	15	4	1	0	9	14	1	
		100.0	34.1	9.1	2.3	0.0	20.5	31.8	2.3	
	25～29歳	男性	14	3	2	1	1	4	3	0
			100.0	21.4	14.3	7.1	7.1	28.6	21.4	0.0
	女性	41	17	3	1	1	6	13	0	
		100.0	41.5	7.3	2.4	2.4	14.6	31.7	0.0	
	30～34歳	男性	19	7	0	0	1	9	2	0
			100.0	36.8	0.0	0.0	5.3	47.4	10.5	0.0
	女性	45	17	3	0	0	10	13	2	
		100.0	37.8	6.7	0.0	0.0	22.2	28.9	4.4	
	35～39歳	男性	34	12	5	0	2	7	7	1
			100.0	35.3	14.7	0.0	5.9	20.6	20.6	2.9
	女性	36	17	2	0	2	7	8	0	
		100.0	47.2	5.6	0.0	5.6	19.4	22.2	0.0	
	40～44歳	男性	27	14	3	0	0	6	4	0
			100.0	51.9	11.1	0.0	0.0	22.2	14.8	0.0
	女性	37	11	3	1	0	6	16	0	
		100.0	29.7	8.1	2.7	0.0	16.2	43.2	0.0	
	45～49歳	男性	37	11	5	0	1	9	11	0
			100.0	29.7	13.5	0.0	2.7	24.3	29.7	0.0
	女性	35	11	6	0	1	7	10	0	
		100.0	31.4	17.1	0.0	2.9	20.0	28.6	0.0	
50～54歳	男性	34	11	1	0	0	10	10	2	
		100.0	32.4	2.9	0.0	0.0	29.4	29.4	5.9	
女性	33	10	5	0	2	2	13	1		
	100.0	30.3	15.2	0.0	6.1	6.1	39.4	3.0		
55～59歳	男性	44	9	0	0	0	18	15	2	
		100.0	20.5	0.0	0.0	0.0	40.9	34.1	4.5	
女性	62	25	5	0	1	12	17	2		
	100.0	40.3	8.1	0.0	1.6	19.4	27.4	3.2		
60～64歳	男性	38	11	4	0	1	12	10	0	
		100.0	28.9	10.5	0.0	2.6	31.6	26.3	0.0	
女性	83	28	6	0	1	18	25	5		
	100.0	33.7	7.2	0.0	1.2	21.7	30.1	6.0		

(17) 交通事故をおこす危険性が1番高いと思う年齢層

問 6-a. あなたは、交通事故をおこす（加害者となる）危険性が高いのは、どの年齢層の人だと思いますか。危険性が1番高いと思う年齢層と2番目に高いと思う年齢層をそれぞれ1つ選んでください。

交通事故をおこす危険性が1番高いと思われる年齢は「75歳以上」

● 交通事故をおこす危険性が1番高いと思う年齢層について、「75歳以上」が49.6%で最も高い。



【属性別特徴】

- 男性・18～24歳、男性・55～59歳では、「18～24歳」の割合が高い。
- 男性・60～64歳、女性・40～44歳、女性・50～54歳では、「75歳以上」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	15歳以下	16～24歳以下	25～39歳以下	40～64歳以下	65～74歳以下	75歳以上	無回答	
上段:実数, 下段:%										
全体		703	17	163	50	22	90	349	12	
		100.0	2.4	23.2	7.1	3.1	12.8	49.6	1.7	
性別	男性	276	8	74	19	9	32	129	5	
		100.0	2.9	26.8	6.9	3.3	11.6	46.7	1.8	
	女性	418	9	87	31	13	57	214	7	
	100.0	2.2	20.8	7.4	3.1	13.6	51.2	1.7		
	回答しない	5	0	2	0	0	1	2	0	
	100.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0		
性別・年代別	18～24歳	男性	28	1	12	1	0	4	8	2
			100.0	3.6	42.9	3.6	0.0	14.3	28.6	7.1
	女性	44	2	15	1	1	10	14	1	
		100.0	4.5	34.1	2.3	2.3	22.7	31.8	2.3	
	25～29歳	男性	14	0	3	1	0	4	6	0
			100.0	0.0	21.4	7.1	0.0	28.6	42.9	0.0
	女性	41	1	8	3	1	6	22	0	
		100.0	2.4	19.5	7.3	2.4	14.6	53.7	0.0	
	30～34歳	男性	19	0	4	2	1	3	9	0
			100.0	0.0	21.1	10.5	5.3	15.8	47.4	0.0
	女性	45	2	10	3	1	6	21	2	
		100.0	4.4	22.2	6.7	2.2	13.3	46.7	4.4	
	35～39歳	男性	34	1	9	1	2	5	15	1
			100.0	2.9	26.5	2.9	5.9	14.7	44.1	2.9
	女性	36	0	8	5	2	5	16	0	
		100.0	0.0	22.2	13.9	5.6	13.9	44.4	0.0	
	40～44歳	男性	27	1	7	2	1	2	14	0
			100.0	3.7	25.9	7.4	3.7	7.4	51.9	0.0
	女性	37	1	2	3	0	7	24	0	
		100.0	2.7	5.4	8.1	0.0	18.9	64.9	0.0	
	45～49歳	男性	37	2	7	5	0	6	17	0
			100.0	5.4	18.9	13.5	0.0	16.2	45.9	0.0
	女性	35	1	5	3	1	9	16	0	
		100.0	2.9	14.3	8.6	2.9	25.7	45.7	0.0	
50～54歳	男性	34	1	8	1	2	5	16	1	
		100.0	2.9	23.5	2.9	5.9	14.7	47.1	2.9	
女性	33	1	6	1	2	3	20	0		
	100.0	3.0	18.2	3.0	6.1	9.1	60.6	0.0		
55～59歳	男性	44	1	18	4	1	2	17	1	
		100.0	2.3	40.9	9.1	2.3	4.5	38.6	2.3	
女性	62	1	13	7	1	4	33	3		
	100.0	1.6	21.0	11.3	1.6	6.5	53.2	4.8		
60～64歳	男性	38	1	5	2	2	1	27	0	
		100.0	2.6	13.2	5.3	5.3	2.6	71.1	0.0	
女性	83	0	19	5	4	7	47	1		
	100.0	0.0	22.9	6.0	4.8	8.4	56.6	1.2		

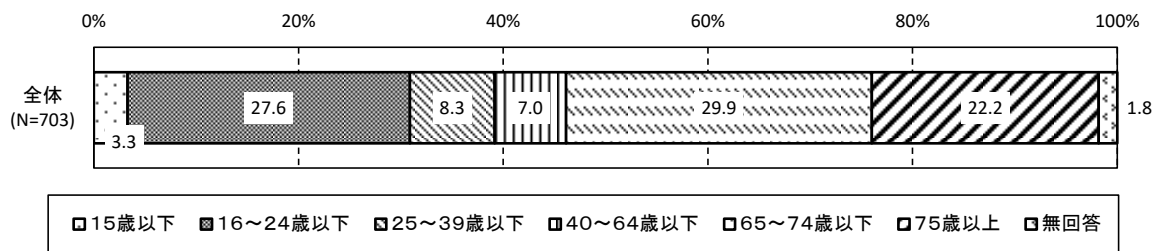
## 2 「交通事故の防止」について

### (18) 交通事故をおこす可能性が2番目に高いと思う年齢層

問 6-b. あなたは、交通事故をおこす（加害者となる）危険性が高いのは、どの年齢層の人だと思いますか。危険性が1番高いと思う年齢層と2番目に高いと思う年齢層をそれぞれ1つ選んでください。

交通事故をおこす危険性が2番目に高いと思われる年齢は「65～74歳以下」

●交通事故をおこす危険性が2番目に高いと思う年齢層について、「65～74歳以下」が29.9%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 男性・55～59歳では、「75歳以上」の割合が高い。
- 男性・60～64歳では、「65～74歳以下」の割合が高い。

#### ◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	15歳以下	16～24歳以下	25～39歳以下	40～64歳以下	65～74歳以下	75歳以上	無回答	
上段:実数、下段:%										
全体		703	23	194	58	49	210	156	13	
		100.0	3.3	27.6	8.3	7.0	29.9	22.2	1.8	
性別	男性	276	7	68	27	20	85	66	3	
		100.0	2.5	24.6	9.8	7.2	30.8	23.9	1.1	
	女性	418	15	122	30	28	125	88	10	
		100.0	3.6	29.2	7.2	6.7	29.9	21.1	2.4	
	回答しない	5	0	2	1	0	0	2	0	
		100.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28	1	6	0	2	10	8	1
			100.0	3.6	21.4	0.0	7.1	35.7	28.6	3.6
		女性	44	0	11	6	1	11	14	1
			100.0	0.0	25.0	13.6	2.3	25.0	31.8	2.3
	25～29歳	男性	14	1	4	1	2	5	1	0
			100.0	7.1	28.6	7.1	14.3	35.7	7.1	0.0
		女性	41	2	9	4	1	14	10	1
			100.0	4.9	22.0	9.8	2.4	34.1	24.4	2.4
	30～34歳	男性	19	1	5	3	3	2	5	0
			100.0	5.3	26.3	15.8	15.8	10.5	26.3	0.0
		女性	45	2	12	3	2	17	7	2
			100.0	4.4	26.7	6.7	4.4	37.8	15.6	4.4
	35～39歳	男性	34	1	6	2	4	13	8	0
			100.0	2.9	17.6	5.9	11.8	38.2	23.5	0.0
		女性	36	3	9	2	3	10	9	0
			100.0	8.3	25.0	5.6	8.3	27.8	25.0	0.0
	40～44歳	男性	27	0	8	5	2	7	5	0
			100.0	0.0	29.6	18.5	7.4	25.9	18.5	0.0
		女性	37	1	11	4	4	12	5	0
			100.0	2.7	29.7	10.8	10.8	32.4	13.5	0.0
45～49歳	男性	37	0	13	4	3	10	7	0	
		100.0	0.0	35.1	10.8	8.1	27.0	18.9	0.0	
	女性	35	1	11	3	5	9	6	0	
		100.0	2.9	31.4	8.6	14.3	25.7	17.1	0.0	
50～54歳	男性	34	0	9	4	2	8	10	1	
		100.0	0.0	26.5	11.8	5.9	23.5	29.4	2.9	
	女性	33	3	9	2	2	12	5	0	
		100.0	9.1	27.3	6.1	6.1	36.4	15.2	0.0	
55～59歳	男性	44	1	8	5	1	13	15	1	
		100.0	2.3	18.2	11.4	2.3	29.5	34.1	2.3	
	女性	62	0	23	4	7	15	10	3	
		100.0	0.0	37.1	6.5	11.3	24.2	16.1	4.8	
60～64歳	男性	38	2	9	2	1	17	7	0	
		100.0	5.3	23.7	5.3	2.6	44.7	18.4	0.0	
	女性	83	3	27	1	2	25	22	3	
		100.0	3.6	32.5	1.2	2.4	30.1	26.5	3.6	



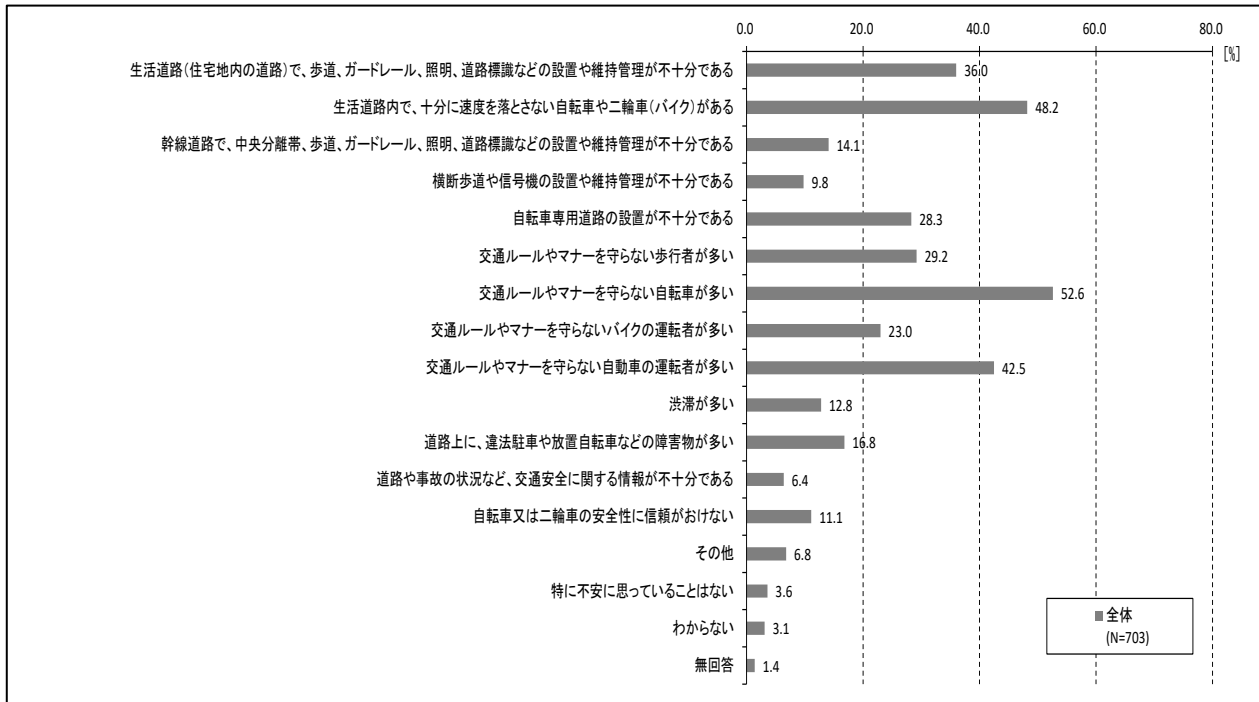
(19)交通安全について不安に思っていること

問 7-a. あなたは、交通安全について、不安に思っていることがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

交通安全について不安に思うことは、「交通ルールやマナーを守らない自転車が多い」こと

●交通安全について不安に思っていることは、「交通ルールやマナーを守らない自転車が多い」が 52.6%で最も高い。



## 2 「交通事故の防止」について

### 【属性別特徴】

- 男性・60～64歳では、「生活道路内で、十分に速度を落さない自動車や二輪車（バイク）がある」の割合が高い。
- 男性・35～39歳では、「交通ルールやマナーを守らない自転車が多い」の割合が高い。
- 男性・25～34歳、男性・40～44歳では、「交通ルールやマナーを守らない自動車の運転者が多い」の割合が高い。
- 女性・45～49歳では、「自転車専用道路の設置が不十分である」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	分けてある	生活道路内の設置や維持管理が不十分である	生活道路内で、十分に速度を落さない自動車や二輪車（バイク）がある	幹線道路で、中央分離帯や歩道、などの設置や維持管理が不十分である	幹線道路で、歩道、歩道橋、歩道横断歩道や信号機の設置や維持管理が不十分である	自転車専用道路の設置が不十分である	交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い	交通ルールやマナーを守らない自転車が多い	交通ルールやマナーを守らない自動車の運転者が多い	交通ルールやマナーを守らないバイクの運転者が多い	交通ルールやマナーを守らない自動車の運転者が多い	渋滞が多い	道路に、違法駐車や放置自転車などの障害物が多い	道路や事故の状況など、交通安全に関する情報が不十分である	自転車や二輪車の安全性に信頼がおけない	その他	特に不安に思っていることはない	わからない	無回答	
		上段:実数、下段:%																				
全体		703 1000	253 36.0	339 48.2	99 14.1	69 9.8	199 28.3	205 29.2	370 52.6	162 23.0	299 42.5	90 12.8	118 16.8	45 6.4	78 11.1	48 6.8	25 3.6	22 3.1	22 3.1	10 1.4		
性別	男性	276 1000	93 33.7	133 48.2	46 16.7	33 12.0	62 22.5	86 31.2	152 55.1	68 24.6	115 41.7	38 13.8	54 19.6	19 6.9	30 10.9	19 6.9	10 3.6	12 4.3	6 2.2	6 2.2		
	女性	418 1000	156 37.3	200 47.6	51 12.2	33 7.9	133 31.8	115 27.5	212 50.7	91 21.8	179 42.8	50 12.0	61 14.6	25 6.0	46 11.0	27 6.5	15 3.6	10 2.4	10 2.4	4 1.0		
	回答しない	5 1000	3 60.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	1 60.0	1 60.0	1 60.0	1 100.0	1 40.0	1 60.0	1 40.0	1 40.0	1 40.0	1 20.0	1 20.0	1 0.0	1 0.0	1 0.0	1 0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28 1000	7 25.0	11 39.3	1 3.6	2 7.1	4 14.3	9 32.1	12 42.9	8 28.6	10 35.7	4 14.3	4 14.3	4 14.3	2 7.1	1 3.6	1 3.6	1 3.6	1 3.6	4 14.3	0 0.0
		女性	44 1000	18 40.9	18 40.9	7 15.9	2 4.5	1 3.1	2 4.5	3 6.8	3 6.8	3 6.8	3 6.8	4 11.1	2 5.5	1 2.7	0 0.0	2 5.5	1 2.7	1 2.7	3 8.2	1 2.7
	25～29歳	男性	14 1000	4 28.6	7 50.0	1 7.1	2 14.3	3 21.4	3 21.4	3 21.4	3 21.4	3 21.4	3 21.4	3 21.4	3 21.4	2 14.3	1 7.1	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		女性	41 1000	12 29.3	24 58.5	3 7.3	5 12.2	5 12.2	9 22.0	16 39.0	10 24.4	19 46.3	10 24.4	4 9.8	1 2.4	3 7.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.4	0 0.0	0 0.0
	30～34歳	男性	19 1000	7 36.8	11 57.9	5 26.3	3 15.8	3 15.8	6 31.6	10 52.6	7 36.8	11 57.9	2 10.5	5 26.3	2 10.5	3 15.8	3 15.8	1 5.3	1 5.3	2 10.5	0 0.0	0 0.0
		女性	45 1000	19 42.2	24 53.3	4 8.9	5 11.1	17 37.8	14 31.1	23 51.1	11 24.4	20 44.4	5 11.1	6 13.3	3 6.7	9 20.0	3 6.7	3 6.7	1 2.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	35～39歳	男性	34 1000	13 38.2	13 38.2	4 11.8	6 17.6	9 26.5	10 29.4	23 67.6	5 14.7	13 38.2	9 26.5	5 14.7	5 14.7	5 14.7	1 2.9	6 17.6	8 23.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		女性	36 1000	13 36.1	18 50.0	5 13.9	5 13.9	11 30.6	11 30.6	19 52.8	7 19.4	15 41.7	8 22.2	6 16.7	4 11.1	4 11.1	1 2.8	1 2.8	1 2.8	0 0.0	1 2.8	0 0.0
	40～44歳	男性	27 1000	10 37.0	13 48.1	2 7.4	3 11.1	4 14.8	10 37.0	17 63.0	6 22.2	16 59.3	3 11.1	3 11.1	3 11.1	1 3.7	1 3.7	1 3.7	1 3.7	2 7.4	0 0.0	0 0.0
		女性	37 1000	14 37.8	20 54.1	3 8.1	1 2.7	12 32.4	10 27.0	21 56.8	12 32.4	17 45.9	5 13.5	4 10.8	4 10.8	4 10.8	6 16.2	6 16.2	3 8.1	3 8.1	1 2.7	0 0.0
	45～49歳	男性	37 1000	15 40.5	17 45.9	11 29.7	3 8.1	12 32.4	8 21.6	20 54.1	11 29.7	18 48.6	3 8.1	4 10.8	3 8.1	4 10.8	2 5.4	2 5.4	2 5.4	1 2.7	2 5.4	1 2.7
		女性	35 1000	15 42.9	17 48.6	4 11.4	0 0.0	16 45.7	13 37.1	20 57.1	5 14.3	19 54.3	1 2.9	2 5.7	2 5.7	4 11.4	3 8.6	5 14.3	2 5.7	2 5.7	1 2.9	0 0.0
	50～54歳	男性	34 1000	13 38.2	20 58.8	8 23.5	7 20.6	10 29.4	9 26.5	19 55.9	7 20.6	8 23.5	7 20.6	9 26.5	3 8.8	3 8.8	3 8.8	3 8.8	4 11.8	1 2.9	2 5.9	3 8.8
		女性	33 1000	15 45.5	19 59.4	4 12.1	3 9.1	12 36.4	11 33.2	18 54.5	5 15.2	16 48.5	3 9.1	6 18.2	3 9.1	6 18.2	1 2.7	5 15.2	3 9.1	1 2.7	3 9.1	0 0.0
	55～59歳	男性	44 1000	13 29.5	18 40.9	8 18.2	5 11.4	9 20.4	4 9.1	16 36.4	8 18.2	15 34.1	2 4.5	3 6.8	3 6.8	3 6.8	3 6.8	3 6.8	2 4.5	6 13.6	1 2.3	4 9.1
		女性	62 1000	23 37.1	35 56.5	11 17.7	6 9.7	21 33.9	15 24.2	35 56.5	16 25.8	23 37.1	7 11.3	7 11.3	4 6.5	4 6.5	4 6.5	6 9.7	1 1.6	1 1.6	0 0.0	2 3.2
	60～64歳	男性	38 1000	11 28.9	23 60.5	6 15.8	3 7.9	14 36.8	15 39.5	24 63.2	13 34.2	15 39.5	8 21.1	9 23.7	1 2.6	1 2.6	1 2.6	1 2.6	1 2.6	1 2.6	0 0.0	2 5.3
		女性	83 1000	26 31.3	31 37.3	10 12.0	5 6.0	25 30.1	19 22.9	38 45.8	13 15.7	34 41.0	8 9.8	17 20.5	1 1.2	1 1.2	1 1.2	1 1.2	3 3.6	4 4.8	2 2.4	1 1.2



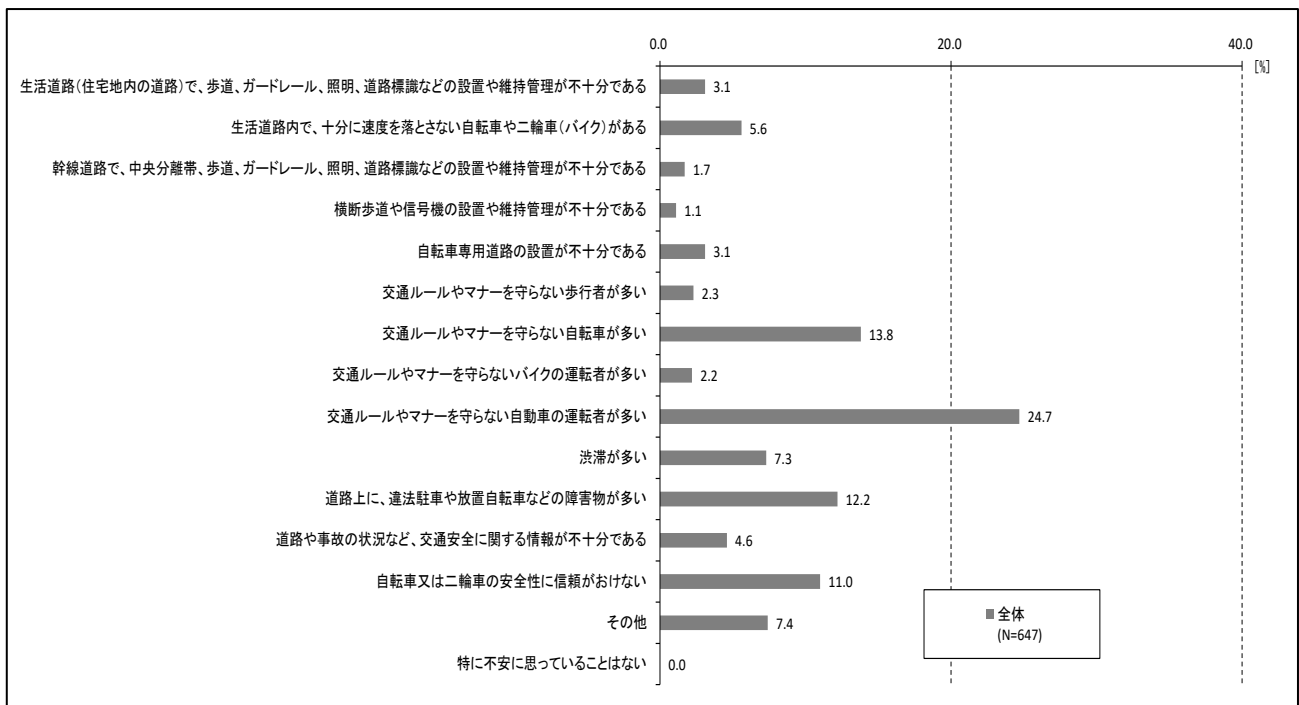
## 2 「交通事故の防止」について

### (20) 交通安全について特に不安に思うこと

問 7-b. あなたは、交通安全について、特に不安に思うことを1つ選んでください。

交通安全について特に不安に思うことは「交通ルールやマナーを守らない自動車の運転者」が多いこと

- 交通安全について特に不安に思うことは「交通ルールやマナーを守らない自動車の運転者」が24.7%で最も高い。
- その他の内訳について、「高齢者ドライバー」や「道路整備が不十分であること」、「運転中や歩きながらのスマホ」などの意見がみられた。

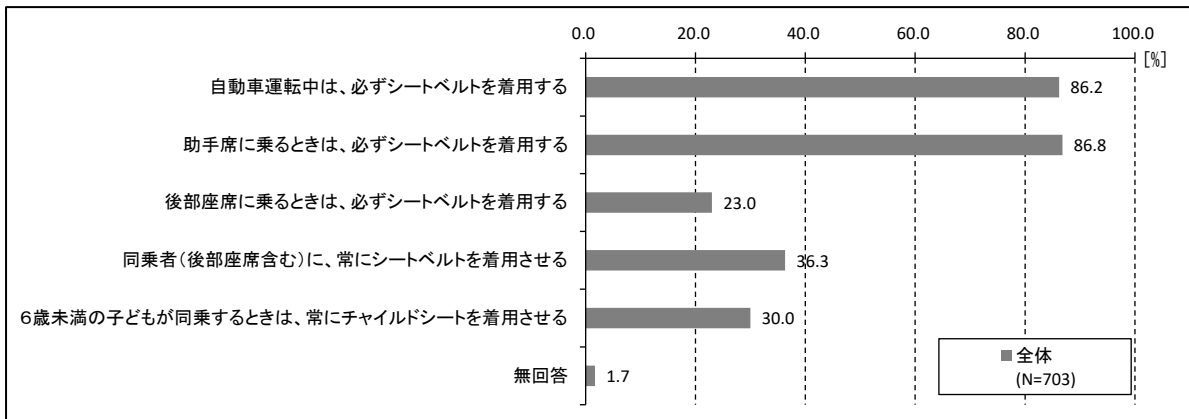


(21)シートベルトやチャイルドシートの着用状況について

問 8. あなたは、シートベルトやチャイルドシートの着用について、普段どのようなことをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

後部座席に乗るときにシートベルトを必ず着用する人は2割程度

●運転中や助手席に乗るときでも、必ずシートベルトを着用する人は9割に届かず、後部座席では2割程度。



【保護者の属性別特徴】

●男性・25～59歳では、「同乗者（後部座席を含む）」に、常にシートベルトを着用させる」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	シートベルトを着用する	助手席に乗るときは、必ずシートベルトを着用する	後部座席に乗るときは、必ずシートベルトを着用する	同乗者(後部座席含む)に、常にシートベルトを着用させる	6歳未満の子どもが同乗するときは、常にチャイルドシートを着用させる	無回答	
上段:実数、下段:%									
全体		703	806	610	162	255	211	12	
		100.0	86.2	86.8	23.0	36.3	30.0	1.7	
性別	男性	276	246	231	81	124	82	5	
		100.0	89.1	83.7	29.3	44.9	29.7	1.8	
	女性	418	352	371	79	127	127	7	
	100.0	84.2	88.8	18.9	30.4	30.4	1.7		
	回答しない	5	4	5	2	2	1	0	
	100.0	80.0	100.0	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28	20	22	6	7	6	2
			100.0	71.4	78.6	21.4	25.0	21.4	7.1
	女性	44	34	37	8	11	7	2	
		100.0	77.3	84.1	18.2	25.0	15.9	4.5	
	25～29歳	男性	14	13	12	4	7	5	0
			100.0	92.9	85.7	28.6	50.0	35.7	0.0
	女性	41	36	35	6	8	15	1	
		100.0	87.8	85.4	14.6	14.6	36.6	2.4	
	30～34歳	男性	19	19	16	6	11	19	0
			100.0	100.0	84.2	31.6	57.9	47.4	0.0
	女性	45	41	41	11	15	19	0	
		100.0	91.1	91.1	24.4	33.3	42.2	0.0	
	35～39歳	男性	34	30	30	12	15	11	0
			100.0	88.2	88.2	35.3	44.1	32.4	0.0
	女性	36	31	32	6	10	11	0	
		100.0	86.1	88.9	16.7	27.8	30.6	0.0	
	40～44歳	男性	27	25	22	9	14	12	0
			100.0	92.6	81.5	33.3	51.9	44.4	0.0
	女性	37	33	31	7	15	11	0	
		100.0	89.2	83.8	18.9	40.5	29.7	0.0	
	45～49歳	男性	37	32	29	14	18	8	0
			100.0	86.5	78.4	37.8	43.2	21.6	0.0
	女性	35	31	34	7	8	11	0	
		100.0	88.6	97.1	20.0	22.9	31.4	0.0	
50～54歳	男性	34	31	30	8	18	7	0	
		100.0	91.2	88.2	23.5	47.1	20.6	0.0	
女性	33	30	29	5	11	10	0		
	100.0	90.9	87.9	15.2	33.3	30.3	0.0		
55～59歳	男性	44	39	37	14	24	11	2	
		100.0	88.6	84.1	31.8	54.5	25.0	4.5	
女性	62	50	57	11	21	17	3		
	100.0	80.6	91.9	17.7	33.9	27.4	4.8		
60～64歳	男性	38	36	32	8	14	13	1	
		100.0	94.7	84.2	21.1	36.8	34.2	2.6	
女性	83	64	73	18	30	26	1		
	100.0	77.1	88.0	21.7	36.1	31.3	1.2		

◆表 自動車やバイクの運転状況別◆

		サンプル数	シートベルトを着用する	助手席に乗るときは、必ずシートベルトを着用する	後部座席に乗るときは、必ずシートベルトを着用する	同乗者(後部座席含む)に、常にシートベルトを着用させる	6歳未満の子どもが同乗するときは、常にチャイルドシートを着用させる	無回答
上段:実数、下段:%								
全体		595	580	519	132	240	187	6
		100.0	97.5	87.2	22.2	40.3	31.4	1.0
ク自動車 の運転 状況バ イク	ほぼ毎日運転する	482	472	421	105	203	157	4
		100.0	97.9	87.3	21.8	42.1	32.6	0.8
	ときどき運転する	93	92	83	24	32	27	0
		100.0	98.9	89.2	25.8	34.4	29.0	0.0
ほとんど運転しない	20	16	15	3	5	3	2	
	100.0	80.0	75.0	15.0	25.0	15.0	10.0	

### 3 「高齢者虐待の防止」について

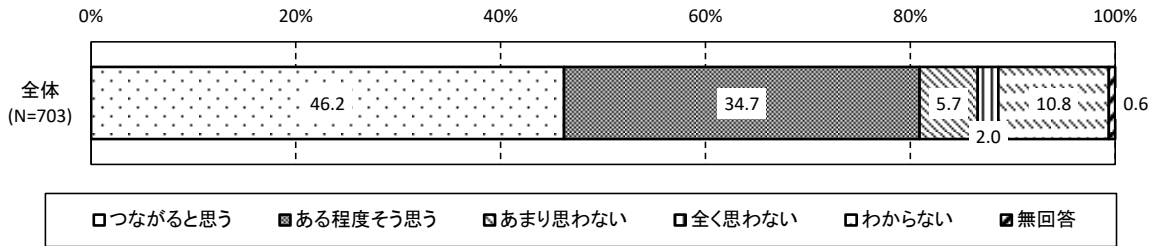
#### (22) 認知症の理解不足と高齢者虐待の関係性について

問9. あなたは、認知症の理解不足が高齢者虐待につながると考えますか。

(○はひとつ)

認知症の理解不足が高齢者の虐待につながると考える人は約8割

● 認知症の理解不足と高齢者虐待の関係性について、「つながると思う」が46.2%で最も高く、次いで「ある程度そう思う」が34.7%と続く。



#### 【属性別特徴】

- 男女・25～29歳では、「つながると思う」の割合が高い。
- 世帯の中に就学前の子どもがいる人では、「つながると思う」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	つながると思う	ある程度そう思う	あまり思わない	全く思わない	わからない	無回答	
上段:実数, 下段:%									
全体		703	325	244	40	14	76	4	
		100.0	46.2	34.7	5.7	2.0	10.8	0.6	
性別	男性	276	118	101	15	8	32	2	
		100.0	42.8	36.6	5.4	2.9	11.6	0.7	
	女性	418	204	142	24	4	42	2	
		100.0	48.8	34.0	5.7	1.0	10.0	0.5	
	回答しない	5	2	0	1	0	2	0	
		100.0	40.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28	10	9	3	1	4	1
			100.0	35.7	32.1	10.7	3.6	14.3	3.6
	女性	44	25	14	1	0	4	0	
		100.0	56.8	31.8	2.3	0.0	9.1	0.0	
	25～29歳	男性	14	6	4	2	0	2	0
			100.0	42.9	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0
	女性	41	29	8	1	1	2	0	
		100.0	70.7	19.5	2.4	2.4	4.9	0.0	
	30～34歳	男性	19	9	9	0	0	0	1
			100.0	47.4	47.4	0.0	0.0	0.0	5.3
	女性	45	22	14	3	0	6	0	
		100.0	48.9	31.1	6.7	0.0	13.3	0.0	
	35～39歳	男性	34	13	12	2	0	7	0
			100.0	38.2	35.3	5.9	0.0	20.6	0.0
	女性	36	20	12	0	1	3	0	
		100.0	55.6	33.3	0.0	2.8	8.3	0.0	
	40～44歳	男性	27	12	10	1	0	4	0
			100.0	44.4	37.0	3.7	0.0	14.8	0.0
	女性	37	17	12	5	0	3	0	
		100.0	45.9	32.4	13.5	0.0	8.1	0.0	
	45～49歳	男性	37	21	8	0	2	6	0
			100.0	56.8	21.6	0.0	5.4	16.2	0.0
	女性	35	16	14	1	1	2	1	
		100.0	45.7	40.0	2.9	2.9	5.7	2.9	
50～54歳	男性	34	8	18	2	2	4	0	
		100.0	23.5	52.9	5.9	5.9	11.8	0.0	
女性	33	13	14	1	0	5	0		
	100.0	39.4	42.4	3.0	0.0	15.2	0.0		
55～59歳	男性	44	17	19	4	2	2	0	
		100.0	38.6	43.2	9.1	4.5	4.5	0.0	
女性	62	25	24	5	0	7	1		
	100.0	40.3	38.7	8.1	0.0	11.3	1.6		
60～64歳	男性	38	21	12	1	1	3	0	
		100.0	55.3	31.6	2.6	2.6	7.9	0.0	
女性	83	35	30	7	1	10	0		
	100.0	42.2	36.1	8.4	1.2	12.0	0.0		

◆表 同居している家族別◆

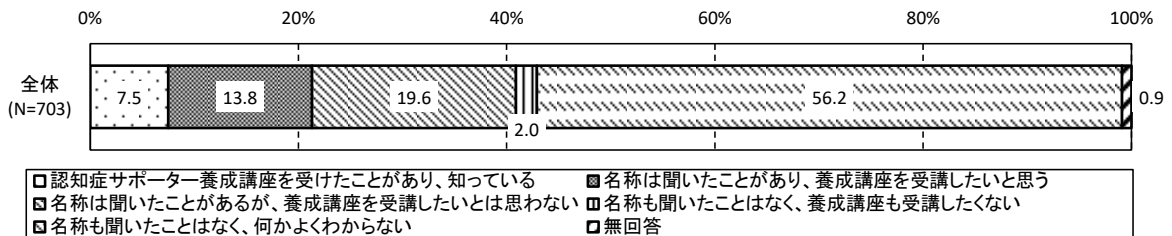
		サンプル数	つながると思う	ある程度そう思う	あまり思わない	全く思わない	わからない	無回答
上段:実数, 下段:%								
全体		703	325	244	40	14	76	4
		100.0	46.2	34.7	5.7	2.0	10.8	0.6
同居している家族	1.世帯の中に就学前の子どもがいる	61	35	17	2	0	7	0
		100.0	57.4	27.9	3.3	0.0	11.5	0.0
	2.世帯の中に小学生がいる	62	28	20	3	1	10	0
		100.0	45.2	32.3	4.8	1.6	16.1	0.0
	3.世帯の中に中学生がいる	35	17	10	3	0	5	0
		100.0	48.6	28.6	8.6	0.0	14.3	0.0
	4.世帯の中に1～3以外の18歳未満の子どもがいる	35	19	11	0	1	4	0
	100.0	54.3	31.4	0.0	2.9	11.4	0.0	
5.世帯の中に65歳以上の人がいる	217	87	83	17	1	27	2	
	100.0	40.1	38.2	7.8	0.5	12.4	0.9	
6.世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる	76	34	29	7	2	4	0	
	100.0	44.7	38.2	9.2	2.6	5.3	0.0	
7.世帯に上記1～6にあてはまる人はいない	280	138	92	15	6	27	2	
	100.0	49.3	32.9	5.4	2.1	9.6	0.7	

(23) 認知症サポーターの認知度

問 10. あなたは、「認知症サポーター」について知っていますか。(○はひとつ)

5 割以上の人が「認知症サポーター」を知らない

● 認知症サポーターの認知度について、「名称も聞いたことはなく、何かよくわからない」が 56.2% で最も高い。



【属性別特徴】

- 男女・25～29 歳、男性・30～34 歳では、「認知症サポーター養成講座を受けたことがあり、知っている」の割合が高い。
- 男性・18～24 歳、男女・50～54 歳、女性・30～34 歳、男女・35～44 歳では、「名称も聞いたことはなく、何かよくわからない」の割合が高い。
- 認知症の理解不足と高齢者虐待の関係性がわからない人では、「名称も聞いたことはなく、何かよくわからない」の割合が高い。

◆ 表 性別・年代別 ◆

		サンプル数	知座を 受けた こと あり、講 座を受 講した こと あり	認知 症サポ ーター 養成 講座 を受 講した こと あり	名称 も聞 いた こと があ り、 養成 講座 を受 講し たこ とが あ る	名称 も聞 いた こと があ るが、 養成 講座 を受 講し たこ とが あ る	名称 も聞 いた こと はな く、 養成 講座 を受 講し たこ とが あ る	名称 も聞 いた こと はな く、 養成 講座 を受 講し たこ とが あ る	無 回 答
上段:実数, 下段:%		703	53	97	138	14	395	6	
全 体		100.0	7.5	13.8	19.6	2.0	56.2	0.9	
性別	男性	276	16	25	58	7	166	4	
	女性	418	37	71	78	7	223	2	
	回答しない	5	0	1	0	0	4	0	
性別・年代別	18～24歳	28	0	1	5	2	19	1	
	25～29歳	44	2	9	9	0	24	0	
	30～34歳	14	2	1	2	1	8	0	
	35～39歳	41	7	4	9	1	20	0	
	40～44歳	19	3	2	3	0	10	1	
	45～49歳	37	3	7	8	1	16	0	
	50～54歳	34	1	2	6	1	23	1	
	55～59歳	62	7	10	16	0	28	1	
	60～64歳	38	3	5	8	3	19	0	

◆ 表 広報紙の閲読状況別 ◆

		サンプル数	知座を 受けた こと あり、講 座を受 講した こと あり	認知 症サポ ーター 養成 講座 を受 講した こと あり	名称 も聞 いた こと があ り、 養成 講座 を受 講し たこ とが あ る	名称 も聞 いた こと があ るが、 養成 講座 を受 講し たこ とが あ る	名称 も聞 いた こと はな く、 養成 講座 を受 講し たこ とが あ る	名称 も聞 いた こと はな く、 養成 講座 を受 講し たこ とが あ る	無 回 答
上段:実数, 下段:%		703	53	97	138	14	395	6	
全 体		100.0	7.5	13.8	19.6	2.0	56.2	0.9	
広報紙の 閲読状 況	毎号必ず読む	225	19	43	55	4	100	4	
	ときどき読む	213	21	30	44	5	113	0	
	あまり読まない	136	6	17	20	1	92	0	
	まったく読まない	125	7	6	18	4	88	2	

◆ 表 認知症の理解不足と高齢者虐待の関係性別 ◆

		サンプル数	知座を 受けた こと あり、講 座を受 講した こと あり	認知 症サポ ーター 養成 講座 を受 講した こと あり	名称 も聞 いた こと があ り、 養成 講座 を受 講し たこ とが あ る	名称 も聞 いた こと があ るが、 養成 講座 を受 講し たこ とが あ る	名称 も聞 いた こと はな く、 養成 講座 を受 講し たこ とが あ る	名称 も聞 いた こと はな く、 養成 講座 を受 講し たこ とが あ る	無 回 答
上段:実数, 下段:%		703	53	97	138	14	395	6	
全 体		100.0	7.5	13.8	19.6	2.0	56.2	0.9	
広報紙の 閲読状 況	毎号必ず読む	225	19	43	55	4	100	4	
	ときどき読む	213	21	30	44	5	113	0	
	あまり読まない	136	6	17	20	1	92	0	
	まったく読まない	125	7	6	18	4	88	2	

### 3 「高齢者虐待の防止」について

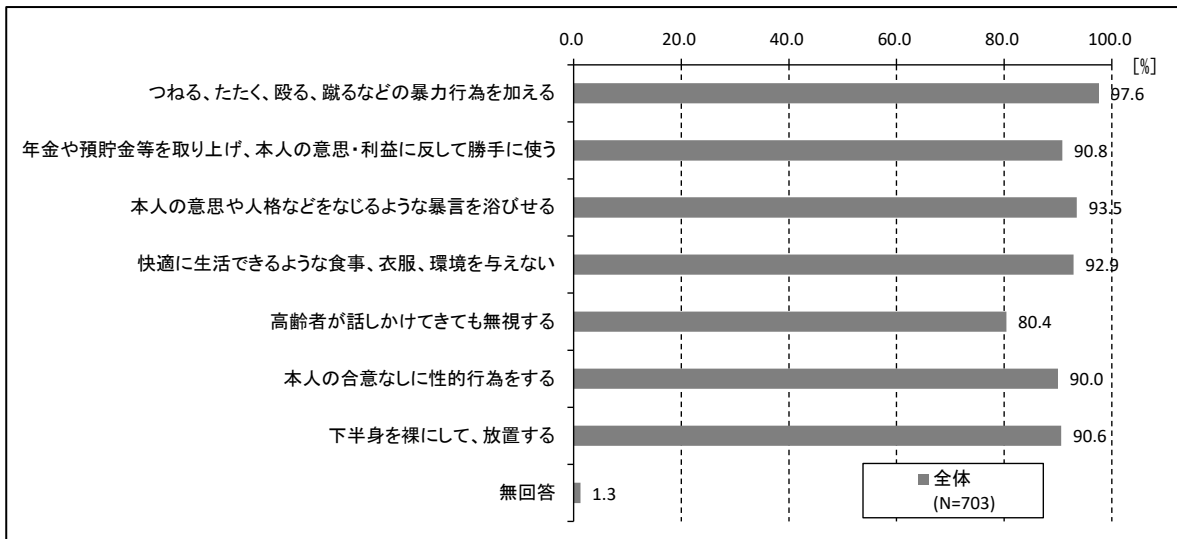
#### (24) 高齢者虐待にあたると思う行為

問 11. あなたは、次の行為は高齢者虐待にあたると思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

すべての行為において、高齢者虐待にあたらないと考えている人がいる

● 高齢者虐待にあたると思う行為について、「高齢者が話かけてきても無視する」以外で 9 割以上となっている。



#### 【属性別特徴】

● 男性・18～29 歳では、「高齢者が話かけてきても無視する」の割合が低い。

◆ 表 性別・年代別 ◆

性別・年代別	サンプル数	行為											無回答
		つねる、たたく、殴る、蹴るなどの暴力行為を加える	年金や預貯金等を取り上げ、本人の意思・利益に反して勝手に使う	本人の意思や人格などをなじるような暴言を浴びせる	快適に生活できるような食事、衣服、環境を与えない	高齢者が話かけてきても無視する	本人の合意なしに性的行為をする	下半身を裸にして、放置する	無回答				
全体	703	97.6	90.8	93.5	92.9	80.4	90.0	90.6	1.3				
性別	男性	96.4	88.0	92.4	90.6	78.3	86.2	87.3	1.8				
	女性	98.3	92.3	94.3	94.5	81.6	92.3	92.6	1.0				
年代別	18～24歳	26	23	26	24	18	22	23	1				
	25～29歳	41	41	40	41	37	41	41	0				
	30～34歳	19	19	16	19	16	17	17	0				
	35～39歳	34	34	32	31	32	26	31	0				
	40～44歳	36	36	32	34	35	28	34	0				
	45～49歳	35	35	33	35	34	32	34	0				
	50～54歳	34	32	32	31	31	31	32	1				
	55～59歳	62	60	58	57	55	51	56	2				
	60～64歳	83	80	72	72	77	64	74	1				

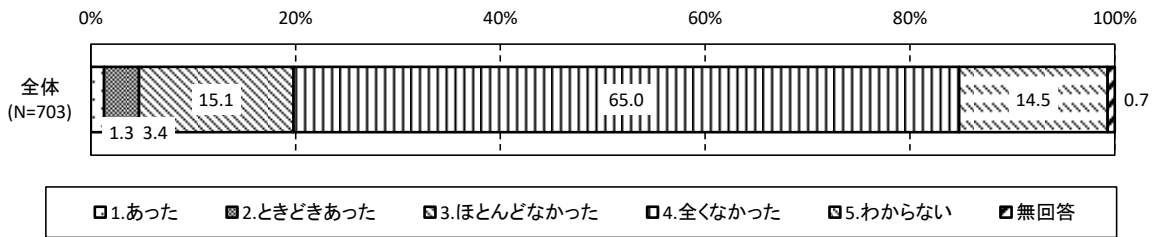


(25) 虐待しているのではと思った経験の有無

問 12. あなたは、これまで自分が高齢者虐待をしているのではないかと思うことがありましたか。(〇はひとつ)

虐待しているのではと思った経験は、6割以上の方が「全くなかった」

●虐待しているのではと思った経験の有無について、「全くなかった」が65.0%で最も高い。



【属性別特徴】

- 男性・55～59歳、女性・60～64歳では、「ほとんどなかった」の割合が高い。
- 世帯の中に中学生がいる人では、「全くなかった」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	1.あった	2.ときどきあった	3.ほとんどなかった	4.全くなかった	5.わからない	無回答	
上段:実数、下段:%									
全体		703	9	24	106	457	102	5	
		100.0	1.3	3.4	15.1	65.0	14.5	0.7	
性別	男性	276	6	8	46	174	41	1	
		100.0	2.2	2.9	16.7	63.0	14.9	0.4	
	女性	418	3	14	60	276	61	4	
	100.0	0.7	3.3	14.4	66.0	14.6	1.0		
	回答しない	5	0	0	0	5	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
性別・年代別	18～24歳	男性	28	1	0	3	20	4	0
			100.0	3.6	0.0	10.7	71.4	14.3	0.0
	女性	44	0	0	1	37	4	2	
		100.0	0.0	0.0	2.3	84.1	9.1	4.3	
	25～29歳	男性	14	0	1	1	12	0	0
		100.0	0.0	7.1	7.1	85.7	0.0	0.0	
	女性	41	0	0	3	36	2	0	
		100.0	0.0	0.0	7.3	87.8	4.9	0.0	
	30～34歳	男性	19	0	0	2	17	0	0
		100.0	0.0	0.0	10.5	89.5	0.0	0.0	
	女性	45	0	1	4	36	4	0	
		100.0	0.0	2.2	8.9	80.0	8.9	0.0	
35～39歳	男性	34	1	2	3	23	5	0	
	100.0	2.9	5.9	8.8	67.6	14.7	0.0		
女性	36	0	0	2	28	6	0		
	100.0	0.0	0.0	5.6	77.8	16.7	0.0		
40～44歳	男性	27	2	0	3	18	4	0	
	100.0	7.4	0.0	11.1	66.7	14.8	0.0		
女性	37	1	1	5	24	6	0		
	100.0	2.7	2.7	13.5	64.9	16.2	0.0		
45～49歳	男性	37	0	2	5	22	8	0	
	100.0	0.0	5.4	13.5	59.5	21.6	0.0		
女性	35	0	1	6	23	5	0		
	100.0	0.0	2.9	17.1	65.7	14.3	0.0		
50～54歳	男性	34	0	1	5	19	8	1	
	100.0	0.0	2.9	14.7	55.9	23.5	2.9		
女性	33	0	1	6	21	4	1		
	100.0	0.0	3.0	18.2	63.6	12.1	3.0		
55～59歳	男性	44	2	0	17	19	6	0	
	100.0	4.5	0.0	38.6	43.2	13.6	0.0		
女性	62	0	5	12	35	10	0		
	100.0	0.0	8.1	19.4	56.5	16.1	0.0		
60～64歳	男性	38	0	2	7	24	5	0	
	100.0	0.0	5.3	18.4	63.2	13.2	0.0		
女性	83	2	5	21	34	20	1		
	100.0	2.4	6.0	25.3	41.0	24.1	1.2		

◆表 同居している家族別◆

		サンプル数	1.あった	2.ときどきあった	3.ほとんどなかった	4.全くなかった	5.わからない	無回答
上段:実数、下段:%								
全体		703	9	24	106	457	102	5
		100.0	1.3	3.4	15.1	65.0	14.5	0.7
同居している家族	1.世帯の中に就学前の子もがいる	61	1	0	8	41	9	2
		100.0	1.6	0.0	13.1	67.2	14.8	3.3
	2.世帯の中に小学生がいる	62	1	2	6	42	10	1
		100.0	1.6	3.2	9.7	67.7	16.1	1.6
	3.世帯の中に中学生がいる	35	0	0	1	30	4	0
		100.0	0.0	0.0	2.9	85.7	11.4	0.0
	4.世帯の中に1～3歳以外の18歳未満の子もがいる	35	0	0	9	25	1	0
	100.0	0.0	0.0	25.7	71.4	2.9	0.0	
5.世帯の中に65歳以上の人がいる	217	2	15	38	116	45	1	
	100.0	0.9	6.9	17.5	53.5	20.7	0.5	
6.世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる	76	1	8	13	41	13	0	
	100.0	1.3	10.5	17.1	53.9	17.1	0.0	
7.世帯に上記1～6にあてはまる人はいない	280	2	5	39	199	33	2	
	100.0	0.7	1.8	13.9	71.1	11.8	0.7	

◆表 認知症の理解不足と高齢者虐待の関係性別◆

		サンプル数	1.あった	2.ときどきあった	3.ほとんどなかった	4.全くなかった	5.わからない	無回答
上段:実数、下段:%								
全体		703	9	24	106	457	102	5
		100.0	1.3	3.4	15.1	65.0	14.5	0.7
高齢者虐待の理解不足と関係性	つながると思う	325	6	11	45	220	41	2
		100.0	1.8	3.4	13.8	67.7	12.6	0.6
	ある程度そう思う	244	2	12	44	152	34	0
		100.0	0.8	4.9	18.0	62.3	13.9	0.0
	あまり思わない	40	0	0	7	28	4	1
	100.0	0.0	0.0	17.5	70.0	10.0	2.5	
全く思わない	14	0	0	3	8	3	0	
	100.0	0.0	0.0	21.4	57.1	21.4	0.0	
わからない	76	1	1	7	45	20	2	
	100.0	1.3	1.3	9.2	59.2	26.3	2.6	

### 3 「高齢者虐待の防止」について

#### (26) 自身の行為について感じる事

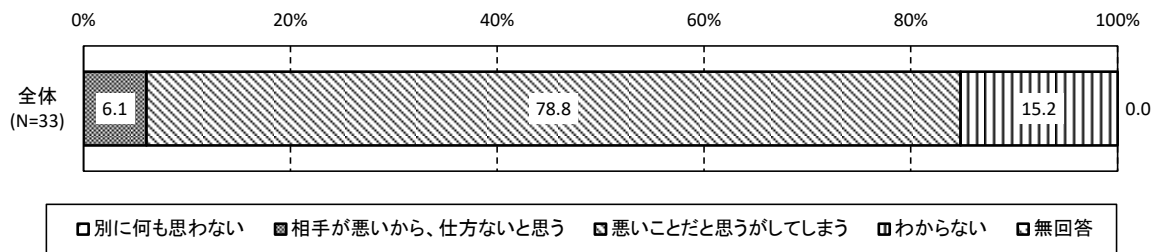
問 12 で、「1」～「2」と回答された方にお聞きします。

問 12-1. あなたは、問 12 でお答えいただいた行為についてどう思っていますか。

(○はひとつ)

自身の行為について、「悪いことだと思いがしてしまう」人が 8 割程度

●自身の行為について感じる事について、「悪いことだと思いがしてしまう」が 78.8% で最も高い。



#### 【属性別特徴】

●男性では、「相手が悪いと思うから、仕方ないと思う」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

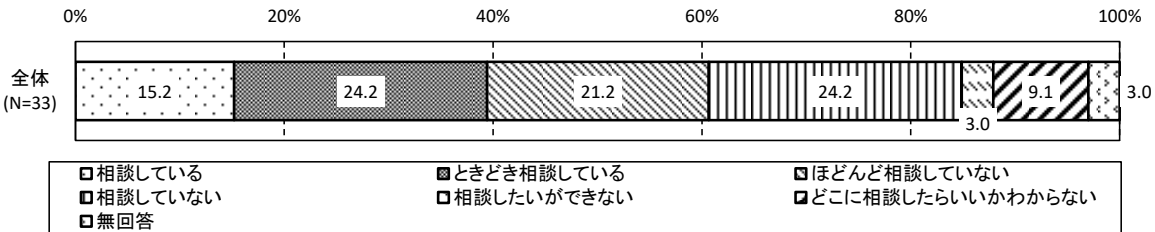
		サンプル数	別に何も思わない	相手が悪いと思うから、仕方ないと思う	悪いことだと思いがしてしまう	わからない	
上段:実数、下段:%							
全 体		33	0	2	26	5	
		100.0	0.0	6.1	78.8	15.2	
性別	男性	14	0	2	10	2	
		100.0	0.0	14.3	71.4	14.3	
	女性	17	0	0	14	3	
		100.0	0.0	0.0	82.4	17.6	
回答しない		0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	1	0	0	1	0
			100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	女性	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	25～29歳	男性	1	0	0	1	0
			100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	女性	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	30～34歳	男性	0	0	0	0	0
			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	1	0	0	1	0	
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	35～39歳	男性	3	0	2	1	0
			100.0	0.0	66.7	33.3	0.0
	女性	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	40～44歳	男性	2	0	0	1	1
			100.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	女性	2	0	0	1	1	
		100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	
45～49歳	男性	2	0	0	2	0	
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
女性	1	0	0	1	0		
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0		
50～54歳	男性	1	0	0	1	0	
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
女性	1	0	0	1	0		
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0		
55～59歳	男性	2	0	0	2	0	
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
女性	5	0	0	4	1		
	100.0	0.0	0.0	80.0	20.0		
60～64歳	男性	2	0	0	1	1	
		100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	
女性	7	0	0	6	1		
	100.0	0.0	0.0	85.7	14.3		

(27) 自身の虐待行為についての相談状況

問 12-2. あなたは、問 12 でお答えいただいた行為について相談していますか。(〇はひとつ)

自身の虐待行為について 4 割程度の人が相談している

●自身の虐待行為についての相談状況について、「ときどき相談している」「相談していない」がそれぞれ 24.2% で最も高い。



【属性別特徴】

●女性では、「ときどき相談している」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	相談している	ときどき相談している	ほとんど相談していない	相談していない	相談したいができない	いかに相談したいかわからない	無回答	
上段:実数, 下段:%										
全体		33	5	8	7	8	1	3	1	
		100.0	15.2	24.2	21.2	24.2	3.0	9.1	3.0	
性別	男性	14	3	1	4	4	0	2	0	
		100.0	21.4	7.1	28.6	28.6	0.0	14.3	0.0	
	女性	17	2	6	3	4	1	0	1	
		100.0	11.8	35.3	17.6	23.5	5.9	0.0	5.9	
回答しない		0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	18~24歳	男性	1	0	1	0	0	0	0	
			100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	25~29歳	男性	1	0	0	0	1	0	0	0
			100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	30~34歳	男性	0	0	0	0	0	0	0	0
			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	1	0	0	1	0	0	0	0	
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	35~39歳	男性	3	1	0	1	1	0	0	0
			100.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	40~44歳	男性	2	1	0	0	0	0	1	0
			100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	女性	2	0	0	0	2	0	0	0	
		100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	45~49歳	男性	2	1	0	1	0	0	0	0
			100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	1	0	0	1	0	0	0	0	
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
50~54歳	男性	1	0	0	1	0	0	0	0	
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
女性	1	0	1	0	0	0	0	0		
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
55~59歳	男性	2	0	0	0	1	0	1	0	
		100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	
女性	5	2	2	1	0	0	0	0		
	100.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
60~64歳	男性	2	0	0	1	1	0	0	0	
		100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
女性	7	0	3	0	2	1	0	1		
	100.0	0.0	42.9	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3		

◆表 広報紙の閲読状況別◆

		サンプル数	相談している	ときどき相談している	ほとんど相談していない	相談していない	相談したいができない	いかに相談したいかわからない	無回答
上段:実数, 下段:%									
全体		33	5	8	7	8	1	3	1
		100.0	15.2	24.2	21.2	24.2	3.0	9.1	3.0
広報紙の閲読状況	毎号必ず読む	11	2	3	0	4	1	1	0
		100.0	18.2	27.3	0.0	36.4	9.1	9.1	0.0
	ときどき読む	10	2	2	3	1	0	1	1
		100.0	20.0	20.0	30.0	10.0	0.0	10.0	10.0
あまり読まない	6	1	1	2	1	0	1	0	
	100.0	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	
まったく読まない	6	0	2	2	2	0	0	0	
	100.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	

◆表 自身の行為について感じる事別◆

		サンプル数	相談している	ときどき相談している	ほとんど相談していない	相談していない	相談したいができない	いかに相談したいかわからない	無回答
上段:実数, 下段:%									
全体		33	5	8	7	8	1	3	1
		100.0	15.2	24.2	21.2	24.2	3.0	9.1	3.0
自身で感じる行為について	別に何も思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	相手が悪いから、仕方ないと思う	2	0	0	1	1	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	悪いことだと思うがしてしまっ	26	5	8	5	4	1	2	1
		100.0	19.2	30.8	19.2	15.4	3.8	7.7	3.8
わからない	5	0	0	1	3	0	1	0	
	100.0	0.0	0.0	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	

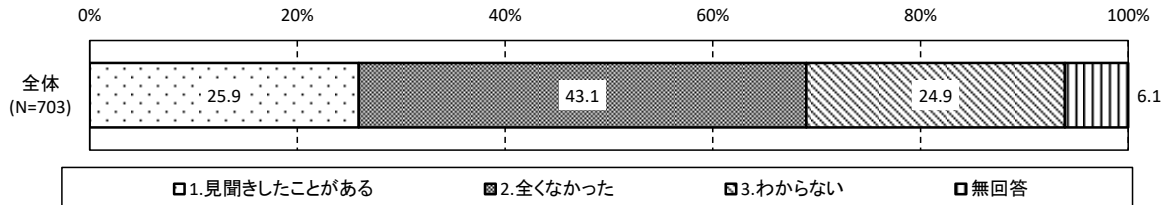
### 3 「高齢者虐待の防止」について

#### (28) 高齢者の虐待を見聞きした経験の有無

問 13. あなたは、これまで高齢者虐待を見聞きしたことがありますか。(○はひとつ)

高齢者の虐待について、4分の1の人が「見聞きしたことがある」

● 高齢者の虐待を見聞きした経験の有無について、「全くなかった」が43.1%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

● 男性・60～64歳、女性・50～54歳では、「見聞きしたことがある」の割合が高い。

#### ◆ 表 性別・年代別 ◆

		サンプル数	1. 見聞きしたことがある	2. 全くなかった	3. わからない	無回答	
上段:実数、下段:%							
全 体		703	182	303	175	43	
		100.0	25.9	43.1	24.9	6.1	
性別	男性	276	68	123	68	17	
		100.0	24.6	44.6	24.6	6.2	
	女性	418	112	175	105	26	
		100.0	26.8	41.9	25.1	6.2	
	回答しない	5	0	4	1	0	
		100.0	0.0	80.0	20.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28	5	14	7	2
			100.0	17.9	50.0	25.0	7.1
		女性	44	9	22	9	4
			100.0	20.5	50.0	20.5	9.1
	25～29歳	男性	14	3	5	6	0
			100.0	21.4	35.7	42.9	0.0
		女性	41	11	21	4	5
			100.0	26.8	51.2	9.8	12.2
	30～34歳	男性	19	3	11	3	2
			100.0	15.8	57.9	15.8	10.5
		女性	45	9	24	9	3
			100.0	20.0	53.3	20.0	6.7
	35～39歳	男性	34	6	18	7	3
			100.0	17.6	52.9	20.6	8.8
		女性	36	8	19	7	2
			100.0	22.2	52.8	19.4	5.6
	40～44歳	男性	27	7	11	7	2
			100.0	25.9	40.7	25.9	7.4
	女性	37	11	13	11	2	
		100.0	29.7	35.1	29.7	5.4	
45～49歳	男性	37	10	17	9	1	
		100.0	27.0	45.9	24.3	2.7	
	女性	35	11	10	12	2	
		100.0	31.4	28.6	34.3	5.7	
50～54歳	男性	34	10	14	7	3	
		100.0	29.4	41.2	20.6	8.8	
	女性	33	12	13	8	0	
		100.0	36.4	39.4	24.2	0.0	
55～59歳	男性	44	12	19	10	3	
		100.0	27.3	43.2	22.7	6.8	
	女性	62	19	24	16	3	
		100.0	30.6	38.7	25.8	4.8	
60～64歳	男性	38	12	14	11	1	
		100.0	31.6	36.8	28.9	2.6	
	女性	83	22	28	28	5	
		100.0	26.5	33.7	33.7	6.0	

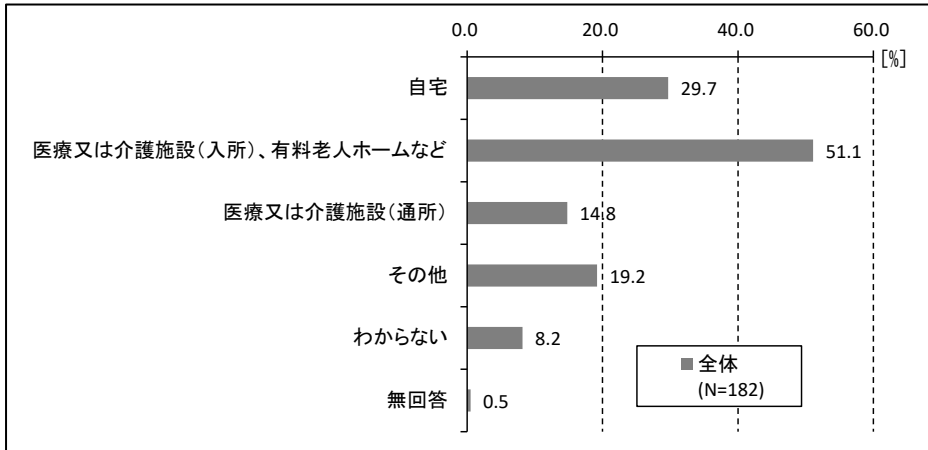
(29) 虐待がされた場所

問 13 で、「1」と回答された方にお聞きします。

問 13-1. 虐待がされた場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

虐待がされた場所は、「医療又は介護施設（入所）、有料老人ホームなど」が半数

- 虐待がされた場所について、「医療又は介護施設（入所）、有料老人ホームなど」が 51.1% で最も高い。
- その他の内訳について、「テレビ」や「ニュース」などの意見が多くみられた。



【属性別特徴】

- 男性・55～64 歳、女性・45～54 歳では、「自宅」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	自宅	ホームなど	医療又は介護施設(入所) 有料老人ホーム	医療又は介護施設(通所)	その他	わからない	無回答
上段: 素数, 下段: %									
全体		182	54	93	27	35	15	1	
		100.0	29.7	51.1	14.8	19.2	8.2	0.5	
性別	男性	68	22	34	11	13	7	1	
		100.0	32.4	50.0	16.2	19.1	10.3	1.5	
	女性	112	32	58	16	21	8	0	
	100.0	28.6	51.8	14.3	18.8	7.1	0.0		
	回答しない	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	5	2	2	0	1	1	0
			100.0	40.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0
	女性	9	1	3	1	3	2	0	
		100.0	11.1	33.3	11.1	33.3	22.2	0.0	
	25～29歳	男性	3	1	1	1	0	1	0
			100.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
	女性	11	4	7	1	1	1	0	
		100.0	36.4	63.6	9.1	9.1	9.1	0.0	
	30～34歳	男性	3	1	3	1	0	0	0
			100.0	33.3	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	女性	9	0	6	0	3	0	0	
		100.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	
	35～39歳	男性	6	1	1	0	2	2	0
			100.0	16.7	16.7	0.0	33.3	33.3	0.0
	女性	8	3	5	3	1	0	0	
		100.0	37.5	62.5	37.5	12.5	0.0	0.0	
	40～44歳	男性	7	2	4	2	3	0	0
			100.0	28.6	57.1	28.6	42.9	0.0	0.0
	女性	11	4	6	3	1	1	0	
		100.0	36.4	54.5	27.3	9.1	9.1	0.0	
	45～49歳	男性	10	3	7	2	2	0	0
			100.0	30.0	70.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	女性	11	5	7	3	0	0	0	
		100.0	45.5	63.6	27.3	0.0	0.0	0.0	
50～54歳	男性	10	2	4	2	3	1	0	
		100.0	20.0	40.0	20.0	30.0	10.0	0.0	
女性	12	5	3	2	3	1	0		
	100.0	41.7	25.0	16.7	25.0	8.3	0.0		
55～59歳	男性	12	5	5	2	0	1	1	
		100.0	41.7	41.7	16.7	0.0	8.3	8.3	
女性	19	4	9	3	5	2	0		
	100.0	21.1	47.4	15.8	26.3	10.5	0.0		
60～64歳	男性	12	5	7	1	2	1	0	
		100.0	41.7	58.3	8.3	16.7	8.3	0.0	
女性	22	6	12	0	4	1	0		
	100.0	27.3	54.5	0.0	18.2	4.5	0.0		

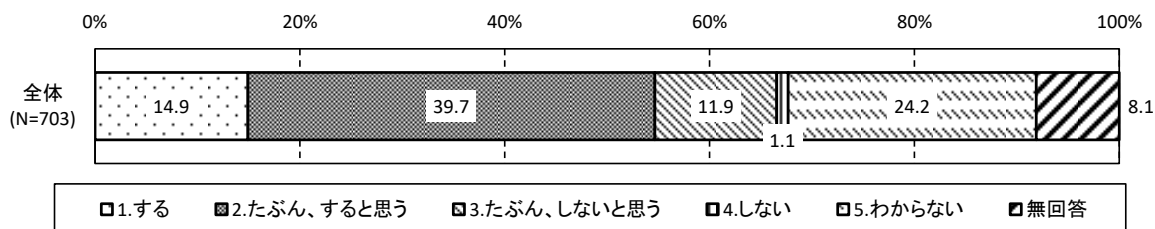
### 3 「高齢者虐待の防止」について

#### (30) 高齢者の虐待を見聞きした場合の対応（相談または通報）

問 14. あなたは、高齢者虐待を見聞きしたとき、相談又は通報しますか。(○はひとつ)

高齢者虐待を見聞きした場合、相談または通報する人は半数以上

● 高齢者虐待を見聞きした場合の対応（相談または通報）について、「たぶん、すると思う」が 39.7% で最も高い。



#### 【属性別特徴】

● 女性・25～29歳、女性・45～49歳では、「たぶん、しないと思う」の割合が高い。

◆ 表 性別・年代別 ◆

		サンプル数	1. する	2. たぶん、すると思う	3. たぶん、しないと思う	4. しない	5. わからない	無回答	
上段: 素数、下段: %									
全 体		703	105	279	84	8	170	57	
		100.0	14.9	39.7	11.9	1.1	24.2	8.1	
性別	男性	276	42	108	30	7	61	28	
		100.0	15.2	39.1	10.9	2.5	22.1	10.1	
女性	418	63	169	51	1	105	29		
	100.0	15.1	40.4	12.2	0.2	25.1	6.9		
回答しない		5	0	2	0	0	3	0	
		100.0	0.0	40.0	0.0	0.0	60.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28	6	10	3	1	6	2
			100.0	21.4	35.7	10.7	3.6	21.4	7.1
	女性	44	5	20	7	0	8	4	
		100.0	11.4	45.5	15.9	0.0	18.2	9.1	
	25～29歳	男性	14	1	7	2	0	2	2
			100.0	7.1	50.0	14.3	0.0	14.3	14.3
	女性	41	8	17	9	0	6	1	
		100.0	19.5	41.5	22.0	0.0	14.6	2.4	
	30～34歳	男性	19	4	10	1	1	1	2
			100.0	21.1	52.6	5.3	5.3	5.3	10.5
	女性	45	9	16	2	0	12	6	
		100.0	20.0	35.6	4.4	0.0	26.7	13.3	
	35～39歳	男性	34	2	14	4	1	9	4
			100.0	5.9	41.2	11.8	2.9	26.5	11.8
	女性	36	5	14	5	0	9	3	
		100.0	13.9	38.9	13.9	0.0	25.0	8.3	
	40～44歳	男性	27	5	9	1	0	7	5
			100.0	18.5	33.3	3.7	0.0	25.9	18.5
	女性	37	4	13	6	0	10	4	
		100.0	10.8	35.1	16.2	0.0	27.0	10.8	
45～49歳	男性	37	8	15	1	0	8	5	
		100.0	21.6	40.5	2.7	0.0	21.6	13.5	
女性	35	3	15	7	0	7	3		
	100.0	8.6	42.9	20.0	0.0	20.0	8.6		
50～54歳	男性	34	3	14	4	1	7	5	
		100.0	8.8	41.2	11.8	2.9	20.6	14.7	
女性	33	7	10	1	0	13	2		
	100.0	21.2	30.3	3.0	0.0	39.4	6.1		
55～59歳	男性	44	9	14	8	2	10	1	
		100.0	20.5	31.8	18.2	4.5	22.7	2.3	
女性	62	10	32	3	1	14	2		
	100.0	16.1	51.6	4.8	1.6	22.6	3.2		
60～64歳	男性	38	4	15	6	1	10	2	
		100.0	10.5	39.5	15.8	2.6	26.3	5.3	
女性	83	11	32	10	0	26	4		
	100.0	13.3	38.6	12.0	0.0	31.3	4.8		

◆ 表 広報紙の閲読状況別 ◆

		サンプル数	1. する	2. たぶん、すると思う	3. たぶん、しないと思う	4. しない	5. わからない	無回答
上段: 素数、下段: %								
全 体		703	105	279	84	8	170	57
		100.0	14.9	39.7	11.9	1.1	24.2	8.1
広報紙の 閲読状況	毎号必ず読む	225	43	91	28	2	47	14
		100.0	19.1	40.4	12.4	0.9	20.9	6.2
	ときどき読む	213	24	88	20	1	57	23
		100.0	11.3	41.3	9.4	0.5	26.8	10.8
あまり読まない	136	18	59	16	2	33	8	
	100.0	13.2	43.4	11.8	1.5	24.3	5.9	
まったく読まない	125	19	40	19	3	33	11	
	100.0	15.2	32.0	15.2	2.4	26.4	8.8	

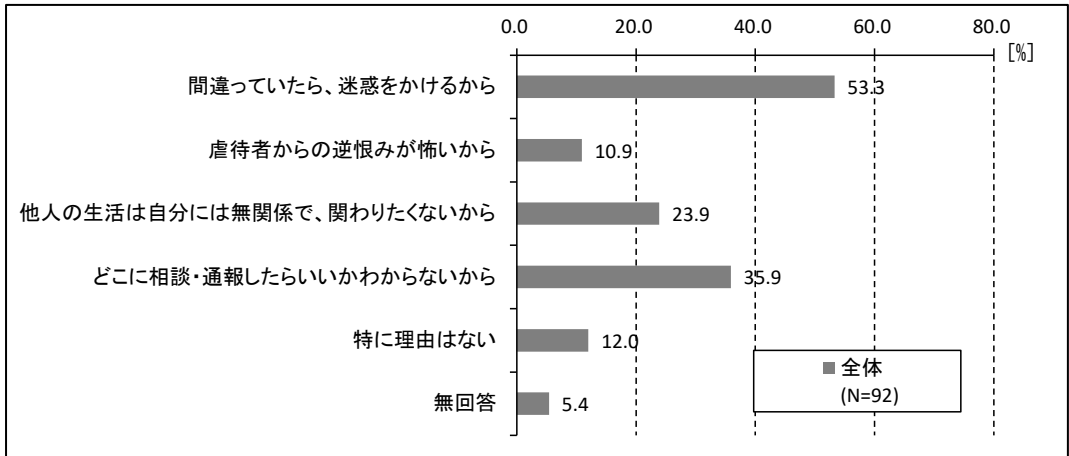
(3 1) 相談又は通報しない理由

問 14 で、「3」又は「4」と回答された方にお聞きします。

問 14-1. あなたが、相談又は通報しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

相談又は通報しない理由は「間違っていたら、迷惑をかけるから」が最多

●相談又は通報しない理由について、「間違っていたら、迷惑をかけるから」が 53.3% で最も高い。



【属性別特徴】

●女性では、「間違っていたら、迷惑をかけるから」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	間違っていたら、迷惑をかけるから、迷	が虐待者からの逆恨みが怖いから	他人の生活は自分には無関係で、関わりたくないから	どこに相談・通報したらいいかわからないから	特に理由はない	無回答	
上段:実数, 下段:%									
全 体		92 100.0	49 53.3	10 10.9	22 23.9	33 35.9	11 12.0	5 5.4	
性別	男性	37 100.0	15 40.5	2 5.4	10 27.0	12 32.4	7 18.9	3 8.1	
	女性	52 100.0	32 61.5	8 15.4	10 19.2	21 40.4	4 7.7	2 3.8	
	回答しない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
性別・年代別	18~24歳	男性	4 100.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0
		女性	7 100.0	3 42.9	0 0.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	0 0.0
	25~29歳	男性	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
		女性	9 100.0	3 33.3	2 22.2	5 55.6	6 66.7	1 11.1	0 0.0
	30~34歳	男性	2 100.0	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		女性	2 100.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	35~39歳	男性	5 100.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0
		女性	5 100.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0
	40~44歳	男性	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
		女性	6 100.0	5 83.3	1 16.7	2 33.3	2 33.3	0 0.0	0 0.0
	45~49歳	男性	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
		女性	7 100.0	6 85.7	1 14.3	1 14.3	3 42.9	0 0.0	0 0.0
	50~54歳	男性	5 100.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0
		女性	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	55~59歳	男性	10 100.0	5 50.0	0 0.0	2 20.0	5 50.0	2 20.0	0 0.0
		女性	4 100.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0
	60~64歳	男性	7 100.0	3 42.9	1 14.3	3 42.9	0 0.0	0 0.0	2 28.6
		女性	10 100.0	6 60.0	1 10.0	0 0.0	3 30.0	0 0.0	2 20.0

## 4 「犯罪の防止・防犯力の向上」について

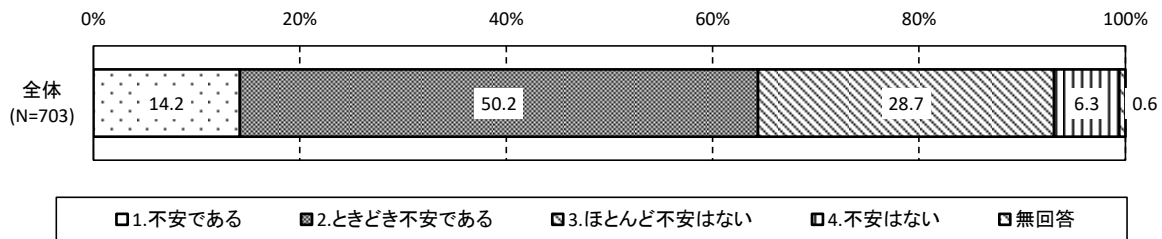
### (32) 犯罪の被害に対する不安

問 15. あなたは、生活の中で犯罪の被害にあうかもしれないという不安はありますか。

(○はひとつ)

犯罪に対する不安がある人が 6 割以上

● 犯罪に対する不安について、「ときどき不安である」が 50.2% で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 男性より女性が犯罪に対する不安がある割合が高い。
- 女性・25～29 歳、女性・40～44 歳では、「不安である」の割合が高い。
- 東部 B では、「不安である」の割合が高い。

◆ 表 性別・年代別 ◆

		サンプル数	1. 不安である	2. あるときどき不安である	3. ほとんど不安はない	4. 不安はない	無回答	
上段: 実数、下段: %								
全 体		703	100	353	202	44	4	
		100.0	14.2	50.2	28.7	6.3	0.6	
性別	男性	276	31	128	90	26	1	
		100.0	11.2	46.4	32.6	9.4	0.4	
	女性	418	66	220	111	18	3	
		100.0	15.8	52.6	26.6	4.3	0.7	
回答しない		5	2	3	0	0	0	
		100.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28	4	11	10	3	0
			100.0	14.3	39.3	35.7	10.7	0.0
	女性	44	9	22	12	1	0	
		100.0	20.5	50.0	27.3	2.3	0.0	
	25～29歳	男性	14	2	7	3	2	0
			100.0	14.3	50.0	21.4	14.3	0.0
	女性	41	11	20	10	0	0	
		100.0	26.8	48.8	24.4	0.0	0.0	
	30～34歳	男性	19	1	10	7	1	0
			100.0	5.3	52.6	36.8	5.3	0.0
	女性	45	7	30	7	1	0	
		100.0	15.6	66.7	15.6	2.2	0.0	
	35～39歳	男性	34	6	11	13	4	0
			100.0	17.6	32.4	38.2	11.8	0.0
	女性	36	5	20	9	2	0	
		100.0	13.9	55.6	25.0	5.6	0.0	
	40～44歳	男性	27	3	14	7	3	0
			100.0	11.1	51.9	25.9	11.1	0.0
	女性	37	11	16	10	0	0	
		100.0	29.7	43.2	27.0	0.0	0.0	
	45～49歳	男性	37	4	21	9	3	0
			100.0	10.8	56.8	24.3	8.1	0.0
	女性	35	5	24	6	0	0	
		100.0	14.3	68.6	17.1	0.0	0.0	
50～54歳	男性	34	3	16	12	3	0	
		100.0	8.8	47.1	35.3	8.8	0.0	
女性	33	5	17	7	3	1		
	100.0	15.2	51.5	21.2	9.1	3.0		
55～59歳	男性	44	6	21	12	4	1	
		100.0	13.6	47.7	27.3	9.1	2.3	
女性	62	5	38	16	3	0		
	100.0	8.1	61.3	25.8	4.8	0.0		
60～64歳	男性	38	2	16	17	3	0	
		100.0	5.3	42.1	44.7	7.9	0.0	
女性	83	7	33	33	8	2		
	100.0	8.4	39.8	39.8	9.6	2.4		

◆ 表 居住校區別 ◆

		サンプル数	1. 不安である	2. あるときどき不安である	3. ほとんど不安はない	4. 不安はない	無回答
上段: 実数、下段: %							
全 体		703	100	353	202	44	4
		100.0	14.2	50.2	28.7	6.3	0.6
居住校 区	東部A	57	4	30	20	3	0
		100.0	7.0	52.6	35.1	5.3	0.0
	東部B	40	14	15	11	0	0
		100.0	35.0	37.5	27.5	0.0	0.0
	北部A	66	12	30	19	4	1
		100.0	18.2	45.5	28.8	6.1	1.5
	北部B	35	3	15	13	4	0
		100.0	8.6	42.9	37.1	11.4	0.0
	中央東部	89	15	46	21	7	0
		100.0	16.9	51.7	23.6	7.9	0.0
	南東部	53	10	23	17	3	0
		100.0	18.9	43.4	32.1	5.7	0.0
	中央部	101	7	61	27	6	0
		100.0	6.9	60.4	26.7	5.9	0.0
中央南部	125	22	64	31	7	1	
	100.0	17.6	51.2	24.8	5.6	0.8	
南西部	72	4	39	20	7	2	
	100.0	5.6	54.2	27.8	9.7	2.8	
西部A	21	1	11	8	1	0	
	100.0	4.8	52.4	38.1	4.8	0.0	
西部B	26	4	9	11	2	0	
	100.0	15.4	34.6	42.3	7.7	0.0	



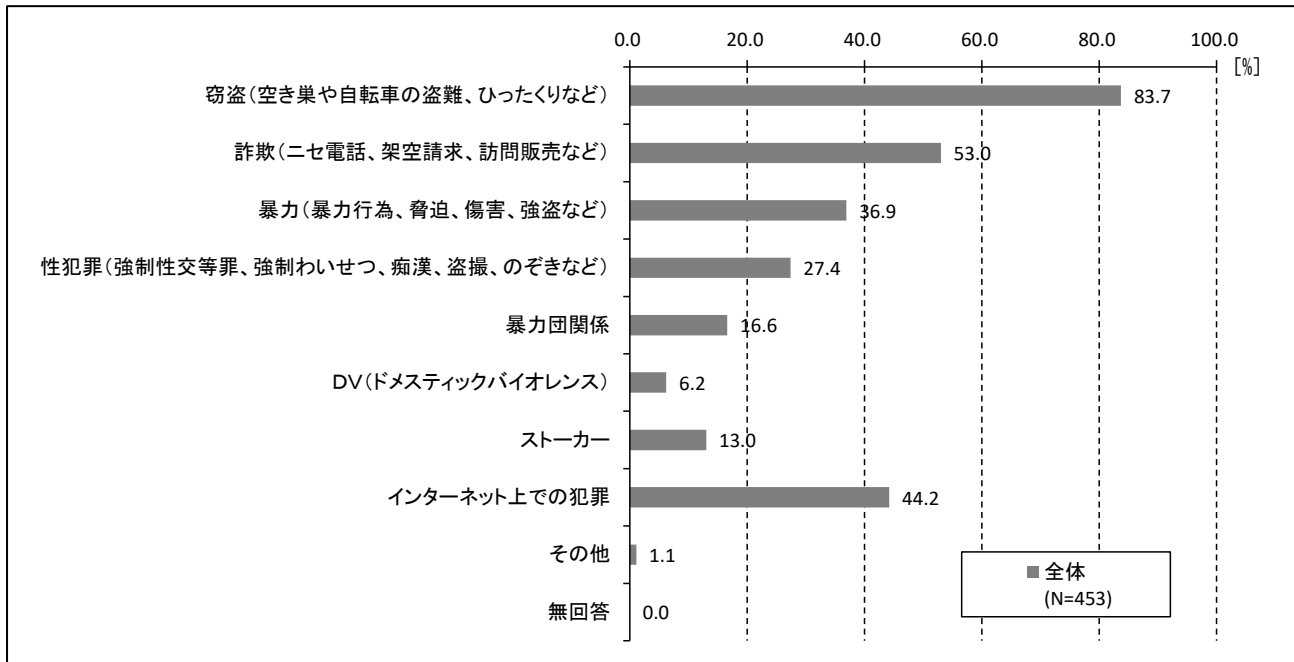
## (33) 不安を感じる犯罪

問 15 で、「1」又は「2」と回答された方にお聞きします。

問 15-1. あなたが、不安を感じる犯罪は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

不安を感じる犯罪は、「窃盗」が 8 割以上

● 不安を感じる犯罪について、「窃盗」が 83.7% で最も高い。



#### 4 「犯罪の防止・防犯力の向上」について

##### 【属性別特徴】

- 男性・40～44歳では、「暴力」の割合が高い。
- 女性・35～39歳では、「詐欺」の割合が高い。
- 女性・25～34歳では、「性犯罪」の割合が高い。
- 男女・25～29歳、40～44歳、50～54歳では、「インターネット上での犯罪」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	盗難 盗竊 （ひつたり車や自転車など）	詐欺 （訪問販売など）	暴力 （強盗など）	性犯罪 （わいせつ、猥褻、強姦、強姦等）	暴力団関係	イオレドメステイックバ	ストーカー	インターネット上での犯罪	その他	
上段:実数、下段:%												
性別	全体	453	379	240	167	124	75	28	59	200	5	
		100.0	83.7	53.0	36.9	27.4	16.6	6.2	13.0	44.2	1.1	
	男性	159	132	82	75	14	43	5	10	79	3	
		100.0	83.0	51.6	47.2	8.8	27.0	3.1	6.3	49.7	1.9	
女性	286	239	156	91	108	32	23	48	117	2		
	100.0	83.6	54.5	31.8	37.8	11.2	8.0	16.8	40.9	0.7		
	回答しない	5	5	1	0	1	0	0	1	2	0	
		100.0	100.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	15	12	10	8	1	1	1	1	6	0
			100.0	80.0	66.7	53.3	6.7	26.7	6.7	6.7	40.0	0.0
	女性	31	21	14	10	16	4	2	8	11	0	
		100.0	67.7	45.2	32.3	51.6	12.9	6.5	25.8	35.5	0.0	
	25～29歳	男性	9	5	7	0	0	5	0	0	5	0
			100.0	77.8	55.6	77.8	0.0	55.6	0.0	0.0	55.6	0.0
	女性	31	27	19	15	20	4	5	11	18	1	
		100.0	87.1	61.3	48.4	64.5	12.9	16.1	35.5	58.1	3.2	
	30～34歳	男性	11	9	3	6	2	3	0	0	5	0
			100.0	81.8	27.3	54.5	18.2	27.3	0.0	0.0	45.5	0.0
	女性	37	34	17	14	23	3	5	8	14	0	
		100.0	91.9	45.9	37.8	62.2	8.1	13.5	21.6	37.8	0.0	
	35～39歳	男性	17	15	6	8	1	4	0	3	9	0
			100.0	88.2	35.3	47.1	5.9	23.5	0.0	17.6	52.9	0.0
	女性	25	20	18	9	11	3	1	8	8	0	
		100.0	80.0	72.0	36.0	44.0	12.0	4.0	24.0	32.0	0.0	
	40～44歳	男性	17	15	9	12	3	8	2	3	10	0
			100.0	88.2	52.9	70.6	17.6	47.1	11.8	17.6	58.8	0.0
	女性	27	23	13	9	11	3	3	3	16	0	
		100.0	85.2	48.1	33.3	40.7	11.1	11.1	11.1	59.3	0.0	
	45～49歳	男性	25	19	12	13	4	7	1	1	13	1
			100.0	76.0	48.0	52.0	16.0	28.0	4.0	4.0	52.0	4.0
	女性	29	24	10	8	12	3	3	2	3	12	0
		100.0	82.8	34.5	27.6	41.4	10.3	6.9	10.3	41.4	0.0	
50～54歳	男性	19	16	13	6	1	3	0	1	12	1	
		100.0	84.2	68.4	31.6	5.3	15.8	0.0	5.3	63.2	5.3	
女性	22	19	14	5	5	1	2	4	13	1		
	100.0	86.4	63.6	22.7	22.7	4.5	9.1	18.2	59.1	4.5		
55～59歳	男性	27	24	14	8	1	6	0	0	10	0	
		100.0	88.9	51.9	29.6	3.7	22.2	0.0	0.0	37.0	0.0	
女性	43	36	26	10	4	5	1	3	33	0		
	100.0	83.7	60.5	23.3	9.3	11.6	2.3	7.0	30.2	0.0		
60～64歳	男性	18	14	10	7	1	3	1	1	9	1	
		100.0	77.8	55.6	38.9	5.6	16.7	5.6	5.6	44.4	5.6	
女性	40	34	24	10	5	5	1	1	11	0		
	100.0	85.0	60.0	25.0	12.5	12.5	2.5	2.5	27.5	0.0		

- 東部Bでは、「詐欺」「暴力」「暴力団関係」の割合が高い。
- 北部Aでは、「性犯罪」の割合が高い。
- 南西部では、「暴力団関係」の割合が高い。

◆表 居住校別◆

		サンプル数	盗難 盗竊 （ひつたり車や自転車など）	詐欺 （訪問販売など）	暴力 （強盗など）	性犯罪 （わいせつ、猥褻、強姦、強姦等）	暴力団関係	イオレドメステイックバ	ストーカー	インターネット上での犯罪	その他	
上段:実数、下段:%												
居住校別	全体	453	379	240	167	124	75	28	59	200	5	
		100.0	83.7	53.0	36.9	27.4	16.6	6.2	13.0	44.2	1.1	
	東部A	東部A	34	30	17	7	12	3	1	6	11	0
			100.0	88.2	50.0	20.6	35.3	8.8	2.9	17.6	32.4	0.0
	東部B	東部B	29	25	24	14	6	8	1	2	13	0
			100.0	86.2	82.8	48.3	20.7	27.6	3.4	6.9	44.8	0.0
	北部A	北部A	100	82	52	24	16	4	6	10	20	0
			100.0	82.0	52.0	24.0	16.0	4.0	6.0	10.0	20.0	0.0
	北部B	北部B	16	16	9	5	3	1	1	2	7	0
			100.0	100.0	56.3	31.3	18.8	6.3	6.3	12.5	43.8	0.0
	中央東部	中央東部	61	46	33	21	19	9	6	7	30	1
			100.0	75.4	54.1	34.4	31.1	14.8	9.8	11.5	49.2	1.6
	南東部	南東部	33	29	15	11	6	3	1	1	12	1
			100.0	87.9	45.5	33.3	18.2	9.1	3.0	3.0	36.4	3.0
	中央部	中央部	66	52	27	24	18	12	1	1	10	2
			100.0	78.8	40.9	36.4	27.3	13.6	1.5	1.5	15.2	3.0
	中央南部	中央南部	86	70	44	36	25	21	7	15	45	1
			100.0	81.4	51.2	41.9	29.1	24.4	8.1	17.4	52.3	1.2
	南西部	南西部	43	40	23	17	9	12	4	7	20	0
			100.0	93.0	53.5	39.5	20.9	27.9	9.3	16.3	46.5	0.0
	西部A	西部A	12	9	6	3	2	0	0	0	5	0
			100.0	75.0	50.0	25.0	16.7	0.0	0.0	0.0	41.7	0.0
	西部B	西部B	13	12	5	2	3	0	0	0	3	0
			100.0	92.3	38.5	15.4	23.1	0.0	0.0	0.0	23.1	0.0

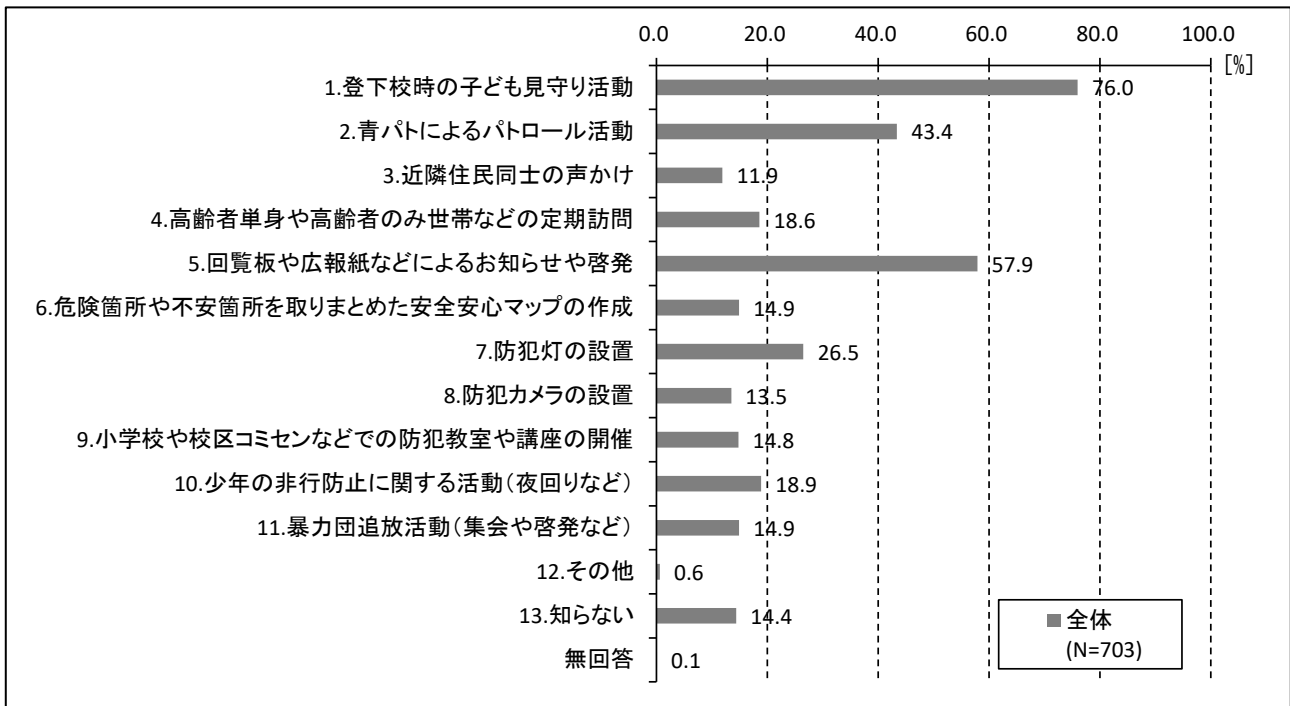
## (34) 地域で行われている防犯活動の認知度

問 16. あなたは、お住まいの地域で行われている防犯活動を知っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

地域で行われる防犯活動は、「登下校時の子ども見守り活動」が7割以上認知されている

●地域で行われている防犯活動の認知度について、「登下校時の子ども見守り活動」が76.0%で最も高い。



#### 4 「犯罪の防止・防犯力の向上」について

##### 【属性別特徴】

- 女性・18～24歳、女性・55～59歳では、「登下校時の子ども見守り活動」の割合が高い。
- 男性・18～24歳、男性・60～64歳では、「青パトによるパトロール活動」の割合が高い。
- 女性・50～59歳では、「高齢者単身や高齢者のみ世帯などの定期訪問」「回覧板や広報紙などによるお知らせや啓発」の割合が高い。
- 女性・55～64歳では、「防犯等の設置」の割合が高い。
- 女性・45～49歳、女性・55～59歳では、「少年の非行防止に関する活動」の割合が高い。
- 女性・55～59歳では、「暴力団追放活動」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	1. 見守り活動 登下校時の子ども	2. ロール活動 青パトによるパト	3. かけ 近隣住民同士の声	4. 訪問 み世帯者単身や高齢	5. 発 どによる 回覧板や お知らせ 紙や啓	6. 安 心マ ップ の作 成や 不安 箇	7. 防 犯 灯 の 設 置	8. 防 犯 カ メ ラ の 設 置	9. セ ン ナ ド の 開 催 や 講 座 の 開 催	10. 小 学 校 や 防 犯 区 教 室 に 関 す る 活 動 (夜 回 り 防 止)	11. 集 会 や 啓 発 な ど (暴 力 団 追 放 活 動)	12. その他	13. 知 ら な い	無 回 答	
上段:実数、下段:%																	
全 体		703 100.0	534 76.0	305 43.4	84 11.9	131 18.6	407 57.9	105 14.9	186 26.5	95 13.5	104 14.8	133 18.9	105 14.9	4 0.6	101 14.4	1 0.1	
性別	男性	276 100.0	204 73.9	127 46.0	31 11.2	38 13.8	148 53.6	39 14.1	71 25.7	41 14.9	30 10.9	41 14.9	38 13.8	2 0.7	50 18.1	1 0.4	
	女性	418 100.0	325 77.8	175 41.9	52 12.4	90 21.5	254 60.8	64 15.3	113 27.0	54 12.9	71 17.0	89 21.3	66 15.8	2 0.5	49 11.7	0 0.0	
	回答しない	5 100.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28 100.0	22 78.6	15 53.6	3 10.7	2 7.1	17 60.7	8 28.6	7 25.0	8 28.6	4 14.3	6 21.4	4 14.3	1 3.6	5 17.9	0 0.0
		女性	44 100.0	38 86.4	19 43.2	0 0.0	2 4.5	25 56.8	3 6.8	5 11.4	9 20.5	8 18.2	8 18.2	4 9.1	0 0.0	3 6.8	0 0.0
	25～29歳	男性	14 100.0	9 64.3	7 50.0	1 7.1	0 0.0	5 35.7	1 7.1	4 28.6	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 28.6	0 0.0
		女性	41 100.0	20 48.8	13 31.7	4 9.8	5 12.2	17 41.5	2 4.9	5 12.2	5 12.2	4 9.8	4 9.8	2 4.9	0 0.0	14 34.1	0 0.0
	30～34歳	男性	19 100.0	10 52.6	8 42.1	2 10.5	1 5.3	10 52.6	3 15.8	2 10.5	4 21.1	1 5.3	4 21.1	2 10.5	0 0.0	6 31.6	0 0.0
		女性	45 100.0	32 71.1	13 28.9	3 6.7	4 8.9	19 42.2	5 11.1	3 6.7	4 8.9	3 6.7	3 6.7	6 13.3	0 0.0	9 20.0	0 0.0
	35～39歳	男性	34 100.0	25 73.5	13 38.2	4 11.8	4 11.8	17 50.0	4 11.8	7 20.6	3 8.8	5 14.7	5 14.7	4 11.8	0 0.0	7 20.6	0 0.0
		女性	36 100.0	25 69.4	14 38.9	4 11.1	6 16.7	20 55.6	6 16.7	7 19.4	8 22.2	5 13.9	8 22.2	7 19.4	0 0.0	7 19.4	0 0.0
	40～44歳	男性	27 100.0	20 74.1	10 37.0	3 11.1	4 14.8	10 37.0	6 22.2	5 18.5	4 14.8	0 0.0	5 18.5	4 14.8	0 0.0	6 22.2	0 0.0
		女性	37 100.0	30 81.1	15 40.5	5 13.5	3 8.1	24 64.9	4 10.8	9 24.3	6 16.2	9 24.3	8 21.6	6 16.2	1 2.7	2 5.4	0 0.0
	45～49歳	男性	37 100.0	28 75.7	14 37.8	2 5.4	4 10.8	19 51.4	2 5.4	8 21.6	5 13.5	3 8.1	4 10.8	6 16.2	0 0.0	9 24.3	0 0.0
		女性	35 100.0	30 85.7	15 42.9	4 11.4	7 20.0	23 65.7	8 22.9	10 28.6	2 5.7	2 22.9	12 34.3	7 20.0	0 0.0	3 8.6	0 0.0
	50～54歳	男性	34 100.0	24 70.6	17 50.0	5 14.7	6 17.6	17 50.0	4 11.8	12 35.3	2 5.9	1 2.9	3 8.8	3 8.8	0 0.0	3 8.8	1 2.9
		女性	33 100.0	26 78.8	16 48.5	6 18.2	13 39.4	23 69.7	6 18.2	11 33.3	3 9.1	8 24.2	9 27.3	5 15.2	1 3.0	2 6.1	0 0.0
	55～59歳	男性	44 100.0	33 75.0	22 50.0	7 15.9	4 9.1	28 63.6	6 13.6	14 31.8	9 20.5	6 13.6	7 15.9	8 18.2	0 0.0	7 15.9	0 0.0
		女性	62 100.0	57 91.9	33 53.2	15 24.2	24 38.7	46 74.2	18 29.0	30 48.4	8 12.9	14 22.6	20 32.3	17 27.4	0 0.0	2 3.2	0 0.0
	60～64歳	男性	38 100.0	32 84.2	21 55.3	4 10.5	13 34.2	25 65.8	5 13.2	12 31.6	5 13.2	9 23.7	8 21.1	6 15.8	1 2.6	3 7.9	0 0.0
		女性	83 100.0	67 80.7	37 44.6	11 13.3	26 31.3	55 66.3	12 14.5	33 39.8	9 10.8	14 16.9	17 20.5	12 14.5	0 0.0	7 8.4	0 0.0

- 自治会に加入している人では、「回覧板や広報紙などによるお知らせや啓発」の割合が高い。
- 自治会に加入していない人、自治会加入がわからない人では、「知らない」の割合が高い。

◆表 自治会の加入状況別◆

	サンプル数	1. 登下校時の子ども見守り活動	2. 青パトによるパトロール活動	3. 近隣住民同士の声かけ	4. 高齢者単身や高齢者のみ世帯などの定期訪問	5. 回覧板や広報紙などによるお知らせや啓発	6. 危険箇所や不安箇所を取りまとめた安全安心マップの作成	7. 防犯灯の設置	8. 防犯カメラの設置	9. 小学校や校区コミュニティなどの防犯教室や講座の開催	10. 少年の非行防止に関する活動（夜回りなど）	11. 暴力団追放活動（集会や啓発など）	12. その他	13. 知らない	無回答
上段:実数, 下段:%															
全体	703 100.0	534 76.0	305 43.4	84 11.9	131 18.6	407 57.9	105 14.9	186 26.5	95 13.5	104 14.8	133 18.9	105 14.9	4 0.6	101 14.4	1 0.1
自治会加入状況	加入している	533 100.0	434 81.4	245 46.0	74 13.9	115 21.6	365 68.5	90 16.9	167 31.3	65 12.2	95 17.8	21.0 16.9	3 0.6	49 9.2	1 0.2
	加入していない	103 100.0	62 60.2	36 35.0	8 7.8	9 8.7	23 22.3	10 9.7	13 12.6	19 18.4	4 3.9	14 10.7	1 1.0	30 29.1	0 0.0
	わからない	63 100.0	35 55.6	21 33.3	1 1.6	6 9.5	17 27.0	3 4.8	5 7.9	10 15.9	3 4.8	5 7.9	3 4.8	22 34.9	0 0.0

- 東部 A、東部 B、南西部、西部 B では、「登下校時の子どもの見守り活動」の割合が高い。
- 東部 B、北部 A では、「青パトによるパトロール活動」の割合が高い。
- 南西部、西部 A、西部 B では、「高齢者単身や高齢者のみ世帯などの定期訪問」の割合が高い。
- 東部 B、南西部、西部 A、西部 B では、「回覧板や広報紙などによるお知らせや啓発」の割合が高い。
- 東部 B、南西部では、「防犯等の設置」の割合が高い。
- 西部 B では、「少年の非行防止に関する活動」の割合が高い。

◆表 居住校区別◆

	サンプル数	1. 登下校時の子ども見守り活動	2. 青パトによるパトロール活動	3. 近隣住民同士の声かけ	4. 高齢者単身や高齢者のみ世帯などの定期訪問	5. 回覧板や広報紙などによるお知らせや啓発	6. 危険箇所や不安箇所を取りまとめた安全安心マップの作成	7. 防犯灯の設置	8. 防犯カメラの設置	9. 小学校や校区コミュニティなどの防犯教室や講座の開催	10. 少年の非行防止に関する活動（夜回りなど）	11. 暴力団追放活動（集会や啓発など）	12. その他	13. 知らない	無回答
上段:実数, 下段:%															
全体	703 100.0	534 76.0	305 43.4	84 11.9	131 18.6	407 57.9	105 14.9	186 26.5	95 13.5	104 14.8	133 18.9	105 14.9	4 0.6	101 14.4	1 0.1
居住校区	東部A	57 100.0	50 87.7	27 47.4	9 15.8	11 19.3	35 61.4	10 17.5	12 21.1	7 12.3	8 14.0	7 12.3	1 1.8	4 7.0	0 0.0
	東部B	40 100.0	36 90.0	22 55.0	3 7.5	9 22.5	30 75.0	7 17.5	17 42.5	3 7.5	9 22.5	7 17.5	6 15.0	0 0.0	2 5.0
	北部A	66 100.0	49 74.2	35 53.0	8 12.1	7 10.6	36 54.5	7 10.6	11 16.7	7 10.6	12 18.2	17 25.8	10 15.2	0 0.0	11 16.7
	北部B	35 100.0	29 82.9	16 45.7	5 14.3	6 17.1	21 60.0	1 2.9	13 37.1	6 17.1	4 11.4	8 22.9	3 8.6	0 0.0	5 14.3
	中央東部	89 100.0	63 70.8	32 36.0	7 7.9	11 12.4	40 44.9	16 18.0	20 22.5	12 13.5	14 15.7	13 14.6	17 19.1	1 1.1	17 19.1
	南東部	53 100.0	37 69.8	25 47.2	11 20.8	11 20.8	32 60.4	9 17.0	19 35.8	5 9.4	8 15.1	12 22.6	7 13.2	0 0.0	6 11.3
	中央部	101 100.0	67 66.3	38 37.6	8 7.9	13 12.9	48 47.5	17 15.8	26 25.7	17 16.8	9 8.9	15 14.9	16 15.8	0 0.0	19 18.8
	中央南部	125 100.0	93 74.4	49 39.2	13 10.4	19 15.2	74 59.2	14 11.2	24 19.2	20 16.0	17 13.6	26 20.8	18 14.4	1 0.8	20 16.0
	南西部	72 100.0	62 86.1	35 48.6	11 15.3	25 34.7	54 75.0	18 25.0	28 38.9	7 9.7	13 18.1	13 18.1	11 15.3	0 0.0	7 9.7
	西部A	21 100.0	17 81.0	10 47.6	4 19.0	7 33.3	15 71.4	1 4.8	7 33.3	3 14.3	4 19.0	3 14.3	4 19.0	0 0.0	2 9.5
	西部B	26 100.0	23 88.5	13 50.0	3 11.5	3 38.5	19 73.1	5 19.2	7 26.9	3 11.5	5 19.2	10 38.5	6 23.1	1 3.8	1 3.8

## 4 「犯罪の防止・防犯力の向上」について

### (35) 地域の防犯活動への参加状況

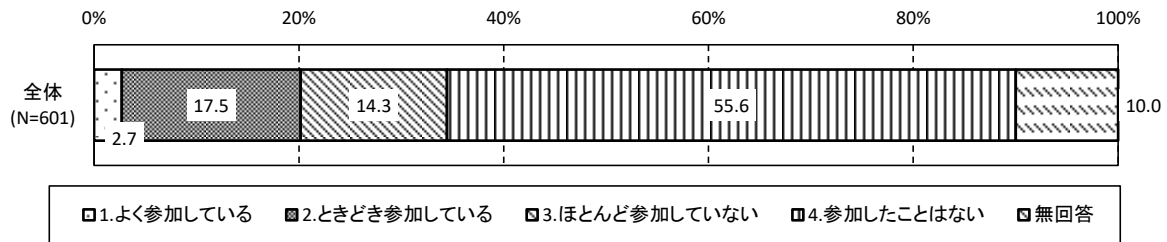
問 16 で、「13」以外と回答された方にお聞きします。

問 16-1. あなたは、問 16 であげた活動のいずれかに参加したことがありますか。

(○はひとつ)

防犯活動に参加している人は 2 割程度

●防犯活動の参加状況について、「参加したことはない」が 55.6% で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 女性・55～59 歳では、「ときどき参加している」の割合が高い。
- 自治会に加入していない人、自治会加入がわからない人では、「参加したことはない」の割合が高い。
- 中央部、中央南部、西部 B では、「参加したことはない」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	1. よく参加している	2. ときどき参加している	3. ほとんど参加していない	4. 参加したことはない	無回答	
上段:実数、下段:%								
全 体		601	16 (2.7)	105 (17.5)	86 (14.3)	334 (55.6)	60 (10.0)	
性別	男性	225	5 (2.2)	39 (17.3)	33 (14.7)	125 (55.6)	23 (10.2)	
	女性	369	11 (3.0)	65 (17.6)	52 (14.1)	206 (55.8)	35 (9.5)	
	回答しない	3	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (66.7)	1 (33.3)	
性別・年代別	18～24歳	男性	23	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (17.4)	18 (78.3)	1 (4.3)
		女性	41	0 (0.0)	1 (2.4)	6 (14.6)	31 (75.6)	3 (7.3)
	25～29歳	男性	10	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	9 (90.0)	1 (10.0)
		女性	27	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	26 (96.3)	3 (3.7)
	30～34歳	男性	13	0 (0.0)	2 (15.4)	2 (15.4)	6 (46.2)	3 (23.1)
		女性	36	0 (0.0)	5 (13.9)	3 (8.3)	28 (77.8)	3 (8.3)
	35～39歳	男性	27	1 (3.7)	5 (18.5)	4 (14.8)	16 (59.3)	1 (3.7)
		女性	29	2 (6.9)	3 (10.3)	3 (10.3)	20 (69.0)	1 (3.4)
	40～44歳	男性	21	0 (0.0)	6 (28.6)	1 (4.8)	12 (57.1)	2 (9.5)
		女性	35	2 (5.7)	8 (22.9)	4 (11.4)	20 (57.1)	2 (5.7)
	45～49歳	男性	28	0 (0.0)	5 (17.9)	3 (10.7)	18 (64.3)	2 (7.1)
		女性	32	2 (6.3)	8 (25.0)	6 (18.8)	14 (43.8)	6 (18.8)
50～54歳	男性	30	0 (0.0)	6 (20.0)	8 (26.7)	15 (50.0)	1 (3.3)	
	女性	31	1 (3.2)	5 (16.1)	7 (22.6)	18 (58.1)	0 (0.0)	
55～59歳	男性	37	2 (5.4)	7 (18.9)	7 (18.9)	14 (37.8)	7 (18.9)	
	女性	60	2 (3.3)	33 (55.0)	10 (16.7)	20 (33.3)	5 (8.3)	
60～64歳	男性	35	2 (5.7)	8 (22.9)	5 (14.3)	14 (40.0)	6 (17.1)	
	女性	76	2 (2.6)	18 (23.7)	13 (17.1)	27 (35.5)	16 (21.1)	

◆表 自治会の加入状況別◆

		サンプル数	1. よく参加している	2. ときどき参加している	3. ほとんど参加していない	4. 参加したことはない	無回答
上段:実数、下段:%							
全 体		601	16 (2.7)	105 (17.5)	86 (14.3)	334 (55.6)	60 (10.0)
自治会加入状況	加入している	483	15 (3.1)	99 (20.5)	77 (15.9)	242 (50.1)	50 (10.4)
	加入していない	73	1 (1.4)	5 (6.8)	7 (9.6)	54 (74.0)	6 (8.2)
	わからない	41	0 (0.0)	1 (2.4)	2 (4.9)	35 (85.4)	3 (7.3)

◆表 居住校区別◆

		サンプル数	1. よく参加している	2. ときどき参加している	3. ほとんど参加していない	4. 参加したことはない	無回答
上段:実数、下段:%							
全 体		601	16 (2.7)	105 (17.5)	86 (14.3)	334 (55.6)	60 (10.0)
居住校区	東部A	53	3 (5.7)	7 (13.2)	6 (11.3)	28 (52.8)	9 (17.0)
	東部B	38	1 (2.6)	12 (31.6)	8 (21.1)	12 (31.6)	5 (13.2)
	北部A	55	0 (0.0)	9 (16.4)	8 (14.5)	30 (54.5)	8 (14.5)
	北部B	30	1 (3.3)	7 (23.3)	3 (10.0)	17 (56.7)	2 (6.7)
	中央東部	71	1 (1.4)	16 (22.5)	8 (11.3)	42 (59.2)	4 (5.6)
	南東部	47	0 (0.0)	10 (21.3)	7 (14.9)	26 (55.3)	4 (8.5)
	中央部	82	5 (6.1)	7 (8.5)	12 (14.6)	52 (63.4)	6 (7.3)
	中央南部	105	3 (2.9)	10 (9.5)	18 (17.1)	64 (61.0)	10 (9.5)
	南西部	65	1 (1.5)	21 (32.3)	4 (6.2)	30 (46.2)	9 (13.8)
	西部A	19	0 (0.0)	1 (5.3)	6 (31.6)	9 (47.4)	3 (15.8)
	西部B	25	1 (4.0)	5 (20.0)	4 (16.0)	15 (60.0)	0 (0.0)

(36) 防犯活動に参加していない理由

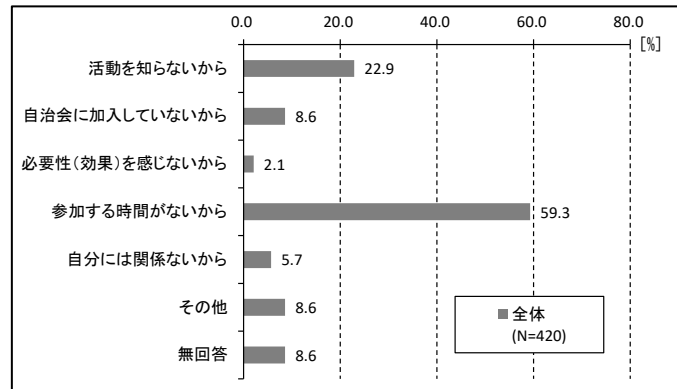
問 16-1 で、「3」又は「4」と回答された方にお聞きします。

問 16-2. あなたは、問 16 であげた活動に参加していない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

防犯活動に参加していない理由は、「参加する時間がないから」が半数以上

● 防犯活動に参加していない理由について、「参加する時間がないから」が 59.3% で最も高い。



【属性別特徴】

- 男女・25～29歳、男性・35～39歳、男女・50～54歳、男性・60～64歳では、「参加する時間がないから」の割合が高い。
- 北部A、中央部では「活動を知らないから」の割合が高い。
- 北部B、中央南部では、「参加する時間がないから」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

上段:実数,下段:%		サンプル数	活動を知らないから	自治会に加入していないから	必要性(効果)を感じないから	参加する時間がないから	自分には関係ないから	その他	無回答	
全体		420 100.0	96 22.9	36 8.6	9 2.1	249 59.3	24 5.7	36 8.6	36 8.6	
性別	男性	158 100.0	30 19.0	19 12.0	5 3.2	98 62.0	11 7.0	12 7.6	15 9.5	
	女性	258 100.0	66 25.6	17 6.6	3 1.2	149 57.8	13 5.0	23 8.9	21 8.1	
	回答しない	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	22 100.0	5 22.7	2 9.1	0 0.0	11 50.0	1 4.5	4 18.2	3 13.6
		女性	37 100.0	8 21.6	0 0.0	0 0.0	24 64.5	1 2.7	5 13.5	2 5.4
	25～29歳	男性	9 100.0	3 33.3	1 11.1	0 0.0	7 77.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		女性	26 100.0	6 23.1	3 11.5	1 3.8	18 69.2	2 7.7	2 3.8	0 0.0
	30～34歳	男性	10 100.0	0 0.0	3 30.0	0 0.0	6 60.0	0 0.0	1 10.0	2 20.0
		女性	31 100.0	7 22.6	3 9.7	0 0.0	16 51.6	7 22.6	0 0.0	2 6.5
	35～39歳	男性	20 100.0	4 20.0	1 5.0	1 5.0	15 75.0	2 10.0	0 0.0	2 10.0
		女性	23 100.0	5 21.7	2 8.7	0 0.0	14 60.9	0 0.0	1 4.3	4 17.4
	40～44歳	男性	13 100.0	4 30.8	2 15.4	0 0.0	7 53.8	1 7.7	1 7.7	0 0.0
		女性	24 100.0	6 25.0	2 8.3	0 0.0	13 54.2	0 0.0	5 20.8	1 4.2
	45～49歳	男性	21 100.0	6 28.6	2 9.5	1 4.8	11 52.4	0 0.0	2 9.5	3 14.3
		女性	20 100.0	5 25.0	1 5.0	0 0.0	15 75.0	0 0.0	2 10.0	1 5.0
	50～54歳	男性	23 100.0	2 8.7	3 13.0	0 0.0	16 69.6	3 13.0	2 8.7	2 8.7
		女性	25 100.0	3 12.0	1 4.0	0 0.0	18 72.0	0 0.0	1 4.0	3 12.0
	55～59歳	男性	20 100.0	3 15.0	3 15.0	1 5.0	10 50.0	2 10.0	1 5.0	3 15.0
		女性	30 100.0	11 36.7	3 10.0	0 0.0	14 46.7	2 6.7	1 3.3	2 6.7
	60～64歳	男性	19 100.0	2 10.5	2 10.5	2 10.5	15 78.9	2 10.5	1 5.3	0 0.0
		女性	40 100.0	14 35.0	2 5.0	1 2.5	17 42.5	1 2.5	7 17.5	6 15.0

◆表 居住校区別◆

上段:実数,下段:%		サンプル数	活動を知らないから	自治会に加入していないから	必要性(効果)を感じないから	参加する時間がないから	自分には関係ないから	その他	無回答
全体		420 100.0	96 22.9	36 8.6	9 2.1	249 59.3	24 5.7	36 8.6	36 8.6
居住校区	東部A	34 100.0	5 14.7	2 5.9	0 0.0	19 55.9	3 8.8	9 26.5	2 5.9
	東部B	20 100.0	2 10.0	2 10.0	1 5.0	9 45.0	2 10.0	3 15.0	3 15.0
	北部A	38 100.0	12 31.6	4 10.5	0 0.0	18 47.4	2 5.3	5 13.2	2 5.3
	北部B	20 100.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	17 85.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0
	中央東部	50 100.0	11 22.0	7 14.0	2 4.0	33 66.0	2 4.0	2 4.0	4 8.0
	南東部	33 100.0	9 27.3	3 9.1	0 0.0	19 57.6	1 3.0	2 6.1	2 6.1
	中央部	64 100.0	20 31.3	5 7.8	2 3.1	37 57.8	4 6.3	2 3.1	6 9.4
	中央南部	82 100.0	16 19.5	6 7.3	2 2.4	54 65.9	3 3.7	5 6.1	9 11.0
	西部A	34 100.0	9 26.5	3 8.8	1 2.9	19 55.9	2 5.9	2 5.9	4 11.8
	西部B	15 100.0	4 26.7	1 6.7	1 6.7	7 46.7	1 6.7	1 6.7	1 6.7
	西部C	19 100.0	4 21.1	1 5.3	0 0.0	12 63.2	1 5.3	1 5.3	1 5.3

#### 4 「犯罪の防止・防犯力の向上」について

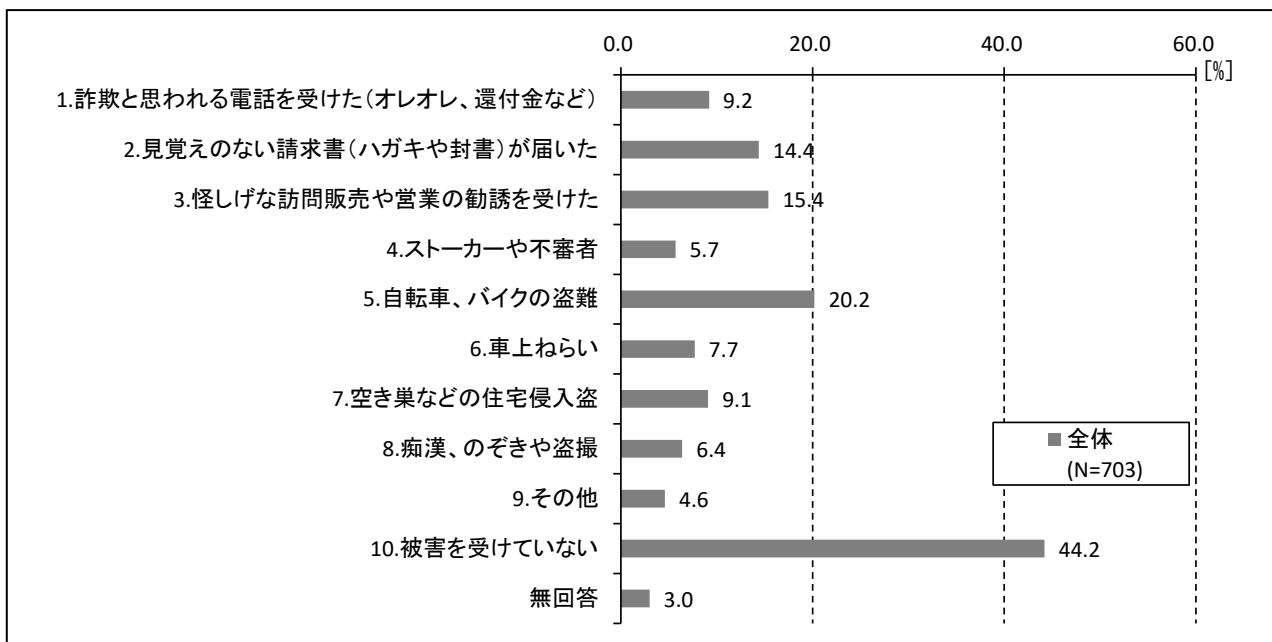
##### (37) 犯罪被害等を受けた経験の有無

問 17. あなたは、これまで何らかの犯罪被害等を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

「自転車、バイクの盗難」の被害にあった人が約 2 割

● 犯罪被害等を受けた経験の有無について、「被害を受けていない」が 44.2% で最も高い。

● その他の内訳について、「車の盗難やイタズラ」「インターネットでの架空請求」などの意見がみられた。





【属性別特徴】

- 女性・25～29歳では、「ストーカーや不審者」の割合が高い。
- 女性・40～44歳、女性・50～54歳では、「怪しげな訪問販売や営業の勧誘を受けた」の割合が高い。
- 女性・45～49歳、男性・60～64歳では、「見覚えのない請求書（ハガキや封書）が届いた」の割合が高い。
- 女性・55～59歳では、「詐欺と思われる電話を受けた」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	1. 電話、 レシ、 を 受 け た （ オ オ レ ）	2. 請求書 （ハガキ や封書） が 届 い た	3. 見覚え のない 請 求 書	4. 怪し げな 訪 問 販 売 や 営 業 の 勧 誘 を 受 け た	5. スト ー カ ー や 不 審 者	6. 盗 難 の 自 転 車 、 バ イ ク	7. 車 上 ね ら い	8. 空 き 集 な ど の 住 宅 侵 入 盗	9. 盗 撮 、 痴 漢 、 の ぞ き や 其 他	10. そ の 他	11. 被 害 を 受 け て い な い	12. 無 回 答	
		上段:実数、下段:%													
全 体		703 100.0	65 9.2	101 14.4	108 15.4	40 5.7	142 20.2	54 7.7	64 9.1	45 6.4	32 4.6	311 44.2	21 3.0		
性別	男性	276 100.0	23 8.3	36 13.0	37 13.4	6 2.2	53 19.2	24 8.7	11 4.0	3 1.1	13 4.7	136 49.3	13 4.7		
	女性	418 100.0	42 10.0	62 14.8	68 16.3	34 8.1	87 20.8	29 6.9	53 12.7	41 9.8	18 4.3	172 41.1	8 1.9		
	回答しない	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0		
性別・年代別	18～24歳	男性	28 100.0	0 0.0	0 0.0	1 3.6	0 0.0	5 17.9	2 7.1	1 3.6	0 0.0	1 3.6	20 71.4	1 3.6	
		女性	44 100.0	2 4.5	1 2.3	1 2.3	1 2.3	5 11.4	0 0.0	0 0.0	3 6.8	1 2.3	30 68.2	1 2.3	
	25～29歳	男性	14 100.0	1 7.1	1 7.1	0 0.0	1 7.1	5 35.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 50.0	0 0.0	
		女性	41 100.0	3 7.3	2 4.9	7 17.1	10 24.4	9 22.0	1 2.4	7 17.1	7 17.1	3 7.3	16 39.0	0 0.0	
	30～34歳	男性	19 100.0	1 5.3	3 15.8	0 0.0	0 0.0	4 21.1	0 0.0	1 5.3	0 0.0	1 5.3	7 36.8	2 10.5	
		女性	45 100.0	4 8.9	5 11.1	4 8.9	5 11.1	9 20.0	0 0.0	6 13.3	4 8.9	3 6.7	22 48.9	2 4.4	
	35～39歳	男性	34 100.0	3 8.8	2 5.9	1 2.9	2 5.9	6 17.6	2 5.9	1 2.9	1 2.9	0 0.0	2 5.9	17 50.0	1 2.9
		女性	36 100.0	3 8.3	4 11.1	7 19.4	2 5.6	6 16.7	4 11.1	4 11.1	5 13.9	1 2.8	16 44.4	0 0.0	
	40～44歳	男性	27 100.0	3 11.1	2 7.4	6 22.2	1 3.7	5 18.5	3 11.1	1 3.7	0 0.0	2 7.4	14 51.9	1 3.7	
		女性	37 100.0	2 5.4	8 21.6	12 32.4	5 13.5	7 18.9	3 8.1	1 2.7	5 13.5	2 5.4	15 40.5	0 0.0	
	45～49歳	男性	37 100.0	4 10.8	5 13.5	6 16.2	1 2.7	6 16.2	5 13.5	1 2.7	0 0.0	1 2.7	17 45.9	3 8.1	
		女性	35 100.0	2 5.7	10 28.6	8 22.9	4 11.4	9 25.7	2 5.7	6 17.1	4 11.4	2 5.7	6 17.1	0 0.0	
	50～54歳	男性	34 100.0	4 11.8	4 11.8	7 20.6	1 2.9	4 11.8	3 8.8	2 5.9	2 5.9	3 8.8	18 52.9	2 5.9	
		女性	33 100.0	4 12.1	7 21.2	10 30.3	4 12.1	6 18.2	3 9.1	5 15.2	4 12.1	3 9.1	10 30.3	1 3.0	
	55～59歳	男性	44 100.0	3 6.8	9 20.5	9 20.5	0 0.0	9 20.5	3 6.8	3 6.8	1 2.3	2 4.5	19 43.2	1 2.3	
		女性	62 100.0	16 25.8	14 22.6	11 17.7	1 1.6	19 30.6	9 14.5	11 17.7	4 6.5	2 3.2	21 33.9	2 3.2	
	60～64歳	男性	38 100.0	4 10.5	10 26.3	7 18.4	0 0.0	9 23.7	6 15.8	1 2.6	0 0.0	1 2.6	16 42.1	2 5.3	
		女性	83 100.0	6 7.2	10 12.0	8 9.6	1 1.2	17 20.5	7 8.4	13 15.7	4 4.8	1 1.2	35 42.2	2 2.4	

#### 4 「犯罪の防止・防犯力の向上」について

- 東部 B では、「見覚えのない請求書が届いた」の割合が高い。
- 北部 A、南西部では、「怪しげな訪問販売や営業の勧誘を受けた」の割合が高い。
- 中央南部では、「自転車、バイクの盗難」の割合が高い。
- 南東部では、「空き巣などの住宅侵入盗」の割合が高い。

◆表 居住校區別◆

		サンプル数	1. 詐欺と思われる電話を受けた(オレレ、還付金など)	2. 見覚えのない請求書(ハガキや封書)	3. 怪しげな訪問販売や営業の勧誘を受けた	4. ストーカーや不審者	5. 自転車、バイクの盗難	6. 車上ねらい	7. 空き巣などの住宅侵入盗	8. 痴漢、のぞきや盗撮	9. その他	10. 被害を受けていない	無回答
上段:実数、下段:%													
全体		703 100.0	65 9.2	101 14.4	108 15.4	40 5.7	142 20.2	54 7.7	64 9.1	45 6.4	32 4.6	311 44.2	21 3.0
居住校區	東部A	57 100.0	6 10.5	7 12.3	10 17.5	1 1.8	8 14.0	1 1.8	6 10.5	1 1.8	4 7.0	26 45.6	2 3.5
	東部B	40 100.0	7 17.5	11 27.5	9 22.5	4 10.0	6 15.0	4 10.0	4 10.0	1 2.5	1 2.5	11 27.5	1 2.5
	北部A	66 100.0	2 3.0	12 18.2	16 24.2	3 4.5	16 24.2	8 12.1	9 13.6	4 6.1	2 3.0	21 31.8	1 1.5
	北部B	35 100.0	3 8.6	5 14.3	4 11.4	0 0.0	5 14.3	0 0.0	6 17.1	0 0.0	2 5.7	19 54.3	0 0.0
	中央東部	89 100.0	7 7.9	14 15.7	12 13.5	9 10.1	19 21.3	7 7.9	7 7.9	8 9.0	4 4.5	38 42.7	6 6.7
	南東部	53 100.0	2 3.8	4 7.5	7 13.2	2 3.8	8 15.1	7 13.2	10 18.9	2 3.8	2 3.8	23 43.4	3 5.7
	中央部	101 100.0	9 8.9	14 13.9	12 11.9	7 6.9	22 21.8	7 6.9	6 5.9	11 10.9	4 4.0	48 47.5	3 3.0
	中央南部	125 100.0	11 8.8	12 9.6	14 11.2	10 8.0	32 25.6	12 9.6	6 4.8	12 9.6	7 5.6	56 44.8	1 0.8
	南西部	72 100.0	13 18.1	15 20.8	18 25.0	4 5.6	17 23.6	7 9.7	6 8.3	4 5.6	2 2.8	31 43.1	1 1.4
	西部A	21 100.0	1 4.8	2 9.5	1 4.8	0 0.0	3 14.3	0 0.0	1 4.8	1 4.8	0 0.0	15 71.4	2 9.5
西部B	26 100.0	2 7.7	1 3.8	3 11.5	0 0.0	3 11.5	1 3.8	3 11.5	0 0.0	2 7.7	13 50.0	1 3.8	

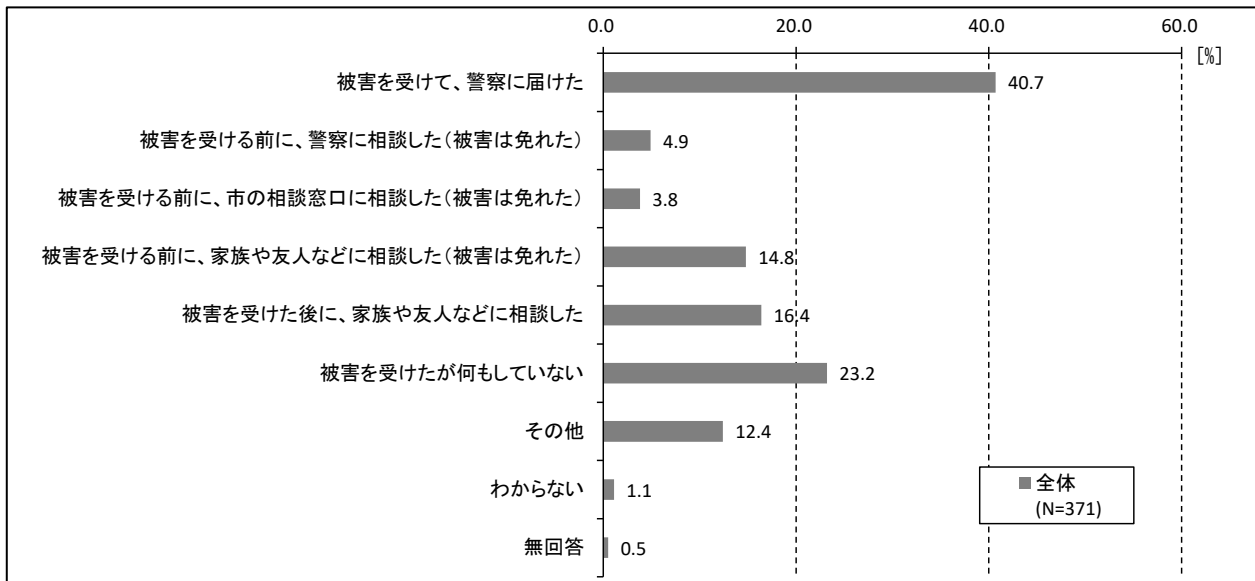
## (38) 犯罪被害を受けた際の対応

問 17 で、「1」～「9」と回答された方にお聞きします。

問 17-1. あなたは、その後どうしましたか。(あてはまるものすべてに○)

被害を受けた際は、警察に届けた人が約 4 割

- 犯罪被害を受けた際の対応について、「被害を受けて、警察に届けた」が 40.7% で最も高い。
- その他の内訳について、「無視した」「断った」などの意見が多くみられた。



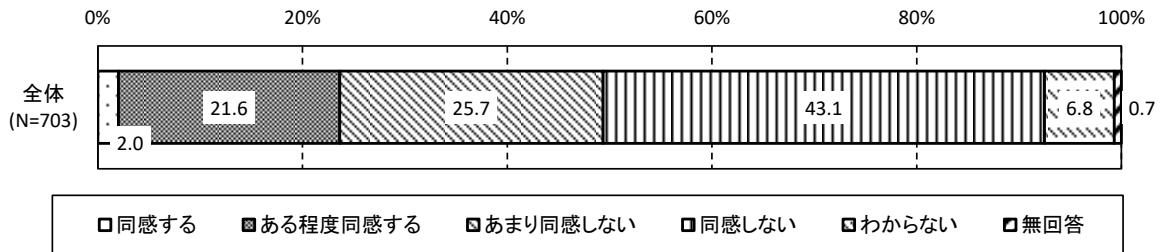


(39) 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

問 18. あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方をどう思いますか。(○はひとつ)

「男は仕事、女は家庭」という考え方について「あまり同感しない」と「同感しない」をあわせた「同感しない」人が約7割

● 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、「同感する」「ある程度同感する」を合わせると 23.6%。



【属性別特徴】

- 男性 40～44 歳では、「ある程度同感する」の割合が高い。
- 夫婦のみでは、「ある程度同感する」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	同感する	ある程度同感する	あまり同感しない	同感しない	わからない	無回答	
上段:実数, 下段:%									
全体		703	14	152	181	303	48	5	
		100.0	2.0	21.6	25.7	43.1	6.8	0.7	
性別	男性	276	6	71	65	108	24	2	
		100.0	2.2	25.7	23.6	39.1	8.7	0.7	
	女性	418	8	79	114	191	23	3	
	100.0	1.9	18.9	27.3	45.7	5.5	0.7		
	回答しない	5	0	1	1	2	1	0	
	100.0	0.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28	2	5	5	13	3	0
			100.0	7.1	17.9	17.9	46.4	10.7	0.0
	女性	44	0	3	10	30	1	0	
		100.0	0.0	6.8	22.7	68.2	2.3	0.0	
	25～29歳	男性	14	0	4	4	6	0	0
			100.0	0.0	28.6	28.6	42.9	0.0	0.0
	女性	41	0	8	13	18	2	0	
		100.0	0.0	19.5	31.7	43.9	4.9	0.0	
	30～34歳	男性	19	0	5	6	7	1	0
			100.0	0.0	26.3	31.6	36.8	5.3	0.0
	女性	45	0	11	7	25	2	0	
		100.0	0.0	24.4	15.6	55.6	4.4	0.0	
	35～39歳	男性	34	0	10	7	14	3	0
			100.0	0.0	29.4	20.6	41.2	8.8	0.0
	女性	36	0	7	9	17	3	0	
		100.0	0.0	19.4	25.0	47.2	8.3	0.0	
	40～44歳	男性	27	0	10	7	8	2	0
			100.0	0.0	37.0	25.9	29.6	7.4	0.0
	女性	37	0	9	10	17	1	0	
		100.0	0.0	24.3	27.0	45.9	2.7	0.0	
	45～49歳	男性	37	2	11	6	13	5	0
			100.0	5.4	29.7	16.2	35.1	13.5	0.0
	女性	35	2	9	13	10	0	1	
		100.0	5.7	25.7	37.1	28.6	0.0	2.9	
50～54歳	男性	34	1	10	2	15	6	0	
		100.0	2.9	29.4	5.9	44.1	17.6	0.0	
女性	33	1	6	6	18	2	0		
	100.0	3.0	18.2	18.2	54.5	6.1	0.0		
55～59歳	男性	44	0	8	21	13	1	1	
		100.0	0.0	18.2	47.7	29.5	2.3	2.3	
女性	62	2	8	24	23	4	1		
	100.0	3.2	12.9	38.7	37.1	6.5	1.6		
60～64歳	男性	38	1	8	7	18	3	1	
		100.0	2.6	21.1	18.4	47.4	7.9	2.6	
女性	83	2	18	22	32	8	1		
	100.0	2.4	21.7	26.5	38.6	9.6	1.2		

◆表 家族構成別◆

		サンプル数	同感する	ある程度同感する	あまり同感しない	同感しない	わからない	無回答
上段:実数, 下段:%								
体全		703	14	152	181	303	48	5
		100.0	2.0	21.6	25.7	43.1	6.8	0.7
家族構成	単身	95	3	23	21	39	9	0
		100.0	3.2	24.2	22.1	41.1	9.5	0.0
	夫婦のみ	135	1	38	28	60	7	1
		100.0	0.7	28.1	20.7	44.4	5.2	0.7
	親・子(2世代)	368	5	66	102	168	24	3
	100.0	1.4	17.9	27.7	45.7	6.5	0.8	
親・子・孫(三世代)	67	2	15	21	25	4	0	
	100.0	3.0	22.4	31.3	37.3	6.0	0.0	
その他	32	2	7	8	10	4	1	
	100.0	6.3	21.9	25.0	31.3	12.5	3.1	

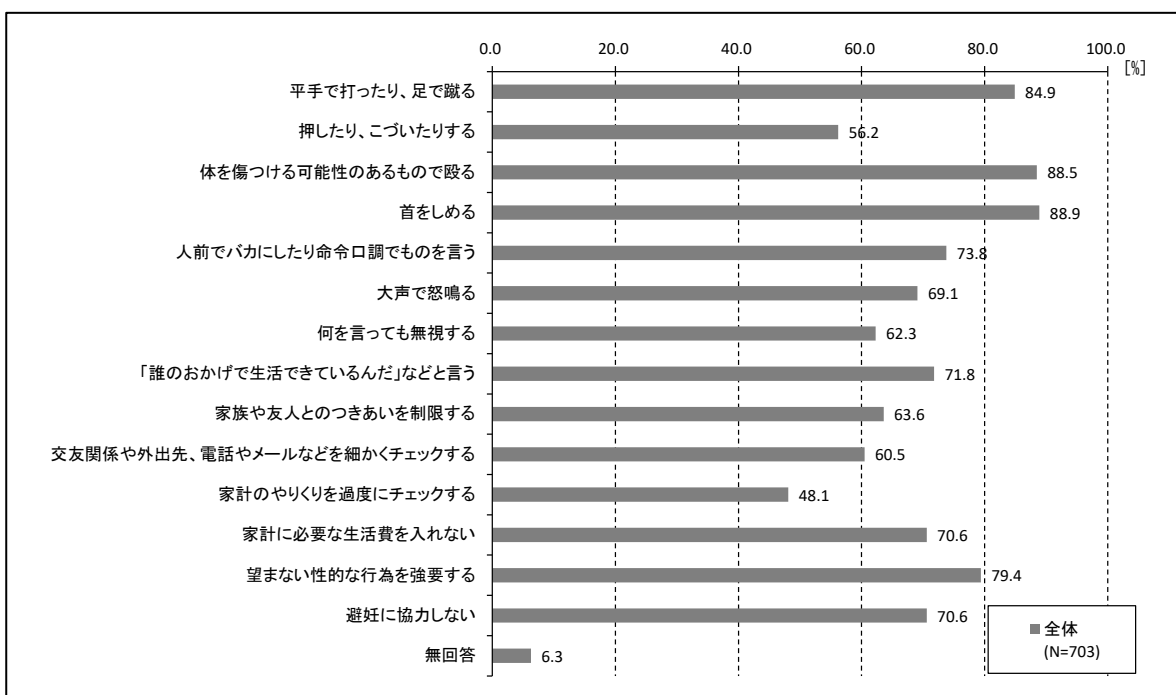
## 5 「DV防止と早期発見」について

### (40) 配偶者や恋人からうけるDVと思われる行為

問 19. あなたは、配偶者や恋人などから次の行為等がなされたとき、DV（ドメスティックバイオレンス）にあたると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「平手で打ったり、足で蹴る」「体を傷つける可能性のあるもので殴る」「首をしめる」をDV行為と考える人が8割以上と多い

● 「平手で打ったり、足で蹴る」「体を傷つける可能性のあるもので殴る」「首をしめる」身体的暴力をDVと認識している割合は高いが、「家計のやりくりを過度にチェックする」経済的暴力や「家族や友人とのつきあいの制限」や「電話やメールなどを細かくチェックする」社会的暴力がDVであるとの認識は低い。



【属性別特徴】

- 男性・25～29歳では、「誰のおかげで生活できているんだ」などと言う」精神的暴力、「家族や友人とのつきあいを制限する」「交友関係や外出先、電話やメールなどを細かくチェックする」社会的暴力、「望まない性的な行為を強要する」「避妊に協力しない」性的暴力の割合が、他の年齢の男性に比べて低い。
- 男性・40～44歳では、「人前でバカにしたり命令口調でものを言う」「大声で怒鳴る」「何を言っても無視する」精神的暴力、「家計のやりくりを過度にチェックする」経済的暴力の割合が、他の年齢の男性に比べて低い。
- 女性・55～64歳では、他の年齢の女性に比べてすべての項目においてDVであるとの認識が低い傾向にある。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	で蹴る	平手で打ったり、足	押しつたり、こいついた	の体をもつける可能性	首をしめる	う命令口調でものを言う	大声で怒鳴る	何を言っても無視する	どときおかげで生活できているんだ」などと言う	「誰のおかげで生活できているんだ」などと言う	家族や友人とのつきあいを制限する	細かくチェックする	交友関係や外出先、電話やメールなどをチェックする	家計のやりくりを過度にチェックする	を望まない性的な行為を強要する	避妊に協力しない	無回答
上段:実数,下段:%		703	597	395	622	625	519	486	438	505	447	425	338	496	558	496	496	44	
全体		100.0	84.9	56.2	88.5	88.9	73.8	69.1	62.3	71.8	63.6	60.5	48.1	70.6	72.4	70.6	70.6	6.3	
性別	男性	276	230	153	243	242	193	177	169	191	163	152	121	187	202	188	188	16	
	女性	418	359	235	371	374	318	301	262	306	278	266	211	301	347	301	28	28	
	回答しない	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	5	5	5	0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28	24	16	25	24	20	20	18	20	18	16	13	18	22	19	2	
		女性	44	38	21	39	42	31	32	31	30	26	25	20	31	38	34	1	
	25～29歳	男性	114	92	58	112	111	89	85	79	91	82	75	59	85	88	84	7	
		女性	41	38	27	40	39	33	32	32	31	29	30	28	35	38	36	1	
	30～34歳	男性	191	159	103	181	180	141	132	124	139	127	119	92	132	141	132	10	
		女性	45	42	26	43	44	36	34	28	37	34	30	27	35	42	36	1	
	35～39歳	男性	34	29	18	31	31	23	19	22	24	22	20	12	23	26	23	0	
		女性	36	34	23	35	34	34	29	22	31	29	26	20	26	32	29	0	
	40～44歳	男性	27	21	12	22	23	16	14	14	18	16	16	6	19	18	20	1	
		女性	778	644	415	622	625	519	486	438	505	447	425	338	496	558	496	44	
	45～49歳	男性	37	31	24	33	34	24	24	23	27	21	19	18	28	31	28	2	
		女性	35	33	21	34	34	29	25	23	24	27	27	20	29	33	28	1	
	50～54歳	男性	34	25	19	29	29	24	24	21	23	20	21	17	24	25	26	5	
		女性	33	26	18	26	26	28	26	21	23	23	20	15	21	26	24	3	
	55～59歳	男性	44	38	24	38	39	29	28	28	30	27	25	22	30	32	28	3	
		女性	62	49	35	51	51	46	41	34	46	35	37	31	43	49	39	9	
	60～64歳	男性	38	33	21	34	33	27	26	21	26	21	20	18	24	26	22	2	
		女性	83	66	41	67	68	56	55	45	55	48	48	34	54	56	50	10	

- 「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感する人は、「大声で怒鳴る」「何を言っても無視する」精神的暴力がDVであるとの認識が極端に低い。

◆表 「男は仕事、女は家庭」という考え方別◆

		サンプル数	で蹴る	平手で打ったり、足	押しつたり、こいついた	の体をもつける可能性	首をしめる	う命令口調でものを言う	大声で怒鳴る	何を言っても無視する	どときおかげで生活できているんだ」などと言う	「誰のおかげで生活できているんだ」などと言う	家族や友人とのつきあいを制限する	細かくチェックする	交友関係や外出先、電話やメールなどをチェックする	家計のやりくりを過度にチェックする	を望まない性的な行為を強要する	避妊に協力しない	無回答
上段:実数,下段:%		703	597	395	622	625	519	486	438	505	447	425	338	496	558	496	496	44	
全体		100.0	84.9	56.2	88.5	88.9	73.8	69.1	62.3	71.8	63.6	60.5	48.1	70.6	72.4	70.6	70.6	6.3	
「男は仕事、女は家庭」という考え方は	同感する	14	12	7	12	12	12	8	6	10	10	9	9	11	11	8	2		
	ある程度同感する	152	130	86	139	136	108	110	93	105	95	88	73	111	117	104	7		
	あまり同感しない	181	153	97	162	162	129	111	107	122	107	99	76	118	144	128	12		
	同感しない	303	262	177	271	275	213	224	204	236	208	199	156	224	252	227	12		
	わからない	48	36	25	34	36	32	29	26	28	24	26	22	29	31	27	10		

## 5 「DV防止と早期発見」について

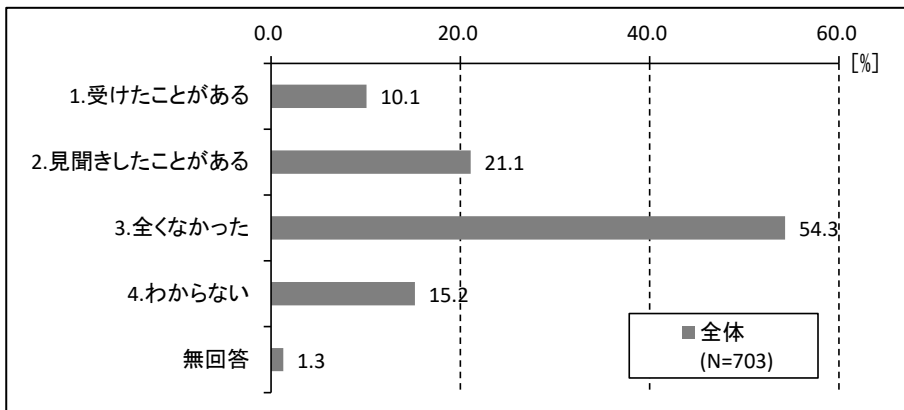
### (41) DVを受けた又は見聞きした経験の有無

問 20. あなたは、これまでDVを受けた又は見聞きしたことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

DVを受けたことがある人は約1割、見聞きしたことがある人は約2割

● DVを受けた又は見聞きした経験の有無について、「全くなかった」が54.3%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 女性・50～59歳では、「受けたことがある」の割合が高い。
- 女性・30～34歳、女性・40～44歳では、「見聞きしたことがある」の割合が高い。

#### ◆表 性別・年代別◆

上段: 実数, 下段: %		サンプル数	1. 受けたことがある	2. 見聞きしたことがある	3. 全くなかった	4. わからない	無回答	
全体		703	71	148	382	107	9	
		100.0	10.1	21.1	54.3	15.2	1.3	
性別	男性	276	14	47	165	48	5	
		100.0	5.1	17.0	59.8	17.4	1.8	
	女性	418	56	99	213	57	4	
	100.0	13.4	23.7	51.0	13.6	1.0		
	回答しない	5	0	1	3	1	0	
	100.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0		
性別・年代別	18～24歳	男性	28	0	2	21	4	1
			100.0	0.0	7.1	75.0	14.3	3.6
		女性	44	1	7	32	5	0
		100.0	2.3	15.9	72.7	11.4	0.0	
	25～29歳	男性	14	0	3	8	3	0
			100.0	0.0	21.4	57.1	21.4	0.0
		女性	41	4	10	23	4	0
		100.0	9.8	24.4	56.1	9.8	0.0	
	30～34歳	男性	19	2	4	10	4	0
			100.0	10.5	21.1	52.6	21.1	0.0
		女性	45	7	15	21	3	0
		100.0	15.6	33.3	46.7	6.7	0.0	
	35～39歳	男性	34	1	4	23	6	0
			100.0	2.9	11.8	67.6	17.6	0.0
		女性	36	5	7	21	5	0
		100.0	13.9	19.4	58.3	13.9	0.0	
	40～44歳	男性	27	4	5	13	4	1
			100.0	14.8	18.5	48.1	14.8	3.2
		女性	37	3	13	18	3	0
		100.0	8.1	35.1	48.6	8.1	0.0	
	45～49歳	男性	37	3	7	19	7	1
			100.0	8.1	18.9	51.4	18.9	2.2
		女性	35	3	8	19	5	1
		100.0	8.6	22.9	54.3	14.3	2.9	
50～54歳	男性	34	2	7	17	8	1	
		100.0	5.9	20.6	50.0	23.5	2.9	
	女性	33	8	9	9	8	1	
	100.0	24.2	27.3	27.3	24.2	3.0		
55～59歳	男性	44	1	8	29	6	0	
		100.0	2.3	18.2	65.9	13.6	0.0	
	女性	62	12	13	27	11	0	
	100.0	19.4	21.0	43.5	17.7	0.0		
60～64歳	男性	38	1	7	24	6	1	
		100.0	2.6	18.4	63.2	15.8	2.6	
	女性	83	12	16	42	13	2	
	100.0	14.5	19.3	50.6	15.7	2.4		



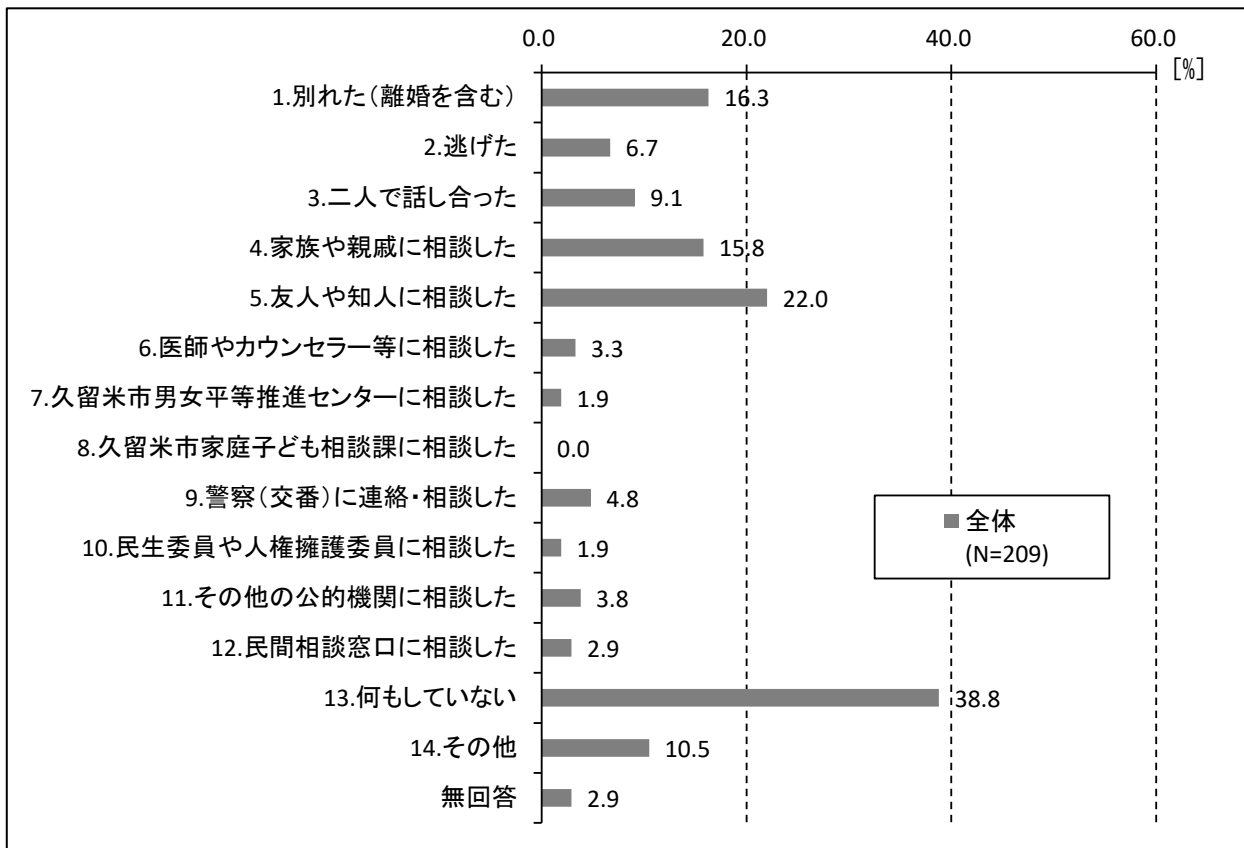
## (4 2) その後の対応

問 20 で、「1」又は「2」と回答された方にお聞きします。

問 20-1. あなたは、その後どう対応しましたか。(あてはまるものすべてに○)

その後の対応について、「何もしていない」が約 4 割で最も高い。

●相談した人も「友人や知人に相談した」22.0%、「家族や親戚に相談した」15.8%と身近な人に相談した人の割合が高く、相談関係機関等に相談した人の割合は低い。



## 5 「DV防止と早期発見」について

### 【属性別特徴】

- 女性・35～39歳、女性・55～59歳では、「別れた（離婚を含む）」の割合が高い。
- 女性・40～44歳では、「家族や親戚に相談した」の割合が高い。
- 女性・45～49歳では、「警察（交番）に連絡・相談した」「民間相談窓口」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	1. 別れた（離婚を含む）	2. 逃げた	3. 二人で話し合った	4. 家族や親戚に相談した	5. 友人や知人に相談した	6. 医師やカウンセラー等に相談した	7. 久留米市男女平等推進センターに相談した	8. 久留米市家庭子ども相談課に相談した	9. 警察（交番）に連絡・相談した	10. 民生委員や人権擁護委員に相談した	11. その他の公的機関に相談した	12. 民間相談窓口	13. 何もしていない	14. その他	無回答	
上段:実数、下段:%		209	34	14	19	33	46	7	4	0	10	4	8	6	81	22	6	
全体		100.0	16.3	6.7	9.1	15.8	22.0	3.3	1.9	0.0	4.8	1.9	3.8	2.9	38.8	10.5	2.9	
性別	男性	80	6	2	4	9	14	2	1	0	2	2	4	2	24	7	3	
	女性	148	27	12	15	24	32	5	3	0	8	2	4	4	55	15	3	
	回答しない	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0	0.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女性	7	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0
	25～29歳	男性	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
		女性	14	3	1	2	2	5	0	0	0	0	0	0	0	6	1	0
	30～34歳	男性	5	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0
		女性	21	3	3	3	3	3	0	0	0	1	0	0	1	11	1	0
	35～39歳	男性	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1
		女性	10	3	1	1	1	2	0	0	0	0	0	1	0	4	1	0
	40～44歳	男性	9	1	1	1	3	4	1	0	0	0	0	1	0	3	0	0
		女性	16	1	1	1	6	3	1	0	1	0	2	1	0	6	2	0
	45～49歳	男性	10	1	1	1	2	4	1	0	0	1	2	1	2	2	3	0
		女性	11	2	2	0	2	3	0	2	0	4	0	2	2	1	1	0
	50～54歳	男性	9	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	3	0	2
		女性	15	1	1	1	4	3	0	0	0	0	0	1	0	6	2	1
	55～59歳	男性	9	1	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	5	2	0
		女性	25	7	1	1	3	5	3	1	0	1	0	0	0	7	4	2
	60～64歳	男性	8	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	3	2	0
		女性	28	5	2	4	4	6	1	0	0	1	2	0	0	9	2	0

- 広報紙を毎号必ず読む人やときどき読む人は、男女平等推進センターに相談している。

◆表 広報紙の閲読状況別◆

		サンプル数	1. 別れた（離婚を含む）	2. 逃げた	3. 二人で話し合った	4. 家族や親戚に相談した	5. 友人や知人に相談した	6. 医師やカウンセラー等に相談した	7. 久留米市男女平等推進センターに相談した	8. 久留米市家庭子ども相談課に相談した	9. 警察（交番）に連絡・相談した	10. 民生委員や人権擁護委員に相談した	11. その他の公的機関に相談した	12. 民間相談窓口	13. 何もしていない	14. その他	無回答
上段:実数、下段:%		209	34	14	19	33	46	7	4	0	10	4	8	6	81	22	6
全体		100.0	16.3	6.7	9.1	15.8	22.0	3.3	1.9	0.0	4.8	1.9	3.8	2.9	38.8	10.5	2.9
広報紙の閲読状況	毎号必ず読む	72	9	2	6	8	21	1	2	0	1	1	3	1	28	5	3
	ときどき読む	68	13	5	5	16	15	3	2	0	3	2	3	2	23	9	1
	あまり読まない	34	5	3	2	6	6	3	0	0	2	1	1	1	16	3	1
	まったく読まない	33	6	4	6	3	4	0	0	0	4	0	1	2	13	5	1

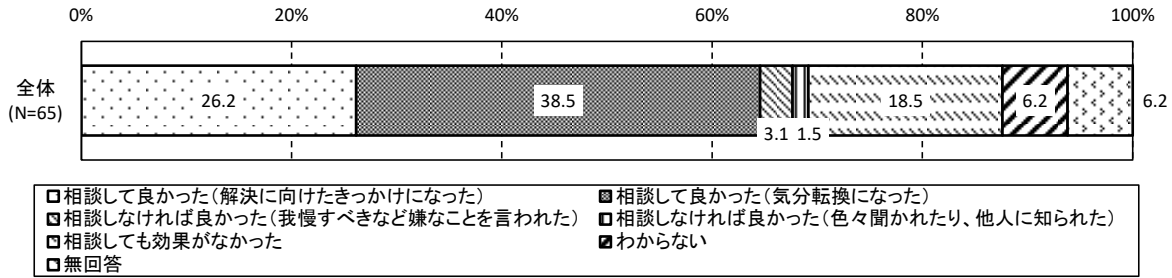
(43) 相談後の結果について

問 20-1 で、「4」又は「5」と回答された方にお聞きします。

問 20-2. あなたは、相談した結果どう思っていますか。(○はひとつ)

「相談して良かった」と考える人が 6 割以上

● 「相談しても効果がなかった」 18.5%、「相談しなければ良かった」 4.6%の回答もある。



- 相談して良かった(解決に向けたきっかけになった)
- 相談して良かった(気分転換になった)
- ▨ 相談しなければ良かった(我慢すべきなど嫌なことを言われた)
- ▧ 相談しなければ良かった(色々聞かれたり、他人に知られた)
- ▩ 相談しても効果がなかった
- わからない
- 無回答

【属性別特徴】

● 男性では、「相談しても効果がなかった」の割合が高い。

◆ 表 性別・年代別 ◆

		サンプル数	なつた(解決に向けたきっかけ)	相談して良かった(気分転換になった)	相談しても効果がなかった	相談しなければ良かった(我慢すべきなど嫌なことを言われた)	相談しなければ良かった(色々聞かれたり、他人に知られた)	わからない	無回答
上段:実数, 下段:%									
全体 (N=65)		65	17	25	2	1	12	4	4
		100.0	26.2	38.5	3.1	1.5	18.5	6.2	6.2
性別	男性	21	5	8	0	0	6	1	1
		100.0	23.8	38.1	0.0	0.0	28.6	4.8	4.8
	女性	44	12	17	2	1	6	3	3
		100.0	27.3	38.6	4.5	2.3	13.6	6.8	6.8
	回答しない	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性別・年代別	18~24歳	男性	1	0	0	0	0	1	0
			100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
		女性	1	0	1	0	0	0	0
		100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25~29歳	男性	1	0	1	0	0	0	0
			100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		女性	5	2	3	0	0	0	0
		100.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30~34歳	男性	2	1	1	0	0	0	0
			100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		女性	3	1	2	0	0	0	0
		100.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	35~39歳	男性	0	0	0	0	0	0	0
			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		女性	3	1	0	0	0	1	1
		100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3
	40~44歳	男性	6	3	1	0	0	1	1
			100.0	50.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7
		女性	7	2	2	1	0	2	0
		100.0	28.6	28.6	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0
45~49歳	男性	5	1	3	0	0	1	0	
		100.0	20.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	女性	5	1	1	0	0	1	2	
	100.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	
50~54歳	男性	3	0	2	0	0	0	0	
		100.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	女性	5	1	4	0	0	0	0	
	100.0	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
55~59歳	男性	2	0	0	0	0	2	0	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	女性	6	3	1	1	1	0	0	
	100.0	50.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	
60~64歳	男性	1	0	0	0	0	1	0	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	女性	8	1	3	0	2	1	1	
	100.0	12.5	37.5	0.0	0.0	25.0	12.5	12.5	

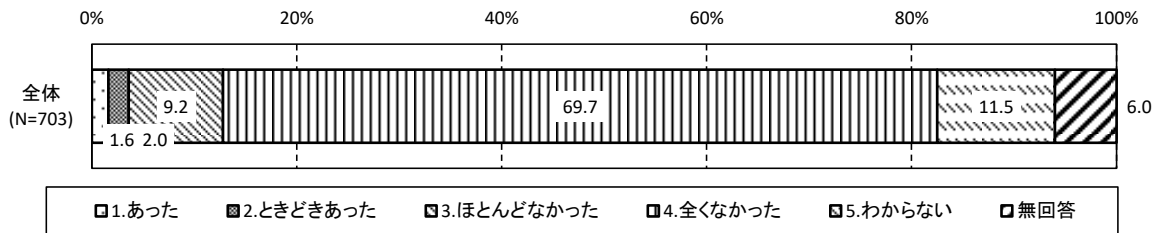
## 5 「DV防止と早期発見」について

### (44) 配偶者や恋人に対してDVをしていると思った経験の有無

問 21. あなたは、これまで配偶者又は恋人（ともに元を含む）に、自分がDVをしているのではないかと思うことがありましたか。（○はひとつ）

配偶者や恋人に対してDVをしていると思った経験がある人は1割以下

● 配偶者や恋人に対してDVをしていると思った経験の有無について、「全くなかった」が69.7%で最も高く、「わからない」と回答した人の割合も11.5%と続く。



#### 【属性別特徴】

- 男性・40～44歳、男性・60～64歳では、「ときどきあった」の割合がやや高い。
- 男性・30～34歳、男性・50～54歳、男性・60～64歳では、「ほとんどなかった」の割合が高い。

#### ◆ 表 性別・年代別 ◆

		サンプル数	1. あった	2. ときどきあった	3. ほとんどなかった	4. 全くなかった	5. わからない	無回答	
		上段:実数、下段:%							
全体		703	11	14	65	490	81	42	
		100.0	1.6	2.0	9.2	69.7	11.5	6.0	
性別	男性	276	4	7	30	186	31	18	
		100.0	1.4	2.5	10.9	67.4	11.2	6.5	
	女性	418	6	7	35	298	48	24	
		100.0	1.4	1.7	8.4	71.3	11.5	5.7	
	回答しない	5	0	0	0	3	2	0	
		100.0	0.0	0.0	0.0	60.0	40.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28	0	0	2	18	4	4
			100.0	0.0	0.0	7.1	64.3	14.3	14.3
		女性	44	1	1	1	37	3	1
			100.0	2.3	2.3	2.3	84.1	6.8	2.3
	25～29歳	男性	14	0	0	1	12	1	0
			100.0	0.0	0.0	7.1	85.7	7.1	0.0
		女性	41	1	2	1	31	3	3
			100.0	2.4	4.9	2.4	75.6	7.3	7.3
	30～34歳	男性	19	0	1	3	14	1	0
			100.0	0.0	5.3	15.8	73.7	5.3	0.0
		女性	45	1	1	4	32	4	3
			100.0	2.2	2.2	8.9	71.1	8.9	6.7
	35～39歳	男性	34	0	0	2	29	2	1
			100.0	0.0	0.0	5.9	85.3	5.9	2.9
		女性	36	1	3	0	29	2	1
			100.0	2.8	8.3	0.0	80.6	5.6	2.8
	40～44歳	男性	27	0	2	0	21	2	2
			100.0	0.0	7.4	0.0	77.8	7.4	7.4
		女性	37	0	0	3	24	6	4
			100.0	0.0	0.0	8.1	64.9	16.2	10.8
	45～49歳	男性	37	0	0	5	22	6	4
			100.0	0.0	0.0	13.5	59.5	16.2	10.8
		女性	35	0	0	3	27	4	1
			100.0	0.0	0.0	8.6	77.1	11.4	2.9
50～54歳	男性	34	1	0	6	16	7	4	
		100.0	2.9	0.0	17.6	47.1	20.6	11.8	
	女性	33	0	0	3	21	6	3	
		100.0	0.0	0.0	9.1	63.6	18.2	9.1	
55～59歳	男性	44	2	1	5	29	5	2	
		100.0	4.5	2.3	11.4	65.9	11.4	4.5	
	女性	62	2	0	5	45	8	2	
		100.0	3.2	0.0	8.1	72.6	12.9	3.2	
60～64歳	男性	38	1	3	6	24	3	1	
		100.0	2.6	7.9	15.8	63.2	7.9	2.6	
	女性	83	0	0	15	50	12	6	
		100.0	0.0	0.0	18.1	60.2	14.5	7.2	

(45) 自身の行為について感じること

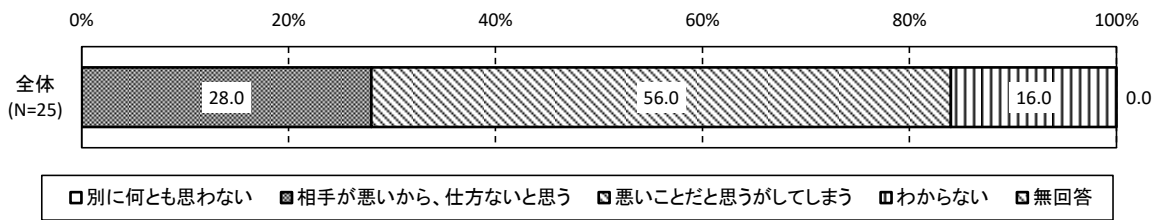
問 21 で、「1」又は「2」と回答された方にお聞きします。

問 21-1. あなたは、問 21 でお答えいただいた行為についてどう思っていますか。

(○はひとつ)

「悪いことだと思うがしてしまう」と思っている人が半数以上

●自身の行為について感じることに、**「相手が悪いから、仕方ないと思う」**が 28.0%、**「わからない」**が 16.0%ある。



【属性別特徴】

- 男性では、「悪いことだと思うがしてしまう」の割合が高い。
- 女性では、「相手が悪いから、仕方ないと思う」と「悪いことだと思うがしてしまう」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	別は何とも思わない	相手が悪いから、仕方ないと思う	悪いことだと思うがしてしまう	わからない	
上段:実数、下段:%							
全 体		25 100.0	0 0.0	7 28.0	14 56.0	4 16.0	
性別	男性	11 100.0	0 0.0	2 18.2	8 72.7	1 9.1	
	女性	13 100.0	0 0.0	5 38.5	5 38.5	3 23.1	
	回答しない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
性別・年代別	18~24歳	男性	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
		女性	2 100.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	
	25~29歳	男性	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
		女性	3 100.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3
	30~34歳	男性	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
		女性	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0
	35~39歳	男性	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		女性	4 100.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0
	40~44歳	男性	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0
		女性	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	45~49歳	男性	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		女性	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	50~54歳	男性	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
		女性	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	55~59歳	男性	3 100.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0
		女性	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
	60~64歳	男性	4 100.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0
		女性	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

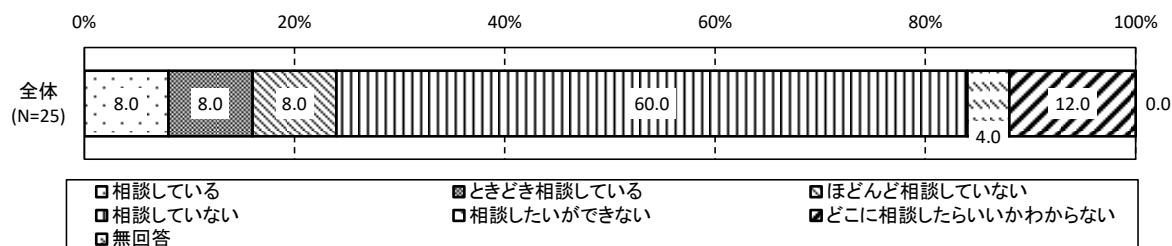
## 5 「DV防止と早期発見」について

### (46) 自身の行為についての相談状況

問 21-2. あなたは、問 21 でお答えいただいた行為について相談していますか。(○はひとつ)

自身の行為について「相談していない」人が 6 割

● 「相談したいができない」が 4.0%、「どこに相談したらいいかわからない」が 12.0% である。



#### 【属性別特徴】

● 女性では、「相談している」の割合がやや高い。

#### ◆ 表 性別・年代別 ◆

		サンプル数	相談している	るときどき相談している	ほとんど相談していない	相談していない	相談したいができない	どこに相談したらいいかわからない	無回答
上段:実数, 下段:%									
全体		25 100.0	2 8.0	2 8.0	2 8.0	15 60.0	1 4.0	3 12.0	0
性別	男性	11 100.0	0 0.0	1 9.1	1 9.1	7 63.6	1 9.1	1 9.1	0
	女性	13 100.0	2 15.4	1 7.7	0 0.0	8 61.5	0 0.0	2 15.4	0
	回答しない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0
性別・年代別	18~24歳	男性	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0
		女性	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0
	25~29歳	男性	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0
		女性	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3
	30~34歳	男性	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0
		女性	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0
	35~39歳	男性	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0
		女性	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0
	40~44歳	男性	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
		女性	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0
	45~49歳	男性	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0
		女性	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0
	50~54歳	男性	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0
		女性	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0
	55~59歳	男性	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0
		女性	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0
60~64歳	男性	4 100.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	0	
	女性	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	

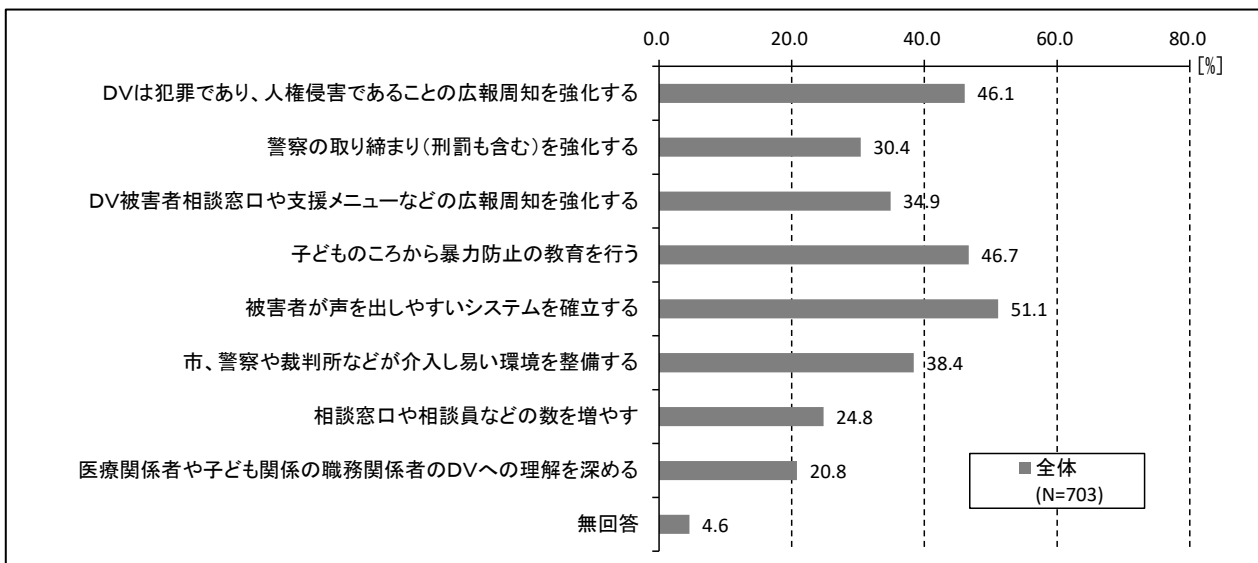
## (47) DV 防止や早期発見のために有効だと思うこと

問 22. あなたは、DV 防止や早期発見のために、何が有効だと思いますか。

(特に、有効だと思うもの3つに○)

半数以上の人「被害者が声を出し易いシステムを確立」することが有効だと考えている

● DV 防止や早期発見のために有効だと思うことについて、「被害者が声を出し易いシステムを確立」が 51.1% で最も高い。次に「子どものころからの暴力防止の教育を行う」46.7%、「DV は犯罪であり、人権侵害であることの広報周知を強化する」46.1% が続く。



## 5 「DV防止と早期発見」について

### 【属性別特徴】

- 男性・25～29歳、男性・55～59歳では、「子どものころから暴力防止の教育を行う」の割合が高い。
- 女性・30～34歳では、「被害者が声を出しやすいシステムを確立する」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	報知を強化することの広	DVは犯罪であり、人権侵害であることを広く周知することの広	警察の取り締まり（刑罰も含む）を強化する	DV被害者相談窓口や支援メニューなどの広報周知を強化する	DV被害者相談窓口や支援メニューなどの広報周知を強化する	子どものころから暴力防止の教育を行う	被害者が声を出しやすいシステムを確立する	市、警察や裁判所などとの連携を強化する	相談窓口や相談員などの数を増やす	医療関係者や子どもへの理解を深める	無回答
上段:実数, 下段:%		703	324	214	245	245	328	359	270	174	146	146	32
全体		100.0	46.1	30.4	34.9	34.9	46.7	51.1	38.4	24.8	20.8	20.8	4.6
性別	男性	276	121	86	93	121	121	109	60	50	50	25	25
	女性	418	196	126	148	201	233	158	112	93	7	7	7
	回答しない	5	4	2	2	3	4	3	2	2	0	0	0
		100.0	80.0	40.0	40.0	60.0	80.0	60.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0
性別・年代別	18～24歳	男性	28	12	11	10	12	9	9	3	3	3	3
		女性	44	17	17	12	12	27	10	13	13	0	0
	25～29歳	男性	14	8	5	2	9	4	4	2	1	0	0
		女性	41	20	17	13	19	24	16	8	8	0	0
	30～34歳	男性	19	6	7	5	8	11	7	3	2	1	1
		女性	45	19	17	20	32	18	21	10	9	0	0
	35～39歳	男性	34	14	8	9	11	14	17	6	4	4	3
		女性	36	15	13	18	16	19	13	9	7	0	0
	40～44歳	男性	27	9	4	8	12	15	13	7	9	2	2
		女性	37	13	13	11	22	20	18	11	7	0	0
	45～49歳	男性	37	14	13	13	13	17	21	6	8	4	4
		女性	35	17	11	13	18	18	15	8	8	0	0
	50～54歳	男性	34	14	10	14	17	15	12	9	6	6	6
		女性	33	15	6	7	18	20	12	9	8	0	0
	55～59歳	男性	44	26	17	19	26	14	11	8	11	3	3
		女性	62	35	14	19	30	31	24	13	14	4	4
	60～64歳	男性	38	18	10	16	15	19	15	10	6	2	2
		女性	83	45	17	34	46	41	28	31	19	3	3

- DVを受けたことがある人では、「DVは犯罪であり、人権侵害であることの広報周知を強化する」「被害者が声を出しやすいシステムを確立する」の割合が高い。
- 配偶者や恋人に対するDVがほとんどなかった人では、「DVは犯罪であり、人権侵害であることの広報周知を強化する」の割合が高い。

◆表 DVを受けた又は見聞きした経験、DVをしていると思った経験別◆

		サンプル数	報知を強化することの広	DVは犯罪であり、人権侵害であることを広く周知することの広	警察の取り締まり（刑罰も含む）を強化する	DV被害者相談窓口や支援メニューなどの広報周知を強化する	子どものころから暴力防止の教育を行う	被害者が声を出しやすいシステムを確立する	市、警察や裁判所などとの連携を強化する	相談窓口や相談員などの数を増やす	医療関係者や子どもへの理解を深める	無回答
上段:実数, 下段:%		703	324	214	245	245	328	359	270	174	146	32
全体		100.0	46.1	30.4	34.9	34.9	46.7	51.1	38.4	24.8	20.8	4.6
見聞きした経験は	受けたことがある	71	44	19	33	30	36	25	18	18	0	0
	見聞きしたことがある	148	73	33	54	77	73	33	37	38	4	4
	全くなかった	382	172	141	122	181	207	147	92	73	17	17
	わからない	107	45	21	42	43	43	47	26	17	7	7
		100.0	42.1	19.6	39.3	40.2	40.2	43.9	24.3	15.9	6.5	6.5
		11	5	2	6	2	3	3	5	2	1	1
配偶者や恋人に対する経験の有無	あった	14	7	2	4	6	6	5	4	3	1	1
	ときどきあった	100.0	50.0	14.3	28.6	42.9	42.9	35.7	28.6	21.4	7.1	7.1
	ほとんどなかった	65	38	20	25	29	26	23	15	15	2	2
	全くなかった	490	231	161	173	239	264	201	119	103	11	11
	わからない	81	32	17	27	40	44	27	24	19	4	4
		100.0	39.5	21.0	33.3	49.4	54.3	33.3	29.6	23.5	4.9	4.9

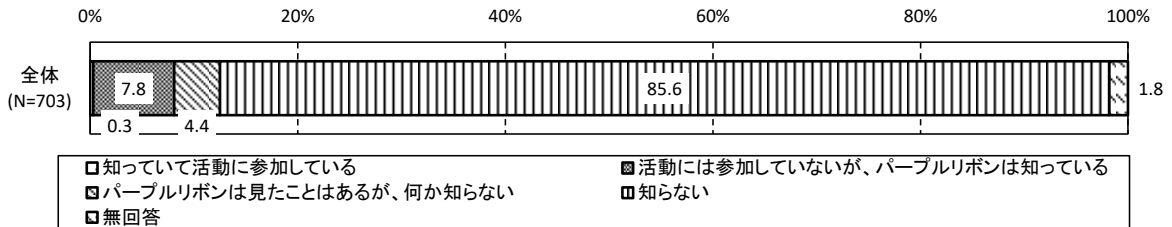


(48) 「パープルリボン」の認知度

問 23. あなたは、「パープルリボン」について知っていますか。(〇はひとつ)

8 割以上の人「パープルリボン」を知らない

● 「パープルリボン」の認知度について、「知らない」が 85.6% で最も高い。



【属性別特徴】

● 女性・50～54 歳では、「活動には参加していないが、パープルリボンは知っている」の割合が高い。

● 広報紙を読んでいる人は「パープルリボン」の認知度も高い。

◆ 表 性別・年代別 ◆

		サンプル数	知っている活動に参加している	パープルリボンは見たことはあるが、何か知らない	活動には参加していないが、パープルリボンは知っている	知らない	無回答
上段:実数、下段:%							
全体		703	2 100.0	55 0.3	31 7.8	602 4.4	13 85.6
性別	男性	276	2 100.0	17 0.7	10 6.2	237 85.9	10 3.6
	女性	418	0 100.0	37 0.0	21 8.9	357 85.4	3 0.7
	回答しない	5	0 100.0	0 0.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0
性別・年代別	18～24歳	男性	28	0	1	0	25
		女性	44	0	3	3	38
	25～29歳	男性	14	0	0	1	13
		女性	41	0	4	0	37
	30～34歳	男性	19	0	0	1	17
		女性	45	0	3	2	40
	35～39歳	男性	34	1	2	0	30
		女性	36	0	1	4	31
	40～44歳	男性	27	0	2	1	23
		女性	37	0	3	3	31
	45～49歳	男性	37	0	2	0	33
		女性	35	0	4	2	29
	50～54歳	男性	34	0	4	2	27
		女性	33	0	6	4	23
	55～59歳	男性	44	1	3	2	36
		女性	62	0	6	1	54
	60～64歳	男性	38	0	3	3	32
		女性	83	0	7	2	72

◆ 表 広報紙の閲読状況別 ◆

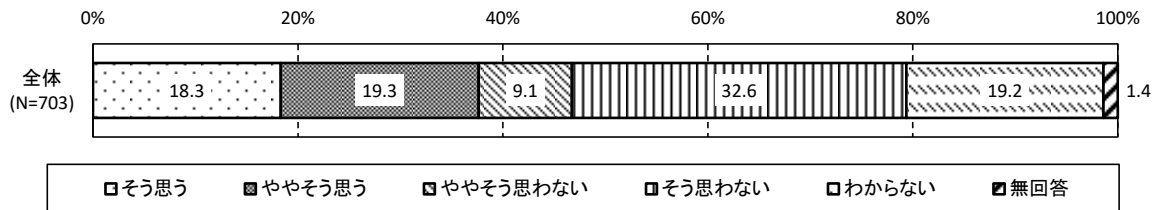
		サンプル数	知っている活動に参加している	パープルリボンは見たことはあるが、何か知らない	活動には参加していないが、パープルリボンは知っている	知らない	無回答
上段:実数、下段:%							
全体		703	2 100.0	55 0.3	31 7.8	602 4.4	13 85.6
広報紙の閲読状況	毎号必ず読む	225	1 100.0	25 0.4	11 11.1	185 82.2	3 1.3
	ときどき読む	213	1 100.0	16 0.5	14 7.5	179 84.0	3 1.4
	あまり読まない	136	0 100.0	10 0.0	4 7.4	118 86.8	4 2.9
	まったく読まない	125	0 100.0	4 0.0	2 3.2	117 93.6	2 1.6

## 6 「自殺・うつ病の予防」について

(49) 自殺について思うこと (生死は最終的に本人の判断に任せるべきである)  
 問 24-a. あなたは、「自殺」についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(あてはまるものに○)

「生死は最終的に本人の判断に任せるべきである」と思う人は約4割程度

●自殺について思うこと (生死は最終的に本人の判断に任せるべきである) について、「そう思わない」が32.6%で最も高い。



### 【属性別特徴】

●男性・35～39歳、女性18～24歳では、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた者の割合が高い。

### ◆表 性別・年代別◆

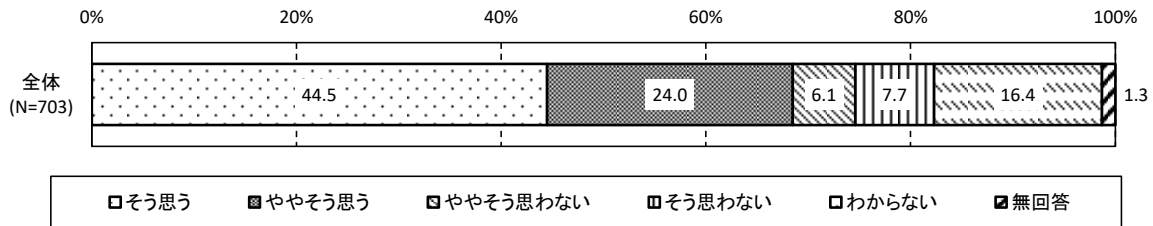
		サンプル数	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	
上段:実数、下段:%									
全体		703	129	136	64	229	135	10	
		100.0	18.3	19.3	9.1	32.6	19.2	1.4	
性別	男性	276	61	50	22	90	46	7	
		100.0	22.1	18.1	8.0	32.6	16.7	2.5	
	女性	418	65	85	41	136	88	3	
		100.0	15.6	20.3	9.8	32.5	21.1	0.7	
	回答しない	5	2	0	1	1	1	0	
		100.0	40.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28	5	4	3	8	8	0
			100.0	17.9	14.3	10.7	28.6	28.6	0.0
		女性	44	10	16	4	5	9	0
			100.0	22.7	36.4	9.1	11.4	20.5	0.0
	25～29歳	男性	14	4	3	2	3	1	1
			100.0	28.6	21.4	14.3	21.4	7.1	7.1
		女性	41	8	13	2	14	4	0
			100.0	19.5	31.7	4.9	34.1	9.8	0.0
	30～34歳	男性	19	4	3	3	7	2	0
			100.0	21.1	15.8	15.8	36.8	10.5	0.0
		女性	45	7	15	5	12	6	0
			100.0	15.6	33.3	11.1	26.7	13.3	0.0
	35～39歳	男性	34	12	10	1	5	4	2
			100.0	35.3	29.4	2.9	14.7	11.8	5.9
		女性	36	6	9	3	9	8	1
			100.0	16.7	25.0	8.3	25.0	22.2	2.8
	40～44歳	男性	27	8	5	4	4	5	1
			100.0	29.6	18.5	14.8	14.8	18.5	3.7
		女性	37	9	7	5	11	5	0
			100.0	24.3	18.9	13.5	29.7	13.5	0.0
	45～49歳	男性	37	10	6	2	14	4	1
			100.0	27.0	16.2	5.4	37.8	10.8	2.7
		女性	35	3	9	4	16	3	0
			100.0	8.6	25.7	11.4	45.7	8.6	0.0
50～54歳	男性	34	5	7	3	9	10	0	
		100.0	14.7	20.6	8.8	26.5	29.4	0.0	
	女性	33	5	6	3	9	9	1	
		100.0	15.2	18.2	9.1	27.3	27.3	3.0	
55～59歳	男性	44	6	8	3	21	4	2	
		100.0	13.6	18.2	6.8	47.7	9.1	4.5	
	女性	62	6	3	6	25	22	0	
		100.0	9.7	4.8	9.7	40.3	35.5	0.0	
60～64歳	男性	38	7	4	1	19	7	0	
		100.0	18.4	10.5	2.6	50.0	18.4	0.0	
	女性	83	11	6	8	35	22	1	
		100.0	13.3	7.2	9.6	42.2	26.5	1.2	

(50) 自殺について思うこと (自殺せずに生きていれば良いことがある)

問 24-b. あなたは、「自殺」についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(あてはまるものに○)

「自殺せずに生きていれば良いことがある」と思う人が約7割

● 「自殺せずに生きていれば良いことがある」について、「そう思う」が44.5%で最も高い。



【属性別特徴】

● 女性・45～49歳、女性・35～39歳では、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた者の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	
上段:実数、下段:%									
全体		703 100.0	313 44.5	169 24.0	43 6.1	54 7.7	115 16.4	9 1.3	
性別	男性	276 100.0	118 42.8	61 22.1	17 6.2	27 9.8	46 16.7	7 2.5	
	女性	418 100.0	192 45.9	105 25.1	26 6.2	26 6.2	67 16.0	2 0.5	
	回答しない	5 100.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28 100.0	11 39.3	6 21.4	1 3.6	3 10.7	7 25.0	0 0.0
		女性	44 100.0	22 50.0	11 25.0	2 4.5	3 6.8	6 13.6	0 0.0
	25～29歳	男性	14 100.0	3 21.4	4 28.6	3 21.4	2 14.3	1 7.1	1 7.1
		女性	41 100.0	15 36.6	13 31.7	3 7.3	6 14.6	4 9.8	0 0.0
	30～34歳	男性	19 100.0	7 36.8	6 31.6	0 0.0	1 5.3	5 26.3	0 0.0
		女性	45 100.0	18 40.0	11 24.4	4 8.9	8 17.8	4 8.9	0 0.0
	35～39歳	男性	34 100.0	15 44.1	6 17.6	3 8.8	5 14.7	4 11.8	1 2.9
		女性	36 100.0	20 55.6	8 22.2	2 5.6	1 2.8	5 13.9	0 0.0
	40～44歳	男性	27 100.0	12 44.4	4 14.8	4 14.8	3 11.1	3 11.1	1 3.7
		女性	37 100.0	13 35.1	9 24.3	6 16.2	2 5.4	7 18.9	0 0.0
	45～49歳	男性	37 100.0	13 35.1	10 27.0	1 2.7	5 13.5	7 18.9	1 2.7
		女性	35 100.0	12 34.3	16 45.7	1 2.9	1 2.9	5 14.3	0 0.0
	50～54歳	男性	34 100.0	16 47.1	7 20.6	2 5.9	1 2.9	7 20.6	1 2.9
		女性	33 100.0	17 51.5	8 24.2	5 15.2	0 0.0	3 9.1	0 0.0
	55～59歳	男性	44 100.0	21 47.7	10 22.7	2 4.5	3 6.8	6 13.6	2 4.5
		女性	62 100.0	33 53.2	14 22.6	1 1.6	3 4.8	11 17.7	0 0.0
	60～64歳	男性	38 100.0	20 52.6	8 21.1	1 2.6	4 10.5	5 13.2	0 0.0
		女性	83 100.0	42 50.6	14 16.9	2 2.4	2 2.4	21 25.3	2 2.4

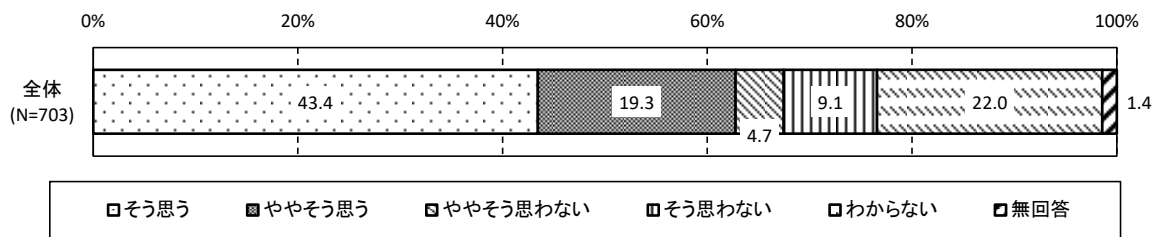
## 6 「自殺・うつ病の予防」について

(5 1) 自殺について思うこと (自殺する人は、直前まで実行するかやめるか気持ちが揺れ動いている)

問 24-c. あなたは、「自殺」についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(あてはまるものに○)

「自殺する人は、直前まで実行するかやめるか気持ちが揺れ動いている」と思う人が6割以上

● 「自殺する人は、直前まで実行するかやめるか気持ちが揺れ動いている」について、「そう思う」が43.4%で最も高く、次いで「わからない」が22.0%であった。



### 【属性別特徴】

● 男性・60～64歳、女性・45～49歳では、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた者の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

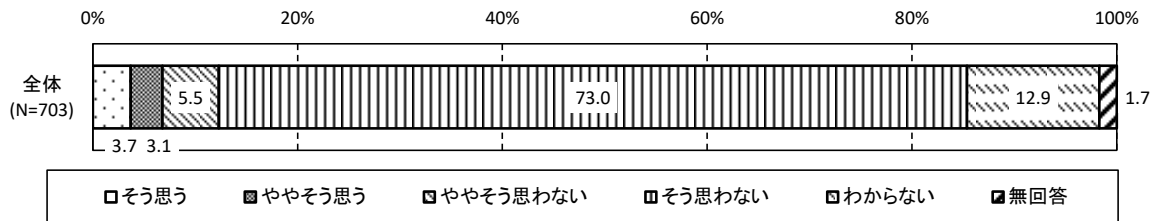
		サンプル数	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	
上段: 実数, 下段: %									
全体		703	305	136	33	64	155	10	
		100.0	43.4	19.3	4.7	9.1	22.0	1.4	
性別	男性	276	136	46	7	18	61	8	
		100.0	49.3	16.7	2.5	6.5	22.1	2.9	
	女性	418	165	88	25	45	93	2	
	100.0	39.5	21.1	6.0	10.8	22.2	0.5		
	回答しない	5	3	1	0	0	1	0	
	100.0	60.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0		
性別・年代別	18～24歳	男性	28	14	4	0	3	7	0
			100.0	50.0	14.3	0.0	10.7	25.0	0.0
		女性	44	14	11	3	7	9	0
		100.0	31.8	25.0	6.8	15.9	20.5	0.0	
	25～29歳	男性	14	6	2	1	3	1	1
			100.0	42.9	14.3	7.1	21.4	7.1	7.1
		女性	41	17	8	2	5	9	0
		100.0	41.5	19.5	4.9	12.2	22.0	0.0	
	30～34歳	男性	19	6	7	0	1	5	0
			100.0	31.6	36.8	0.0	5.3	26.3	0.0
		女性	45	15	7	4	7	12	0
		100.0	33.3	15.6	8.9	15.6	26.7	0.0	
	35～39歳	男性	34	16	7	1	0	8	2
			100.0	47.1	20.6	2.9	0.0	23.5	5.9
		女性	36	11	9	7	3	6	0
		100.0	30.6	25.0	19.4	8.3	16.7	0.0	
	40～44歳	男性	27	13	4	0	2	7	1
			100.0	48.1	14.8	0.0	7.4	25.9	3.7
		女性	37	12	13	1	3	8	0
		100.0	32.4	35.1	2.7	8.1	21.6	0.0	
	45～49歳	男性	37	21	4	2	2	7	1
			100.0	56.8	10.8	5.4	5.4	18.9	2.7
		女性	35	18	7	4	4	2	0
		100.0	51.4	20.0	11.4	11.4	5.7	0.0	
50～54歳	男性	34	16	3	0	3	11	1	
		100.0	47.1	8.8	0.0	8.8	32.4	2.9	
	女性	33	11	10	1	4	6	1	
	100.0	33.3	30.3	3.0	12.1	18.2	3.0		
55～59歳	男性	44	21	8	2	3	8	2	
		100.0	47.7	18.2	4.5	6.8	18.2	4.5	
	女性	62	27	11	2	4	18	0	
	100.0	43.5	17.7	3.2	6.5	29.0	0.0		
60～64歳	男性	38	23	7	1	1	6	0	
		100.0	60.5	18.4	2.6	2.6	15.8	0.0	
	女性	83	39	12	1	7	23	1	
	100.0	47.0	14.5	1.2	8.4	27.7	1.2		

(52) 自殺について思うこと (責任を取って自殺することは仕方がない)

問 24-d. あなたは、「自殺」についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(あてはまるものに○)

「責任を取って自殺することは仕方がない」と思う人は1割弱

● 「責任を取って自殺することは仕方がない」について、「そう思わない」が73.0%で最も高い。



【属性別特徴】

● 男性・25～29歳、男性・45～49歳では、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた者の割合がやや高い。

◆ 表 性別・年代別 ◆

		サンプル数	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	
上段:実数, 下段:%									
全体		703	26 3.7	22 3.1	39 5.5	513 73.0	91 12.9	12 1.7	
性別	男性	276	13 4.7	8 2.9	22 8.0	186 67.4	38 13.8	9 3.3	
	女性	418	12 2.9	14 3.3	16 3.8	321 76.8	52 12.4	3 0.7	
	回答しない	5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28	1 3.6	2 7.1	3 10.7	17 60.7	5 17.9	0 0.0
		女性	44	0 0.0	2 4.5	0 0.0	32 72.7	10 22.7	0 0.0
	25～29歳	男性	14	1 7.1	1 7.1	0 0.0	10 71.4	1 7.1	1 7.1
		女性	41	2 4.9	2 4.9	3 7.3	32 78.0	2 4.9	0 0.0
	30～34歳	男性	19	0 0.0	0 0.0	4 21.1	14 73.7	1 5.3	0 0.0
		女性	45	0 0.0	1 2.2	2 4.4	36 80.0	6 13.3	0 0.0
	35～39歳	男性	34	1 2.9	1 2.9	4 11.8	19 55.9	6 17.6	3 8.8
		女性	36	2 5.6	1 2.8	2 5.6	29 80.6	2 5.6	0 0.0
	40～44歳	男性	27	0 0.0	1 3.7	3 11.1	18 66.7	4 14.8	1 3.7
		女性	37	3 8.1	1 2.7	1 2.7	29 78.4	3 8.1	0 0.0
	45～49歳	男性	37	4 10.8	1 2.7	1 2.7	26 70.3	4 10.8	1 2.7
		女性	35	0 0.0	1 2.9	1 2.9	30 85.7	3 8.6	0 0.0
	50～54歳	男性	34	1 2.9	1 2.9	3 8.8	21 61.8	7 20.6	1 2.9
		女性	33	2 6.1	0 0.0	1 3.0	24 72.7	5 15.2	1 3.0
	55～59歳	男性	44	2 4.5	1 2.3	1 2.3	33 75.0	5 11.4	2 4.5
		女性	62	2 3.2	2 3.2	3 4.8	47 75.8	8 12.9	0 0.0
	60～64歳	男性	38	3 7.9	0 0.0	3 7.9	28 73.7	4 10.5	0 0.0
		女性	83	1 1.2	4 4.8	3 3.6	60 72.3	13 15.7	2 2.4

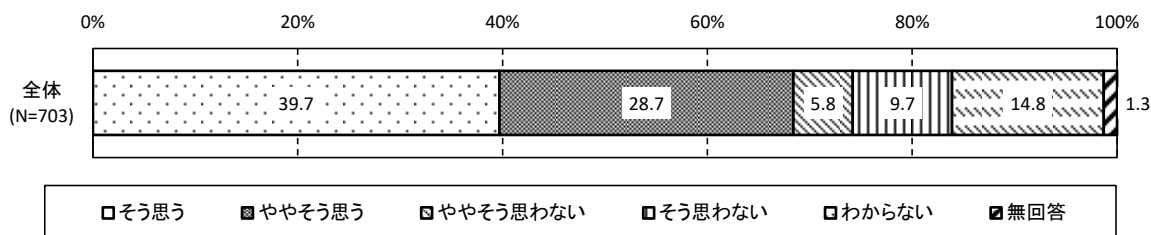
## 6 「自殺・うつ病の予防」について

(53) 自殺について思うこと(自殺はその多くが防ぐことのできる社会的な問題である)

問 24-e. あなたは、「自殺」についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(あてはまるものに○)

「自殺はその多くが防ぐことのできる社会的な問題である」と思う人が約7割

● 「自殺はその多くが防ぐことのできる社会的な問題である」について、「そう思う」が39.7%で最も高い。



### 【属性別特徴】

- 男性・60～64歳、女性45～49歳では、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた者の割合が高い。
- 男性・25～29歳、男性・35～39歳では、「ややそう思わない」「そう思わない」を合わせた者の割合が高い。

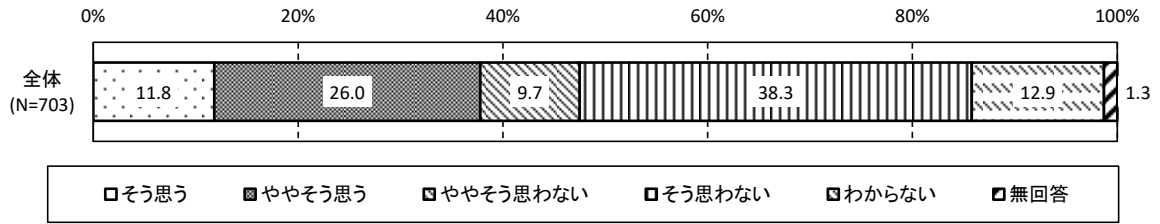
◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	
上段:実数, 下段:%									
全体		703	279	202	41	68	104	9	
		100.0	39.7	28.7	5.8	9.7	14.8	1.3	
性別	男性	276	116	68	15	33	37	7	
		100.0	42.0	24.6	5.4	12.0	13.4	2.5	
	女性	418	159	132	25	34	66	2	
	100.0	38.0	31.6	6.0	8.1	15.8	0.5		
	回答しない	5	2	2	0	0	1	0	
		100.0	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28	10	6	1	4	7	0
			100.0	35.7	21.4	3.6	14.3	25.0	0.0
	女性	44	15	13	5	3	8	0	
		100.0	34.1	29.5	11.4	6.8	18.2	0.0	
	25～29歳	男性	14	4	4	1	4	0	1
			100.0	28.6	28.6	7.1	28.6	0.0	7.1
	女性	41	10	15	3	5	8	0	
		100.0	24.4	36.6	7.3	12.2	19.5	0.0	
	30～34歳	男性	19	9	3	1	2	4	0
			100.0	47.4	15.8	5.3	10.5	21.1	0.0
	女性	45	18	14	5	2	6	0	
		100.0	40.0	31.1	11.1	4.4	13.3	0.0	
	35～39歳	男性	34	12	6	4	6	4	2
			100.0	35.3	17.6	11.8	17.6	11.8	5.9
	女性	36	16	8	2	3	7	0	
		100.0	44.4	22.2	5.6	8.3	19.4	0.0	
	40～44歳	男性	27	10	7	1	5	3	1
			100.0	37.0	25.9	3.7	18.5	11.1	3.7
	女性	37	15	11	2	6	3	0	
		100.0	40.5	29.7	5.4	16.2	8.1	0.0	
	45～49歳	男性	37	16	11	2	3	4	1
			100.0	43.2	29.7	5.4	8.1	10.8	2.7
	女性	35	12	15	2	1	5	0	
		100.0	34.3	42.9	5.7	2.9	14.3	0.0	
50～54歳	男性	34	18	8	2	0	5	1	
		100.0	52.9	23.5	5.9	0.0	14.7	2.9	
女性	33	12	13	3	1	3	1		
	100.0	36.4	39.4	9.1	3.0	9.1	3.0		
55～59歳	男性	44	16	13	1	6	7	1	
		100.0	36.4	29.5	2.3	13.6	15.9	2.3	
女性	62	25	18	1	9	9	0		
	100.0	40.3	29.0	1.6	14.5	14.5	0.0		
60～64歳	男性	38	21	10	2	3	2	0	
		100.0	55.3	26.3	5.3	7.9	5.3	0.0	
女性	83	35	24	2	4	17	1		
	100.0	42.2	28.9	2.4	4.8	20.5	1.2		

(54) 「うつ病」について思うこと(うつ病は精神的な弱さや性格が原因である)  
 問 25-a. あなたは、「うつ病」についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(あてはまるものに○)

「うつ病は精神的な弱さや性格が原因である」と思う人が約 4 割

- 「うつ病」について思うこと (うつ病は精神的な弱さや性格が原因である) について、「そう思わない」が 38.3% で最も高い。



【属性別特徴】

- 男性・40～44 歳、男性・30～34 歳では、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた者の割合が高い。
- 女性・45～49 歳、女性・25～29 歳、では、「ややそう思わない」「ややそう思う」を合わせた者の割合が高い。

◆ 表 性別・年代別 ◆

		サンプル数	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	
上段:実数, 下段:%									
全体		703	83	183	68	269	91	9	
		100.0	11.8	26.0	9.7	38.3	12.9	1.3	
性別	男性	276	40	75	22	89	43	7	
		100.0	14.5	27.2	8.0	32.2	15.6	2.5	
	女性	418	42	107	45	175	47	2	
	100.0	10.0	25.6	10.8	41.9	11.2	0.5		
	回答しない	5	1	1	1	2	0	0	
	100.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0		
性別・年代別	18～24歳	男性	28	3	4	4	10	7	0
			100.0	10.7	14.3	14.3	35.7	25.0	0.0
		女性	44	2	11	6	18	7	0
		100.0	4.5	25.0	13.6	40.9	15.9	0.0	
	25～29歳	男性	14	4	1	1	4	3	1
			100.0	28.6	7.1	7.1	28.6	21.4	7.1
		女性	41	3	12	6	18	2	0
		100.0	7.3	29.3	14.6	43.9	4.9	0.0	
	30～34歳	男性	19	2	9	0	7	1	0
			100.0	10.5	47.4	0.0	36.8	5.3	0.0
		女性	45	4	12	6	19	4	0
		100.0	8.9	26.7	13.3	42.2	8.9	0.0	
	35～39歳	男性	34	8	5	3	13	3	2
			100.0	23.5	14.7	8.8	38.2	8.8	5.9
		女性	36	4	9	4	14	5	0
		100.0	11.1	25.0	11.1	38.9	13.9	0.0	
	40～44歳	男性	27	5	14	3	3	1	1
			100.0	18.5	51.9	11.1	11.1	3.7	3.7
		女性	37	3	11	3	18	1	1
		100.0	8.1	29.7	8.1	48.6	2.7	2.7	
45～49歳	男性	37	4	11	4	12	5	1	
		100.0	10.8	29.7	10.8	32.4	13.5	2.7	
	女性	35	1	11	4	18	1	0	
	100.0	2.9	31.4	11.4	51.4	2.9	0.0		
50～54歳	男性	34	3	8	1	14	8	0	
		100.0	8.8	23.5	2.9	41.2	23.5	0.0	
	女性	33	3	14	4	7	4	1	
	100.0	9.1	42.4	12.1	21.2	12.1	3.0		
55～59歳	男性	44	5	10	4	16	7	2	
		100.0	11.4	22.7	9.1	36.4	15.9	4.5	
	女性	62	7	10	8	27	10	0	
	100.0	11.3	16.1	12.9	43.5	16.1	0.0		
60～64歳	男性	38	6	13	2	10	7	0	
		100.0	15.8	34.2	5.3	26.3	18.4	0.0	
	女性	83	15	17	4	34	13	0	
	100.0	18.1	20.5	4.8	41.0	15.7	0.0		

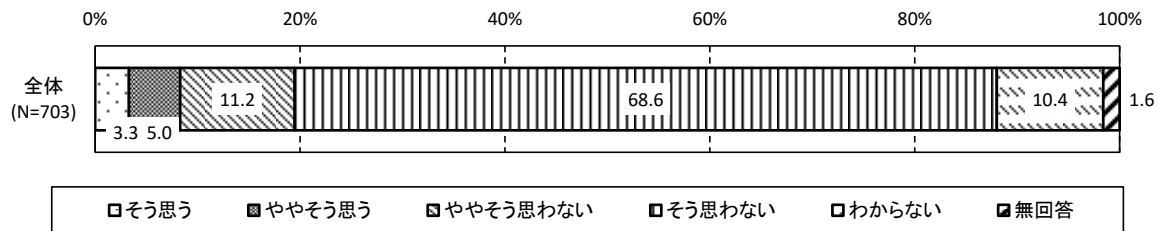
## 6 「自殺・うつ病の予防」について

(55) 「うつ病」について思うこと（うつ病は本人の怠け・甘えであり、病気ではない）

問 25-b. あなたは、「うつ病」についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。（あてはまるものに○）

「うつ病は本人の怠け・甘えであり、病気ではない」と思う人は1割弱

● 「うつ病は本人の怠け・甘えであり、病気ではない」について、「そう思わない」が68.6%で最も高い。



### 【属性別特徴】

● 男性・25～29歳、男性・40～44歳では、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた者の割合が高い。

### ◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	
上段:実数, 下段:%									
全体		703	23	35	79	482	73	11	
		100.0	3.3	5.0	11.2	68.6	10.4	1.6	
性別	男性	276	10	16	27	178	37	8	
		100.0	3.6	5.8	9.8	64.5	13.4	2.9	
	女性	418	12	19	51	298	35	3	
		100.0	2.9	4.5	12.2	71.3	8.4	0.7	
回答しない		5	0	0	1	4	0	0	
		100.0	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28	0	1	3	18	6	0
			100.0	0.0	3.6	10.7	64.3	21.4	0.0
		女性	44	0	3	7	30	3	1
			100.0	0.0	6.8	15.9	68.2	6.8	2.3
	25～29歳	男性	14	3	0	1	8	1	1
			100.0	21.4	0.0	7.1	57.1	7.1	7.1
		女性	41	0	1	7	32	1	0
			100.0	0.0	2.4	17.1	78.0	2.4	0.0
	30～34歳	男性	19	0	1	2	15	1	0
			100.0	0.0	5.3	10.5	78.9	5.3	0.0
		女性	45	1	3	5	33	3	0
			100.0	2.2	6.7	11.1	73.3	6.7	0.0
	35～39歳	男性	34	0	4	5	19	3	3
			100.0	0.0	11.8	14.7	55.9	8.8	8.8
		女性	36	1	1	5	27	2	0
			100.0	2.8	2.8	13.9	75.0	5.6	0.0
	40～44歳	男性	27	0	4	4	17	1	1
			100.0	0.0	14.8	14.8	63.0	3.7	3.7
		女性	37	1	0	6	27	3	0
			100.0	2.7	0.0	16.2	73.0	8.1	0.0
45～49歳	男性	37	2	1	3	26	4	1	
		100.0	5.4	2.7	8.1	70.3	10.8	2.7	
	女性	35	1	0	7	25	2	0	
		100.0	2.9	0.0	20.0	71.4	5.7	0.0	
50～54歳	男性	34	1	0	1	23	9	0	
		100.0	2.9	0.0	2.9	67.6	26.5	0.0	
	女性	33	2	2	4	22	2	1	
		100.0	6.1	6.1	12.1	66.7	6.1	3.0	
55～59歳	男性	44	1	3	4	27	7	2	
		100.0	2.3	6.8	9.1	61.4	15.9	4.5	
	女性	62	3	4	2	45	7	1	
		100.0	4.8	6.5	3.2	72.6	11.3	1.6	
60～64歳	男性	38	3	2	4	25	4	0	
		100.0	7.9	5.3	10.5	65.8	10.5	0.0	
	女性	83	3	5	8	55	12	0	
		100.0	3.6	6.0	9.6	66.3	14.5	0.0	

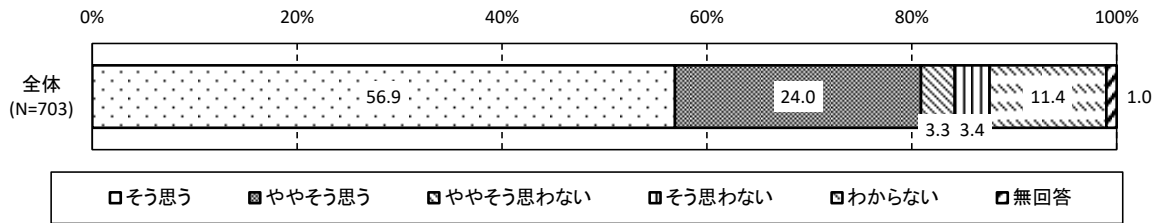


(56) 「うつ病」について思うこと (うつ病は休養をとることが大切である)

問 25-c. あなたは、「うつ病」についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(あてはまるものに○)

「うつ病は休養をとることが大切である」と思う人は約 8 割

● 「うつ病」について思うこと (うつ病は休養をとることが大切である) について、「そう思う」が 56.9% で最も高い。



【属性別特徴】

● 男性・18～24 歳では、「そう思う」の割合が高い。

◆ 表 性別・年代別 ◆

		サンプル数	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	
上段:実数, 下段:%									
全 体		703	400	169	23	24	80	7	
		100.0	56.9	24.0	3.3	3.4	11.4	1.0	
性別	男性	276	142	63	11	17	37	6	
		100.0	51.4	22.8	4.0	6.2	13.4	2.2	
	女性	418	251	105	12	7	42	1	
	100.0	60.0	25.1	2.9	1.7	10.0	0.2		
	回答しない	5	5	0	0	0	0	0	
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28	15	7	1	1	4	0
			100.0	53.6	25.0	3.6	3.6	14.3	0.0
		女性	44	34	6	0	1	3	0
		100.0	77.3	13.6	0.0	2.3	6.8	0.0	
	25～29歳	男性	14	9	2	0	1	1	1
			100.0	64.3	14.3	0.0	7.1	7.1	7.1
		女性	41	27	11	1	0	2	0
		100.0	65.9	26.8	2.4	0.0	4.9	0.0	
	30～34歳	男性	19	12	5	1	0	1	0
			100.0	63.2	26.3	5.3	0.0	5.3	0.0
		女性	45	26	14	2	1	2	0
		100.0	57.8	31.1	4.4	2.2	4.4	0.0	
	35～39歳	男性	34	17	8	3	3	1	2
			100.0	50.0	23.5	8.8	8.8	2.9	5.9
		女性	36	20	10	2	0	4	0
		100.0	55.6	27.8	5.6	0.0	11.1	0.0	
	40～44歳	男性	27	15	4	0	3	4	1
			100.0	55.6	14.8	0.0	11.1	14.8	3.7
		女性	37	21	11	2	1	2	0
		100.0	56.8	29.7	5.4	2.7	5.4	0.0	
45～49歳	男性	37	19	8	2	1	6	1	
		100.0	51.4	21.6	5.4	2.7	16.2	2.7	
	女性	35	21	10	2	0	2	0	
	100.0	60.0	28.6	5.7	0.0	5.7	0.0		
50～54歳	男性	34	16	5	1	2	10	0	
		100.0	47.1	14.7	2.9	5.9	29.4	0.0	
	女性	33	18	9	0	1	4	1	
	100.0	54.5	27.3	0.0	3.0	12.1	3.0		
55～59歳	男性	44	20	13	0	4	6	1	
		100.0	45.5	29.5	0.0	9.1	13.6	2.3	
	女性	62	40	12	2	0	8	0	
	100.0	64.5	19.4	3.2	0.0	12.9	0.0		
60～64歳	男性	38	19	11	3	2	3	0	
		100.0	50.0	28.9	7.9	5.3	7.9	0.0	
	女性	83	42	22	1	3	15	0	
	100.0	50.6	26.5	1.2	3.6	18.1	0.0		

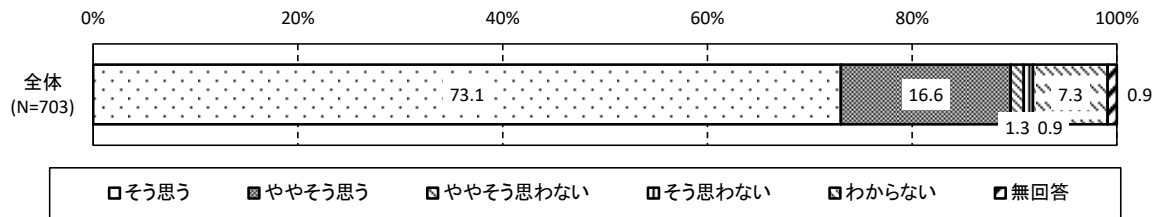
## 6 「自殺・うつ病の予防」について

(57) 「うつ病」について思うこと(うつ病は早期発見・早期治療が大切である)

問 25-d. あなたは、「うつ病」についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(あてはまるものに○)

「うつ病は早期発見・早期治療が大切である」と思う人は約9割

● 「うつ病」について思うこと(うつ病は早期発見・早期治療が大切である)について、「そう思う」が73.1%で最も高い。



### 【属性別特徴】

● 男性・30～34歳、女性・35～39歳、女性・55～59歳では、「そう思う」の割合が高い。

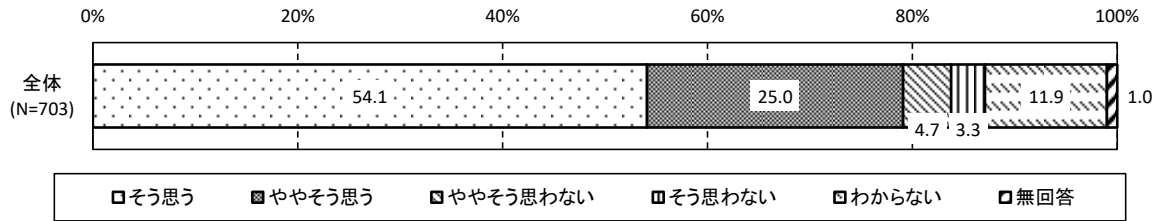
### ◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	
上段:実数, 下段:%									
全体		703	514	117	9	6	51	6	
		100.0	73.1	16.6	1.3	0.9	7.3	0.9	
性別	男性	276	177	50	8	3	32	6	
		100.0	64.1	18.1	2.9	1.1	11.6	2.2	
	女性	418	331	66	1	2	18	0	
		100.0	79.2	15.8	0.2	0.5	4.3	0.0	
回答しない		5	5	0	0	0	0	0	
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28	19	4	1	0	4	0
			100.0	67.9	14.3	3.6	0.0	14.3	0.0
	女性	44	36	6	0	0	2	0	
		100.0	81.8	13.6	0.0	0.0	4.5	0.0	
	25～29歳	男性	14	10	2	0	0	1	1
		100.0	71.4	14.3	0.0	0.0	7.1	7.1	
	女性	41	31	7	1	0	2	0	
		100.0	75.6	17.1	2.4	0.0	4.9	0.0	
	30～34歳	男性	19	16	2	1	0	0	0
		100.0	84.2	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0	
	女性	45	36	6	0	1	2	0	
		100.0	80.0	13.3	0.0	2.2	4.4	0.0	
	35～39歳	男性	34	19	4	4	1	4	2
		100.0	55.9	11.8	11.8	2.9	11.8	5.9	
	女性	36	30	3	0	0	3	0	
		100.0	83.3	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	
	40～44歳	男性	27	16	7	0	0	3	1
		100.0	59.3	25.9	0.0	0.0	11.1	3.7	
	女性	37	26	10	0	0	1	0	
		100.0	70.3	27.0	0.0	0.0	2.7	0.0	
45～49歳	男性	37	24	7	1	1	3	1	
	100.0	64.9	18.9	2.7	2.7	8.1	2.7		
女性	35	25	10	0	0	0	0		
	100.0	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0		
50～54歳	男性	34	20	6	0	1	7	0	
	100.0	58.8	17.6	0.0	2.9	20.6	0.0		
女性	33	27	4	0	1	1	0		
	100.0	81.8	12.1	0.0	3.0	3.0	0.0		
55～59歳	男性	44	29	9	1	0	4	1	
	100.0	65.9	20.5	2.3	0.0	9.1	2.3		
女性	62	54	6	0	0	2	0		
	100.0	87.1	9.7	0.0	0.0	3.2	0.0		
60～64歳	男性	38	24	9	0	0	5	0	
	100.0	63.2	23.7	0.0	0.0	13.2	0.0		
女性	83	64	14	0	0	5	0		
	100.0	77.1	16.9	0.0	0.0	6.0	0.0		

(58) 「うつ病」について思うこと(うつ病は適切な治療により治る病気である)  
 問 25-e. あなたは、「うつ病」についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(あてはまるものに○)

「うつ病は適切な治療により治る病気である」と思う人は約 8 割

- 「うつ病」について思うこと (うつ病は適切な治療により治る病気である) について、「そう思う」が 54.1% で最も高い。



【属性別特徴】

- 女性・60～64 歳では、「そう思う」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	
上段:実数, 下段:%									
全 体		703	380	176	33	23	84	7	
		100.0	54.1	25.0	4.7	3.3	11.9	1.0	
性別	男性	276	128	67	19	11	45	6	
		100.0	46.4	24.3	6.9	4.0	16.3	2.2	
	女性	418	249	105	14	11	38	1	
	100.0	59.6	25.1	3.3	2.6	9.1	0.2		
	回答しない	5	2	3	0	0	0	0	
	100.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28	12	7	3	0	6	0
			100.0	42.9	25.0	10.7	0.0	21.4	0.0
	女性	44	27	9	1	1	6	0	
		100.0	61.4	20.5	2.3	2.3	13.6	0.0	
	25～29歳	男性	14	5	4	1	1	2	1
		100.0	35.7	28.6	7.1	7.1	14.3	7.1	
	女性	41	21	11	2	1	6	0	
		100.0	51.2	26.8	4.9	2.4	14.6	0.0	
	30～34歳	男性	19	10	6	1	0	2	0
		100.0	52.6	31.6	5.3	0.0	10.5	0.0	
	女性	45	26	12	1	4	2	0	
		100.0	57.8	26.7	2.2	8.9	4.4	0.0	
	35～39歳	男性	34	15	6	4	1	7	1
		100.0	44.1	17.6	11.8	2.9	20.6	2.9	
	女性	36	19	9	3	1	4	0	
		100.0	52.8	25.0	8.3	2.8	11.1	0.0	
	40～44歳	男性	27	11	8	2	1	4	1
		100.0	40.7	29.6	7.4	3.7	14.8	3.7	
	女性	37	20	11	3	0	3	0	
		100.0	54.1	29.7	8.1	0.0	8.1	0.0	
45～49歳	男性	37	20	4	2	5	5	1	
	100.0	54.1	10.8	5.4	13.5	13.5	2.7		
女性	35	22	10	1	0	2	0		
	100.0	62.9	28.6	2.9	0.0	5.7	0.0		
50～54歳	男性	34	15	8	2	1	8	0	
	100.0	44.1	23.5	5.9	2.9	23.5	0.0		
女性	33	17	11	1	2	1	1		
	100.0	51.5	33.3	3.0	6.1	3.0	3.0		
55～59歳	男性	44	21	12	3	1	6	1	
	100.0	47.7	27.3	6.8	2.3	13.6	2.3		
女性	62	36	18	1	1	6	0		
	100.0	58.1	29.0	1.6	1.6	9.7	0.0		
60～64歳	男性	38	19	12	1	1	4	1	
	100.0	50.0	31.6	2.6	2.6	10.5	2.6		
女性	83	59	14	1	1	8	0		
	100.0	71.1	16.9	1.2	1.2	9.6	0.0		

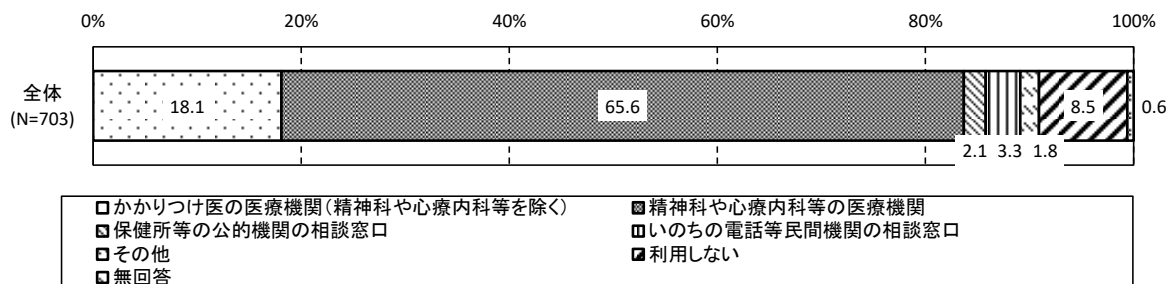
## 6 「自殺・うつ病の予防」について

### (59) 自身がうつ病ではないかと感じたときの、専門窓口の利用意向

問 26. あなたは、もし、ご自身がうつ病ではないかと思ったとき、どの専門窓口を利用したいと思いますか。(〇はひとつ)

自身がうつ病ではないかと感じたとき、9割以上の方が専門窓口を利用したいと考えており、「精神科や心療内科等の医療機関」を利用したいと考えている人が6割以上

●自身がうつ病ではないかと感じたときの、専門窓口の利用意向について、「精神科や心療内科等の医療機関」が65.6%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 男性・30～34歳、男女・60～64歳では、「かかりつけの医療機関」の割合が高い。
- 男女・25～29歳、女性・35～39歳では、「精神科や心療内科等の医療機関」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	かかりつけの医療機関(精神科や心療内科等を除く)	精神科や心療内科等の医療機関	保健所等の公的機関の相談窓口	いのちの電話等民間機関の相談窓口	その他	利用しない	無回答	
全体		703	127	461	15	23	13	60	4	
		100.0	18.1	65.6	2.1	3.3	1.8	8.5	0.6	
性別	男性	276	48	176	5	5	7	32	3	
		100.0	17.4	63.8	1.8	1.8	2.5	11.6	1.1	
	女性	418	77	279	9	18	6	28	1	
		100.0	18.4	66.7	2.2	4.3	1.4	6.7	0.2	
	回答しない	5	1	4	0	0	0	0	0	
		100.0	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28	7	16	0	1	1	3	0
			100.0	25.0	57.1	0.0	3.6	3.6	10.7	0.0
	25～29歳	女性	44	5	30	1	2	0	6	0
			100.0	11.4	68.2	2.3	4.5	0.0	13.6	0.0
	30～34歳	男性	14	2	11	0	0	0	0	1
			100.0	14.3	78.6	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
	35～39歳	女性	41	3	33	1	0	0	4	0
			100.0	7.3	80.5	2.4	0.0	0.0	9.8	0.0
	40～44歳	男性	19	6	12	0	0	0	1	0
			100.0	31.6	63.2	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0
	45～49歳	女性	45	6	28	1	5	1	4	0
			100.0	13.3	62.2	2.2	11.1	2.2	8.9	0.0
	50～54歳	男性	34	5	19	1	2	0	7	0
			100.0	14.7	55.9	2.9	5.9	0.0	20.6	0.0
	55～59歳	女性	36	4	28	2	2	0	0	0
			100.0	11.1	77.8	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0
	60～64歳	男性	27	3	15	2	0	2	4	1
			100.0	11.1	55.6	7.4	0.0	7.4	14.8	3.7
	65～69歳	女性	37	5	27	1	0	2	2	0
			100.0	13.5	73.0	2.7	0.0	5.4	5.4	0.0
70～74歳	男性	37	2	25	1	1	2	5	1	
		100.0	5.4	67.6	2.7	2.7	5.4	13.5	2.7	
75～79歳	女性	35	10	24	0	1	0	0	0	
		100.0	28.6	68.6	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	
80～84歳	男性	34	6	23	0	0	1	4	0	
		100.0	17.6	67.6	0.0	0.0	2.9	11.8	0.0	
85～89歳	女性	33	7	23	0	1	1	1	0	
		100.0	21.2	69.7	0.0	3.0	3.0	3.0	0.0	
90～94歳	男性	44	5	33	0	1	1	4	0	
		100.0	11.4	75.0	0.0	2.3	2.3	9.1	0.0	
95～99歳	女性	62	8	41	1	5	1	6	0	
		100.0	12.9	66.1	1.6	8.1	1.6	9.7	0.0	
100歳以上	男性	38	12	22	1	0	0	3	0	
		100.0	31.6	57.9	2.6	0.0	0.0	7.9	0.0	
不明	女性	83	27	45	2	2	1	5	1	
		100.0	32.5	54.2	2.4	2.4	1.2	6.0	1.2	

●うつ病は精神的な弱さや性格が原因であるについて『ややそう思う』人、または『わからない』人、うつ病は本人の怠け・甘えであり、病気ではないについて『ややそう思わない』人、または『わからない』人では、「かかりつけ医の医療機関」の割合が高い。

●うつ病は精神的な弱さや性格が原因であるについて『ややそう思わない』人、うつ病は休養をとることが大切であるについて『そう思う』人、うつ病は適切な治療により治る病気であるについて『ややそう思わない』人では、「精神科や心療内科等の医療機関」の割合が高い。

◆表 うつ病について感じる事別◆

		サンプル数	く(精神科や心療内科等を除く)	かかりつけ医の医療機関	精神科や心療内科等の医療機関	保健所等の公的機関の相談窓口	相談窓の電話等民間機関の	その他	利用しない	無回答
上段:実数, 下段:%										
全体		703 100.0	127 18.1	461 65.6	2.7	15 2.1	23 3.3	13 1.8	60 8.5	4 0.6
うつ病は精神的な弱さや性格が原因である	そう思う	83 100.0	14 16.9	54 65.1	3.6	2 2.4	1 1.2	9 10.8	0 0.0	0 0.0
	ややそう思う	183 100.0	44 24.0	116 63.4	1.6	3 1.6	6 3.3	3 1.6	11 6.0	0 0.0
	ややそう思わない	68 100.0	7 10.3	51 75.0	1.5	1 1.5	5 7.4	0 0.0	4 5.9	0 0.0
	そう思わない	269 100.0	38 14.1	186 69.1	4.0	9 3.3	8 3.0	23 8.6	1 0.4	0 0.0
	わからない	91 100.0	22 24.2	51 56.0	3.3	1 1.1	1 1.1	13 14.3	0 0.0	0 0.0
うつ病は本人の怠け・甘えではない	そう思う	23 100.0	3 13.0	15 65.2	8.7	2 4.3	1 4.3	1 4.3	1 4.3	0 0.0
	ややそう思う	35 100.0	6 17.1	19 54.3	2.7	2 5.7	2 5.7	1 2.9	5 14.3	0 0.0
	ややそう思わない	79 100.0	20 25.3	47 59.5	2.5	2 2.5	1 1.3	7 8.9	0 0.0	0 0.0
	そう思わない	482 100.0	75 15.6	339 70.3	1.2	6 3.5	17 1.7	8 1.7	36 7.5	1 0.2
	わからない	73 100.0	20 27.4	37 50.7	2.7	2 1.4	1 2.7	2 15.1	11 15.1	0 0.0
うつ病は休養をとることが大切である	そう思う	400 100.0	66 16.5	285 71.3	1.5	6 2.3	9 1.3	5 7.0	28 7.0	1 0.3
	ややそう思う	169 100.0	35 20.7	109 64.5	1.8	3 4.7	8 1.8	3 1.8	11 6.5	0 0.0
	ややそう思わない	23 100.0	3 13.0	14 60.9	0.0	0 13.0	3 4.3	1 8.7	2 8.7	0 0.0
	そう思わない	24 100.0	4 16.7	12 50.0	4.2	1 4.2	1 8.3	2 16.7	4 16.7	0 0.0
	わからない	80 100.0	18 22.5	39 48.8	5.0	2 2.5	2 2.5	2 18.8	15 18.8	0 0.0
うつ病は早期発見・早期治療が大切である	そう思う	514 100.0	94 18.3	352 68.5	1.6	8 3.7	19 1.9	10 5.8	30 5.8	1 0.2
	ややそう思う	117 100.0	20 17.1	78 66.7	3.4	4 3.4	4 0.9	1 8.5	10 8.5	0 0.0
	ややそう思わない	9 100.0	3 33.3	2 22.2	0.0	0 0.0	1 11.1	3 33.3	0 0.0	0 0.0
	そう思わない	8 100.0	0 0.0	4 66.7	0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0
	わからない	51 100.0	10 19.6	23 45.1	3.9	2 0.0	0 0.0	0 31.4	16 31.4	0 0.0
うつ病は適切な治療により治る病気である	そう思う	380 100.0	69 18.2	265 69.7	1.6	6 3.4	13 1.8	7 5.0	19 5.0	1 0.3
	ややそう思う	176 100.0	31 17.6	117 66.5	3.4	6 5.1	9 1.7	3 5.7	10 5.7	0 0.0
	ややそう思わない	33 100.0	4 12.1	24 72.7	0.0	1 3.0	1 3.0	3 9.1	0 9.1	0 0.0
	そう思わない	23 100.0	3 13.0	13 56.5	0.0	0 0.0	1 4.3	6 26.1	0 0.0	0 0.0
	わからない	84 100.0	18 21.4	41 48.8	2.4	2 0.0	1 1.2	2 26.2	22 26.2	0 0.0

◆表 広報紙の閲読状況別◆

		サンプル数	内科等(精神科を除く)	かかりつけ医の医療機関	精神科や心療内科等の医療機関	保健所等の公的機関の相談窓口	いのちの相談窓口	その他	利用しない	無回答
上段:実数, 下段:%										
全体		703 100.0	127 18.1	461 65.6	2.7	15 2.1	23 3.3	13 1.8	60 8.5	4 0.6
広報紙の閲読状況	毎号必ず読む	225 100.0	47 20.9	144 64.0	5.0	5 2.2	3 1.3	8 3.6	17 7.6	1 0.4
	ときどき読む	213 100.0	38 17.8	144 67.6	2.3	5 4.7	10 4.7	2 0.9	12 5.6	2 0.9
	あまり読まない	136 100.0	22 16.2	90 66.2	3.0	3 2.2	4 2.9	0 0.0	17 12.5	0 0.0
	まったく読まない	125 100.0	19 15.2	81 64.8	2.4	2 1.6	6 4.8	2 1.6	14 11.2	1 0.8

## 6 「自殺・うつ病の予防」について

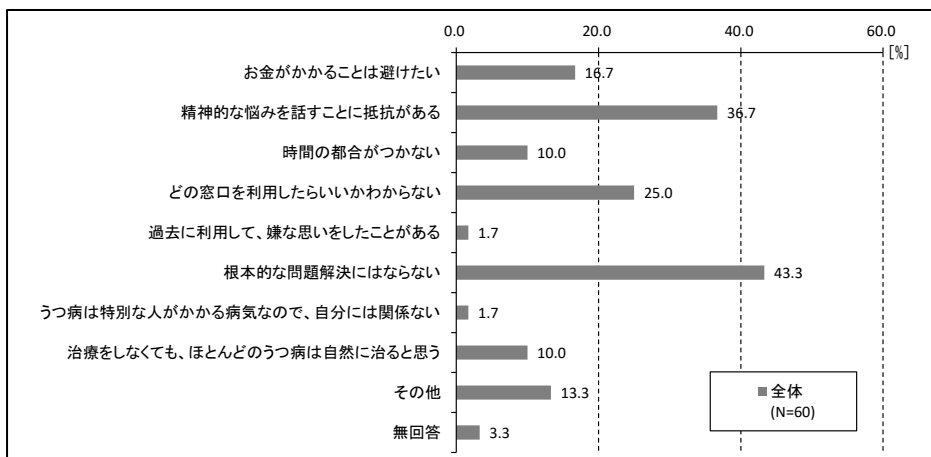
### (60) 医療機関や相談窓口を利用しない理由

問 26 で、「6」と回答された方にお聞きします。

問 26-1. あなたが、医療機関や相談窓口を利用しない理由は何ですか。

医療機関や相談窓口を利用しない理由は「根本的な問題解決にはならないから」が約 4 割で、「精神的な悩みを話すことに抵抗がある」が約 3 割

● 医療機関や相談窓口を利用しない理由について、「根本的な解決にはならないから」が 43.3% で最も高い。



#### 【属性別特徴】

● 女性では、「根本的な問題解決にはならない」「精神的な悩みを話すことに抵抗がある」の割合が高い。

● 男性では、「根本的な問題解決にはならない」の割合が高い

◆ 表 性別・年代別 ◆

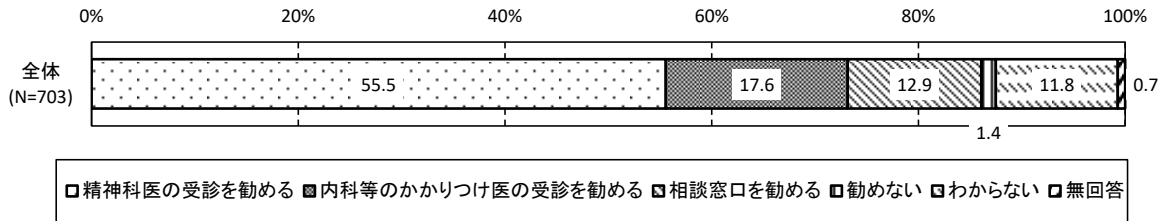
上段: 実数、下段: %		サンプル数	避けたいお金がかかることは	精神的な悩みを話すことに抵抗がある	時間の都合がつかない	どの窓口を利用したらいいかわからない	過去に利用して、嫌な思いをしたことがある	根本的な問題解決にはならない	うつ病は特別な人がかかる病気なので、自分には関係ない	治療をしなくても、ほとんどのうつ病は自然に治ると思う	その他	無回答	
全体	60	100.0	16.7	36.7	10.0	25.0	1.7	43.3	1.7	10.0	13.3	3.3	
性別	男性	32	15.6	25.0	15.6	25.0	0.0	31.3	3.1	15.6	15.6	6.3	
	女性	28	17.9	50.0	3.6	25.0	3.6	57.1	0.0	3.6	10.7	0.0	
	回答しない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	18~24歳	男性	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
		女性	6	3.3	4.4	1.1	2.0	0.0	3.0	0.0	1.1	0.0	0.0
	25~29歳	男性	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		女性	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30~34歳	男性	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
		女性	4	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	35~39歳	男性	7	3.3	4.4	3.3	2.0	0.0	2.0	0.0	2.0	14.3	0.0
		女性	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40~44歳	男性	4	1.1	1.1	1.1	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0
		女性	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	45~49歳	男性	5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	80.0	0.0	20.0	40.0	0.0
		女性	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50~54歳	男性	4	1.1	1.1	1.1	1.1	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0
		女性	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	55~59歳	男性	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0
		女性	6	0.0	4.4	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0
	60~64歳	男性	3	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	1.1	0.0	0.0
		女性	5	2.0	0.0	0.0	20.0	0.0	100.0	0.0	0.0	20.0	0.0

(61) うつ病の疑いがある家族や知人に医療機関や相談窓口を勧めるか

問 27. あなたは、家族や知人がうつ病ではないかと思ったとき、医療機関や相談窓口へ行くことを勧めますか。(〇はひとつ)

うつ病の疑いがある家族や知人には、「精神科医の受診を勧める」人が半数以上

●うつ病の疑いがある家族や知人に医療機関や相談窓口を勧めるかについて、「精神科医の受診を勧める」が 55.5% で最も高い。



【属性別特徴】

●男女ともに「精神科医の受診を勧める」の割合が最も高く、次いで「内科等のかかりつけ医の受診を勧める」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	精神科医の受診を勧める	内科等のかかりつけ医の受診を勧める	相談窓口を勧める	勧めない	わからない	無回答	
上段:実数、下段:%									
全体		703	390	124	91	10	83	5	
		100.0	55.5	17.6	12.9	1.4	11.8	0.7	
性別	男性	276	140	45	34	7	46	4	
		100.0	50.7	16.3	12.3	2.5	16.7	1.4	
	女性	418	244	78	55	3	37	1	
		100.0	58.4	18.7	13.2	0.7	8.9	0.2	
	回答しない	5	4	0	1	0	0	0	
		100.0	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	18~24歳	男性	28	16	4	3	0	5	0
			100.0	57.1	14.3	10.7	0.0	17.9	0.0
	女性	44	29	4	7	0	4	0	
		100.0	65.9	9.1	15.9	0.0	9.1	0.0	
	25~29歳	男性	14	7	3	1	0	3	0
			100.0	50.0	21.4	7.1	0.0	21.4	0.0
	女性	41	28	2	6	0	5	0	
		100.0	68.3	4.9	14.6	0.0	12.2	0.0	
	30~34歳	男性	19	9	6	2	1	1	0
			100.0	47.4	31.6	10.5	5.3	5.3	0.0
	女性	45	23	6	8	1	7	0	
		100.0	51.1	13.3	17.8	2.2	15.6	0.0	
	35~39歳	男性	34	15	6	3	2	7	1
			100.0	44.1	17.6	8.8	5.9	20.6	2.9
	女性	36	21	7	5	0	3	0	
		100.0	58.3	19.4	13.9	0.0	8.3	0.0	
	40~44歳	男性	27	12	2	5	0	7	1
			100.0	44.4	7.4	18.5	0.0	25.9	3.7
	女性	37	25	8	2	0	1	1	
		100.0	67.6	21.6	5.4	0.0	2.7	2.7	
	45~49歳	男性	37	18	5	4	2	7	1
			100.0	48.6	13.5	10.8	5.4	18.9	2.7
	女性	35	21	7	4	0	3	0	
		100.0	60.0	20.0	11.4	0.0	8.6	0.0	
50~54歳	男性	34	18	3	7	1	5	0	
		100.0	52.9	8.8	20.6	2.9	14.7	0.0	
女性	33	25	5	2	0	1	0		
	100.0	75.8	15.2	6.1	0.0	3.0	0.0		
55~59歳	男性	44	22	8	7	0	7	0	
		100.0	50.0	18.2	15.9	0.0	15.9	0.0	
女性	62	35	11	8	1	7	0		
	100.0	56.5	17.7	12.9	1.6	11.3	0.0		
60~64歳	男性	38	23	8	2	1	3	1	
		100.0	60.5	21.1	5.3	2.6	7.9	2.6	
女性	83	36	27	13	1	6	0		
	100.0	43.4	32.5	15.7	1.2	7.2	0.0		

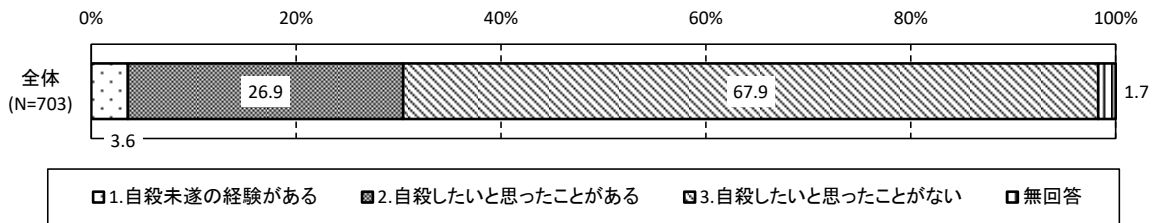
## 6 「自殺・うつ病の予防」について

### (62) 自殺したいと思った又は自殺未遂の経験の有無

問 28. あなたは、これまでの人生の中で、自殺したいと思った又は自殺未遂の経験がありますか。(○はひとつ)

自殺未遂の経験がある・自殺したいと思ったことがある人は約 3 割

●自殺したいと思った又は自殺未遂の経験の有無について、「自殺したいと思ったことがない」が 67.9%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 男性・45～49歳では、「自殺未遂の経験がある」の割合が高い。
- 女性・30～34歳、女性・40～44歳では、「自殺したいと思ったことがある」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	1 がある 自殺未遂の 経験	2 思 った 自 殺 し た こ と が あ い と	3 思 っ た 自 殺 し た い と	無 回 答	
上段:実数、下段:%							
全 体		703 100.0	25 3.6	189 26.9	477 67.9	12 1.7	
性 別	男性	276 100.0	10 3.6	66 23.9	192 69.6	8 2.9	
	女性	418 100.0	14 3.3	122 29.2	278 66.5	4 1.0	
	回答しない	5 100.0	0 0.0	1 20.0	4 80.0	0 0.0	
性 別 ・ 年 代 別	18～24歳	男性	28 100.0	0 0.0	5 17.9	23 82.1	0 0.0
		女性	44 100.0	1 2.3	15 34.1	28 63.6	0 0.0
	25～29歳	男性	14 100.0	0 0.0	3 21.4	11 78.6	0 0.0
		女性	41 100.0	2 4.9	12 29.3	27 65.9	0 0.0
	30～34歳	男性	19 100.0	0 0.0	2 10.5	17 89.5	0 0.0
		女性	45 100.0	1 2.2	17 37.8	26 57.8	1 2.2
	35～39歳	男性	34 100.0	1 2.9	11 32.4	19 55.9	3 8.8
		女性	36 100.0	0 0.0	11 30.6	25 69.4	0 0.0
	40～44歳	男性	27 100.0	2 7.4	8 29.6	16 59.3	1 3.7
		女性	37 100.0	3 8.1	15 40.5	19 51.4	0 0.0
	45～49歳	男性	37 100.0	4 10.8	8 21.6	23 62.2	2 5.4
		女性	35 100.0	0 0.0	10 28.6	24 68.6	1 2.9
	50～54歳	男性	34 100.0	0 0.0	13 38.2	21 61.8	0 0.0
		女性	33 100.0	1 3.0	10 30.3	21 63.6	1 3.0
	55～59歳	男性	44 100.0	3 6.8	9 20.5	31 70.5	1 2.3
		女性	62 100.0	5 8.1	15 24.2	42 67.7	0 0.0
	60～64歳	男性	38 100.0	0 0.0	7 18.4	30 78.9	1 2.6
		女性	83 100.0	1 1.2	17 20.5	64 77.1	1 1.2



● 「生死は最終的に本人の判断に任せるべきである」「責任を取って自殺することは仕方がない」について『そう思う』人、または『ややそう思う』人、「自殺せずに生きていれば良いことがある」「自殺する人は、直前まで実行するかやめるか気持ちが揺れ動いている」について『ややそう思わない』人、または『そう思わない』人では、「自殺したいと思ったことがある」の割合が高い。

◆表 自殺について思うこと別◆

		サンプル数	が1 ある 自殺 未遂 の 経験	思2 った 自殺 した こと が ある	思3 った 自殺 した こと が ない	無 回 答
上段:実数、下段:%						
全 体		703 100.0	25 3.6	189 26.9	477 67.9	12 1.7
の 生 死 判 断 は 最 終 的 に 任 せ る に 本 人 が 決 ま る べき	そう思う	129 100.0	9 7.0	47 36.4	72 55.8	1 0.8
	ややそう思う	136 100.0	5 3.7	44 32.4	85 62.5	2 1.5
	ややそう思わない	64 100.0	5 7.8	14 21.9	45 70.3	0 0.0
	そう思わない	229 100.0	5 2.2	56 24.5	166 72.5	2 0.9
	わからない	135 100.0	1 0.7	27 20.0	105 77.8	2 1.5
れ 自 殺 せ ず に 生 き て い る	そう思う	313 100.0	5 1.6	71 22.7	234 74.8	3 1.0
	ややそう思う	169 100.0	8 4.7	46 27.2	114 67.5	1 0.6
	ややそう思わない	43 100.0	5 11.6	20 46.5	17 39.5	1 2.3
	そう思わない	54 100.0	4 7.4	27 50.0	23 42.6	0 0.0
	わからない	115 100.0	3 2.6	24 20.9	86 74.8	2 1.7
る ま か で 自 殺 す る 人 は 揺 れ 動 い て い る	そう思う	305 100.0	11 3.6	86 28.2	205 67.2	3 1.0
	ややそう思う	136 100.0	6 4.4	37 27.2	93 68.4	0 0.0
	ややそう思わない	33 100.0	1 3.0	11 33.3	20 60.6	1 3.0
	そう思わない	64 100.0	5 7.8	23 35.9	35 54.7	1 1.6
	わからない	155 100.0	2 1.3	32 20.6	120 77.4	1 0.6
る 責 任 を 取 つ た 方 が 自 殺 し た	そう思う	26 100.0	3 11.5	9 34.6	13 50.0	1 3.8
	ややそう思う	22 100.0	1 4.5	9 40.9	11 50.0	1 4.5
	ややそう思わない	39 100.0	4 10.3	13 33.3	22 56.4	0 0.0
	そう思わない	513 100.0	17 3.3	137 26.7	357 69.6	2 0.4
	わからない	91 100.0	0 0.0	20 22.0	69 75.8	2 2.2
ぐ 自 殺 の 問 題 は 多 く あ る 社 会 防 衛	そう思う	279 100.0	9 3.2	80 28.7	188 67.4	2 0.7
	ややそう思う	202 100.0	7 3.5	55 27.2	139 68.8	1 0.5
	ややそう思わない	41 100.0	4 9.8	10 24.4	26 63.4	1 2.4
	そう思わない	68 100.0	4 5.9	21 30.9	42 61.8	1 1.5
	わからない	104 100.0	1 1.0	23 22.1	79 76.0	1 1.0

## 6 「自殺・うつ病の予防」について

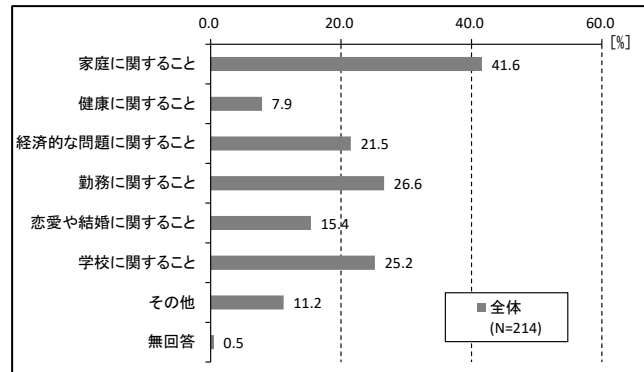
### (63) 自殺したいと思った原因

問 28 で、「1」又は「2」と回答された方にお聞きします。

問 28-1. あなたが、自殺したいと思った原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

自殺したいと思った原因は「家庭に関すること」が4割以上

- 自殺したいと思った原因について、「家庭に関すること」が41.6%で最も高く、次いで「勤務に関すること」「学校に関すること」が多い。



#### 【属性別特徴】

- 女性・30～34歳、女性・50～64歳では、「家庭に関すること」の割合が高い。
- 男性・35～39歳、男性・50～54歳では、「勤務に関すること」の割合が高い。
- 自殺未遂の経験がある人は、「家庭に関すること」「恋愛や結婚に関すること」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	家庭に関すること	健康に関すること	経済的な問題に関すること	勤務に関すること	恋愛や結婚に関すること	学校に関すること	その他	無回答
上段:実数、下段:%		214	89	17	46	57	33	54	24	1
全 体		1000	41.6	7.9	21.5	26.6	15.4	25.2	11.2	0.5
性別	男性	1000	22	10	21	30	8	16	9	0
	女性	1000	28.9	13.2	27.6	29.5	10.5	21.1	11.8	0.0
	回答しない	1000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
性別・年代別	18～24歳	男性	5	0	0	1	1	4	0	0
		女性	16	3	0	3	4	3	10	2
	25～29歳	男性	3	1	0	1	1	0	2	0
		女性	14	4	0	1	4	4	8	0
	30～34歳	男性	2	1	0	1	2	1	1	0
		女性	18	14	2	4	4	4	3	3
	35～39歳	男性	12	4	1	4	6	1	3	3
		女性	11	3	0	1	1	4	5	2
	40～44歳	男性	10	4	0	2	3	2	3	0
		女性	18	8	1	3	2	2	6	3
	45～49歳	男性	12	5	3	4	3	1	2	3
		女性	10	1	0	2	4	1	3	1
	50～54歳	男性	13	3	1	3	9	1	1	0
		女性	11	7	1	3	2	2	0	2
	55～59歳	男性	12	3	3	3	4	1	0	2
		女性	20	14	0	4	4	3	2	1
	60～64歳	男性	7	1	2	3	1	0	0	1
		女性	18	12	3	3	1	2	0	1

◆表 自殺したいと思った又は自殺未遂の経験別◆

		サンプル数	家庭に関すること	健康に関すること	経済的な問題に関すること	勤務に関すること	恋愛や結婚に関すること	学校に関すること	その他	無回答
上段:実数、下段:%		214	89	17	46	57	33	54	24	1
全 体		1000	41.6	7.9	21.5	26.6	15.4	25.2	11.2	0.5
はと自殺経験のない	自殺未遂の経験がある	25	15	4	5	4	7	6	3	
	自殺したいと思ったことがある	1000	60.0	16.0	20.0	41	28.0	24.0	12.0	
自殺未遂の経験がある	自殺したいと思ったことがない	188	74	13	21.7	28.0	13.8	25.4	11.1	
	自殺したいと思ったことがある	1000	39.2	6.9	21.7	28.0	13.8	25.4	11.1	

(64) 自殺を思いとどまった要因

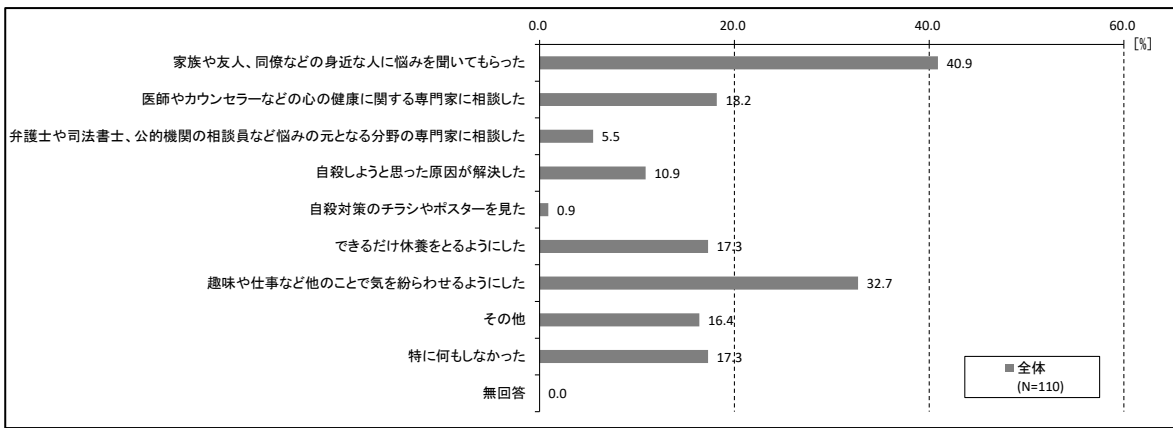
問 28 で、「2」と回答された方にお聞きします。

問 28-2. あなたが、自殺を思いとどまった要因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「家族や友人、同僚などの身近な人に悩みを聞いてもらった」が約 4 割

● 自殺を思いとどまった原因について、「家族や友人、同僚などの身近な人に悩みを聞いてもらった」が 40.9% で最も高く、次いで「趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるようにした」が多い。

● その他の内訳について、「母や子どものため」「自殺をするほどのことではなかったと気付いた」といった意見がみられた。



【属性別特徴】

● 男性では、「趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるようにした」の割合が高い。

◆ 表 性別・年代別 ◆

性別・年代別	サンプル数	要因									
		家族や友人、同僚などの身近な人に悩みを聞いてもらった	医師やカウンセラーなどの心の健康に関する専門家に相談した	弁護士や司法書士、公的機関の相談員など悩みの元となる分野の専門家に相談した	自殺しようと思った原因が解決した	自殺対策のチラシやポスターを見た	できるだけ休養をとるようにした	趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるようにした	その他	特に何もなかった	無回答
全体	110	45	20	6	12	1	19	36	18	19	
男性	40	14	6	5	5	0	8	17	7	6	
女性	70	31	14	1	7	1	11	19	11	13	
回答しない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
18~24歳	4	3	0	0	1	0	1	3	1	0	
25~29歳	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	
30~34歳	8	2	2	0	0	1	0	4	2	2	
35~39歳	5	2	0	0	0	0	0	0	1	2	
40~44歳	9	4	2	0	0	1	3	1	3	3	
45~49歳	4	3	0	1	0	0	0	0	0	1	
50~54歳	7	2	1	0	2	0	2	4	0	3	
55~59歳	11	5	2	0	3	0	2	2	3	1	
60~64歳	6	1	1	3	1	0	1	1	1	0	

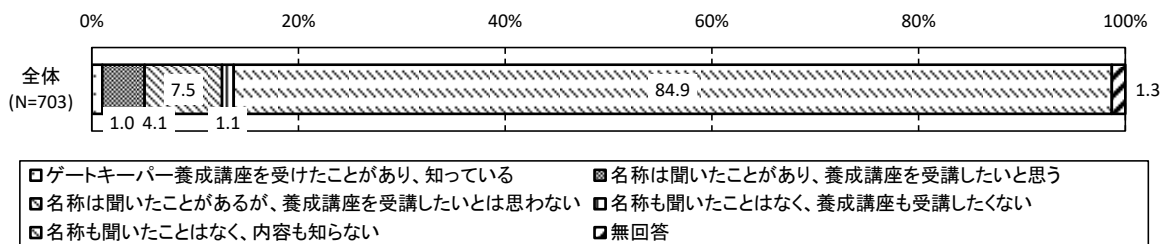
## 6 「自殺・うつ病の予防」について

### (65) 「ゲートキーパー」の認知度

問 29. あなたは、「ゲートキーパー」について知っていますか。(○はひとつ)

ゲートキーパーの名称も内容も知らない人が8割以上

●「ゲートキーパー」の認知度について、「名称も聞いたことがなく、内容も知らない」が84.9%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

●男性・18～24歳、男性・40～44歳、男性・50～54歳では、「名称は聞いたことがあるが、養成講座を受講したいとは思わない」の割合がやや高い。

●広報紙をあまり読まない人、まったく読まない人では、「名称も聞いたことはなく、内容も知らない」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	ゲートキーパーを知っている	名称は聞いたことがあり、養成講座を受講したいと思う	名称は聞いたことがあり、養成講座を受講したいとは思わない	名称も聞いたことはなく、養成講座を受講したくない	名称も聞いたことはなく、内容も知らない	無回答
上段:実数, 下段:%								
全体		703	7.5	4.1	1.0	84.9	1.3	1.3
性別	男性	276	3.3	1.1	8.7	84.1	1.8	5
	女性	418	4.0	2.0	6.7	85.4	1.0	4
	回答しない	5	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0
性別・年代別	18～24歳	男性	28	0.0	1.4	0.0	23.0	0
		女性	44	1.1	3.6	14.3	82.1	0
	25～29歳	男性	14	0.0	1.0	0.0	13.0	0
		女性	41	0.0	7.1	0.0	92.9	0
	30～34歳	男性	19	0.0	2.4	9.8	87.8	0
		女性	45	0.0	0.0	4.4	93.3	0
	35～39歳	男性	34	1.2	5.9	5.9	85.3	0
		女性	36	0.0	2.8	5.6	91.7	0
	40～44歳	男性	27	0.0	0.0	14.8	81.5	3.7
		女性	37	0.0	10.8	5.4	83.8	0
	45～49歳	男性	37	0.0	0.0	10.8	83.2	2.7
		女性	35	0.0	11.4	8.6	74.3	0
	50～54歳	男性	34	0.0	0.0	14.7	82.4	2.9
		女性	33	0.0	3.0	12.1	81.8	3.0
	55～59歳	男性	44	1.2	4.5	4.5	86.4	0
		女性	62	3.4	6.5	9.7	77.4	1.6
	60～64歳	男性	38	1.1	2.3	3.0	78.9	5.3
		女性	83	0.0	4.8	6.0	88.0	0

◆表 広報紙の閲読状況別◆

		サンプル数	ゲートキーパーを知っている	名称は聞いたことがあり、養成講座を受講したいと思う	名称は聞いたことがあり、養成講座を受講したいとは思わない	名称も聞いたことはなく、養成講座を受講したくない	名称も聞いたことはなく、内容も知らない	無回答
上段:実数, 下段:%								
全体		703	7.5	4.1	1.0	84.9	1.3	1.3
広報紙の閲読状況	毎号必ず読む	225	3.3	1.3	6.7	87.3	1.8	4
	ときどき読む	213	2.8	1.1	11.6	84.0	1.9	4
	あまり読まない	136	0.9	5.2	4.4	89.0	0	
	まったく読まない	125	0.0	2.2	4.4	90.4	0	

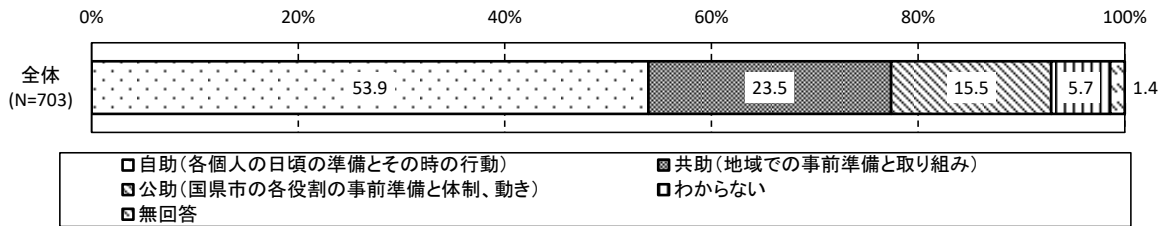
(66) 自然災害から身を守るために一番重要だと思うこと

問 30. あなたは、自然災害から身を守るために一番重要なものは何だと思いますか。

(○はひとつ)

自然災害から身を守るために一番重要だと思うことは、「自助」が半数以上

●自然災害から身を守るために一番重要だと思うことについて、「自助」が53.9%で最も高い。



【属性別特徴】

- 男性・40～49歳では、「自助」の割合が高い。
- 男性・35～39歳では、「公助」の割合が高い。
- 女性・50～54歳では、「共助」の割合が高い。
- 北部B、西部Aでは、「自助」の割合が高い。
- 東部A、東部Bでは、「共助」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	自助(各個人の日頃の準備とその時の行動)	公助(国県市の各役割の事前準備と体制、動き)	共助(地域での事前準備と取り組み)	分からない	無回答	
上段:実数, 下段:%								
全体		703	379	165	109	40	10	
		100.0	53.9	23.5	15.5	5.7	1.4	
性別	男性	276	146	58	46	22	4	
		100.0	52.9	21.0	16.7	8.0	1.4	
	女性	418	227	107	60	18	6	
		100.0	54.3	25.6	14.4	4.3	1.4	
回答しない		5	3	0	2	0	0	
		100.0	60.0	0.0	40.0	0.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28	14	7	4	3	0
			100.0	50.0	25.0	14.3	10.7	0.0
	25～29歳	女性	44	23	13	6	2	0
			100.0	52.3	29.5	13.6	4.5	0.0
	30～34歳	男性	14	6	4	3	1	0
			100.0	42.9	28.6	21.4	7.1	0.0
	35～39歳	女性	41	18	13	9	1	0
			100.0	43.9	31.7	22.0	2.4	0.0
	40～44歳	男性	19	11	4	4	0	0
			100.0	57.9	21.1	21.1	0.0	0.0
	45～49歳	女性	45	26	10	7	2	0
			100.0	57.8	22.2	15.6	4.4	0.0
	50～54歳	男性	34	14	4	11	4	1
			100.0	41.2	11.8	32.4	11.8	2.9
	55～59歳	女性	36	18	10	8	0	0
			100.0	50.0	27.8	22.2	0.0	0.0
	60～64歳	男性	27	19	4	1	3	0
			100.0	70.4	14.8	3.7	11.1	0.0
	65～69歳	女性	37	21	8	6	1	1
			100.0	56.8	21.6	16.2	2.7	2.7
	70～74歳	男性	37	26	2	4	4	1
			100.0	70.3	5.4	10.8	10.8	2.7
	75～79歳	女性	35	22	6	7	0	0
			100.0	62.9	17.1	20.0	0.0	0.0
80～84歳	男性	34	18	7	6	3	0	
		100.0	52.9	20.6	17.6	8.8	0.0	
85～89歳	女性	33	14	14	3	2	0	
		100.0	42.4	42.4	9.1	6.1	0.0	
90～94歳	男性	44	23	13	5	1	2	
		100.0	52.3	29.5	11.4	2.3	4.5	
95～99歳	女性	62	42	13	5	1	1	
		100.0	67.7	21.0	8.1	1.6	1.6	
100歳以上	男性	38	15	13	8	2	0	
		100.0	39.5	34.2	21.1	5.3	0.0	
不明	女性	83	42	19	9	9	4	
		100.0	50.6	22.9	10.8	10.8	4.8	

◆表 居住校区別◆

		サンプル数	自助(各個人の日頃の準備とその時の行動)	公助(国県市の各役割の事前準備と体制、動き)	共助(地域での事前準備と取り組み)	分からない	無回答
上段:実数, 下段:%							
全体		703	379	165	109	40	10
		100.0	53.9	23.5	15.5	5.7	1.4
居住校区	東部A	57	23	22	9	3	0
		100.0	40.4	38.6	15.8	5.3	0.0
	東部B	40	20	15	4	1	0
		100.0	50.0	37.5	10.0	2.5	0.0
	北部A	66	37	15	7	5	2
		100.0	56.1	22.7	10.6	7.6	3.0
	北部B	35	22	5	4	3	1
		100.0	62.9	14.3	11.4	8.6	2.9
	中央東部	89	51	22	10	5	1
		100.0	57.3	24.7	11.2	5.6	1.1
	南東部	53	29	8	10	6	0
		100.0	54.7	15.1	18.9	11.3	0.0
	中央南部	101	58	19	18	5	1
		100.0	57.4	18.8	17.8	5.0	1.0
南西部	72	40	14	10	6	2	
	100.0	55.6	19.4	13.9	8.3	2.8	
西部A	21	14	3	3	0	1	
	100.0	66.7	14.3	14.3	0.0	4.8	
西部B	26	15	4	7	0	0	
	100.0	57.7	15.4	26.9	0.0	0.0	

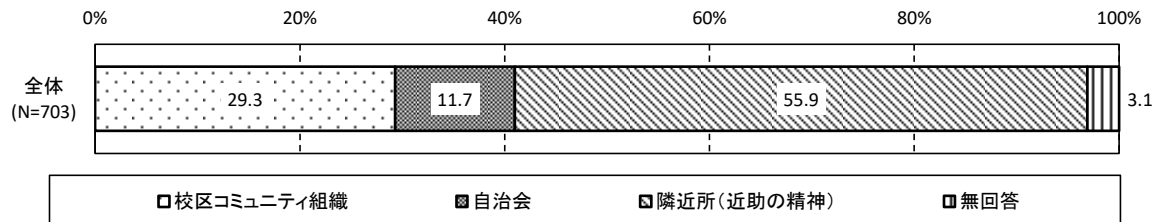
## 7 「地域防災力の向上」について

### (67) 災害が発生したときに重要な「共助」について

問 31. あなたは、災害が発生したときに重要な「共助」は何だと思えますか。(〇はひとつ)

災害が発生したときに重要な「共助」は、「隣近所」が半数以上

● 災害が発生したときに重要な「共助」について、「隣近所」が 55.9% で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 男性・18～24歳では、「校区コミュニティ組織」の割合が高い。
- 男性・30～34歳では、「自治会」の割合が高い。
- 女性・45～49歳、女性・60～64歳では、「隣近所」の割合が高い。
- 自治会に加入していない人、自治会加入がわからない人では、「校区コミュニティ組織」の割合が高い。
- 中央部では、「校区コミュニティ組織」の割合が高い。
- 東部B、西部Aでは、「隣近所」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	校区コミュニティ組織	自治会	隣近所(近助の精神)	無回答	
全体		703	29.3	11.7	55.9	3.1	
性別	男性	276	30.8	12.7	53.6	2.9	
	女性	418	28.0	11.0	58.1	2.9	
	回答しない	5	0.0	0.0	20.0	20.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	26	42.9	7.1	46.4	3.6
		女性	44	36.4	18.2	43.2	2.3
	25～29歳	男性	14	4.4	1.1	9.9	0.0
		女性	41	28.6	7.1	64.3	0.0
	30～34歳	男性	19	7.7	4.4	42.1	0.0
		女性	45	31.1	15.6	51.1	2.2
	35～39歳	男性	34	23.5	14.7	61.8	0.0
		女性	36	38.9	8.3	47.2	5.6
	40～44歳	男性	27	11.3	3.3	13.0	0.0
		女性	37	35.1	5.4	51.4	8.1
	45～49歳	男性	37	10.5	5.2	21.1	1.1
		女性	35	17.1	8.6	74.3	0.0
50～54歳	男性	34	32.4	17.6	44.1	9.9	
	女性	33	36.4	9.1	54.9	0.0	
55～59歳	男性	44	27.3	6.6	58.1	6.8	
	女性	82	19.4	14.5	64.5	1.6	
60～64歳	男性	38	10.6	6.2	22.0	0.0	
	女性	83	13.3	12.0	69.9	4.8	

◆表 自治会の加入状況別◆

		サンプル数	校区コミュニティ組織	自治会	隣近所(近助の精神)	無回答
全体		703	29.3	11.7	55.9	3.1
自治会加入状況	加入している	533	14.3	7.2	30.1	17.7
	加入していない	100	26.8	13.5	56.5	3.2
	わからない	83	26.5	4.9	57.3	2.9

◆表 居住校区別◆

		サンプル数	校区コミュニティ組織	自治会	隣近所(近助の精神)	無回答
全体		703	29.3	11.7	55.9	3.1
居住校区	東部A	57	14.9	9.3	33.3	1.1
	東部B	40	24.6	15.8	57.9	1.8
	北部A	66	17.9	9.3	37.3	3.3
	北部B	35	12.2	2.0	20.0	1.1
	中央東部	89	29.7	7.7	51.2	2.2
	南東部	53	14.1	10.2	28.1	1.1
	中央部	101	39.1	13.3	47.2	2.2
	中央南部	125	40.4	14.4	66.5	5.5
	南西部	72	18.8	8.3	44.2	2.2
	西部A	21	4.4	2.4	14.4	1.1
	西部B	26	9.6	3.3	14.0	0.0

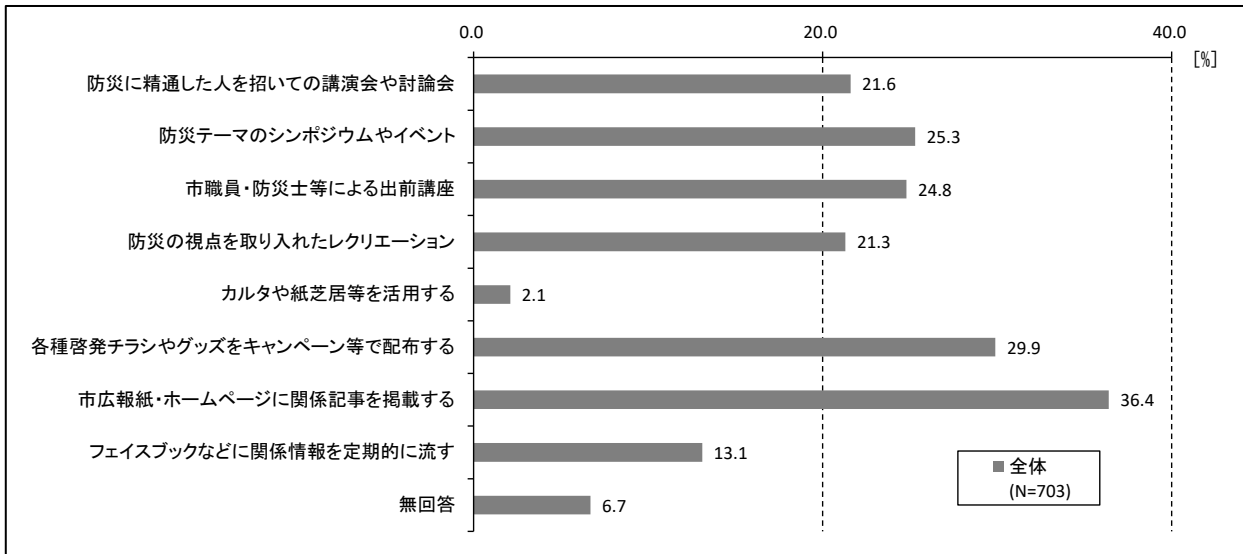
## (68) 「自助」の重要性を啓発するために有効な手段

問 32. あなたは、「自助」の重要性を啓発するためには、何が有効だと思いますか。

(あてはまるもの2つに○)

「自助」の重要性を啓発するために有効な手段は「市広報紙・ホームページに  
関係記事を掲載する」が3割以上

● 「自助」の重要性を啓発するために有効な手段について、「市広報紙・ホームページに  
関係記事を掲載する」が36.4%で最も高い。



## 7 「地域防災力の向上」について

### 【属性別特徴】

- 男性・60～64歳では、「防災に精通した人を招いての講演会や討論会」の割合が高い。
- 男性・35～39歳、女性・55～59歳では、「市職員・防災士等による出前講座」の割合が高い。
- 男性・55～59歳、女性・45～49歳では、「市広報紙・ホームページに關係記事を掲載する」の割合が高い。
- 男性・18～24歳、女性・25～29歳では、「フェイスブックなどに關係情報を定期的に流す」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	講演会 招いての 講演会や 討議を	防災 チーム のシン ポ	市職 員・防 災士 等に よる 出前 講座	防 災の 視 点 を 取 り 入 れ た レ ク リ エ ー シ ョ	活 用 す る カ ル タ や 紙 芝 居 等 を	各 種 啓 発 チ ラ ン ペ ー を 配 布 す る	掲 載 す る 市 広 報 紙 ・ ホ ー ム ペ ー ジ に 関 係 記 事 を	に 関 係 情 報 を 定 期 的 に 流 す	フ ェ イ ス ブ ッ ク な ど	無 回 答	
上段:実数、下段:%													
全 体		703 100.0	152 21.6	178 25.3	174 24.8	150 21.3	15 2.1	210 29.9	256 36.4	92 13.1	47 6.7		
性別	男性	276 100.0	64 23.2	63 22.8	75 27.2	48 17.4	5 1.8	83 30.1	94 34.1	36 13.0	23 8.3		
	女性	418 100.0	86 20.6	113 27.0	96 23.0	100 23.9	10 2.4	124 29.7	159 38.0	55 13.2	24 5.7		
	回答しない	5 100.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0		
性別・年代別	18～24歳	男性	28 100.0	7 25.0	3 10.7	10 35.7	4 14.3	1 3.6	6 21.4	7 25.0	10 35.7	1 3.6	
		女性	44 100.0	7 15.9	16 36.4	6 13.6	13 29.5	1 2.3	12 27.3	17 38.6	12 27.3	0 0.0	
	25～29歳	男性	14 100.0	4 28.6	1 7.1	3 21.4	2 14.3	1 7.1	5 35.7	4 28.6	2 14.3	1 7.1	
		女性	41 100.0	8 19.5	10 24.4	8 19.5	6 14.6	0 0.0	15 36.6	15 36.6	14 34.1	2 4.9	
	30～34歳	男性	19 100.0	2 10.5	4 21.1	4 21.1	2 10.5	0 0.0	7 36.8	8 42.1	5 26.3	2 10.5	
		女性	45 100.0	9 20.0	11 24.4	8 17.8	14 31.1	1 2.2	20 44.4	14 31.1	6 13.3	2 4.4	
	35～39歳	男性	34 100.0	8 23.5	5 14.7	14 41.2	7 20.6	0 0.0	9 26.5	10 29.4	6 17.6	3 8.8	
		女性	36 100.0	3 8.3	10 27.8	8 22.2	7 19.4	0 0.0	14 38.9	12 33.3	2 5.6	2 5.6	
	40～44歳	男性	27 100.0	3 11.1	10 37.0	4 14.8	8 29.6	1 3.7	10 37.0	10 37.0	4 14.8	0 0.0	
		女性	37 100.0	9 24.3	8 21.6	5 13.5	9 24.3	1 2.7	8 21.6	17 45.9	7 18.9	2 5.4	
	45～49歳	男性	37 100.0	3 8.1	10 27.0	7 18.9	7 18.9	0 0.0	17 45.9	10 27.0	2 5.4	6 16.2	
		女性	35 100.0	6 17.1	14 40.0	4 11.4	9 25.7	0 0.0	9 25.7	20 57.1	1 2.9	2 5.7	
	50～54歳	男性	34 100.0	8 23.5	6 17.6	13 38.2	8 23.5	1 2.9	5 14.7	11 32.4	2 5.9	5 14.7	
		女性	33 100.0	8 24.2	8 24.2	10 30.3	9 27.3	1 3.0	4 12.1	16 48.5	6 18.2	1 3.0	
	55～59歳	男性	44 100.0	14 31.8	10 22.7	6 13.6	6 13.6	0 0.0	14 31.8	22 50.0	3 6.8	3 6.8	
		女性	62 100.0	15 24.2	16 25.8	26 41.9	15 24.2	3 4.8	18 29.0	15 24.2	5 8.1	5 8.1	
	60～64歳	男性	38 100.0	15 39.5	14 36.8	14 36.8	4 10.5	1 2.6	10 26.3	12 31.6	2 5.3	1 2.6	
		女性	83 100.0	21 25.3	19 22.9	21 25.3	17 20.5	3 3.6	23 27.7	32 38.6	2 2.4	8 9.6	



● 広報紙を毎号必ず読む人では「市広報紙・ホームページに関係記事を掲載する」、ときどき読む人では「防災テーマのシンポジウムやイベント」、まったく読まない人では「各種啓発チラシやグッズをキャンペーン等で配布する」の割合がそれぞれ高い。

◆ 表 広報紙の閲読状況別 ◆

		サンプル数	論 会 招いての講演会や討	防 災 に精通した人を	防 災 テーマのシンポ	市 職 員 ・ 防 災 士 等 による出前講座	防 災 の視点を取り入	活 用 する	カ ル タ や 紙 芝 居 等 を	グ ッ ズ を キ ャ ン ペ ー ン 等 で 配 布 する	各 種 啓 発 チ ラ シ や グ ッ ズ を キ ャ ン ペ ー ン 等 で 配 布 する	掲 載 する	市 広 報 紙 ・ ホ ー ム ペ ー ジ に 関 係 記 事 を	に 関 係 情 報 を 定 期 的 に	フ ェ イ ス ブ ッ ク な だ	無 回 答
上段:実数、下段:%																
全 体		703 100.0	152 21.6	178 25.3	174 24.8	150 21.3	15 2.1	210 29.9	256 36.4	92 13.1	47 6.7					
広 報 紙 の 閲 読 状 況	毎号必ず読む	225 100.0	38 16.9	61 27.1	60 26.7	45 20.0	7 3.1	64 28.4	109 48.4	24 10.7	12 5.3					
	ときどき読む	213 100.0	56 26.3	67 31.5	47 22.1	53 24.9	5 2.3	59 27.7	64 30.0	23 10.8	11 5.2					
	あまり読まない	136 100.0	31 22.8	25 18.4	40 29.4	26 19.1	3 2.2	40 29.4	45 33.1	20 14.7	13 9.6					
	まったく読まない	125 100.0	27 21.6	25 20.0	26 20.8	25 20.0	0 0.0	46 36.8	37 29.6	25 20.0	10 8.0					

● 東部 B、中央東部、西部 A、西部 B では、「防災に精通した人を招いての講演会や討論会」の割合が高い。

● 中央部、西部 B では、「防災テーマのシンポジウムやイベント」の割合が高い。

● 東部 B では、「市職員・防災士等による出前講座」の割合が高い。

● 北部 B、南東部では、「防災の視点を取り入れたレクリエーション」の割合が高い。

● 東部 A、中央部では、「各種啓発チラシやグッズをキャンペーン等で配布する」の割合が高い。

● 東部 A、東部 B、中央部では、「市広報紙・ホームページに関係記事を掲載する」の割合が高い。

◆ 表 居住校区別 ◆

		サンプル数	論 会 招いての講演会や討	防 災 に精通した人を	防 災 テーマのシンポ	市 職 員 ・ 防 災 士 等 による出前講座	防 災 の視点を取り入	活 用 する	カ ル タ や 紙 芝 居 等 を	グ ッ ズ を キ ャ ン ペ ー ン 等 で 配 布 する	各 種 啓 発 チ ラ シ や グ ッ ズ を キ ャ ン ペ ー ン 等 で 配 布 する	掲 載 する	市 広 報 紙 ・ ホ ー ム ペ ー ジ に 関 係 記 事 を	に 関 係 情 報 を 定 期 的 に	フ ェ イ ス ブ ッ ク な だ	無 回 答
上段:実数、下段:%																
全 体		703 100.0	152 21.6	178 25.3	174 24.8	150 21.3	15 2.1	210 29.9	256 36.4	92 13.1	47 6.7					
居 住 校 区	東部A	57 100.0	9 15.8	11 19.3	14 24.6	13 22.8	1 1.8	25 43.9	24 42.1	8 14.0	2 3.5					
	東部B	40 100.0	13 32.5	8 20.0	12 30.0	7 17.5	0 0.0	13 32.5	17 42.5	3 7.5	1 2.5					
	北部A	66 100.0	11 16.7	15 22.7	19 28.8	15 22.7	4 6.1	16 24.2	20 30.3	11 16.7	5 7.6					
	北部B	35 100.0	5 14.3	8 22.9	10 28.6	10 28.6	2 5.7	9 25.7	14 40.0	3 8.6	2 5.7					
	中央東部	89 100.0	28 31.5	25 28.1	20 22.5	16 18.0	0 0.0	25 28.1	33 37.1	14 15.7	4 4.5					
	南東部	53 100.0	12 22.6	10 18.9	14 26.4	15 28.3	1 1.9	12 22.6	18 34.0	6 11.3	6 11.3					
	中央部	101 100.0	16 15.8	35 34.7	22 21.8	14 13.9	1 1.0	39 38.6	43 42.6	7 6.9	7 6.9					
	中央南部	125 100.0	26 20.8	34 27.2	28 22.4	33 26.4	4 3.2	35 28.0	41 32.8	21 16.8	7 5.6					
	南西部	72 100.0	13 18.1	17 23.6	19 26.4	13 18.1	0 0.0	23 31.9	27 37.5	7 9.7	8 11.1					
	西部A	21 100.0	9 42.9	3 14.3	5 23.8	5 23.8	1 4.8	3 14.3	7 33.3	1 4.8	3 14.3					
	西部B	26 100.0	9 34.6	9 34.6	6 23.1	4 15.4	1 3.8	7 26.9	7 26.9	6 23.1	0 0.0					

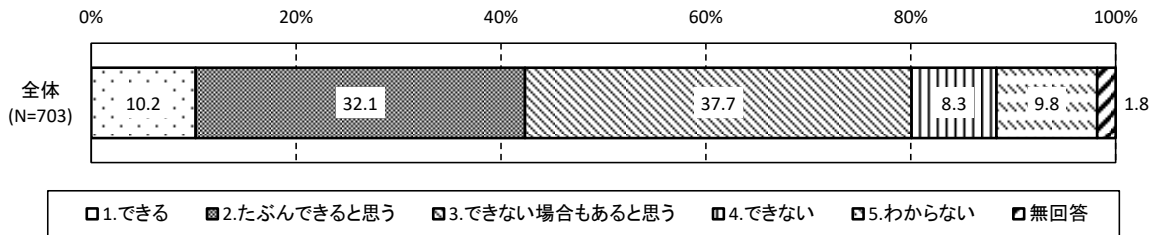
## 7 「地域防災力の向上」について

### (69) 災害が発生した場合、一人で避難できるか

問 33. あなたは、災害が発生したときにひとりで避難できると思いますか。(○はひとつ)

災害が発生した場合、一人で避難できない場合がある・できない人は4割以上

●災害が発生した場合、一人で避難できるかについて、「できない場合もあると思う」が37.7%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 男性・50～54歳では、「できる」の割合が高い。
- 男性・25～29歳では、「たぶんでできると思う」の割合が高い。
- 男性・30～34歳、女性・40～44歳では、「できない場合もあると思う」の割合が高い。
- 東部A、西部Aでは、「できない場合もあると思う」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	1. できる	2. たぶんでできると思う	3. できない場合もあると思う	4. できない	5. わからない	無回答	
上段: 実数, 下段: %									
全体		703	72	226	265	58	69	13	
		100.0	10.2	32.1	37.7	8.3	9.8	1.8	
性別	男性	276	42	101	86	15	27	5	
		100.0	15.2	36.6	31.2	5.4	9.8	1.8	
	女性	418	30	122	174	43	41	8	
		100.0	7.2	29.2	41.6	10.3	9.8	1.9	
回答しない		5	0	2	3	0	0	0	
		100.0	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28	3	12	4	3	6	0
			100.0	10.7	42.9	14.3	10.7	21.4	0.0
	女性	44	2	12	20	7	3	0	
			100.0	4.5	27.3	45.5	15.9	6.8	0.0
	25～29歳	男性	14	1	7	3	0	3	0
			100.0	7.1	50.0	21.4	0.0	21.4	0.0
	女性	41	2	8	20	6	5	0	
			100.0	4.9	19.5	48.8	14.6	12.2	0.0
	30～34歳	男性	19	3	5	10	1	0	0
			100.0	15.8	26.3	52.6	5.3	0.0	0.0
	女性	45	0	12	19	8	5	1	
			100.0	0.0	26.7	42.2	17.8	11.1	2.2
	35～39歳	男性	34	5	11	14	1	3	0
			100.0	14.7	32.4	41.2	2.9	8.8	0.0
	女性	36	6	4	16	6	4	0	
			100.0	16.7	11.1	44.4	16.7	11.1	0.0
	40～44歳	男性	27	5	7	10	1	4	0
			100.0	18.5	25.9	37.0	3.7	14.8	0.0
	女性	37	2	9	19	1	5	1	
			100.0	5.4	24.3	51.4	2.7	13.5	2.7
	45～49歳	男性	37	7	11	10	2	5	2
			100.0	18.9	29.7	27.0	5.4	13.5	5.4
	女性	35	2	15	13	1	4	0	
			100.0	5.7	42.9	37.1	2.9	11.4	0.0
50～54歳	男性	34	9	12	9	1	2	1	
		100.0	26.5	35.3	26.5	2.9	5.9	2.9	
女性	33	5	9	15	1	3	0		
		100.0	15.2	27.3	45.5	3.0	9.1	0.0	
55～59歳	男性	44	4	18	14	4	2	2	
		100.0	9.1	40.9	31.8	9.1	4.5	4.5	
女性	62	4	20	23	7	6	2		
		100.0	6.5	32.3	37.1	11.3	9.7	3.2	
60～64歳	男性	38	5	17	12	2	2	0	
		100.0	13.2	44.7	31.6	5.3	5.3	0.0	
女性	83	6	33	28	6	6	4		
		100.0	7.2	39.8	33.7	7.2	7.2	4.8	

◆表 居住校区别◆

		サンプル数	1. できる	2. たぶんでできると思う	3. できない場合もあると思う	4. できない	5. わからない	無回答
上段: 実数, 下段: %								
全体		703	72	226	265	58	69	13
		100.0	10.2	32.1	37.7	8.3	9.8	1.8
居住校区	東部A	57	4	19	25	5	4	0
		100.0	7.0	33.3	43.9	8.8	7.0	0.0
	東部B	40	2	14	17	3	4	0
		100.0	5.0	35.0	42.5	7.5	10.0	0.0
	北部A	66	9	19	19	5	12	2
		100.0	13.6	28.8	28.8	7.6	18.2	3.0
	北部B	35	4	7	14	2	7	1
		100.0	11.4	20.0	40.0	5.7	20.0	2.9
	中央東部	89	10	27	38	7	5	2
		100.0	11.2	30.3	42.7	7.8	5.6	2.2
	南東部	53	9	15	21	1	6	1
		100.0	17.0	28.3	39.6	1.9	11.3	1.9
	中央部	101	13	32	40	7	8	1
		100.0	12.9	31.7	39.6	6.9	7.9	1.0
中央南部	125	12	44	38	17	12	2	
	100.0	9.6	35.2	30.4	13.6	9.6	1.6	
南西部	72	4	27	25	7	7	2	
	100.0	5.6	37.5	34.7	9.7	9.7	2.8	
西部A	21	2	4	11	1	1	1	
	100.0	9.5	19.0	52.4	4.8	4.8	9.5	
西部B	26	3	10	9	3	1	0	
	100.0	11.5	38.5	34.6	11.5	3.8	0.0	

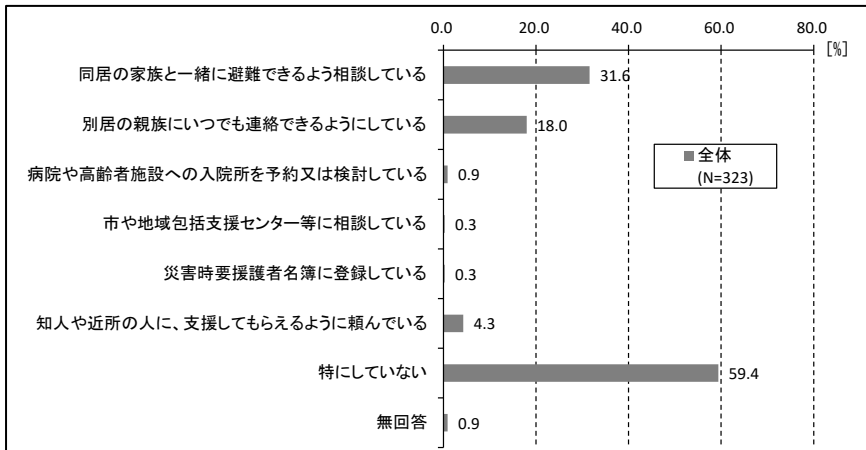
(70) 避難するための対策の有無

問 33 で、「3」又は「4」と回答された方にお聞きします。

問 33-1. あなたは、避難するための対策をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

約 6 割の人が「避難するための対策」をしていない

● 避難するための対策の有無について、「特にしていない」が 59.4%で最も高い。



【属性別特徴】

- 男性・18～24 歳、男性・45～49 歳では、「同居の家族と一緒に避難できるよう相談している」の割合が高い。
- 男性・30～34 歳、男性・45～49 歳では、「別居の親族にいつでも連絡できるようにしている」の割合が高い。

◆ 表 性別・年代別 ◆

上段: 実数, 下段: %		サンプル数	同居の家族と一緒に避難できるようにしている	別居の親族にいつでも連絡できるようにしている	病院や高齢者施設への入院所を予約又は検討している	市や地域包括支援センター等に相談している	災害時要援護者名簿に登録している	知人や近所の人に、支援してもらえるように頼んでいる	特にしていない	無回答	
全 体		323	102	58	3	1	1	14	192	3	
		1000	31.6	18.0	0.9	0.3	0.3	4.3	59.4	0.9	
性別	男性	101	33	24	2	1	1	7	57	1	
		1000	32.7	23.8	2.0	1.0	1.0	6.9	56.4	1.0	
	女性	217	68	33	1	0	0	7	132	2	
		1000	31.3	19.2	0.5	0.0	0.0	3.2	60.8	0.9	
	回答しない	3	0	1	0	0	0	0	2	0	
		1000	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	7	4	0	0	0	0	1	3	0
			1000	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	42.9	0.0
		女性	27	10	2	0	0	0	1	16	0
			1000	37.0	7.4	0.0	0.0	0.0	3.7	59.3	0.0
	25～29歳	男性	3	0	0	0	0	0	0	0	3
			1000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
		女性	26	5	2	0	0	0	0	19	1
			1000	19.2	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	73.1	3.8
	30～34歳	男性	11	4	4	0	0	0	0	6	0
			1000	36.4	36.4	0.0	0.0	0.0	0.0	54.5	0.0
		女性	27	8	4	0	0	0	1	16	0
			1000	29.6	14.8	0.0	0.0	0.0	3.7	59.3	0.0
	35～39歳	男性	15	3	3	0	0	0	2	9	0
			1000	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	13.3	60.0	0.0
		女性	22	4	1	0	0	0	0	18	0
			1000	18.2	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	81.8	0.0
	40～44歳	男性	11	3	2	0	0	0	0	8	0
			1000	27.3	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	72.7	0.0
		女性	20	10	5	0	0	0	3	9	0
			1000	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	15.0	45.0	0.0
	45～49歳	男性	12	7	6	2	1	1	2	3	1
			1000	58.3	50.0	16.7	8.3	8.3	16.7	25.0	8.3
		女性	14	4	3	0	0	0	0	8	0
			1000	28.6	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	0.0
50～54歳	男性	10	3	2	0	0	0	1	4	0	
		1000	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0	40.0	0.0	
	女性	16	6	3	0	0	0	0	10	0	
		1000	37.5	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5	0.0	
55～59歳	男性	18	5	4	0	0	0	1	12	0	
		1000	27.8	22.2	0.0	0.0	0.0	5.6	66.7	0.0	
	女性	30	8	4	1	0	0	1	18	0	
		1000	26.7	13.3	3.3	0.0	0.0	3.3	60.0	0.0	
60～64歳	男性	14	4	3	0	0	0	0	9	0	
		1000	28.6	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	64.3	0.0	
	女性	34	13	9	0	0	0	1	17	1	
		1000	38.2	26.5	0.0	0.0	0.0	2.9	50.0	2.9	

## 7 「地域防災力の向上」について

- 世帯の中に小学生がいる人では、「同居の家族と一緒に避難できるよう相談している」の割合が高い。
- 世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる人では、「別居の親族にいつでも連絡できるようにしている」の割合が高い。
- 世帯の中に就学前の子どもがいる人、世帯の中に1～3以外の18歳未満の子どもがいる人では、「特にしていない」の割合が高い。

◆表 同居している家族別◆

		サンプル数	避難できる家族と一緒相談している	同居の家族と一緒に相談している	別居の親族にいつでも連絡できるようにしている	検討している	病院や高齢者施設へ入院を予約又は検査している	市や地域に相談している	災害時要援護者名簿に登録している	支障をきたしている	知人や近所の人に頼ってもらえるようしている	特にしていない	無回答
上段:実数、下段:%													
全体		323 100.0	102 31.6	58 18.0	3 0.9	1 0.3	1 0.3	14 4.3	192 59.4	3 0.9			
同居している家族	1世帯の中に就学前の子どもがいる	36 100.0	11 30.6	6 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.8	24 66.7	0 0.0			
	2世帯の中に小学生がいる	33 100.0	14 42.4	3 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.1	19 57.6	0 0.0			
	3世帯の中に中学生がいる	14 100.0	5 35.7	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 14.3	8 57.1	0 0.0			
	4世帯の中に1～3以外の18歳未満の子どもがいる	13 100.0	2 15.4	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 84.6	0 0.0		
	5世帯の中に65歳以上の人がいる	92 100.0	27 29.3	13 14.1	1 1.1	1 1.1	1 1.1	6 6.5	61 66.3	0 0.0			
	6世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる	38 100.0	13 34.2	9 23.7	2 5.3	2 5.3	2 5.3	3 7.9	19 50.0	0 0.0			
	7世帯以上に上記1～6にあてはまる人はいない	128 100.0	38 29.7	21 16.4	1 0.8	0 0.0	0 0.0	3 2.3	78 60.9	3 2.3			

- 北部A、北部B、中央南部、南西部では、「同居の家族と一緒に避難できるよう相談している」の割合が高い。
- 東部B、中央部では、「特にしていない」の割合が高い。

◆表 居住校区別◆

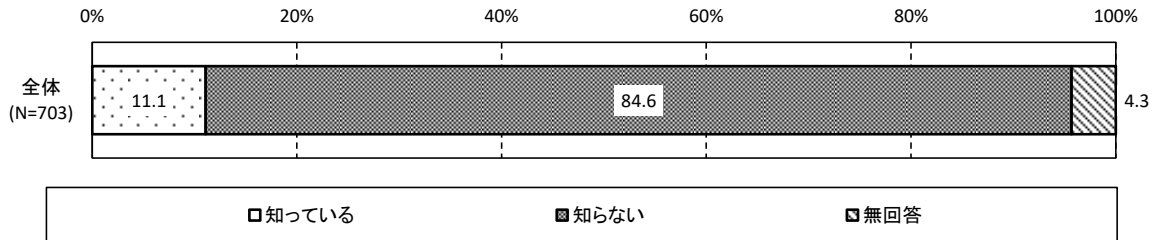
		サンプル数	避難できる家族と一緒相談している	同居の家族と一緒に相談している	別居の親族にいつでも連絡できるようにしている	検討している	病院や高齢者施設へ入院を予約又は検査している	市や地域に相談している	災害時要援護者名簿に登録している	支障をきたしている	知人や近所の人に頼ってもらえるようしている	特にしていない	無回答
上段:実数、下段:%													
全体		323 100.0	102 31.6	58 18.0	3 0.9	1 0.3	1 0.3	14 4.3	192 59.4	3 0.9			
居住校区	東部A	30 100.0	8 26.7	5 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 10.0	17 56.7	2 6.7			
	東部B	20 100.0	4 20.0	4 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 75.0	0 0.0			
	北部A	24 100.0	9 37.5	5 20.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.2	14 58.3	0 0.0			
	北部B	16 100.0	6 37.5	3 18.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 25.0	7 43.8	0 0.0			
	中央東部	45 100.0	14 31.1	8 17.8	1 2.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	24 53.3	0 0.0		
	南東部	22 100.0	6 27.3	5 22.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 63.6	1 4.5		
	中央部	47 100.0	11 23.4	7 14.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 4.3	33 70.2	0 0.0			
	中央南部	55 100.0	22 40.0	8 14.5	1 1.8	1 1.8	1 1.8	3 5.5	31 56.4	0 0.0			
	南西部	32 100.0	13 40.6	7 21.9	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	18 56.3	0 0.0		
	西部A	12 100.0	4 33.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 58.3	0 0.0		
	西部B	12 100.0	4 33.3	3 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 66.7	0 0.0		

(7 1) 「災害時要援護者名簿」の認知度

問 34. あなたは、「災害時要援護者名簿」について知っていますか。(〇はひとつ)

8 割以上の人「災害時要援護者名簿」を知らない

● 「災害時要援護者名簿」の認知度について、「知らない」が 84.6% で最も高い。



【属性別特徴】

- 男性・55～59 歳、女性・50～54 歳、女性・60～64 歳では、他と比べ「知っている」の割合が高い。
- 世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる人では、他と比べ「知っている」の割合が高い。
- 世帯の中に就学前の子どもがいる人、世帯の中に小学生がいる人では、他と比べ「知らない」の割合が高い。
- 広報紙を読む人は、読まない人に比べ認知度が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	知っている	知らない	無回答	
上段:実数, 下段:%						
全 体		703	78	595	30	
		100.0	11.1	84.6	4.3	
性別	男性	276	32	229	15	
		100.0	11.6	83.0	5.4	
	女性	418	46	358	14	
	100.0	11.0	85.6	3.3		
	回答しない	5	0	4	1	
	100.0	0.0	80.0	20.0		
性別・年代別	18～24歳	男性	28	3	24	1
			100.0	10.7	85.7	3.6
	女性	44	2	40	2	
		100.0	4.5	90.9	4.5	
	25～29歳	男性	14	2	11	1
			100.0	14.3	78.6	7.1
	女性	41	2	37	2	
		100.0	4.9	90.2	4.9	
	30～34歳	男性	19	0	17	2
			100.0	0.0	89.5	10.5
	女性	45	6	38	1	
		100.0	13.3	84.4	2.2	
35～39歳	男性	34	2	31	1	
		100.0	5.9	91.2	2.9	
女性	36	1	35	0		
	100.0	2.8	97.2	0.0		
40～44歳	男性	27	2	23	2	
		100.0	7.4	85.2	7.4	
女性	37	1	35	1		
	100.0	2.7	94.6	2.7		
45～49歳	男性	37	3	32	2	
		100.0	8.1	86.5	5.4	
女性	35	4	29	2		
	100.0	11.4	82.9	5.7		
50～54歳	男性	34	6	26	2	
		100.0	17.6	76.5	5.9	
女性	33	6	26	1		
	100.0	18.2	78.8	3.0		
55～59歳	男性	44	8	33	3	
		100.0	18.2	75.0	6.8	
女性	62	9	51	2		
	100.0	14.5	82.3	3.2		
60～64歳	男性	38	6	31	1	
		100.0	15.8	81.6	2.6	
女性	83	15	65	3		
	100.0	18.1	78.3	3.6		

◆表 同居している家族別◆

		サンプル数	知っている	知らない	無回答
上段:実数, 下段:%					
全 体		703	78	595	30
		100.0	11.1	84.6	4.3
同居している家族	1.世帯の中に就学前の子どもがいる	61	2	56	3
		100.0	3.3	91.8	4.9
	2.世帯の中に小学生がいる	62	1	56	5
		100.0	1.6	90.3	8.1
	3.世帯の中に中学生がいる	35	7	26	2
		100.0	20.0	74.3	5.7
	4.世帯の中に1～3以外の18歳未満の子がいる	35	7	26	2
	100.0	20.0	74.3	5.7	
5.世帯の中に65歳以上の人がいる	217	31	179	7	
	100.0	14.3	82.5	3.2	
6.世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる	76	20	52	4	
	100.0	26.3	68.4	5.3	
7.世帯に上記1～6にあてはまる人はいない	280	27	243	10	
	100.0	9.6	86.8	3.6	

◆表 居住校區別◆

		サンプル数	知っている	知らない	無回答
上段:実数, 下段:%					
全 体		703	78	595	30
		100.0	11.1	84.6	4.3
居住校区	東部A	57	9	45	3
		100.0	15.8	78.9	5.3
	東部B	40	5	34	1
		100.0	12.5	85.0	2.5
	北部A	66	5	58	3
		100.0	7.6	87.9	4.5
	北部B	35	3	30	2
		100.0	8.6	85.7	5.7
	中央東部	89	5	79	5
		100.0	5.6	88.8	5.6
	南東部	53	9	43	1
		100.0	17.0	81.1	1.9
中央部	101	9	90	2	
	100.0	8.9	89.1	2.0	
中央南部	125	12	108	5	
	100.0	9.6	86.4	4.0	
南西部	72	12	56	4	
	100.0	16.7	77.8	5.6	
西部A	21	3	15	3	
	100.0	14.3	71.4	14.3	
西部B	26	6	20	0	
	100.0	23.1	76.9	0.0	

◆表 広報紙の閲読状況別◆

		サンプル数	知っている	知らない	無回答
上段:実数, 下段:%					
全 体		703	78	595	30
		100.0	11.1	84.6	4.3
広報紙の閲読状況	毎号必ず読む	225	42	177	6
		100.0	18.7	78.7	2.7
	ときどき読む	213	23	179	11
		100.0	10.8	84.0	5.2
あまり読まない	136	8	121	7	
	100.0	5.9	89.0	5.1	
まったく読まない	125	5	114	6	
	100.0	4.0	91.2	4.8	

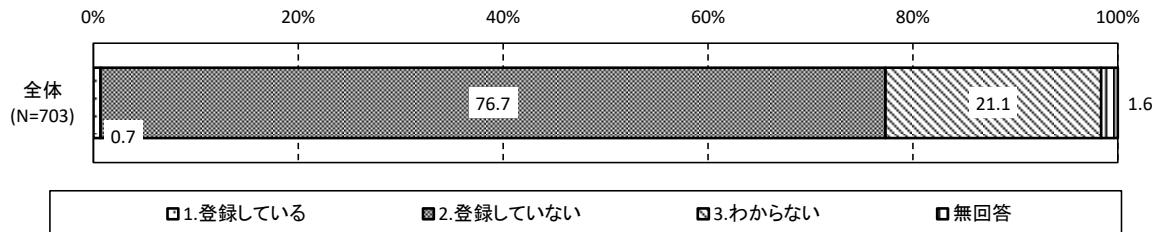
## 7 「地域防災力の向上」について

### (72) 「災害時要援護者名簿」の登録の有無

問 35. あなたは、「災害時要援護者名簿」に登録していますか。(○はひとつ)

7割以上の方が「災害時要援護者名簿」に登録していない

● 「災害時要援護者名簿」の登録の有無について、「登録していない」が76.7%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

● 男女・18～24歳では、「わからない」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	1.登録している	2.登録していない	3.わからない	無回答	
上段:実数、下段:%							
全体		703	5	539	148	11	
		100.0	0.7	76.7	21.1	1.6	
性別	男性	276	2	213	56	5	
		100.0	0.7	77.2	20.3	1.8	
	女性	418	2	319	91	6	
		100.0	0.5	76.3	21.8	1.4	
	回答しない	5	0	5	0	0	
		100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	28	0	18	10	0
			100.0	0.0	64.3	35.7	0.0
	女性	44	1	20	23	0	
		100.0	2.3	45.5	52.3	0.0	
	25～29歳	男性	14	0	10	4	0
			100.0	0.0	71.4	28.6	0.0
	女性	41	0	31	10	0	
		100.0	0.0	75.6	24.4	0.0	
	30～34歳	男性	19	0	15	4	0
			100.0	0.0	78.9	21.1	0.0
	女性	45	0	34	11	0	
		100.0	0.0	75.6	24.4	0.0	
	35～39歳	男性	34	0	30	4	0
			100.0	0.0	88.2	11.8	0.0
	女性	36	1	27	8	0	
		100.0	2.8	75.0	22.2	0.0	
	40～44歳	男性	27	1	20	6	0
			100.0	3.7	74.1	22.2	0.0
	女性	37	0	31	5	1	
		100.0	0.0	83.8	13.5	2.7	
	45～49歳	男性	37	1	27	8	1
			100.0	2.7	73.0	21.6	2.7
	女性	35	0	29	6	0	
		100.0	0.0	82.9	17.1	0.0	
50～54歳	男性	34	0	24	8	2	
		100.0	0.0	70.6	23.5	5.9	
女性	33	0	25	8	0		
	100.0	0.0	75.8	24.2	0.0		
55～59歳	男性	44	0	36	6	2	
		100.0	0.0	81.8	13.6	4.5	
女性	62	0	54	7	1		
	100.0	0.0	87.1	11.3	1.6		
60～64歳	男性	38	0	33	5	0	
		100.0	0.0	86.8	13.2	0.0	
女性	83	0	67	12	4		
	100.0	0.0	80.7	14.5	4.8		

◆表 同居している家族別◆

		サンプル数	1.登録している	2.登録していない	3.わからない	無回答
上段:実数、下段:%						
全体		703	5	539	148	11
		100.0	0.7	76.7	21.1	1.6
同居している家族	1世帯の中に就学前の子どもがいる	61	0	47	13	1
		100.0	0.0	77.0	21.3	1.6
	2世帯の中に小学生がいる	62	1	47	13	1
		100.0	1.6	75.8	21.0	1.6
	3世帯の中に中学生がいる	35	1	24	9	1
		100.0	2.9	68.6	25.7	2.9
	4世帯の中に1～3以外の18歳未満の子どもがいる	35	1	23	11	0
	100.0	2.9	65.7	31.4	0.0	
5世帯の中に65歳以上の人がいる	217	3	161	50	3	
	100.0	1.4	74.2	23.0	1.4	
6世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる	76	3	51	21	1	
	100.0	3.9	67.1	27.6	1.3	
7世帯に上記1～6にあてはまる人はいない	280	0	225	51	4	
	100.0	0.0	80.4	18.2	1.4	

## (73) 「災害時要援護者名簿」に登録していない理由

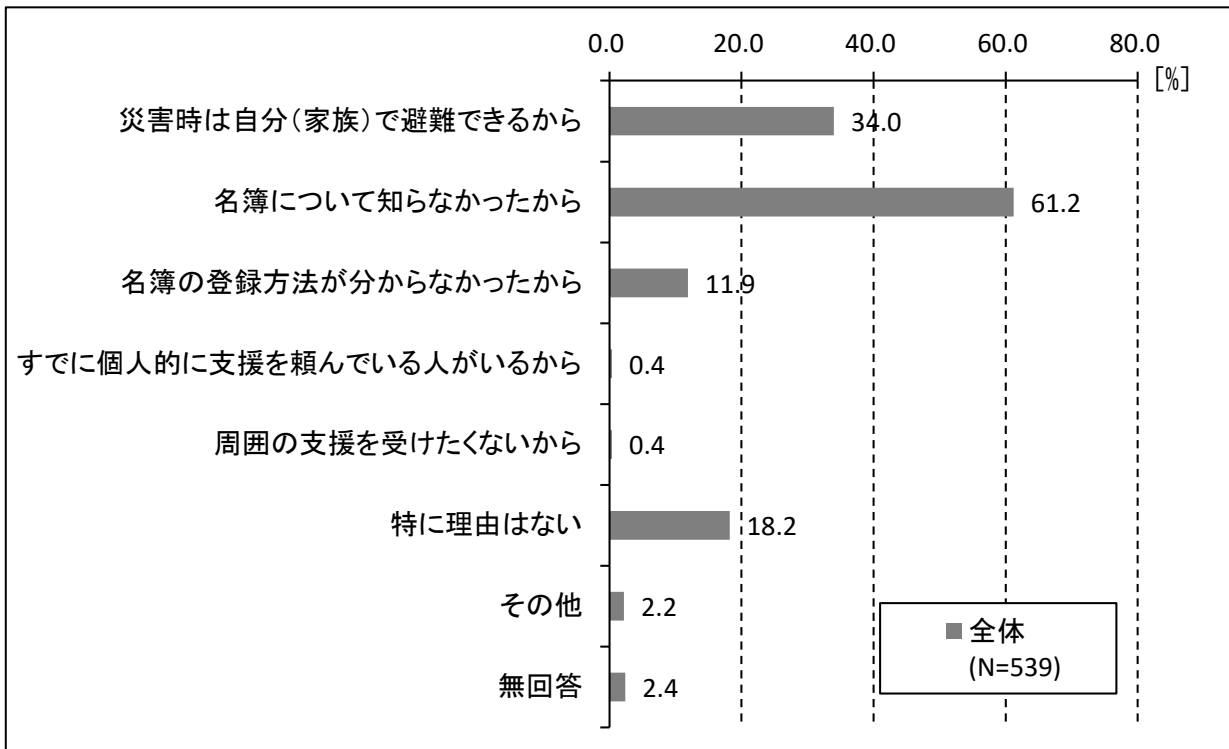
問 35 で、「2」又は「3」と回答された方にお聞きします。

問 35-1. あなたが、「災害時要援護者名簿」に登録していない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

「災害時要援護者名簿」に登録していない理由は、6割以上の方が「名簿について知らなかったから」

● 「災害時要援護者名簿」に登録していない理由について、「名簿について知らなかったから」が61.2%で最も高い。



## 7 「地域防災力の向上」について

### 【属性別特徴】

- 男性・50～54歳では、他と比べ「災害時は自分で避難できるから」の割合が高い。
- 女性・18～24歳では、他と比べ「特に理由はない」の割合が高い。
- 女性・25～29歳では、他と比べ「名簿について知らなかったから」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	家族災害時は自分で避難できる(家か)	名簿について知らなかったから	名簿の登録方法が分からなかったから	すでに個人的に支援を頼んでいる人がいるから	周囲の支援を受けないから	特に理由はない	その他	無回答	
上段:実数、下段:%											
全体		539 100.0	183 34.0	330 61.2	64 11.9	2 0.4	2 0.4	98 18.2	12 2.2	13 2.4	
性別	男性	213 100.0	68 31.9	117 54.9	25 11.7	1 0.5	2 0.9	47 22.1	3 1.4	8 3.8	
	女性	319 100.0	113 35.4	210 65.8	39 12.2	1 0.3	0 0.0	50 15.7	8 2.5	5 1.6	
	回答しない	5 100.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	18 100.0	7 38.9	4 22.2	0 0.0	1 5.6	0 0.0	4 22.2	0 0.0	3 16.7
		女性	20 100.0	7 35.0	11 55.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	8 40.0	1 5.0	0 0.0
	25～29歳	男性	10 100.0	1 10.0	5 50.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0	3 30.0	0 0.0	1 10.0
		女性	31 100.0	7 22.6	25 80.6	4 12.9	0 0.0	0 0.0	3 9.7	1 3.2	0 0.0
	30～34歳	男性	15 100.0	2 13.3	8 53.3	2 13.3	0 0.0	0 0.0	5 33.3	1 6.7	0 0.0
		女性	34 100.0	12 35.3	22 64.7	6 17.6	0 0.0	0 0.0	5 14.7	1 2.9	1 2.9
	35～39歳	男性	30 100.0	7 23.3	18 60.0	4 13.3	0 0.0	0 0.0	8 26.7	0 0.0	0 0.0
		女性	27 100.0	12 44.4	20 74.1	3 11.1	0 0.0	0 0.0	4 14.8	0 0.0	0 0.0
	40～44歳	男性	20 100.0	6 30.0	12 60.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0
		女性	31 100.0	12 38.7	22 71.0	3 9.7	0 0.0	0 0.0	4 12.9	0 0.0	1 3.2
	45～49歳	男性	27 100.0	9 33.3	19 70.4	7 25.9	0 0.0	0 0.0	6 22.2	0 0.0	1 3.7
		女性	29 100.0	11 37.9	20 69.0	5 17.2	0 0.0	0 0.0	4 13.8	2 6.9	0 0.0
	50～54歳	男性	24 100.0	12 50.0	9 37.5	1 4.2	0 0.0	0 0.0	5 20.8	1 4.2	1 4.2
		女性	25 100.0	10 40.0	13 52.0	2 8.0	0 0.0	0 0.0	3 12.0	1 4.0	1 4.0
	55～59歳	男性	36 100.0	12 33.3	20 55.6	2 5.6	0 0.0	1 2.8	8 22.2	1 2.8	1 2.8
		女性	54 100.0	16 29.6	38 70.4	3 5.6	1 1.9	0 0.0	7 13.0	1 1.9	1 1.9
	60～64歳	男性	33 100.0	12 36.4	22 66.7	4 12.1	0 0.0	0 0.0	5 15.2	0 0.0	1 3.0
		女性	67 100.0	25 37.3	38 56.7	11 16.4	0 0.0	0 0.0	12 17.9	1 1.5	1 1.5

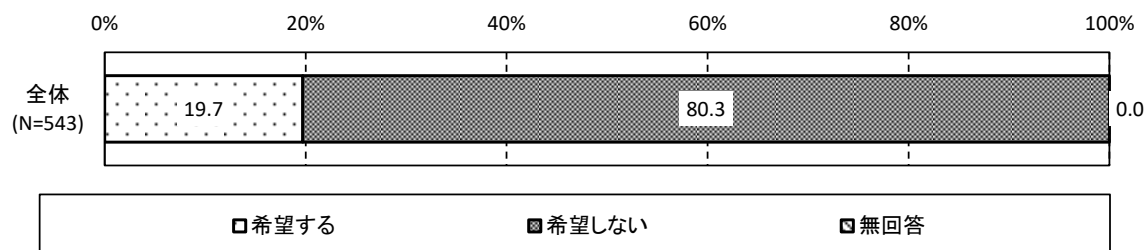


## (74) 「災害時要援護者名簿」への登録の希望

問 35-2. あなたは、「災害時要援護者名簿」への登録を希望しますか。(○はひとつ)

約 8 割の人が、「災害時要援護者名簿」への登録を希望していない

● 「災害時要援護者名簿」への登録の希望について、「希望していない」が 80.3% で最も高い。



## 【属性別特徴】

● 男性・60～64歳では、他と比べ「希望する」の割合が高い。

## ◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	希望する	希望しない	
上段:実数、下段:%					
全 体		543	107	436	
		100.0	19.7	80.3	
性別	男性	215	39	176	
		100.0	18.1	81.9	
	女性	323	68	255	
		100.0	21.1	78.9	
	回答しない	3	0	3	
		100.0	0.0	100.0	
性別・年代別	18～24歳	男性	21	1	20
			100.0	4.8	95.2
	女性	35	7	28	
		100.0	20.0	80.0	
	25～29歳	男性	11	0	11
			100.0	0.0	100.0
	女性	33	5	28	
		100.0	15.2	84.8	
	30～34歳	男性	12	2	10
			100.0	16.7	83.3
	女性	38	9	29	
		100.0	23.7	76.3	
	35～39歳	男性	27	6	21
			100.0	22.2	77.8
	女性	30	4	26	
		100.0	13.3	86.7	
	40～44歳	男性	23	1	22
			100.0	4.3	95.7
	女性	28	6	22	
		100.0	21.4	78.6	
45～49歳	男性	28	6	22	
		100.0	21.4	78.6	
女性	29	4	25		
	100.0	13.8	86.2		
50～54歳	男性	26	3	23	
		100.0	11.5	88.5	
女性	27	8	19		
	100.0	29.6	70.4		
55～59歳	男性	35	10	25	
		100.0	28.6	71.4	
女性	42	9	33		
	100.0	21.4	78.6		
60～64歳	男性	31	10	21	
		100.0	32.3	67.7	
女性	60	16	44		
	100.0	26.7	73.3		

## 久留米市のセーフコミュニティに関する実態調査

〈一般（18歳～64歳以下）〉

### ご協力をお願い

日頃より、久留米市政にご理解とご協力を頂きありがとうございます。  
市では、WHO（世界保健機関）が推奨する「セーフコミュニティ」活動に取り組んでおります。

この「セーフコミュニティ」は、市民の皆さまや関係団体と協働で事故やケガの予防などに取り組むことにより、「安全に安心して暮らせるまちづくり」を目指すものです。

本調査は、セーフコミュニティの取り組みを推進するにあたり、その基礎資料とするため、市民の皆さまの事故やケガの状況やセーフコミュニティの重点取り組みなどについてお聞きするものです。

なお、平成29年7月28日現在で、市内にお住まいの方の3,500名を無作為に抽出し、調査票を送付させていただいております。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願い申し上げます。

※この調査結果は統計的に処理する以外の目的では一切利用いたしません。

平成29年8月

久留米市長 檜原 利則

矢印で折り曲げて返信してください

矢印で折り曲げて返信してください

### ●調査票の記入について

1. 回答は、**調査対象者ご本人(封筒のあて名の人)**がご回答ください。  
ただし、ご自身での回答が難しい場合は、ご家族の方が聞き取りいただくなど代理でのご回答をお願いいたします。
2. 回答は、特別の注意書きがない限り、回答欄中のあてはまる番号を○で囲ってください。
3. 調査票の回収については、お手数ですが**8月31日(木)まで**に、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストに投函いただきますようお願いいたします。
4. 本調査に関してご不明な点等がございましたら、お手数ですが下記の連絡先まで、ご連絡下さい。

問い合わせ・連絡先：久留米市 協働推進部 安全安心推進課  
電話0942-30-9094 FAX0942-30-9706



セーフコミュニティ国際認証都市  
久留米市

以下の質問は、調査結果を統計的に整理するために必要なものです。

ご記入に、ご協力をお願いいたします。

**F 1** あなたの性別は。

1. 男性                      2. 女性                      3. 回答しない

**F 2** あなたの年齢は。(平成29年8月1日現在)

(            ) 歳

**F 3** あなたの家(同居している方のみ)の家族構成は。

1. 単身                      2. 夫婦のみ                      3. 親・子(2世代)  
4. 親・子・孫(三世代)                      5. その他(                      )

**F 4** あなたが同居している家族について、該当するものを選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 世帯の中に就学前の子どもがいる  
2. 世帯の中に小学生がいる  
3. 世帯の中に中学生がいる  
4. 世帯の中に1～3以外の18歳未満の子どもがいる  
5. 世帯の中に65歳以上の人がいる  
6. 世帯の中に障害者手帳を持っている人がある  
7. 世帯に上記1～6にあてはまる人はいない

**F 5** あなたのお住まいの住居形態は。

1. 持ち家(一戸建て)  
2. 持ち家(集合住宅・分譲マンション)  
3. 借家住宅(一戸建て)  
4. 賃貸住宅(アパート、マンション)  
5. 勤務先給与住宅(公務員住宅・社宅・寮など)  
6. 間借り、その他(                      )

**F 6** あなたの世帯は、自治会(町内会)に加入していますか。

1. 加入している  
2. 加入していない  
3. わからない

**F 7** あなたは、ふだん「広報くるめ」をどれくらい読んでいますか。

1. 毎号必ず読む
2. ときどき読む
3. あまり読まない
4. まったく読まない

**F 8** あなたのお住まいの校区（小学校区）は。（○はひとつ）

- |        |         |        |        |           |         |
|--------|---------|--------|--------|-----------|---------|
| 1. 西国分 | 2. 庄島   | 3. 日吉  | 4. 篠山  | 5. 京町     | 6. 南薫   |
| 7. 烏飼  | 8. 長門石  | 9. 小森野 | 10. 金丸 | 11. 東国分   | 12. 御井  |
| 13. 南  | 14. 合川  | 15. 山川 | 16. 上津 | 17. 高良内   | 18. 宮ノ陣 |
| 19. 山本 | 20. 草野  | 21. 安武 | 22. 荒木 | 23. 大善寺   | 24. 善導寺 |
| 25. 大橋 | 26. 青峰  | 27. 津福 | 28. 船越 | 29. 水縄    | 30. 田主丸 |
| 31. 水分 | 32. 竹野  | 33. 川会 | 34. 柴刈 | 35. 弓削    | 36. 北野  |
| 37. 大城 | 38. 金島  | 39. 城島 | 40. 下田 | 41. 江上    | 42. 青木  |
| 43. 浮島 | 44. 西牟田 | 45. 犬塚 | 46. 三瀨 | 47. わからない |         |

## 1 「主なケガ」について

- 問1. あなたは、過去1年間(平成28年8月以降)にケガをされましたか。(○はひとつ)  
(ケガとは、骨折、捻挫、打撲、切り傷などで、病院にかからないようなものも対象とします。)
1. ケガをした
  2. ケガはしてない

問1で「1」と回答された方にお聞きします。「2」と回答された方は、問2へお進みください。  
※複数の経験があれば、最も重症だったものを選んでください。

問1-1. ケガの原因は何でしたか。(○はひとつ)

1. 交通事故
2. 転倒
3. 転落
4. 接触・衝突
5. はさまれた
6. モノの落下
7. 熱い物に触れた
8. 鋭利なものへの接触
9. 虫などにさされた・蛇などにかまれた
10. 犬などにかまれた
11. 暴行
12. 異物を飲んだ
13. 重い物を持った
14. その他 ( )

問1-2. ケガをした時は何をしていましたか。(○はひとつ)

1. 通勤を含む仕事
2. 通学を含む教育活動
3. 食事
4. 買い物を含む家事
5. 運動・スポーツ
6. 散歩
7. 入浴
8. 趣味・遊びなどを含む余暇活動
9. ボランティアなどの奉仕活動
10. その他 ( )

問1-3. ケガをした場所はどこでしたか。(○はひとつ)

1. 自宅(居間)
2. 自宅(寝室)
3. 自宅(風呂)
4. 自宅(階段)
5. 自宅(玄関)
6. 自宅(台所)
7. 自宅の庭
8. 自宅(1～7以外)
9. 学校
10. 勤務先
11. 仕事先の現場
12. 農地・林地
13. 公園
14. 駅・バス停
15. 商業・飲食・娯楽施設
16. スポーツ施設
17. 道路・歩道
18. その他 ( )

---

---

問1-4. ケガをした状況・きっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. 段差や物でつまづいた | 2. 濡れた場所で滑った |
| 3. バランスを崩した   | 4. あわてた      |
| 5. 酔っ払った      | 6. ぶつかった     |
| 7. よそ見・わき見をした | 8. 考え事をしていた  |
| 9. 操作を誤った     | 10. 飛び出した    |
| 11. 身を乗り出した   |              |
| 12. その他 (     | )            |

問1-5. ケガをした部位(からだの場所)はどこですか。(○はひとつ)

※一番ひどく、傷の深かった部位や骨折、出血した部位を選んでください。

- |                     |       |
|---------------------|-------|
| 1. あたま(顔、口、鼻、耳、口内等) | 2. 首  |
| 3. うで(手、手首、ひじ等)     | 4. 肩  |
| 5. 胸部               | 6. 背中 |
| 7. 腹部               | 8. 腰部 |
| 9. あし(足、足首、ひざ等)     |       |
| 10. その他 (           | )     |

問1-6. どのようなケガでしたか。(○はひとつ)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 脳挫傷・脳しんとう | 2. 骨折        |
| 3. ヤケド       | 4. 脱臼        |
| 5. 捻挫        | 6. 打撲        |
| 7. 刺し傷・切り傷   | 8. すり傷・ひっかき傷 |
| 9. 中毒・誤飲     |              |
| 10. その他 (    | )            |

**2 「交通事故の防止」と「自転車事故の防止」について**

問2. あなたは、普段、自動車やバイク（原付を含む）を運転しますか。（○はひとつ）

- |                |                       |
|----------------|-----------------------|
| 1. ほぼ毎日運転する    | 2. ときどき運転する           |
| 3. ほとんど運転しない   | 4. 運転免許は持っているが全く運転しない |
| 5. 運転免許を持っていない |                       |

問3. あなたは、普段、自転車に乗りますか。（○はひとつ）

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 1. ほぼ毎日乗る   | 2. ときどき乗る |
| 3. ほとんど乗らない | 4. 全く乗らない |

問3で、「1」～「3」と回答された方にお聞きします。「4」と回答された方は、問「4」へお進みください。

問3-1. あなたは、自転車運転中の加害事故に関する賠償責任に備えて、自転車保険等に加入していますか。（○はひとつ）

- |                        |
|------------------------|
| 1. 加入している（自動車保険の付帯として） |
| 2. 加入している（自転車保険）       |
| 3. 加入していない             |

問4. あなたは、過去1年間（平成28年8月以降）に、交通事故（自損・単独事故を含む）にあった又はあいそうになったことがありますか。また、その時の状況について、該当するものを選んでください。（あてはまるものすべてに○）

	事故にあった （被害者）	事故にあいそ うになった	事故をおこし た（加害者）	事故をおこし そうになった	いずれもなか った
(A) 自動車の運転中	1	2	3	4	5
(B) バイクの運転中	1	2	3	4	5
(C) 自転車の運転中	1	2	3	4	5
(D) 歩行中	1	2	3	4	5

問5. あなたは、交通事故にあう（被害者となる）危険性が高いのは、どの年齢層の人だと思いますか。危険性が1番高いと思う年齢層と2番目に高いと思う年齢層をそれぞれ1つ選んでください。（あてはまるものに○）

A 1番高いと思う年齢層	1. 15歳以下	2. 16～24歳以下	3. 25～39歳以下
	4. 40～64歳以下	5. 65～74歳以下	6. 75歳以上
B 2番目に高いと思う年齢層	1. 15歳以下	2. 16～24歳以下	3. 25～39歳以下
	4. 40～64歳以下	5. 65～74歳以下	6. 75歳以上

問6. あなたは、交通事故をおこす(加害者となる)危険性が高いのは、どの年齢層の人だと思いますか。危険性が1番高いと思う年齢層と2番目に高いと思う年齢層をそれぞれ1つ選んでください。(あてはまるものに○)

A 1番高いと思う年齢層	1. 15歳以下	2. 16～24歳以下	3. 25～39歳以下
	4. 40～64歳以下	5. 65～74歳以下	6. 75歳以上
B 2番目に高いと思う年齢層	1. 15歳以下	2. 16～24歳以下	3. 25～39歳以下
	4. 40～64歳以下	5. 65～74歳以下	6. 75歳以上

問7. あなたは、交通安全について、不安に思っていることがありますか。

(あてはまるものすべてに○) また、特に不安に思うことを1つ選んでください。

1. 生活道路(住宅地内の道路)で、歩道、ガードレール、照明、道路標識などの設置や維持管理が不十分である
2. 生活道路内で、十分に速度を落とさない自転車や二輪車(バイク)がある
3. 幹線道路で、中央分離帯、歩道、ガードレール、照明、道路標識などの設置や維持管理が不十分である
4. 横断歩道や信号機の設置や維持管理が不十分である
5. 自転車専用道路の設置が不十分である
6. 交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い
7. 交通ルールやマナーを守らない自転車が多い
8. 交通ルールやマナーを守らないバイクの運転者が多い
9. 交通ルールやマナーを守らない自動車の運転者が多い
10. 渋滞が多い
11. 道路上に、違法駐車や放置自転車などの障害物が多い
12. 道路や事故の状況など、交通安全に関する情報が不十分である
13. 自転車又は二輪車の安全性に信頼がおけない
14. その他( )
15. 特に不安に思っていることはない
16. わからない

特に不安に思うこと ⇒ 番号:( )

問8. あなたは、シートベルトやチャイルドシートの着用について、普段どのようなことをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自動車運転中は、必ずシートベルトを着用する
2. 助手席に乗るときは、必ずシートベルトを着用する
3. 後部座席に乗るときは、必ずシートベルトを着用する
4. 同乗者(後部座席含む)に、常にシートベルトを着用させる
5. 6歳未満の子どもが同乗するときは、常にチャイルドシートを着用させる



### 3 「高齢者虐待の防止」について

問 9. あなたは、認知症の理解不足が高齢者虐待につながると思いますか。

(○はひとつ)

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. つながると思う | 2. ある程度そう思う |
| 3. あまり思わない | 4. 全く思わない   |
| 5. わからない   |             |

問 10. あなたは、「認知症サポーター」について知っていますか。(○はひとつ)

1. 認知症サポーター養成講座を受けたことがあり、知っている
2. 名称は聞いたことがあり、養成講座を受講したいと思う
3. 名称は聞いたことがあるが、養成講座を受講したいとは思わない
4. 名称も聞いたことはなく、養成講座も受講したくない
5. 名称も聞いたことはなく、何かよくわからない

問 11. あなたは、次の行為は高齢者虐待にあたると思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. つねる、たたく、殴る、蹴るなどの暴力行為を加える
2. 年金や預貯金等を取り上げ、本人の意思・利益に反して勝手に使う
3. 本人の意思や人格などをなじるような暴言を浴びせる
4. 快適に生活できるような食事、衣服、環境を与えない
5. 高齢者が話しかけてきても無視する
6. 本人の合意なしに性的行為をする
7. 下半身を裸にして、放置する

問 12. あなたは、これまで自分が高齢者虐待をしているのではないかと思うことがありましたか。(○はひとつ)

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1. あった      | 2. ときどきあった |
| 3. ほとんどなかった | 4. 全くなかった  |
| 5. わからない    |            |

問 12 で、「1」～「2」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「13」へお進みください。

問 12-1. あなたは、問 12 でお答えいただいた行為についてどう思っていますか。

(○はひとつ)

1. 別に何も思わない
2. 相手が悪いから、仕方ないと思う
3. 悪いことだと思うがしてしまう
4. わからない



#### 4「犯罪の防止・防犯力の向上」について

問 15. あなたは、生活の中で犯罪の被害にあうかもしれないという不安はありますか。

(○はひとつ)

1. 不安である
2. ときどき不安である
3. ほとんど不安はない
4. 不安はない

問 15 で、「1」又は「2」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「16」へお進みください。

問 15-1. あなたが、不安に感じる犯罪は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 窃盗(空き巣や自転車の盗難、ひったくりなど)
2. 詐欺(ニセ電話、架空請求、訪問販売など)
3. 暴力(暴力行為、脅迫、傷害、強盗など)
4. 性犯罪(強制性交等罪、強制わいせつ、痴漢、盗撮、のぞきなど)
5. 暴力団関係
6. DV(ドメスティックバイオレンス)
7. ストーカー
8. インターネット上での犯罪
9. その他( )

問 16. あなたは、お住まいの地域で行われている防犯活動を知っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 登下校時の子ども見守り活動
2. 青バトによるパトロール活動
3. 近隣住民同士の声かけ
4. 高齢者単身や高齢者のみ世帯などの定期訪問
5. 回覧板や広報紙などによるお知らせや啓発
6. 危険箇所や不安箇所を取りまとめた安全安心マップの作成
7. 防犯灯の設置
8. 防犯カメラの設置
9. 小学校や校区コミセンなどでの防犯教室や講座の開催
10. 少年の非行防止に関する活動(夜回りなど)
11. 暴力団追放活動(集会や啓発など)
12. その他( )
13. 知らない

問 16 で、「13」以外と回答された方にお聞きします。「13」と回答された方は、問「17」へお進みください。

問 16-1. あなたは、問 16 であげた活動のいずれかに参加したことがありますか。

(○はひとつ)

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1. よく参加している    | 2. ときどき参加している |
| 3. ほとんど参加していない | 4. 参加したことはない  |

問 16-1 で、「3」又は「4」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「17」へお進みください。

問 16-2. あなたは、問 16 であげた活動に参加していない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 活動を知らないから      | 2. 自治会に加入していないから |
| 3. 必要性(効果)を感じないから | 4. 参加する時間がないから   |
| 5. 自分には関係ないから     | 6. その他 ( )       |

問 17. あなたは、これまで何らかの犯罪被害等を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 詐欺と思われる電話を受けた(オレオレ、還付金など)
2. 見覚えのない請求書(ハガキや封書)が届いた
3. 怪しげな訪問販売や営業の勧誘を受けた
4. ストーカーや不審者
5. 自転車、バイクの盗難
6. 車上ねらい
7. 空き巣などの住宅侵入盗
8. 痴漢、のぞきや盗撮
9. その他 ( )
10. 被害を受けていない

問 17 で、「1」～「9」と回答した方にお聞きします。「10」と回答された方は、問「18」へお進みください。

問 17-1. あなたは、その後どうしましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 被害を受けて、警察に届けた
2. 被害を受ける前に、警察に相談した(被害は免れた)
3. 被害を受ける前に、市の相談窓口で相談した(被害は免れた)
4. 被害を受ける前に、家族や友人などに相談した(被害は免れた)
5. 被害を受けた後に、家族や友人などに相談した
6. 被害を受けたが何もしていない
7. その他 ( )
8. わからない

## 5 「DV防止と早期発見」について

問 18. あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方をどう思いますか。(○はひとつ)

1. 同感する
2. ある程度同感する
3. あまり同感しない
4. 同感しない
5. わからない

問 19. あなたは、配偶者や恋人などから次の行為等がなされたとき、DV（ドメスティックバイオレンス）にあたると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 平手で打ったり、足で蹴る
2. 押ししたり、こづいたりする
3. 体を傷つける可能性のあるもので殴る
4. 首をしめる
5. 人前でバカにしたり命令口調でものを言う
6. 大声で怒鳴る
7. 何を言っても無視する
8. 「誰のおかげで生活できているんだ」などと言う
9. 家族や友人とのつきあいを制限する
10. 交友関係や外出先、電話やメールなどを細かくチェックする
11. 家計のやりくりを過度にチェックする
12. 家計に必要な生活費を入れない
13. 望まない性的な行為を強要する
14. 避妊に協力しない

問 20. あなたは、これまでDVを受けた又は見聞きしたことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 受けたことがある
2. 見聞きしたことがある
3. 全くなかった
4. わからない

問 20 で、「1」又は「2」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「21」へお進みください。

問 20-1. あなたは、その後どう対応しましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 別れた（離婚を含む）
2. 逃げた
3. 二人で話し合った
4. 家族や親戚に相談した
5. 友人や知人に相談した
6. 医師やカウンセラー等に相談した
7. 久留米市男女平等推進センターに相談した
8. 久留米市家庭子ども相談課に相談した
9. 警察（交番）に連絡・相談した
10. 民生委員や人権擁護委員に相談した
11. その他の公的機関に相談した
12. 民間相談窓口で相談した
13. 何もしていない
14. その他（

問 20-1 で、「4」又は「5」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「21」へお進みください。

問 20-2. あなたは、相談した結果どう思っていますか。(○はひとつ)

1. 相談して良かった（解決に向けたきっかけになった）
2. 相談して良かった（気分転換になった）
3. 相談しなければ良かった（我慢すべきなど嫌なことを言われた）
4. 相談しなければ良かった（色々聞かれたり、他人に知られた）
5. 相談しても効果がなかった
6. わからない

問 21. あなたは、これまで配偶者又は恋人（ともに元を含む）に、自分がDVをしているのではないかと思うことがありましたか。(○はひとつ)

1. あった
2. ときどきあった
3. ほとんどなかった
4. 全くなかった
5. わからない

問 21 で、「1」～「2」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「22」へお進みください。

問 21-1. あなたは、問 21 でお答えいただいた行為についてどう思っていますか。

(○はひとつ)

1. 別に何とも思わない
2. 相手が悪いから、仕方ないと思う
3. 悪いことだと思うがしてしまう
4. わからない

---

---

問 21-2. あなたは、問 21 でお答えいただいた行為について相談していますか。(○はひとつ)

1. 相談している
2. ときどき相談している
3. ほとんど相談していない
4. 相談していない
5. 相談したいができない
6. どこに相談したらいいかわからない

問 22. あなたは、DV防止や早期発見のために、何が有効だと思いますか。

(特に、有効だと思うもの3つに○)

1. DVは犯罪であり、人権侵害であることの広報周知を強化する
2. 警察の取り締まり(刑罰も含む)を強化する
3. DV被害者相談窓口や支援メニューなどの広報周知を強化する
4. 子どものころから暴力防止の教育を行う
5. 被害者が声を出しやすいシステムを確立する
6. 市、警察や裁判所などが介入し易い環境を整備する
7. 相談窓口や相談員などの数を増やす
8. 医療関係者や子ども関係の職務関係者のDVへの理解を深める

問 23. あなたは、「パープルリボン」について知っていますか。(○はひとつ)

1. 知っていて活動に参加している
2. 活動には参加していないが、パープルリボンは知っている
3. パープルリボンは見たことはあるが、何か知らない
4. 知らない





問 26 で「6」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「27」へお進みください。

問 26-1. あなたが、医療機関や相談窓口を利用しない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. お金がかかることは避けたい
2. 精神的な悩みを話すことに抵抗がある
3. 時間の都合がつかない
4. どの窓口を利用したらいいかわからない
5. 過去に利用して、嫌な思いをしたことがある
6. 根本的な問題解決にはならない
7. うつ病は特別な人がかかる病気なので、自分には関係ない
8. 治療をしなくても、ほとんどのうつ病は自然に治ると思う
9. その他 ( )

問 27. あなたは、家族や知人がうつ病ではないかと思ったとき、医療機関や相談窓口へ行くことを勧めますか。(○はひとつ)

1. 精神科医の受診を勧める
2. 内科等のかかりつけ医の受診を勧める
3. 相談窓口を勧める
4. 勧めない
5. わからない

問 28. あなたは、これまでの人生の中で、自殺したいと思った又は自殺未遂の経験がありますか。(○はひとつ)

1. 自殺未遂の経験がある
2. 自殺したいと思ったことがある
3. 自殺したいと思ったことがない

問 28 で、「1」又は「2」と回答された方にお聞きします。「3」と回答された方は、問「29」へお進みください。

問 28-1. あなたが、自殺したいと思った原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家庭に関する事
2. 健康に関する事
3. 経済的な問題に関する事
4. 勤務に関する事
5. 恋愛や結婚に関する事
6. 学校に関する事
7. その他 ( )

問 28 で、「2」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「29」へお進みください。

問 28-2. あなたが、自殺を思いとどまった要因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や友人、同僚などの身近な人に悩みを聞いてもらった
2. 医師やカウンセラーなどの心の健康に関する専門家に相談した
3. 弁護士や司法書士、公的機関の相談員など悩みの元となる分野の専門家に相談した
4. 自殺しようと思った原因が解決した
5. 自殺対策のチラシやポスターを見た
6. できるだけ休養をとるようにした
7. 趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるようにした
8. その他 ( )
9. 特に何もしなかった

問 29. あなたは、「ゲートキーパー」について知っていますか。(○はひとつ)

1. ゲートキーパー養成講座を受けたことがあり、知っている
2. 名称は聞いたことがあり、養成講座を受講したいと思う
3. 名称は聞いたことがあるが、養成講座を受講したいとは思わない
4. 名称も聞いたことはなく、養成講座も受講したくない
5. 名称も聞いたことはなく、内容も知らない

\* 「ゲートキーパー」とは、自殺に関することを正しく理解し、自殺の恐れがある人のサインに気付いて、声をかけ相手の話に耳を傾け、適切な専門家につなぎ、見守りをする人のこと。

## 7「地域防災力の向上」について

問 30. あなたは、自然災害から身を守るために一番重要なものは何だと思いませんか。

(○はひとつ)

1. 自助（各個人の口頃の準備とその時の行動）
2. 共助（地域での事前準備と取り組み）
3. 公助（国県市の各役割の事前準備と体制、動き）
4. わからない

問 31. あなたは、災害が発生したときに重要な「共助」は何だと思いませんか。(○はひとつ)

1. 校区コミュニティ組織
2. 自治会
3. 隣近所（近助の精神）

※「近助」とは、ご近所さん同士が思いやり、助け合う「向こう三軒両隣」の精神で安否確認等を行う取り組み

問 32. あなたは、「自助」の重要性を啓発するためには、何が有効だと思いませんか。

(あてはまるもの2つに○)

1. 防災に精通した人を招いての講演会や討論会
2. 防災テーマのシンポジウムやイベント
3. 市職員・防災士等による出前講座
4. 防災の視点を取り入れたレクリエーション
5. カルタや紙芝居等を活用する
6. 各種啓発チラシやグッズをキャンペーン等で配布する
7. 市広報紙・ホームページに関係記事を掲載する
8. フェイスブックなどに関係情報を定期的に流す

問 33. あなたは、災害が発生したときにひとりで避難できると思いませんか。(○はひとつ)

1. できる
2. たぶんできえると思う
3. できない場合もあると思う
4. できない
5. わからない

問 33 で、「3」又は「4」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、「問」34 へお進みください。

問 33-1. あなたは、避難するための対策をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 同居の家族と一緒に避難できるよう相談している
2. 別居の親族にいつでも連絡できるようにしている
3. 病院や高齢者施設への入院所を予約又は検討している
4. 市や地域包括支援センター等に相談している
5. 災害時要援護者名簿に登録している
6. 知人や近所の人に、支援してもらえるように頼んでいる
7. 特にしていない

問 34. あなたは、「災害時要援護者名簿」について知っていますか。(○はひとつ)

1. 知っている
2. 知らない

\* 「災害時要援護者名簿」とは、介護が必要な高齢者や障害者など災害発生時に、自力又は家族の協力による避難が困難な方々に、事前に登録いただく制度で、市と地域等がその情報を共有することにより、一体となって避難情報の伝達や安否確認などの支援を行うこと。

問 35. あなたは、「災害時要援護者名簿」に登録していますか。(○はひとつ)

1. 登録している
2. 登録していない
3. わからない

問 35 で、「2」と回答された方にお聞きします。「3」と回答された方は、「問」35-2 へ、「1」と回答された方は、調査終了です。

問 35-1. あなたが、「災害時要援護者名簿」に登録していない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 災害時は自分(家族)で避難できるから
2. 名簿について知らなかったから
3. 名簿の登録方法が分からなかったから
4. すでに個人的に支援を頼んでいる人がいるから
5. 周囲の支援を受けたくないから
6. 特に理由はない
7. その他 ( )

問 35 で、「2」又は「3」と回答された方にお聞きします。

問 35-2. あなたは、「災害時要援護者名簿」への登録を希望しますか。(○はひとつ)

1. 希望する
2. 希望しない

\* 名簿登録を希望される方は、久留米市健康福祉部地域福祉課 電話 0942-30-9173 までお問合せください。

以上で、「久留米市のセーフコミュニティに関する実態調査」を終了します。

ご協力ありがとうございました。

